

31.1
冊子 515
ロータリー文庫

《COPY》



ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾形 繁之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第 1 号 昭和46年7月1日 ガバナー月信 No. 1. July 1. 1971



Ernst G. Breitholtz R.I.会長と尾形繁之ガバナー
(1971. 5. 7. レークプラシッド・クラブハウスにおいて)



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アnst G. ブライトホルツ会長

この一年を善意の年に

— 就任のことばに代えて —

ガバナー 尾 形 繁 之

国際ロータリー1971~72年度の アnst G. ブライトホルツ (Ernst G. Breitholtz) 会長は、R Iおよび各RCの本年度運営の基本指針をば、全世界のRC会長に宛てた“GOOD WILL BEGINS WITH YOU”と題するメッセージの形で示されました。その邦訳も公けにされ、内容はすでに知られた通りであります、LAKE PLACID における講演などから、私はブライトホルツ会長の真意を次のようにうけとめました。

R I会長はこの“GOOD WILL BEGINS WITH YOU” (善意は先ずあなたから)との呼びかけに対し、各RCの新会長および全会員が“GOOD WILL BEGINS WITH MYSELF” (善意は先ず自分自身から)と呼応して、この心構えでクラブの運営と活動に当られることを切に願っておられるのであります。

「善意というものがないなら

ロータリーはただの社交クラブだ
職業は金儲けのためでしかなく

社会奉仕というも施しにすぎず
国際奉仕は外交以外の何ものでもない」
ある日本のロータリアンのこの言葉をメッセージのうちに引いておられるところにも、ブライトホルツ会長が先ず自ら善意をもって、その重責を担われようとする覚悟のほどがうかがわれます。

“GOOD WILL” (善意) : これを旗印とし、先ず自らこの心構えをもって事にあたり、本年度を暖い真心のこもった善意の年とすること、そして善意こそ個人、家庭、社会および世界の平和を築き、保ち、守るのになくてならないものであることを、すべての人々にあまねく示すよう、ブライトホルツ会長は念願しておられるのであります。

わが第366地区の全RCと全会員のみなさま。この旗印を高くかかげ、共に力を合せて今日からの1年間、善意に充ちた活動を通じて、世に仕えようよう努めようではありませんか。

直前ガバナー井関久楠さんへ感謝

井関さんは旧第365区の2分割によって生れた第366区の初代のガバナーとして、この1年間いつもこやかなあの温容をもって、重責を担われました。そして、その間寧日もなく地区のロータリー活動進展のため、心身を労されました。そのご苦勞に対し、地区の全RCとその会員に代って心からお礼を申し上げます。

井関さんは戦前からの永いロータリアンとしてのご経歴と、その間に積まれた豊かなご経験をもって活躍されました。ために当地区はこの1年間に摂津、大阪心斎橋、和歌山東南の3クラブと230余名の新会員を加えました。また主宰された和歌山の年次地区大会は、海南RCをホストとし、充実したプログラムをもって大きな成果をあげられました。

更に、昨年度の当地区における国際奉仕活動とロータリー財団関係の実績は大きく伸びました。韓国、台湾などの近隣地区との友好関係は増し、学生および研究グループの国際交換はアメリカ、オーストラリアとの間に活発に行われました。わけでもロータリー財団推進の実績は著しく、第365区と共にわが国で2つの200%地区に進み、地区全会員の平均寄付額も去る4月末すでに615%に達しました。またポール、ハリス、フェローは、この1年間に8名を加えたのであります。

以上は残されたご事績の一端にすぎません。そのほかの数々をしのびつつ、井関さんならびに井関さんと力をあわせ、労苦をわかたれた地区委員、地区幹事の方々に対し、重ねて厚くお礼を申し上げます。

◆年度はじめのご注意とお願い

新年度に当り、定められた諸手続きや送金について、お忘れのないよう特にお願い申し上げます。

◎クラブ出席率の報告

6月分の報告は7月10日までに必着するよう井関前ガバナーあてにお出し下さい。

7月分からは毎月8日(本年度より改正)迄に必着するよう、尾形現ガバナー事務所あてにお願いします。

◎RIへの年度初めの報告

別項の年間カレンダーに指定してあるとおり、クラブから提出すべき各種の報告と送金とを7月早や目をお願いします。

- ① 半期報告
- ② 人頭分担金
- ③ ロータリアン誌の購読の報告
- ④ ロータリー財団への寄付
- ⑤ ロータリー米山記念奨学会への寄付
- ⑥ ロータリーの友購読数報告と送金
- ⑦ 地区資金送金
- ⑧ ガバナー月信購読料送金

註 地区大会分担金は後期のみです。本年度はボーイスカウトへの寄付はありません。

◎新会員・退会会員・変更会員の報告

新会員・退会会員・変更会員(会員の種別・職業分類・住所の異動)などはかならず所定の用紙によって、そのつど国際ロータリー中央事務局及びガバナー事務所へご提出下さい。

◎ロータリーの文献

新年度に当り各委員長は特に「委員会資料」を参考にして、委員会活動の計画を立てて下さい。この委員会資料は「クラブ会長必携」にはいっておりますから、会長は必ずそれぞれの委員長に配布して下さい。その他のロータリーの文献は「国際ロータリー文献日本語版カタログ」(100-J)を参照して、国際ロータリー文献東京事務所に注文して下さい。

本年度は特に「ロータリー・クラブ定款」
「ロータリー・クラブ細則」が改訂されて用
語が変更しておりますので、ご注意下さい。

◆ガバナー公式訪問および

I. C. G. F. 予定日程 (7. 8月分)

- ◎7月14日 (水) 粉 河
15日 (木) 有 田
16日 (金) 御 坊
17日 (土) 白 浜
20日 (火) 大阪西北
21日 (水) 大阪西南
22日 (木) 箕 面
23日 (金) 寝 屋 川
26日 (月) 大阪柏原
28日 (水) 海 南
29日 (木) 門 真
30日 (金) 和歌山南
- ◎8月2日 (月) 大阪東淀
3日 (火) 大阪阪南
4日 (水) 守 口
6日 (金) 那智勝浦
7日 (土) I. C. G. F. 第1組
10日 (火) 松 原
11日 (水) 東 大 阪
12日 (木) 高 槻
13日 (金) 大阪住吉
16日 (月) 大 阪 西
18日 (水) 八 尾
19日 (木) 富 田 林
21日 (土) I. C. G. F. 第2組
24日 (火) 貝 塚
25日 (水) 岸 和 田
26日 (木) 堺 東 南
28日 (土) 大阪天満橋
31日 (月) 豊 中

公式訪問の日程は以上のように予定いたして
おります。各クラブは公式訪問日の2週間前に
「クラブの活動計画及び目標の要約」をガバナ
ー事務所まで、お送り下さるようお願いしま
す。

◎公式訪問の時間割

- 11:00~12:00 会長・幹事との懇談
12:30~13:30 クラブ例会に出席
13:45~16:00 クラブ協議会に出席
夕刻に例会を開催するクラブは、
15:00~16:00 会長・幹事との懇談
16:15~18:15 クラブ協議会に出席
18:30~19:30 クラブ例会に出席

特別のご接待は勝手ながら辞退させていただきます。

◆地区幹事の担当区分

当ガバナー事務所の事務全般は次記の通り、
地区幹事の各位が分担いたします。この区分に
従ってご連絡下さるようお願い申し上げます。

- 1) 統括地区資金 辻本 博
- 2) 総務 文献
村田 正雄 高田 和男
- 3) 地区諸会合 地区RCおよび他地区との
連絡 奈良吉太良 西川兼吉
- 4) RI 海外地区およびロータリー財団と
の連絡 木川田正毅 住吉 勝也
- 5) ガバナー月信 出席報告
飯沼 剛 神山 幸雄
- 6) 地区会計 田畑誠之助
- 7) 事務専従 ガバナー庶務 中村 幸子

◆訂 正

地区広報委員長・八反田角一郎氏 (大阪北)
を稲野治兵衛氏 (大阪) に訂正します。

年間カレンダー(クラブ年中行事ならびに幹事報告送金等主要事務) (1971年7月~1972年6月)

国際ロータリー 第366区 ガバナー 尾形 繁之

ガバナー事務所: 堺市戎之町西1丁目23番23号(〒590)

堺商工会議所会館内

私書箱: 堺局私書箱25号(〒590)

電話: 0722-21-9456番

月 日	事 項	報 告 先	送 金 先
1971年 7月1日 (前期)	1. 半期報告(Semi Annual Report)	<ul style="list-style-type: none"> • R.I 中央事務局 • (写) ガバナー 	
	2. 人頭分担金(per Capita Dues) 1人当り ¥1,440 (\$ 4.00) (中途入会者はその半期間追加送金は不要) (半年分)	<ul style="list-style-type: none"> • R.I 中央事務局 • (写) 東京都千代田区右染町1-12 三井銀行本店内 ☎100 国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント) 	<ul style="list-style-type: none"> • 三井銀行本店内(又は三菱銀行本店内) 国際ロータリー在日財務代行者 (フィスカル・エイジェント)
	3. 「ロータリアン」(The Rotarian) (半年分) 購読数報告 1部につき ¥ 540 (\$ 1.50)	<ul style="list-style-type: none"> • 佐藤喜一郎氏 • (写) ガバナー 	佐藤喜一郎口座
	4. ロータリー財団への寄付 1ドル寄付 ¥ 360 (1年分) (これは7月1日のみ、但し随時・特別寄付可) 新入会員の10ドルの寄付は入会の際 ¥ 3,600	<ul style="list-style-type: none"> • 東京都千代田区右染町1-4 月山ビル ☎100 財団法人ロータリー米山記念奨学会 	<ul style="list-style-type: none"> • 1, 三井銀行京橋支店左記口座 • 2, 振替口座 東京51817 • 3, 左記へ現金書留
	5. ロータリー米山記念奨学会への寄付 (会員1人、半年分 ¥500)		
1972年 1月1日 (後期)	6. 「ロータリーの友」購読数報告 1人当り (半年分) ¥ 660 (雑誌を受取った月より起算、月割1部¥110の計算にて払込まれること)	<ul style="list-style-type: none"> • 東京都千代田区丸の内3-4 日石ビル7階 ☎100 「ロータリーの友」編集事務所 	<ul style="list-style-type: none"> • 三井銀行丸の内支店 「ロータリーの友」編集事務所口座
	7. 地区資金(District Funds) 会員(名誉会員を除く)1人あたり(半年分) ¥800 ただし中途入会者、および新クラブ設立の場合 その半期間は追加送金不要。	<ul style="list-style-type: none"> ☎590 堺局私書箱25号 ガバナー事務所内 地区資金委員 	<ul style="list-style-type: none"> ☎590 堺市南花田1丁目213-20 神戸銀行堺支店 国際ロータリー第366区
	8. ガバナー月信(写) 購読数報告 1人当り(半年分) ¥180		
	9. 地区大会分担金 (これは1月1日のみ) (1名当り) ¥2,000		地区資金委員長 辻本 博 口座

国際ロータリー主要役員

地区大会 (1971~72) 委員会										
田中和一郎 (吹田)	高石繁之丞 (茨木)	奈良吉太良 (堺)	中島要造 (枚方)	江藤基雄 (大阪)	中条良三 (守口)	大会プログラム委員 大会プログラム委員長 大会プログラム委員	浜本吉世輔 (高槻)	大会S.A.A 長束良雄 (高槻)	田宮佐 (高槻)	大会幹事 大会副委員長 大会委員長
										松本三郎 (高槻)

第366区 ガバナー ノミニ
大谷一雄 (大阪西)

地区会計	地区幹事					
田畑誠之助 (堺)	高田和男 (堺)	住吉勝也 (堺)	西川兼吉 (堺)	奈良吉太良 (堺)	村田正雄 (堺)	木川田正毅 (堺)
						神山幸雄 (堺)
						飯沼剛 (堺)
						辻本博 (堺)

R. I. 第366区ガバナー
尾形繁之 (堺)

ロータリー財団 部門
総括担当 原田秀雄 (大阪北)

拡大部門
浅田敏章 (大阪)
藤沢元雄 (和歌山)
吉村栄吉 (豊中)
小新忠興 (堺南)
大谷一雄 (大阪西)

国際奉仕部門
総括担当 塚本義隆 (大阪)

財団学友会 委員会	財団推進 委員会	研究グループ 交換委員会	財団奨学全 委員会	ヒューストン大会 執行委員会	青少年交換 招待委員会	世界社会奉仕 委員会
若月春雄 (和歌山南)	百々貞雄 (大阪東)	大谷一雄 (大阪西)	松野文治 (池田)	木村実 (豊中)	中村清 (守口)	大谷一雄 (大阪西)
奥村龍三 (大阪北)	井川定慶 (堺南)	山崎城 (和歌山)	須賀川太郎 (大阪南)	中村正雄 (堺)	吉川信藏 (大阪淀川)	児山圭佑 (河内長野)
奈良良伝 (大阪)	阪田靖人 (大阪北)	西川武四郎 (大阪)	榎橋馨 (堺)	納谷良一 (大阪西)	齊藤一路 (堺)	住吉勝也 (堺)
		木川田正毅 (堺)	佐野川谷安太郎 (大阪住吉)		雑賀孝夫 (和歌山)	菱川和夫 (和歌山)
			杉本萬五郎 (八尾)		古市実 (大阪北)	塚本義隆 (大阪)
			榎野川谷安太郎 (大阪住吉)			

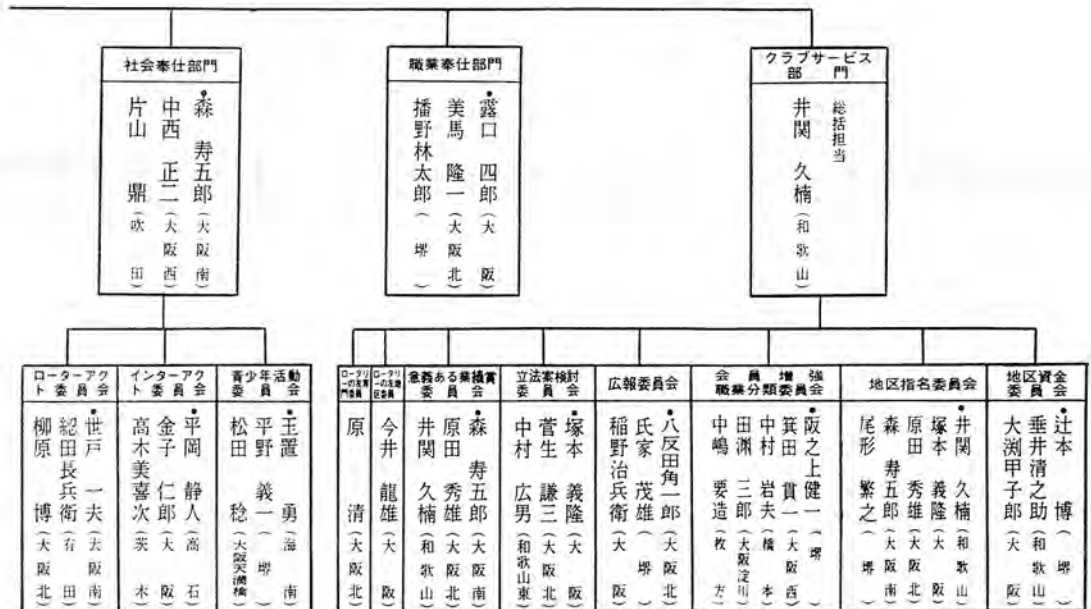
●印は長

および第366区地区委員組織図

第366区バスターガバナー			
森 寿五郎 (大阪南)	原 秀雄 (大阪北)	塚 本 義隆 (大阪)	井 関 久楠 (和歌山)

日本各地区のパナー (1971~72)		事務総長	P-1代表
地区	ガバナー	George R. Means (Evanston, U.S.A.)	Ernst G. Breitholtz (Kalmar, Sweden)
三五〇	鷲塚三郎 (名寄)		
三五一	富田 恭 (函館東)		
三五二	笹氣幸助 (仙台)		
三五三	庄司 善作 (山形)		
三五四	滝沢 信二 (宇都宮)		
三五五	高島 佳次 (前橋)		
三五六	青山 幸高 (市川東)		
三五七	伊藤 鈴三郎 (東京)		
三五八	田中 忠雄 (静岡)		
三五九	佐藤 知雄 (名古屋東)		
三六〇	西 藤 泰藏 (高岡)		
三六一	野崎 貫一 (大津)		
三六二	尾形 繁之 (堺)		
三六三	山中 正二郎 (松山)		
三六四	長 亀久鷹 (明石)		
三六五	遠藤 嘉右衛門 (出雲)		
三六六	鮎川 武雄 (小倉)		
三六七	小田 一昭 (熊本南)		

地区諮問委員			
井関 久楠 (和歌山)	塚本 義隆 (大阪)	原田 秀雄 (大阪北)	森 寿五郎 (大阪南)



8月7日～ 11月13日	近接都市クラブ連合討論会(Intercity General Forum) 時期および場所…井岡ガバナー月信4月1日第10号参照		
9月12日 ～18日	世界理解週間 (World Understanding Week)		
10月10日 ～16日	青少年活動週間(Youth activities Week)		
11月14日 ～20日	ロータリー財団週間(Rotary Foundation Week)		
1月23日 ～29日	ロータリー雑誌週間(Rotary's Magazine Week)		
3月26日～ 4月1日	世界社会奉仕日(World Community Service Day)		
2月23日	ロータリー創立記念日(Anniversary of Rotary)		
3月3日 ～5日	1971年～72年度年次地区大会(Annual District Conference) 高槻市民会館(高槻市) ホスト 高槻R.C.		
3 月 中	次年度会長・幹事・決定報告(公式名簿記載資料提出)	• R. I. 中央事務局 (A) • (写) ガバナー (B)	
4 月	国際大会出席代表信任状(Credential of Convention)	ガバナー(又は大会出席者)	
6月11日 ～15日	1971年～72年度国際大会(International Convention) アメリカ合衆国テキサス州、ヒューストン市にて		
適 当 の	1972年～73年度地区協議会(District Assembly)		
時 期	クラブ討論会(Forum on Club Level) (4大奉仕部門別に年4回開催)		
	クラブ協議会(Club Assembly) (年5回以上開催)		
毎 月	出席率報告(翌月8日までに必着するよう注意!!)	ガバナー事務所	
その都度	新入会者、退会者、その他変更	R. I. 中央事務局(英文) • ガバナー事務所(和文)	

- R. I. 中央事務局
- 文 献 注 文 先

Rotary International 1600 Ridge Avenue, Evanston, Illinois, 60201, U. S. A.
 邦文(東京都千代田区丸の内3丁目4 日石ビル4階 国際ロータリー文献事務所) 電話 東京(212) 4981
 英文(R. I. 中央事務局)

国際ロータリー第366区ロータリークラブ一覧表

ガバナー(1971~72年) 尾形 繁之

事務所：堺市戎之町西1丁目1番23号 堺商工会議所会館内
 私書箱：堺局私書箱25号 千590
 電話：堺0722-21-9 4 5 6 番

	クラブ名	例会日	例 会 場	電 話	番	事 務 所	電 話	会 長	幹 事
A	石 田	木	丸万食堂3階 箕島駅前	07378-2-3164	649-03	石田川木材協同組合 箕島30	07378-2-3128	川口正三	橋本 勇
D	大 東	火	三洋電機健康保険会館 守口市京阪本通2-22	06-991-1181	57	東大阪市長栄寺1の27 門野様方	06-781-3382	田中半三	中北 博
G	御 坊	金	紀州信用金庫本店 御坊148	07382-2-4031	64	紀州信用金庫本店4階	07382-2-5431	竹田初三	橋本次朗
H	橋 本	木	幸福相互銀行橋本支店2階 古佐田	07363-2-1110	648	橋本商工会議所 橋本1丁目1-7	07363-2-0004	楠本正夫	尾崎昭一
	東大阪	水	東大阪商工会議所 永和1-26	06-722-1151	57	左に同じ	06-723-5123	横田一夫	川端弘三
	枚 方	火	枚方信用金庫本店 岡東町14-36	0720-41-1171	573	枚方寝屋川商工会議所 枚方市大垣内町2丁目12-27	0720-43-5304	前田東作	上村金兵衛
	枚 岡	木	石切五洲閣 東大阪市上石切町1-11-12	0729-81-5001	579	福德相互銀行枚岡支店 本町6-13	0729-81-6110	石橋徳一	土井遊亀夫
I	茨 木	水	茨木商工会議所4階 上中条1丁目9-20	0726-22-6631	567	茨木商工会議所3階	0726-23-2164	笠田 稔	佐伯 博
	池 田	土	池田銀行本店 城南町2-1-11	0727-51-3521	563	左に同じ		新 文夫	清基英昭
	和 泉	水	住友銀行和泉支店 府中町1丁目7-1	0725-41-1580	591	泉州銀行和泉府中支店 府中町1丁目7-7	0725-41-5204	辻村繁一	奥出利明
	泉大津	金	大和銀行泉大津支店 田中町5-21	0725-33-4021	595	商工会館 田中町10番7号	0725-32-3501	山崎八洲夫	小西武三郎
	泉佐野	木	泉州銀行泉佐野支店 栄町	0724-62-0084	598	左に同じ	0724-62-8184	北川弥太郎	髭 善彰
K	門 真	木	松下電工本社会議室 大字門真1048	06-908-1131	571	松下電工(株) 門真1048	06-908-1131	丹羽正治	藤井昭三郎
	海 南	水	和歌山相互銀行海南支店	07348-2-3231	642	新町ビル3階 口方1272-51	07348-2-4363	田村欽吾	山田安芸雄
	貝 塚	火	貝塚市立産業会館 畠中63	0724-22-3668	597	左に同じ		溝端良雄	堀野禎治
	河内長野	金	河内長野商工会館 野作町401	07215-3-5743	586	左に同じ	07215-2-2415	吉年 晃	舟井俊三
	岸和田	水	泉州銀行本店 宮本町257	0724-23-2131	596	左に同じ		小倉十吉	堀 博夫
	粉 河	水	幸福相互銀行粉河支店 那賀郡粉河町	073673-3351	649-65	左に同じ		沢田正久	楠見知二
M	松 原	火	松原市商工会館 阿保1丁目2-30	0723-31-1009	580	左に同じ		岡田 績	長谷川文夫
	箕 面	木	箕面観光ホテル 箕面1572	0727-21-7861	562	左に同じ		久保田直敏	松村嘉彦
	守 口	水	三洋電機健康保険会館 京阪本通り2-22	06-991-1181	570	左に同じ		大隅正浩	西原房三
N	那智勝浦	金	那智勝浦町観光会館	07355-2-0265	649-53	那智勝浦町勝浦490	07355-2-0225	寺本磐彦	太田琴久
	寝屋川	金	大和銀行寝屋川支店 桜木町1の3	0720-21-0281	573	枚方寝屋川商工会議所 枚方市大垣内町2丁目12-27	0720-43-5304	平田正二	赤井千河
O	大 阪	金	新大阪ホテル4階 北区中之島3-5	06-441-1431	530	新大阪ホテル1階	06-441-7930	岡田 実	生駒一夫
	大 阪 東	木	大阪コサイホテル 東区内本町橋詰町58	06-941-2661	540	左に同じ		上野正夫	村岡秀雄

	大阪東淀	月	東洋ホテル2階宴会場	06-372-8181	533	東淀川区東淀路町4-215 島田内科内	06-322-0608	鶴飼泰三郎	森本正三
	大阪阪南	火	大阪都ホテル4階 天王寺区堀越町110	06-779-1501	543	左に同じ		羽賀一郎	栗原重雄
	大阪城南	金	上本町近鉄百貨店12階レストラン都 天王寺区上本町6-1	06-779-1313	543	上本町近鉄百貨店6階	06-779-1231	上山善紀	梶本市太郎
	大阪柏原	月	レストランニュー柏原 安堂町1-43	0729-72-3333	582	国分本町1-5-1 光洋精工(株)国分駅前連絡所内	0729-78-6173	鎮目達雄	宮川宗三
	大阪北	水	阪急百貨店 北区角田町41	06-361-1381	530	左に同じ		三橋祐太郎	井上鉄石
	大阪南	火	高島屋5階ホワイトローズ	06-631-1101	542	高島屋本社 南区難波新地6-14	06-631-1101	渡辺逸郎	桃谷政順
	大阪西	月	阪神百貨店7階グリーンルーム 北区梅田1	06-345-1201	530	左に同じ		納谷良一	高垣雄二郎
	大阪西北	火	ファミリー会館2階 福島区堂島浜通4丁目6	06-458-5601	533	ファミリー会館6階	06-458-5601	村岡満義	中井恕人
	大阪西南	水	大阪ロイヤルホテル 北区玉江町2の1	06-448-1121	530	左に同じ	06-443-2819	諏訪信吾	長谷川純二
	大阪心斎橋	土	大丸本館8階	06-271-1231	542	大丸本部秘書室 南区心斎橋筋1丁目	06-271-1231	中島蓬太郎	村田徳次
	大阪住吉	金	近鉄百貨店阿倍野店6階集会所 阿倍野区阿倍野筋1-1	06-621-1231 (065) (065)	545	近鉄百貨店阿倍野店内 阿倍野区阿倍野筋1-1	06-621-1231 (613)	佐野川谷安太郎	浅野寛
	大阪天満橋	土	松坂屋大阪店8階社交室 東区京橋2-35	06-943-1111	540	松坂屋大阪店8階社交室内	06-943-1111 (387)	堤 鏡	筒井正弘
	大阪淀川	金	阪神百貨店7階グリーンルーム 北区梅田1	06-345-1201	530	左に同じ		吉川信蔵	佐治信太郎
S	堺	木	堺商工会議所会館5階 戎之町西1丁 1-23	0722-38-5581	509	堺商工会議所会館3階	0722-38-3250	柳原謙三	正田弘
	堺南	月	堺商工会議所会館5階 戎之町西1丁 1-23	0722-38-5581	509	堺商工会議所会館3階	0722-21-9098	皆見繁行	北野誠治
	堺東南	木	三和銀行大美野支店3階 北野田81-2	0722-36-3001	508	堺市大美野142-3 管家敬祐様方	0722-32-6301	今井順二郎	管家敬祐
	攝津	金	攝津信用金庫正雀支店 正雀本町1-33-12	06-381-4481	564	左に同じ		熊野健次	園田謙信
	新宮	水	新宮商工会議所2階		647	新宮商工会議所 中央通り6696	0735-2-5144	川合幸夫	尾崎孝
	白浜	土	雁風荘内 白浜町浜通り	073942-3423	600-22	左に同じ		羽山秀夫	高橋敬二
	吹田	木	攝津信用金庫片山支店 片山町3-16-19	06-388-3443	564	左に同じ		上野清信	岡本六太郎
T	高石	火	新東洋 羽衣2丁目5-30	0722-61-8181	502	清風南海学園 綾園5丁目7-64	0722-61-7763	松永順	隅谷信三
	高槻	木	高槻商工会議所2階ホール 大手町3番46号	0726-75-0485	509	高槻商工会議所 大手町3番46号	0726-75-0485	村田利行	三好誠
	田辺	木	紀陽銀行田辺支店 栄町24	0739-22-6000	646	左に同じ	0739-22-6007	榎本三郎	三谷武三
	富田林	木	PLカントリー倶楽部 新堂2345	07212-4-1111	584	左に同じ		御木徳日正	船内正司
	豊中	火	三和銀行豊中支店 中桜塚2-21-1	068-53-4098	560	左に同じ		広石幸八郎	門光明
	豊中南	木	三和銀行豊中支店 中桜塚2-21-1	068-53-4098	560	左に同じ		山口羽玉人	加藤知衛
W	和歌山	火	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	市川宗光	田村歎弘
	和歌山東	木	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	堀口銀二郎	松下宏
	和歌山南	金	県経済センター6階 西汀町1	0734-33-1500	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	紀俊嗣	野田光男
	和歌山東南	土	農協会館 国鉄和歌山駅前	0734-23-7271	640	県経済センター2階 西汀町1	0734-23-9031	岩橋東太郎	谷口敦木
Y	八尾	水	八尾商工会議所会館 本町2丁目2番8号	0729-91-2129	581	左に同じ		渡辺奇敏	前田東

<COPY>



ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾形 繁之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第 2 号 昭和 46 年 7 月 15 日 ガバナー 月 信 No2. July 15. 1971



国際ロータリー 第366区 1971~1972 地区協議会 (47.6.12.)



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

ア Ernst G. ブライトホルツ会長

感じたこと 考えたこと

—Lake Placidの国際協議会にて—

ガバナー 尾形 繁之

5月のはじめといえば、大阪や和歌山のこの地区では、桜もとくに散り去って、野山は新緑に蔽われた清々しい季節というのに、ここアメリカのニューヨーク州の北部、Adirondacksの山々に囲まれた Lake Placid は、湖水もまだ凍ったまま、山と林間には積雪がなお深く残っていて、戸外は寒く、全く荒涼とした冬景色でありました。

新年度に備えた地区がガバナー・ノミニエーの研修をめざして国際協議会は、5月1日から8日にかけて例年の通り、此処の Lake Placid Club House で開かれました。戸外の寒さ、荒涼さにひきかえて、この会場と宿舎には穏やかな春のような暖さが充ちみちておりました。

世界の数10カ国と地域から集ったロータリアンとその家族の数は 900 (そのうちガバナー・ノミニエーは、317) を超えました。国籍、人種、言語、宗教、習俗など、まことに多彩であります。お互の住む地域社会が、国々が、世界が、少しでも明るく住みやすくなるための奉

仕こそわがつとめと、ロータリーの理想にとけあう人々の心の触れあいがかもしだす雰囲気は終始まことに和やかで暖くありました。

午前と午後、それぞれ3時間におよぶ全体会議と分団研修の上に、夜も打合せや親睦の集りといった連日のきびしいプログラムに耐え得たのは、同志の人々のこのような温い心情と、ウォーク前会長、ブライトホルツ現会長はじめ、多くの経験豊かなリーダー（日本からは湯浅恭三 R. I. 理事、平沢興、島津久厚両パストガバナー）の方々の指導と激励があったればこそであります。かような生活と体験とに恵まれたことは、私の生涯にとってまことに有り難いことであり、この機会を与えられた地区の全 R. C. 会員各位に深く感謝申し上げます。

わがロータリーはその初めの頃、アメリカでも各種の職業を代表する会員が友愛と利益をはかる特権階級の相互扶助的な社交クラブと誤解され、奉仕などとはこれをカモフラージュする合言葉にすぎないなどと非難されたり、批判さ

れたりしておりました。わが国では今日でも、このような世評がまだ少ないようでありませぬ。

われわれは、今日の職業、地位、財産、榮譽、知識、経験などを、とかく自力で得たと思いがちであります。そこに自らを高く持して、人に仕えるのではなく、かえって人をして自分に仕えしめようとする誤ったエリート意識が生れます。エリートとは本来「選抜されたもの」を意味します。多くの中から誰かによって選抜されたものであります。

われわれが今日あるを得ているのは、生れて以来いままで出会い、触れあってきた人々、社会のお蔭であります。もちろん、そのお蔭をうけうだけの素質や能力、機会に恵まれねばなりません、それをもつものが、いつのまにか、周囲の人々、社会から選ばれて、今日あるを得ているのであります。

そうだとすると、自分に与えられている職業、地位、財産、知識、経験を役立てて、地域社会が、国家が、広くは世界全体が、少しでも

住みやすく、明るくなるように人々に仕えることは、選ばれたものの義務であり、責任であります。この責任感、義務感に根ざし徹するところに生れる個々のロータリアンの活動こそ、ロータリーの奉仕の理想とするところではないでしょうか。

ロータリーが一業一人を原則とする会員組織をもつ意義はまことに大きいと考えます。異種の職業を代表する会員が、互いに親しく交わって、知識、経験、情報を分ちあい、公正でバランスのとれた理解と見識をたかめるとともに、それに基づいて各々のもてるもの——知識、経験、資財、時間、労力——を出し合う。そして物心両面にわたる公害、社会環境の荒廃から、われわれの生活自体が少しでも住みよく、明るくなること、この世界に争いが少くなり平和が増すことを希いつつ、奉仕の業に励むところにロータリーの存在理由と進展の道が見出されるのではないのでしょうか。

Lake placid における研修で、私は強くこう感じ、考えさせられて、山を下りました。

CONTENTS

Good Will Begins With You	2
Governors' Note	2
Report of District Assembly	4
New Paul Haris Fellow	7
Reports from Governors' Office	
Attendance report	7
Governors Letter	7
Governors Official Visit	8
I. C. G. F.	8

目 次

ブライトホルツR I会長メッセージ.....	2
ガバナー・ノート.....	2
地区協議会報告.....	4
新ポール・ハリス・フェロー.....	7
ガバナー事務所からのお知らせ	
出席者報告について.....	7
ガバナー月信について.....	7
ガバナー公式訪問について.....	8
インターシティ・ゼネラル・フォーラムについて.....	8

◆第366区地区協議会成功裡に終了

予ねて案内のように 第366区地区協議会は6月12日新大阪ホテルに於て盛大に挙行され、参加クラブ56R.C.出席義務者の出席率は97.99%で非常な成功を収めました。

そして次のプログラムに従って6時間にわたって熱心に協議、質疑応答と討議が行なわれました。詳細に就いては近日協議会記録が各クラブに送られますが、此処にその要点を掲載して、新年度のクラブ運営のご参考に供したいと思えます。

プ ロ グ ラ ム

1971. 6. 12 (土)

於 新大阪ホテル

- 9:00~9:25 登 録 <5階受付>
9:15~9:25 歌の練習 <5階会場>
ソングリーダー 吉田 猪一郎
9:30~10:05 全体会議 <5階会場>
◦「国歌君ケ代」「奉仕の理想」 — 同
◦開会のあいさつ
ホストクラブ会長 木川田正毅
◦開会のことば ガバナー 井関 久楠
◦紹 介(次期ガバナーおよびリーダー)
”
◦アドレス「本協議会の目的」
ガバナー 井関 久楠
「新年度に対する方針」
次期ガバナー 尾形 繁之
10:05~10:15 休 憩<会場移動>
10:15~11:45 グループ別研究会
<各室に分れて>
説明「貴君の任務について」10:15~10:45
討論「質疑応答と討議」 10:45~11:45
- 第1グループ
説明リーダー 討論リーダー
尾形 繁之(堺) 井関 久楠(和歌山)

第2グループ

古田 敬三(大阪) 江藤 基雄(大阪)

第3グループ

塚本 義隆(大阪) 安田 博(大阪)

第4グループ

露口 四郎(大阪) 川端 駿吾(大阪)

第5グループ

森 寿五郎(大阪南) 山中 文和(大阪南)

第6グループ

原田 秀雄(大阪北) 奥村 龍三(大阪北)

第7グループ

西尾専太郎(大阪東) 川崎 一雄(大阪東)

第8グループ

今井 龍雄(大阪) 矢部 文治(大阪)

11:45~12:00 休 憩<会場移動>

12:00~13:15 昼 食<5階会場>

13:15~13:30 休 憩<会場移動>

13:30~14:20 グループ別研究会

<各室に分れて>

「行動に対する計画」

各参加者は自分の考えている何か特別な行動計画を披露して、他のクラブの参考に供する。

14:20~14:40 休 憩<会場移動>

14:40~16:00 全体会議<5階会場>

「R-O-T-A-R-Y」 — 同

◦パネル討論

「クラブの新設と会員の増強にはロータリーに精通したロータリアンが必要だ」

ガバナー 井関 久楠

次期ガバナー 尾形 繁之

パネラー 浅田 敏章(大阪)

同 上 松島 清重(大阪)

同 上 大谷 一雄(大阪西)

◦ロータリー全般についての質疑応答」

ガバナー 井関 久楠

次期ガバナー 尾形 繁之

- 報告事項 ガバナー 井関 久楠
- 閉会のことば 次期ガバナー 尾形 繁之
- 閉会のあいさつ ホストクラブ
委員長 奈良吉太良
- 「手に手つないで」 ー 同

16:00 散 会

◎尾形次期ガバナー挨拶

次期 R. I. 会長のブライトホルツさんが、新年度の R. I. および各 R. C. 運営の基本方針をば、各クラブ次期会長あてに、題して

「GOOD WILL BEGINS WITH YOU」というメッセージの形で示されたことは、すでにご承知のとおりであります。

このメッセージの題と内容の日本語訳もすでにきまりまして、公にされております。したがって、ここでは詳しく触れませんが、ブライトホルツさんのレークプラシッドにおけるお話などから、その真意と私が受けとめたところを少し話させていただきたいと思っております。

日本語の訳では「善意は先づあなたから」と呼びかけておられるのであります。しかし、これを受ける者としましては、「善意はまづ自分自身から」ー 「GOOD WILL BEGINS WITH MYSELF」, with me よりもさらにもう少しことばを強めまして with myself と受けとめなければならぬと考えておる次第であります。

次に、新年度におきます地区の各クラブ並に地区自休のいろいろの目標、その優先の順位などについて、少しお話しを申し上げたいのでございますが、詳しくは後ほどのグループ別研究のときに譲らさせていただきます。

◎第1グループ（会長）報告

特に新年度 R. I. が重点的に力を入れることを希望していますものは、

1. クラブ奉仕部門
会員の増強と新クラブの設立
会員増強委員会
職業分類委員会

2. 社会奉仕部門
公害と青少年奉仕
青少年委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会

3. 職業奉仕部門
特に強調された点はありませんが職業倫理基準の向上

4. 国際奉仕部門
世界社会奉仕と、国際青少年交換の企画、更にロータリー財団の拡充

特に報告すべきことは井関がバナーが、特に発言を求めてガバナー事務局の運営と経費に就いて現状を卒直に説明され、次年度より地区ガバナー事務局の費用を、地区会員全体で負担することを提案され、会員1名当り半期500円を負担することを申合せました。

◎第2グループ（幹事）報告

幹事はクラブ運営の中心であります。クラブ運営に就いては次の諸点に注意して下さい。

1. 手続要覧を常に参考にすること。
2. 定款、細則に通暁すること。
3. 地区組織図、年間カレンダーを参考にして地区委員に遠慮なく相談すること。
4. ガバナー事務局をロータリー関係の資料、文献、情報の資料源として利用すること。
5. 近隣クラブがあいより情報交換、研究等の機会をつくること。

◎第3グループ（クラブ奉仕）報告

この委員会の任務はロータリーの綱領の第1

項「奉仕の機会として知り合いを拡めること」を達成することにあります。

クラブ副会長は会長の補佐役でなく代理執行者であります。多くの場合副会長がこの部門の担当理事をしておりますが、クラブ協議会の他に、クラブ奉仕部門だけの協議会が必要であります。その任務の性質上、各委員会を次のようなグループに分けます。

1. 会員関係

職業分類、ロータリー情報、会員選考、
会員増強

2. 例会関係

出席、親睦活動、プログラム、会場監督

3. PR関係

雑誌、広報、クラブ会報

◎第4グループ（職業奉仕）報告

職業奉仕を歴史的に見ますと、最初は、Business Method Committee と云って会員の事業の事務能率向上をお互いに研究するものであったが、1927年になって今日の Vocational Service となった。

この Vocation という意味は「天職」という言葉より転用されたものであります。

ロータリーの綱領の第2項「あらゆる有用な職業は尊重されるべきである」と云う認識を深めること、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること、とあるのは結局ロータリアン自身の精神的、道徳的向上の問題であります。

職業奉仕の実例は「奉仕こそわがつとめ」にその理論と実際が書かれてありますが、少々難解であり、日本の実情に合わない点もあるので、之の解説書を発行することを希望する声が多かった。又「職業奉仕の勘どころ」と云う日本の本が非常に理解し易いので再版を希望することを申合せた。

◎第5グループ（社会奉仕）報告

社会奉仕で、いちばん大切なことは深く考えあいで、慢然と前例をとうしゅうすることである。

前に実行して効果のないことは早速改め、新しい問題に対処すべきである。

之からの最大の課題は公害にどう取組むかと云うことである。

次に地域社会の成長、変化に基づく要請に応じて、その教育制度を改善し、社会が要請する人間を教育、訓練することである。

之のために最も大切なことは地域社会を知ることであり、若人を知ることである。

地域社会の調査に基いて公害と青少年問題特にインターアクト、ローターアクトと取組むことを特に要請されています。

◎第6グループ（国際奉仕）報告

国際奉仕も時代の進展と共に、その方法は変化しています。ロータリー発足当時は国際理解と親善だけを強調していましたが、最近では社会奉仕も加味して、低開発国への世界社会奉仕が強調されています。

次に青少年交換学生の企画が強調されていますが事前によく勉強して、国際問題、経済問題、社会問題（人種その他差別問題）等をよく勉強しておかないと意味がない。

姉妹クラブの締結は、締結そのものよりも継続的な交流に意義があるので、文通はもとより互いに訪問して、「善意は先づあなたから」を実際に示すことによって効果がある。

◎第7グループ（ロータリー財団）報告

日本からの寄附金総額は昨年6月末で約175万ドルで、全体の9.3%であるが1昨年度1ヶ年間だけの成績では、日本を主体とするアジア地

城が全体の28.1%、米国カナダの50%につき優位を占め、昨年度前半では日本のみで31万ドル余、全体の3分の1に達した。特に当地区は365地区と共に世界にも少ない200%地区であるので、今後の躍進に努力して載きたい。併し之はあくまでも個人の自発的意志によるもので、会員に負担を感じさせるような方法でなく、喜んで参加出来る方法を考えたい。

当地区では71~72年度に大学院1名(大阪)、大学1名(堺南)が決定し、米国から大学院1名(天理大学大学院)を受入れることになっている。72~73年度は特に追加割当があり、大学院2名(大阪、堺)、大学1名(富田林)の候補者が地区で選考された。

研究グループは70~72年度の計画として第365地区と合同で第245地区(オーストラリア)と交換することになり、本年3月~5月にかけて代表7名が既に訪問を終り、次年度はカナダと交換することを希望している。

◎第8グループ(会報)報告

新しく担当される方のために是非のせて欲しい項目を挙げます。

1. 発行日付
2. 通し番号
3. 創立年月日
4. 事務所の所在地、電話、郵便番号
5. 例会場
6. 会長、幹事の氏名
7. 編集者氏名
8. 次回のスピーカーの氏名、題名
9. 出席者数、欠席者数、出席率
10. 会員誕生日
11. ニコニコ箱
この他に入れてもよいもの
12. ゲスト、ビジター氏名

13. クラブ・ニュース、メンバー・ニュース
14. 4つのテスト

会報(週報)は機関誌か、記録誌かという問題については色々意見もあるが、記録が第一で、次にロータリー情報、クラブ・ニュース、メンバ・ニュース等興味あるものを折込めばよく、必ずしも卓話を詳しくのせる必要はないが、欠席者に興味をもたせるためにのせた方がよい。枚数を決めてスピーカーに直接原稿をお頼みするのが無難ではないかと思うが、それも個々の場合による。経費は大体クラブ予算の3~7%で多くても10%位が限度ではないか。

一番大切なことは読む気のない人に如何に上手に読ませるかということで、出来るだけ氏名を挙げ、出来ればその人の消息等の原稿をのせることである。

◆井関久楠君に

ポール・ハリス・フェロー

新ロータリー年度初のポール・ハリス・フェローが、直前ガバナー井関久楠君(和歌山)に贈られました。1ケ年のガバナーの重責を果された上にポール・ハリス・フェローの称号を得られまして、有終の美を果たされたことに對し敬意と満腔の謝意を表します。

◆出席報告について

既に前号にてお知らせしました通り、本年度より出席報告は毎月8日、ガバナー事務所必着に改められました。従って月末に近い例会の出席補填は出来るだけ早目にさせていただくよう地区全会員諸君のご協力をお願いします。

◆ガバナー月信について

本年度は会長、幹事宛の正本2部の他に全会員に読んでいただくよう写を送ることにしました。余分の部数は会員増強のためのものです。送金は会員数だけで結構です。

◆ガバナー公式訪問および

I.C.G.F. 予定日程 (9,10月分)

- ◎9月1日 (水) 大阪北
2日 (木) 枚 岡
4日 (土) I.C.G.F.第3組
7日 (火) 枚 方
8日 (水) 茨 木
9日 (木) 吹 田
10日 (金) 大阪淀川
13日 (月) 堺 南
14日 (火) 高 石
16日 (木) 大阪東
17日 (金) 泉 大津
18日 (土) I.C.G.F.第4組
21日 (火) 和 歌 山
22日 (水) 和 泉
23日 (木) 和歌山東
25日 (土) 池 田
29日 (水) 新 宮
30日 (木) 田 辺
- ◎10月2日 (土) I.C.G.F.第5組
5日 (火) 大 東
7日 (木) 堺
8日 (金) 大 阪
9日 (土) I.C.G.F.第6組
12日 (火) 大阪南
14日 (木) 泉 佐 野
21日 (木) 豊 中 南
22日 (金) 大阪城南
23日 (土) 大阪心斎橋
28日 (木) 橋 本
29日 (金) 河内長野
30日 (土) I.C.G.F.第7組

◎I.C.G.F.

(インターシティー・ゼネラル・フォーラム)

I.C.G.F.の組分けとゼネラル・リーダー

は次の通りです。

第1組 8月7日(土)

ゼネラル・リーダー 井関 久楠氏
新宮(ホスト)、那智勝浦、白浜、田辺、御坊。

第2組 8月21日(土)

ゼネラル・リーダー 塚本 義隆氏
有田(ホスト)、海南、和歌山、和歌山東、和歌山南、粉河、橋本、和歌山東南。

第3組 9月4日(土)

ゼネラル・リーダー 原田 秀雄氏
岸和田(ホスト)、泉大津、貝塚、泉佐野、和泉、高石。

第4組 9月18日(土)

ゼネラル・リーダー 緒方 準一氏
大阪南(ホスト)、堺、堺南、堺東南、大阪住吉、大阪西南、大阪阪南。

第5組 10月2日(土)

ゼネラル・リーダー 絹川 清氏
大阪東(ホスト)、大東、東大阪、枚岡、枚方、門真、守口、寝屋川。

第6組 10月9日(土)

ゼネラル・リーダー 平沢 興氏
豊中(ホスト)、茨木、池田、箕面、豊中
南、吹田、高槻、大阪北、摂津。

第7組 10月30日(土)

ゼネラル・リーダー 森 寿五郎氏
大阪(ホスト)、八尾、大阪柏原、河内長
野、富田林、松原、大阪心斎橋。

第8組 11月13日(土)

ゼネラル・リーダー 秦 孝治郎氏
大阪西(ホスト)、大阪西北、大阪城南、
大阪天満橋、大阪淀川、大阪東淀。

<COPY>



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾形 繁之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第3号 昭和46年8月15日 ガバナー月信 No.3 August 15, 1971



尾形ガバナー公式訪問始る

7月14日(水)粉河R.C.の公式訪問を以って尾形ガバナーの公式訪問日程ははじまりました。尾形ガバナーより次のようなアドバイスがなされました。

「ロータリーの奉仕活動はロータリー・クラブがするのではなく、ロータリー・クラブの全員であるロータリアン一人一人がする奉仕が即ちロータリー・クラブの奉仕活動であります。同様にロータリーの発展は会長、幹事、委員長だけがするのではなく、会員一人一人が全力を尽すことによって発揮されます。

R.C.の会員になって、金銭だけを出せばそれでよいと言うのではなく、会員各自の貴重な人生経験と時間を、奉仕の精神にもとづいて、社会のためになげ出してこそ、真のロータリアンであります。」



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. ブライトホルツ会長

何処から 何をし始めれば良いか

— 事務総長より国際ロータリー役員への書翰 —

国際ロータリー事務総長

ジョージ・R・ミーンズ

親愛なるロータリアン各位

未だ曾って誰一人としてロータリーの綱領が、やさしい目標を書き並べたものであると言った人はありません。職業の水準の向上をはかること。一層住み易い社会をつくること。疾病や飢餓で死んでいく人がでないような世界を築くことにつとめること。

一体何処から、何をし始めれば良いのでしょうか？

これは単なる一つの悲愴的な叫びではありません。厳然たる実際問題なのであります。世界中の地域社会において、人々が懸命している現実問題の一つ一つが、皆にあります。相反する意見や、対立する利害関係の闇に包まれつつあるのであります。変革には抵抗があり、その動機、意図は疑がわれ、やがてそれは、お互いに反目し合う結果となり、毎日、新聞を読むことは憂うつ症を招くもとなるような見出しとなって反抗し合っているのであります。

ロータリーを通して、我々は、その反抗心を和らげ、真の向上による進歩を求めるものであり

ます。しかし、向上には変革が含まれ、その変革の車輪には善意という潤滑油を必要とします。

そのような世相に照らし、この新ロータリー年度のテーマを考案された、アンスト・G・ブライトホルツ国際ロータリー会長は、**「善意は先ずあなたから。」**という、誠に新鮮で我々の思考をとらえるテーマを発表されたのであります。そして、ブライトホルツ会長は次のように述べております。「プリズムを通過する光はスペクトルとなって分散する。同じように善意の光も奉仕の理想にもえるロータリアンのプリズムで分けられ、限りなく多彩な奉仕活動となって分散する、恰も虹のように」。

今年度のロータリーにおけるリーダーの一人として貴殿は、各ロータリアンが個人個人で、また、各自のロータリー・クラブを通じて、善意を行動の上に表わす方法を見出すように導くことができるのであります。そして、そうすることは、やがて、各ロータリアンが奉仕の精神にもとづく日常生活の中に、目標と方針を確立させることにもなるのであります。

◆ ロータリー財団のプログラムの

拡大、修正

ロータリー財団は、次のような財団のプログラムを拡大し、修正を加えました。

精神薄弱者、肢体不自由者や普通に教育を受けることのできない人々（児童を含む）の教育に携さわっている教師に、1ヶ年間の海外留学をさせる新しいプログラムを設定いたしました。これに対する候補者は他の財団奨学金への候補者の場合と同じ方法でもって、ロータリー・クラブ並びに地区に提出されることになっています。そして1971～72年度に提出された候補者の中から25名を限度として、1973～74年度に海外留学する教師が選ばれることになりました。

また、管理委員会は1973～74年度に留学するための専門的訓練、補助金を25口に増加いたしました。

これらの教師奨学金及び専門的訓練補助金は各地区より申請できる他の財団奨学金に加えて申請することができるものであります。

上記の結果として授与される奨学金とは別に各地区が1971～72年度中に候補者を推薦提出して申請できる財団奨学金の口数は、次の如く、その地区の1970～71年度における寄付額によって定められます。

地区内会員1人当たり平均3ドル以下……1口
地区内会員1人当たり平均3～6ドルまで…2口
地区内会員1人当たり平均6～9ドルまで…3口
地区内会員1人当たり平均9ドル以上……4口
管理委員会はロータリーの奨学金プログラムと重複する大学院課程、大学課程、専門的訓練、及び教師等の奨学金に特別補助金は与えないこと、また青少年交換活動に対しても、その活動が独創的でない限り、特別補助金は授与しないことを決議しました。しかし、その他の分野におけるロータリー・クラブまたは地区にて提唱され、経費が負担されている教育的または慈善的な事業に対する特別補助金の申請は歓迎するものであります。

管理委員会は、また、大学院課程奨学金に対する候補者は未婚者であること、という条項を除去してその資格条件を修正しました。

CONTENTS

Governor's official Visits start	1
Letter from General Secretary R. I.	2
Development of Rotary	
Foundation Programs	3
First Meeting of District Committees	4
Report on R. F. Fellow's Committee	8
Report on World Community Service	8
Today's Status of Rotary	9
Remarks on World Understanding and	
Youth Activities Week	9
On Significant Achievement Awards	9
Arch Klumph Award to P. D. G. H. Iseki	9
First Meeting of District	
Conference Program Committee	9
13th World Jamboree of Boy Scouts	10
Attendance Report for July	11

目 次

公式訪問始る	1
R. I. 事務総長書翰	2
ロータリー財団のプログラムの拡大	3
第1回合同地区委員会報告	4
地区財団学友会報告	8
地区世界社会奉仕委員会報告	8
ロータリーの現状	9
特別週間への注意	9
意義ある業績賞	9
井関君にアーチクラブ賞	9
地区大会第1回プログラム委員会	9
第13回世界ジャンボリー大会	10
職業分類調査	10
訂正とお詫び	10
7月出席報告	11

◆ 第1回合同地区委員会報告

7月10日(土)午前10時から、新大阪ホテルにおいて、尾形ガバナー司会のもとに本年度最初の合同地区委員会が開催されました。

先づ尾形ガバナーから開会と新任の挨拶があり、地区委員会の任務と活動について次の通り説明がありました。

A. 地区委員会の任務

1) 地区レベルの奉仕活動について

(イ)計画の立案

(ロ)計画の実施

(ハ)R.Iへの報告

2) 各クラブレベルの奉仕活動について

(イ)指導と奨励

(ロ)援助と協力

3) 個人レベルの奉仕活動について

(イ)指導と奨励

4) クラブからの要請のある場合

(イ)助言と斡旋

(ロ)卓話、講演など

B. 地区委員会の活動(順序)

1) 各委員会の担当任務の研究

2) 地区の実状はどうか

3) 具体的な企画と立案

4) 諸案の比較、検討

5) 決定計画の実現に努力

6) その結果の検討と反省

7) 活動記録の作成

8) ガバナーとR.Iへの報告

9) 次年度委員会への引継

次にロータリー連絡委員会その他の報告の主たるものは次の通りであります。

1970~71年度のRCの増加数は5月末迄の11ヶ月間で、世界全体468RC、アジア地区では134RC(前年度は132RC)であります。

日本国内だけでいえば1971年1~5月までに23RCの増加で現在数1066RCとなり、会員数

は11カ月に3521名増加しています。そのうち第366区では262名増で第5位であります。

ロータリー財団の1770~71年度(5月末まで)の寄付金は585,910ドルであります。

日本のロータリー創立50周年記念事業とし昨年秋に資料室が設けられました。本年度のその費用はロータリー連絡委員会の拠金の約40%に当る455万円であります。

記念の50周年史はおくれましたが9月中には配布がはじまる予定であります。

また昨年度のボーイスカウト世界ジャンボリーへ寄付金の贈呈と、その感謝、札幌オリンピックへの聖火台の寄付に対する謝辞がありました。全国のロータリアンによる東パキスタンへの援助金は2,836万円余が集まりましたので、政情の安定をまって本年度中に風水害に対する避難所を寄付する予定であります。

各部門別報告については井関ガバナー一月信12号に前年度は報告されていますが、それ以後の追加分が下の通り報告されました。

◎研究グループ交換(西川団長)

期間は3月12日より5月22日まで72日間で、訪問したクラブは32RC、即ち2日に1回訪問したことになり、地方では全部夜でレディース・ナイトで大変な歓迎を受けた。宿泊は全部民宿で26家庭に泊り、民間外交の効果があつた。銀行、会社、工場、鉱山、学校、施設等ぎつりつまったユケデユールで視察して参りました。西豪州の歓迎に感謝しています。

◎青少年交換歓待(世戸委員長)

従来青少年交換は短期で2名であつたが、塚本ガバナーの時に学生数と相手国を増加せよとの指示により米国、豪州、台湾等と連絡をとつた結果昨年度は280地区(豪州)、528地区(カリフォルニア)、587地区(テキサス)、649地区(イリノイ)と合計22名の交換をしました。原則として夏休み期間の短期を主とし、事情によ

り、1カ年の長期のものも含めております。堺RCは非常に熱心で現在オーストラリアと2名の長期の交換を行なっています。

地区としては1人につき3万円のお小遣を差し上げることで、学校のお世話、入国時の日本語の教育などで、後はクラブ対クラブでお世話を願っています。

次に本年度の各部門別委員会報告に移りました。

◎世界社会奉仕（塚本委員長）

世界社会奉仕はますます重要性を増して来た。従来地区単位で資金を集めて実行して来たが、それでは認識が少なくなるので、今年はクラブレベルで実行して戴き、地区がそのお手伝いをする程度にしたい。

この計画は5年前に取上げられて第1～2年度はインドのアグラの救済センターへの援助、第3年度は韓国に2件、マレーシアに1件、海外医療協会への援助、第4年度は海外医療協会（アフリカ医療奉仕）、韓国慈行会、沖縄の救済事業に援助した。

本年度は未だ具体的な計画発表の段階には至っていませんが第1に345区（台湾、ホンコン）より申出でがあり難民救済事業を援助したいと思っています。第2に330区（ブルネイ、カンボジア、ラオス、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナム）よりも同様な希望があります。第3に376区（韓国）は当地区の姉妹地区でありますので至急連絡をとってなにかしたいと思っています。第4に堺RC及び堺地区のRCが共同で台中東南RCと提携して台中付近で医療奉仕を行う計画が出来ておりますので、これを援助することにします。

一つのクラブだけでは資金的に困難な点もありますので、数クラブ合同で事業に当り、12月中には事業計画を発表して、来年1月の送金の時に一緒に資金を集めたいと思います。

◎立法案検討（資生委員）

8月1日が立法案の提出締切日で、それからこれを整理して10月中にRCより各クラブへ草案が送られて来る筈です。それからこれを検討して地区へ意見を提出して載いて、まとめることとなります。まだかなり先のことです。

◎拡大委員会（浅田委員長）

先程ガバナーの本年度の目標として4RCを拡大して60RCにしたいと発表されましたが、目標の達成は可能であると思います。しかし既に各RCの地域は相接していますので、どうしても地域の割譲が必要だと思います。この点よく検討してみたいと思います。

◎会員増強職業分類（阪之上委員長）

本年度の目標は10%におく、昨年度は8.26%であるが、新クラブの外部拡大によるものをのぞいても、内部拡大は5%以上となって、目標の達成には相当の努力を要する。

職業分類一覧表は8月末までに作成することになっているが、職業の偏在しているクラブもあるので、ガバナーと相談して職業分類の増加を考えたい。

◎広報（稲野委員長）

会員相互の広報には会報、週報がある。この広報は主として一般国民に対する広報である。これには新聞、ラヂオ、テレビなどいわゆるマスコミに頼らなければならない。地方紙では比較的よくとり上げてもらえるが、大都市ではなかなか困難である。先づクラブ単位のニュースは駄目で、地区単位のニュースをできるだけ取り上げてもらうよう努力したい。

◎財団奨学金（松野委員）

本年度は4名推薦出来ることになっている。原則として地区より1名、会員1人宛の寄付額が3～6弗の時は追加奨学生1名、6～9弗の時は2名、9弗以上の時は3名追加される。

昨年度（5月末）366地区では財団寄付金は46,813ドル、1人あたり14.25ドルに達したため3名追加されるわけである。

奨学生推薦の締切は3月末であるが、9月に各クラブへPRし、12月末までになるべく早く推薦していただきたい。そして1～3月中に時間をかけて選考したいと考えています。候補者は語学がよく出来ることが必須条件ですが、同時にもっと日本の事情にもよく通じておく必要があります。

●研究グループ（西川委員長）

西オーストラリアとの交換が終りまして、カナダの504, 707, 709地区と交渉中です。但し研究グループ交換のRIへの申込締切が4月1日で本年は間に合わなかったので来年度のことになります。

地区委員会としましては出来るだけ沢山候補者を推薦していただくようPRしたいと考えています。

●財団推進（阪田委員長）

まづ第一に現状を把握することからはじめたいと思いますので、各クラブにアンケートを出して、「どんな事を計画しているか、また実施しているか」と調査する一方、ロータリー財団とはどんなものであるか、なお一層のPRに努力します。ことにまだロータリー財団委員会のないクラブが多いので、出来るだけ委員会を作っていただくようにしたい。

●財団学友（奈良委員長）

ロータリー財団元奨学生の連絡機関であるが、移動がはげしいので正確なリストが作り難いが、比較的正確なものは地区財団学友委員会にある。国際ロータリーのものは最も不正確である。

今年の計画としては財団学友にもつと積極的に活動してもらつつもりで、単に地区大会で挨拶する程度のことではなく、インターシティ・ゼ

ネラル・フォーラム或は各クラブをもつと訪問して相互に接触を保ち、利用していただきたい。

●On To Houston（納谷委員長）

366区よりも出来るだけ多数参加して戴くよう努力したい、しかし従来国際大会の参加が従になって、単なる観光旅行に終る嫌いがあるので、そのスケジュールのたて方に注意したい。

●青少年交換歓待（古市委員長）

青少年交換の意義、手続についてもつと周知徹底したい。

従来交換相手国は米国、豪州であったが将来にカナダ、ヨーロッパ諸国、アジアにも広めたい。原則として夏期の短期交換を中心として、事情により1カ年の長期交換を行なっている。本年は豪州より1名、米国より6名を迎え、豪州へ長期2名、米国へ短期8名を送ることになっている。

直接個人的に地区の委員会へ申し込んでくることがよくあるが、今後は必ずクラブを通して、12月31日までに申し込んで戴きたい。出来るだけ多くのクラブが参加してほしいので、1クラブ1名を原則としたい。

●ローターアクト（世戸委員長）

現在は366区には6クラブであるが、10クラブ位まで拡大したい。

年令の制限が18～28才までに拡張されたので有利である。研究グループにローターアクトの会員を優先的に参加せしめるなどの方法を考慮の余地があると思う。

具体的には田辺、橋本方面に1クラブ、大阪、大阪北に1クラブ、大阪東、大阪西に1クラブ、堺、池田、高槻に各1クラブを作っていただくよう委員の責任制で努力したい。

●インターアクト

南海清風高校（高石）にインターアクトが1つ増加した結果3クラブとなったが、他地区に

比べて非常に少ないので1つでも、2つでも増加したい。

インターアクトが日本では大学受験勉強のために育たないといわれているが、それよりもむしろ教職員の思想が、障壁となっているのではないか。

最後に塚本バスト・ガバナーよりインターアクトの綱領の訳文は非常に判り難いから、文献事務所と相談して改訳してほしい旨追加があった。

●青少年活動（玉置委員長）

現在の青少年問題の実態を調査、研究し10月10～16日の青少年週間に具体的な計画を実行したい。

委員長の研修会を実施したい。

●ミロータリーの友、専門（原委員）

ロータリーの友専門委員は3期まで再任を妨げないことになっていますので、引続きもう1カ年やらさせていただきます。

ロータリーの友委員会はミロータリーの友、ミロータリー・ダイアリー、ミロータリー・ソング集、ミロータリー手帖の発行を致しておりますが勿論ミロータリーの友の発行が主たる任務であります。

この原価計算を致しますと、1冊の単価は141.57円で、広告収入32.73円を差引きますと108.84円となります。現在定価は110円でありますから黒字ではありますが、昨年の黒字巾3円に比べますと1.16円と小さくなっています。

専門委員は編集に責任をもって、善意は先づあなたからの精神を詰め、伝えることに努力しております。内容が大切でありますから責任をもって編集しておりますので、編集権の独立を主張しております。

●ミロータリーの友、地区（今井委員）

地区委員はガバナー、各クラブ、専門委員と連絡と密にして内容の向上に努めています。

またミロータリーの友、雑誌以外の文献の利用にもお役にをちたいと思っています。

今度地区レポート（6頁）という新しい企画の欄が出来まして第366区は来年6月号にのることになりますので資料を来年4月までにお送り下さるようお願いいたします。

●職業奉仕（露口委員長）

最も重要な部門であるが、職業奉仕の本質的な問題に対する研究は少ない。

結局ロータリーの奉仕の理想を把握して、現代の危機に挑戦することが職業人としてのロータリアンの責任である。即ち

1. 職業上の道徳的水準をたかめる。
2. 若い人々に奉仕の理想を教えることを援助する。
3. 従業員の声を聞き待遇を改善する。

358区では昨年度、また365区では本年度に職業奉仕週間を設けたことが報告されているので考慮する。

職業奉仕のかんどころの再刊について地区協議会で希望があったので努力したい。

●社会奉仕（森委員長）

社会奉仕について従来の方針は再考する時期にきている。

資料の中に「貴下の地域社会を知れ」、「若人を知れ」があるが、これを読みなおして、この中の一点に絞って社会奉仕をやって戴きたい。

例えば公害問題も、企業自身が積極的に公害を出さないように努力すべき時であり、交通問題も運転者のみならず、メーカーが安全車をつくることに努力し、無暗にオクタン価をあげるために有害な四塩化鉛を使用することをやめるようにすべきである。

●意義ある業績賞（森委員長）

1970年度には八尾クラブが授賞したが、1972年度には再び意義ある業績賞が地区で1クラブ

授賞されることになっているので、11月1日までに来るだけ具体的に報告書を書いてガバナ事務所に送ってほしい。R.Iの締切は1972年1月1日となっている。

◆地区ロータリー財団学友委員会の報告

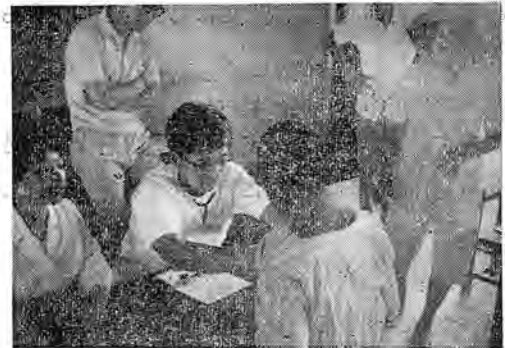
本年度の活動計画を下記の如く決定しました。

1. 7月中に新名簿を作成。(在籍10名)
2. 9月頃学友懇談会を開き、新学友の堀江君、今村君、寺田君、上家君を歓迎する機会をつくる。
3. 地区大会及びインターシテイ・フォーラムの機会にも学友をスピーカーとして出席かたを斡旋する。
4. ロータリー財団週間(11月15日を含む週間)のクラブ例会の催しの為、学友をスピーカーとして出席かたを斡旋する。
5. 世界理解週間(9月15日を含む週間)その

他、随時クラブ例会に学友を招くことをクラブに勧める。(委員長 奈良 伝)

◆地区世界社会奉仕委員会報告

(本年度地区世界社会奉仕計画の第4項として台中二林地区における医療活動。) 塚R.C.国際奉仕委員会は5月新旧理事会より準備を軌道に乗せ第345区台湾中部分区の地



域社会活動である台中彰化県二林地区の海辺地域、大城郷、芳酌郷、約500戸、約4000名の検診と衛生向上家庭計画服務奉仕に日本から海外

ロータリー財団学友名簿 (1971年7月現在)

	氏名	推薦クラブ	留學生	現住所	勤務先
元補助金受領者	今田 純子 (1956~57)	尼崎	米国 ミシガン大学	高槻市総持寺団地45~307 (569) TEL.0726~96~8182	大阪朝日放送事業局放送資料室 TEL.06~458~5321
	鞍智 匡章 (1964~65)	浜松	米国 シラキユース大学	大阪市北河内郡交野町星田801 (H208) (576)	松下電気産業生産技術研究所 TEL.06~901~1171 (内311)
	川島 良一 (1967~68)	京都北	米国 ウェスタン リザーブ大学	芦屋市岩園町10~16~307 (659) TEL.0797~31~3753	住友銀行本店事務管理部 TEL.06~227~2756
	堀江 正彦 (1970~71)	大阪	米国 チュレーン大学	大阪市城東区野江西元町3~82 (536) TEL.06~932~3139	大阪大学法学部在学中
研究グループ元団員	木本 武雄 (1968)	大阪北	米国 加州	川西市花屋敷2丁目6~11 (666) TEL.0727~58~2731	木本シャリング工場 TEL.06~552~0351
	里中 忠彦 (1968)	大阪	"	茨木市末広町8~8 (567) TEL.0726~24~6310	住友化学工業医薬事業部 TEL.06~202~0051
	佐山 和夫 (1968)	田辺	"	田辺市湊1159 (646) TEL.0729~22~0373	和歌山県立田辺高等学校 TEL.0739~22~1880
	今村 信雄 (1971)	大阪北	西 豪 州	茨木市中村町8の25 花椿寮 (567) TEL.0726~24~0290	資生堂大阪支店 電算課 TEL.06~928~1631
	寺田 耕造 (1971)	和歌山	"	和歌山市新通3の13 (640) TEL.0734~24~1852	寺田語学研究所 TEL.0734~24~1852
	上家 富靖 (1971)	堺	"	堺市土塔町2028 東光学園内 (590) TEL.0722~37~6161	東 光 学 園 TEL.0722~37~6161

医療協力会 14名、韓国から 3名の医師、医学生、看護婦等医療班を送り、現地の23名の医療従事者と協力、7月18日より27日迄、野外活動を致しました。

2班に分けた各隊は午前4時間、午後4時間、夜間は衛生指導の集りを持ち、毎日砂と直射熱の太陽のもと、実に良く歩きました。特に台中東南副会長、幹事秘書諸氏、埔里R.C.、会員等、始めての実践活動に大協力。中、日、韓合同の範を作ることが出来ました。各種データは中国側が整理する事になり、中間休憩の時、彰化R.C.の歓待や、帰路スポンサーの中心になった台中東南R.C.の大歓送会は充分に疲れを忘れさせました。アフター・ケヤーの事を考えてこれからの交流が実を結ぶことになるのを念願します。(住吉 記)

◆ ロータリーの現状

1970年7月2日以降、58ヶ国より563の新クラブが加盟しました結果、1971年7月7日現在の統計によれば149ヶ国、クラブ数14,892クラブ、会員数704,500人となっております。

◆ 特別週間

世界理解週間(9月15日を含む週間)、及び青少年活動週間(10月15日を含む週間)の記念行事の計画に今から着手するように、各委員会委員長さんの注意を喚起して下さい。

◆ 意義ある業績賞

クラブ単独の計画で、すべての奉仕部門において最も意義ある計画をお持ちの各クラブは11月1日までに参加計画資料を地区委員会へ提出して下さい。この地区委員は次の通りです。

委員長 森 寿五郎
委員 原田 秀雄
" 井 関 久 楠

選考基準は次によります。

- a) ロータリーの綱領の1または、それ以上を達成するのに役立つ企画であること。
- b) ロータリー・クラブ、地域社会、国または、世界の大事な要求を満すために役立つ企画であること。
- c) クラブ会員の多数が自身でその企画に参加するものであること。
- d) 企画が成功を収める見込みが充分か、また継続成功を保証できる程度に基礎が確かなものであること。

◆ 井関久楠君にアーチ・クラブ賞

7月7日付、ロータリー財団よりの書翰により、井関久楠が「ロータリー財団への顕著な奉仕に対するアーチ・クラブ賞」の受賞者に選ばれた旨通知がありました。本年度の受賞者は8名で、内6名は日本からであります。

先きにポール・ハリス・フェローの称号を得られ、重ねがさねのご荣誉おめでとうございます。

◆ 第366区地区大会

第1回プログラム委員会

この程7月24日(土)午後2~4時迄新大阪ホテルに於て地区大会の第1回プログラム委員会が開催され、地区大会——昭和47年3月3日(金)前夜懇談会、3月4日(土)大会第1日、3月5日(日)大会第2日——のプログラムの大綱を作成しました。

出席者

尾形ガバナー
松本大会委員長 (高槻)
四宮大会幹事 (")
長東大会S・A・A (")
西大会総務委員長 (")

浜本大会プログラム委員長（高槻）
中島（枚方）、奈良（堺）、高石（茨木）、
田中（吹田）各委員

◆ 第13回世界ジャンボリー大会

かねてご協力を賜っておりますボーイスカウト第13回世界ジャンボリーが8月2日～10日まで開催されました。

ついでに全国のロータリアン諸君よりご寄付いただいた寄付金は41,649,568円となりましたので、7月1日国際ロータリー世界ジャンボリー協力委員会、後藤忠男委員長よりボーイスカウト日本連盟、松方三郎総長へ、「天幕並に大会運営費」として寄贈されました。

猶記念の金メダル（15,000円）、銅メダル（500円）が発売され、その売上金は大会運営費に使用されますので、これまたご協力の程お願い申し上げます。

◆ 職業分類調査と職業分類充填、未充填一覧表作成について

クラブ細則第8条第4節（ロ）項の規定により職業分類委員会は、毎年出来るだけ早く、遅くとも8月31日以前にその地域の職業分類調査を行なわなければなりません。そしてその調査から、職業分類指針を用いて、充填及び未充填職業分類表を作成しなければなりません。

これに基づいて理事会は本年度の会員増強方針により、未充填職業分類の中より適当なものを開放し、どの職業分類が推薦に対し、開放されたかを会員に通告しなければなりません。

◆ 第366区ロータリークラブ一覧表の異動訂正

東 大 阪 R. C.

例会場：レストラン都 近鉄百貨店12階

事務所：近鉄百貨店南別館3階

（☎543 天王寺区上本町6丁目1）
TEL 06-779-1231

海 南 R. C.

事務所：海南商工会議所

（海南市日方）

大阪東淀 R. C.

事務所：事洋ホテル

（☎531 大淀区豊崎西通1～21）
TEL 06-372-8181

和歌山南 R. C.

会 長：田 中 勝

幹 事 月 山 和 男

◆ 訂正とお詫び

ガバナー月信第2号にて予告しましたガバナー公式訪問およびI. C. G. F. 予定の項の内、次の通り訂正します。

9月18日（土）池 田

9月25日（土）I. C. G. F 第4組

10月1日（金）撰 津

10月2日（土）I. C. G. F 第5組

ゼネラル・リーダー 平沢 興氏

10月9日（土）I. C. G. F 第6組

ゼネラル・リーダー 絹川 清氏

その他誤植が12ヶ所ありました旨ご指適いただきまして恐縮致しております。しかし夫れだけご熱心に読んでいただいたことを、お詫びと共に厚くお礼申し上げます。（編輯責任者）

7 月 出 席 報 告

(Attendance Report for July)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	65	-2	100.00	1	29	貝塚	4	55	+3	95.84	45
2	吹田	5	60	+1	100.00	29	30	大阪城南	5	47	-	95.74	31
3	茨木	4	57	+8	100.00	10	31	箕面	5	28	-	95.72	22
4	河内長野	5	56	-	100.00	2	32	泉佐野	5	58	-2	95.52	41
5	橋本	5	54	-1	100.00	3	33	田辺	5	70	+1	95.30	47
6	高槻	5	53	-	100.00	4	34	大阪心斎橋	5	29	-	95.17	21
7	大阪天満橋	5	58	-	99.66	7	35	和歌山南	5	61	+1	95.00	35
8	大阪淀川	5	67	-1	99.09	9	36	門真	5	24	-1	95.00	56
9	大阪阪南	4	54	-	99.08	6	37	和歌山東南	5	30	+6	94.89	55
10	泉大津	5	71	-	98.86	13	38	大阪東	5	89	-2	94.72	18
11	和歌山東	5	77	-1	98.68	11	39	枚方	4	51	-1	94.68	34
12	大阪西	4	93	-2	98.65	30	40	新宮	4	52	-	94.67	37
13	和泉	4	60	-2	98.28	8	41	池田	5	51	-	94.51	19
14	豊中南	5	33	+2	98.18	28	42	堺東南	5	31	-1	94.19	23
15	松原	4	52	-	98.08	12	43	粉河	4	30	-	94.17	26
16	有田	5	50	+1	97.98	5	44	堺	5	115	+2	93.58	49
17	和歌山	4	92	-2	97.68	40	45	堺南	4	71	+1	93.20	14
18	高石	4	41	-1	97.56	24	46	枚岡	5	41	-	93.06	43
19	大東	4	38	+2	97.44	33	47	大阪柏原	4	25	-1	93.00	52
20	岸和田	4	58	-	97.42	20	48	守口	4	53	-	92.45	50
21	寝屋川	5	28	+3	97.14	39	49	大阪北	4	166	-1	91.72	51
22	大阪住吉	5	71	-2	96.90	36	50	海南	4	55	-2	91.36	42
23	大阪南	4	149	-4	96.77	44	51	八尾	4	55	+1	91.27	48
24	大阪西北	4	53	+2	96.66	16	52	大阪	5	294	-5	90.41	53
25	東大阪	4	61	-1	96.61	25	53	那智勝浦	5	33	-1	90.00	54
26	富田林	5	58	+2	96.49	38	54	大阪東淀	4	32	+1	89.01	17
27	豊中	4	57	+2	96.45	27	55	摂津	5	31	-	87.10	46
28	白浜	5	42	+1	96.14	15	56	御坊	5	64	-	86.23	32
平均出席率					95.67%	合 計 255 3,449 +40 5,357.31							

<COPY>



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾形 繁之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第4号 昭和46年9月15日 ガバナー月信 No.4 September 15, 1971



I, C, G, F, 第1組 (新宮) 8月7日 (土)



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. ブライトホルツ会長

各ロータリアンは青少年の模範

— 事務総長より国際ロータリー役員への書翰 —

国際ロータリー事務総長

ジョージ・R・ミーンズ

米国ジョージア州アトランタ市の近郊で1人の保護司（ロータリアン）が1人の未成年犯罪者の更生補導を担当しています。彼のこの仕事が普通の保護司と異なる点は、彼はその少年ただ1人のための保護司であることです。このロータリアンは無断欠席から夜盗に至る様々な罪をおかした未成年者と1対1を原則として彼らの保護司をつとめている当地のロータリー・クラブ会員、30有余名の1人なのです。これらのロータリアンは自発的に保護司として奉仕することによって、曲った道を歩みかけた未成年者の更生をはかる当地の司法機関を補佐しているのです。このクラブ活動については「国際ロータリー・ニュース」の9月号で全ロータリー・クラブへお聞かせすることになっております。

このような青少年への奉仕活動の例は他にも多々あることに違いありません。青少年活動週間（10月10日～16日）が近づくにつつある今こそそれらを皆んなに語り、分かち合うべき時期であります。この特別週間は青少年活動に全クラ

ブを参加させるべき時であり、そして他の地域社会にても模範として活用できる立派な奉仕活動の実例ほど刺戟になるものはありません。

ロータリアンは、青少年と共に活動することにおいては「口先」よりも「行動」を重んじていることを誇にすることができます。非行青少年の更生補導…就職準備訓練…身体障児への援助…指導力養成のためのキャンプ活動…スカウト活動の後援…海外留学の機会の提供等々、これらはロータリアン各位が「各ロータリアンは青少年の模範」というスローガンを身でもって示し、それに生命を与えている活動の数例なのであります。

これらの活動に加え66ヶ国に2,961のクラブを有するインターアクト、50ヶ国に995のクラブを有するローターアクトの伸展振りも見逃がすことはできません。双方共青少年に奉仕の道を開き示すことによって青少年への奉仕をする活動であり、投資になぞらえば最も率の良い長期投資となるものであります。

◆ロータリー財団奨学金を3口追加

ロータリー財団管理委員会ルーサー・H・ホッヂス委員長より8月20日付次の書面が参りました。地区ロータリアン各位のご努力、ご厚志により1973～1974年度には財団奨学金追加3口合わせて4口受領することが出来るようになりました。この機会に厚くお礼を申し上げますと共に今後猶一層のご協力をお願いします。

尾形ガバナー殿

拝啓

ロータリー財団管理委員会は、先般の年次集会以、1970～71年度中に、財団に対し、ロータリアン1人当たり、平均米貨9ドル以上のご寄付をされた地区へは、1973～74年度の財団奨学金を3口、追加授与することを決議いたしました。

それによって、ここに、貴地区内各クラブが、ロータリアン1人当たり、平均9ドル以上のご寄付をされた結果として、貴地区が、1973～74学年度の財団奨学金を合せて4口受領する資格を得られたということをお伝えできますことを此上ない喜びとするものであります。もちろん、貴地区がこれらの賞学金を確かに受領されるか否かは、貴地区が管理委

員会によって有資格者と認められ得る候補者を提出されるか否かによるのであります。

就きましては、早速、この朗報を貴地区の財団委員会をはじめ各クラブへお伝え下され、立派に資格を有する候補者を選考し、推薦できるようにお取り計らい願えれば幸甚に存じます。

ロータリー財団管理委員一同に代り、貴地区内ロータリアン各位の財団に対する絶大なるご支援に対し、深甚の感謝の意を表す次第であります。 敬 具

◆1971～72年度公式名簿

1971～72年度公式名簿が、各地区ガバナー、各クラブの幹事宛に1部ずつ送付されました。

この公式名簿には各ロータリー・クラブの名称、地区番号、結成された年、例会の時間と場所、会長及び幹事の氏名と住所並びに会員数が記載されています。

この他全世界各国にわたる891のホテルの名簿、又ロータリー並びにインターアクト、ロータリーアクトの徽章入りの製品の製造、販売の許可を得ている特約業者の一覧表も加えられています。

CONTENTS

Letter from General Secretary R. I.	2
3 More Rotary Foundation	
Scholarship for 1973-74.....	3
Report on R. F. Fellows Committee	4
Letter from R. F. Fellows	4
Report on Youth Exchange Committee	5
World Understanding Week	6
Relief Funds for Refugee in East India	6
Contributions by Clubs to	
Rotary Foundation.....	7
Attendance Report for August	8

目 次

R. I. 事務総長書翰	2
ロータリー財団奨学金を3口追加	3
地区財団学友委員会報告	4
財団奨学生の便り	4
地区青少年交換歓待委員会報告	5
世界理解週間	6
東インド避難民救済	6
各クラブ別ロータリー財団寄付額	7
8月出席報告	8

◆財団学友委員会報告

—学友活動の展開について—

- ① ロータリー財団から奨学金や補助金を得て、海外に派遣された若い人達が帰国すると、地区はその人達を財団学友として迎えアフターケヤーをしている。
- ② 現在366区内には奨学生であった人が4名、研究グループのメンバーが6名、計10名がいる。若い人は移動が多く、現況をつかんで財団の方と連絡する世話は忘れられがちであったので、学友委員会を設け、フォローアップしているのである。

時々学友懇談会をも開らきいつしか疎遠になりがちな事後の関係を取り結んでもいる。

- ③ 次に地区内クラブは財団寄附最低200%、最高1500%平均625%という見事な好成績を挙げているが、今後留学生や研究グループ派遣の機会も多くなるので、この募集活動にも十分用意を用うる必要がある。そこで体験者である学友を動員し、彼らより直接聞く機会をつくることもその一助となると思われるので、現在までに次のような申込をうけて手配を了したところである。

8月21日 I・C・G・F (2)有田 寺田耕造君

9月4日 " (3)岸和田 上家富靖君

9日 例会卓話 大阪東 西川武四郎君
(研究グループ団長、大阪)

13日 " 大阪東淀 "

16日 " 泉佐野 上家富靖君

25日 I・C・G・F (4)大阪南 堀江元彦君

10月2日 " (5)大阪東 "

9日 " (6)豊中 "

13日 例会卓話 東大阪 今村信雄君

16日 " 松原 "

" " 大阪阪南 堀江正彦君

19日 " 大阪城南 "

◆財団奨学生のたより

1970～71年度奨学生(大学院)として米国チユーレン大学に留学中でありました堀江正彦君(大阪)より、次のような帰国の挨拶状が参りました。

前略

昨年8月より米国ルイジアナ州ニューオリンズにありますがチユーレン大学にて経済学修士課程を勉強して、先週18日にちょうど1年目に帰国してまいりました。

向うでのロータリークラブは第684区で会員数1965名、クラブ数35をようしております。

1年間(10ヶ月)の滞在中ロータリーの会合、行事には80回にわたり出席し、約半分にあたります18のクラブにおいて例会でのスピーチを行ってまいりました。

非常に楽しく充実した生活で、ホストファミリーでありましたバーチご夫妻にも本当に親切にいただき、何ひとつ不安のない留学生活でございました。

また1ケ年間で修士の学位を終えることが出来ましたことも、この上なく嬉しく、ロータリー・フェローにとっての二重の役割——親善と学業の両立——を私なりに最善を尽したと自負いたしております。

昨日も大阪南ロータリー・クラブの例会に出席し、今後既に8ヶ所のクラブ例会並びにフォーラム等からのご招待を受け、向うでの成果を出来るだけ沢山の人々、そしてロータリアンの方々と分ち合いたいと希望しております。

いずれの日にか尾形ガバナーにお逢い出来ますことを楽しみにしております。今日は帰国のご挨拶にて失礼致します。 草々不一

また1971～72年度奨学生(大学)としてイタリアに留学中の新喜久子さん(堺南)より8月8日付便りが参りました。

◆地区青少年交換歓待委員会報告

当 366 地区におきましては昨年井関ガバナー世戸委員長の積極のご活躍により多数の青少年交換がなされましたが、本年は尾形ガバナーのご方針により一層充実したプログラムをいたしたく、各クラブの積極的なご参加をお願いする次第です。

本年度の方針

1. 青少年交換の意義、選考手続等につき各クラブ担当者のご参集を願って理解を深める。
国際ロータリー発行パンフレット 744-J「国際青少年計画への指針」並にパンフレット 746-J「青少年交換」をご参照下さい。
2. 本年度は海外より10名、海外へ10名とし、内各々8名は短期(約4週間)2名を長期(1年間)とする。
3. 従来アメリカ、オーストラリアが多かったが更にカナダ、ヨーロッパ、アジア地区とも交流する様努力する。
4. 地区の補助(短期100ドル、長期200ドル)は1クラブ1名を原則とし、できるだけ多数のクラブの参加を推奨する。
5. クラブ対クラブにて既に実施計画のあるものは委員会において検討の上本計画に採用することもできる。
6. 準備の都合上参加申込を12月31日をもって締切る。

(委員長 古市 実)

国際青少年交換の状況

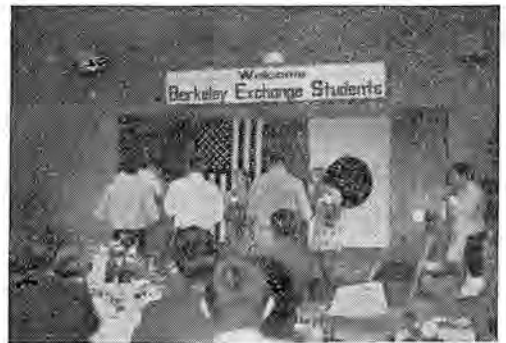
第366区枚方R.C.は第595地区ファイボルトR.C.との間に国際青少年交換を締結し、バージニア・ルイス・マレカ(17才)さんが来日しました。向う1ヶ年間枚方R.C.がお世話して、城星学園高等学校に通学の予定です。

第 366 区堺 R. C.

は第 516 区パークレイ R. C. と姉妹クラブの締結をし1968年より毎年交互に夏休中の短期の青少年交換を続けて来たが、本年度は第 4 回目の



青少年交換としてハージャー団長以下17名の青少年を迎え7月26日より8月13日迄19日間滞在堺をはじめ京都、奈良を見学し、この間堺地区各R.C.堺市立工業高工インターラクト・クラブ、清風南海園インターアクトとの交歓、或は日本の産業、文化の見学等充実した日程を終えて帰国しました。



この他本年夏休地区がお世話した交換学生は次の通りであります。

587地区(テキサス州)へ

須賀川 誠(大阪南R.C,推薦)
広瀬 太一(大阪西南R.C,")
田中あつ子(橋本R.C,")

649地区(イリノイ州)へ

菱川 良夫(大阪南R.C,推薦)
川崎 望(高槻R.C,")
太田 哲郎("")
広瀬 勘二(大阪南R.C,")
黒川 真一(高槻R.C,")

◆各クラブ別ロータリー財団寄付額

一財団寄付1人当たり17ドル

1970～71年度のロータリー財団寄付は当366区56クラブ年間合計52,300ドルで、最初からの累計額は200,925ドルに達しました。会員数3,075人(1969年12月末現在)で割れば1人当たり年間17ドル、また累計額は1人当たり65.34ドルとなります。即ち、地区平均653%であります。

これを前年度(1969～70)の年間寄付額36,231ドルに比較すると16,069ドルの増加(増加率44%)であります。1人当たり寄付額は前年度12.08ドルで、4.92ドルの増加(増加率40%)となります。

クラブ別の寄付額ならびにパーセンテージは別表をご覧ください。(7頁参照)また、パーセンテージ別のクラブ数は下記のとおりで、各クラブともパーセンテージが前年に比して著るしい向上を示しました。

パーセン テ ー ジ	クラブ数 (1970年6月末)	クラブ数 (1971年6月末)
200	9	1
300	15	11
400	9	12
500	9	11
600	2	4
700	1	4
800	2	4
900	1	2
1000	2	1
1200	0	1
1300	0	1
1500	0	1
合計	50(註1)	53(註2)

註1…2新クラブ大阪柏原、堺東南を含まず

註2…3新クラブ大阪心斎橋、摂津、和歌山
東南を含まず

(塚本パスト・ガバナー)

◆世界理解週間を通じて善意の行動を

今年度のロータリーにおける世界理解週間は9月12～18日に遵奉されます。各クラブは本週間に適した特別のプログラムを計画し、クラブ会員が全員、できれば地域社会全体の直接参加が出来るよう努力して下さい。

ロータリー・クラブが世界理解の増進をはかるために実行できる最も建設的な活動の一つは世界社会奉仕であります。

海外からの援助を求めようとしているクラブは、その計画を中央事務局内の資料調整室へ計画資料届出書式により提出して下さい。

また援助を提供することに関心を有するクラブは、情報要請書式により中央事務局へ申出下さい。

◆東インド避難民の救済資金急募

国際ロータリーニュースの8月号には、東インド地域へ逃れた700万にのぼる避難民の救済を目的とする世界社会奉仕の記事が掲載されています。

インドの西ベンガル及びカルカッタ地域を含む第325地区のロータリアンが、この避難民の救済に乗り出したのです。同地区のモーカジー・ガバナーは地区救済資金を設置しました。

当地区は本年度の世界社会奉仕計画のわく外として各R.C.からの自発的な寄付を受けることに決定しました。

就いては銀行振込みにて9月30日迄にご送金下さい。とりまとめてR.I.中央事務局を通じてインド救済本部へ送金いたします。

◆訂 正

7月出席報告の内、会員数の期初との増減・合計(+40)は(+4)の誤につき訂正します。

各クラブ別ロータリー財団寄付額

(寄付額の表示単位 米ドル)

	クラブ名	1970-71年度の寄付額	寄付額累計	71年6.30現在%	70年6.30現在%
A	有田	333.75	2,743.90	500	500
D	大東	676.81	2,944.93	900	800
G	御坊	410.98	2,290.50	400	300
H	橋本	54.00	1,753.76	300	300
	東大	1,366.54	3,699.72	700	400
	枚方	101.00	1,644.48	300	300
	枚岡	770.83	2,200.88	500	300
I	茨木	871.06	4,203.84	800	600
	池田	212.73	2,833.50	600	500
	和泉	992.30	4,106.76	700	500
	泉大	569.49	3,004.52	400	300
	泉佐	223.78	3,104.38	500	500
K	門真	239.98	720.02	300	200
	海南	326.01	2,347.03	400	400
	貝塚	585.82	1,928.87	400	200
	河内	836.02	3,414.78	500	500
	岸和	410.02	2,761.80	400	400
	粉河	67.00	931.15	300	300
M	松原	513.03	2,111.84	400	300
	箕面	378.02	819.05	300	200
	守口	162.00	2,621.34	500	500
N	那智	387.25	3,489.49	1000	900
	寝屋川	135.56	727.49	300	200
O	大	2,202.16	24,160.99	800	700
	大	2,909.83	10,085.96	1200	1000
	大	726.95	726.95	300	—
	大	462.02	1,309.07	300	200
	大	683.70	1,431.75	400	200
	大	510.04	510.04	200	—
	大	3,010.61	11,144.88	700	500
	大	1,361.66	8,103.47	500	400
	大	857.15	4,320.04	500	400
	大	689.06	1,400.10	400	200
	大	1,842.14	2,682.20	600	200
	大	290.02	290.02	100	—
	大	1,178.52	3,991.15	600	400
	大	2,280.18	3,802.21	700	200
	大	967.61	2,894.74	400	300
S	堺	2,816.80	14,098.84	1300	1000
	堺	1,441.06	6,228.22	900	800
	堺	1,736.85	1,736.85	500	—
	堺	710.05	710.05	300	—
	新	472.23	2,239.92	300	300
	白	449.91	1,820.46	400	300
	吹	550.13	2,685.62	400	300
T	高	163.01	1,273.09	300	300
	高	547.81	2,790.82	500	400
	田	597.02	3,602.08	500	400
	富	207.35	1,833.34	300	300
	豊	336.23	3,181.93	600	500
	豊	453.02	1,193.08	400	300
W	和	2,255.74	7,140.52	800	500
	和	1,903.09	6,525.07	800	600
	和	5,178.88	7,675.16	1500	400
	和	500.04	500.04	200	—
Y	八	866.03	2,433.09	500	300
	合 計	52,300.88	200,925.82		

8 月 出 席 報 告

(Attendance Report for Augnst)

順 位	ク ラ ブ 名	例 会 数	会 員 数	期 初 と の 増 減	出 席 率	前 月 数	順 位	ク ラ ブ 名	例 会 数	会 員 数	期 初 と の 増 減	出 席 率	前 月 順					
1	吹 田	4	60	+1	100.00	2	29	松 原	5	53	+1	95.85	15					
2	茨 木	4	57	+8	100.00	3	30	大 阪 東	4	95	+4	95.84	38					
3	河 内 長 野	4	56	-	100.00	4	31	泉 佐 野	4	57	-3	95.66	32					
4	大 阪 阪 南	5	54	-	99.63	9	32	池 田	4	51	-	95.59	41					
5	大 阪 西 南	4	68	+1	99.62	1	33	堺 南	5	71	+1	95.43	45					
6	橋 本	4	55	-	99.55	5	34	和 歌 山 南	4	61	+1	95.00	35					
7	高 石	5	42	-	99.04	18	35	海 南	4	55	-2	95.00	51					
8	岸 和 田	4	58	-	98.71	20	36	門 真	4	25	-	94.83	36					
9	大 阪 天 満 橋	4	57	-1	98.70	7	37	堺	4	114	+1	94.60	44					
10	泉 大 津	4	74	+3	98.63	10	38	大 阪 心 齋 橋	4	29	-	93.97	34					
11	高 槻	4	53	-	98.56	6	39	大 阪 北	4	170	+3	93.88	44 ⁴⁷					
12	有 田	4	50	+1	98.00	16	40	田 辺	4	70	+1	93.85	33					
13	大 阪 西 北	5	53	+2	97.73	24	41	大 阪 住 吉	4	71	-2	93.66	22					
14	豊 中 南	4	33	+2	97.73	14	42	新 宮	4	52	-	93.14	40					
15	大 阪 西	5	93	-2	97.63	12	43	大 阪 城 南	4	47	-	93.09	30					
16	和 泉	4	60	-2	97.42	13	44	堺 東 南	4	35	+3	92.98	42					
17	貝 塚	5	55	+3	97.36	29	45	粉 河	4	30	-	92.50	43					
18	大 阪 淀 川	4	67	-1	97.35	8	46	守 口	4	53	-	91.98	48					
19	和 歌 山 東	4	77	-1	97.33	11	47	箕 面	4	28	-	91.97	31					
20	寝 屋 川	4	28	+3	97.32	21	48	白 浜	4	42	+1	91.67	28					
21	富 田 林	4	58	+2	96.93	26	49	摂 津	4	30	-1	91.67	55					
22	大 東	5	38	+2	96.84	19	50	八 尾	4	55	+1	91.35	50					
23	枚 方	5	50	-2	96.80	39	51	大 阪 柏 原	5	25	-1	90.40	47					
24	豊 中	5	57	+2	96.79	27	52	大 阪	4	294	-5	90.11	52					
25	和 歌 山	5	93	-1	96.58	17	53	大 阪 東 淀	5	31	-	87.97	54					
26	大 阪 南	5	148	-5	96.41	23	54	那 智 勝 浦	4	34	-	86.25	53					
27	枚 岡	4	40	+1	96.25	46	55	御 坊	4	63	-1	83.09	56					
28	東 大 阪	4	61	-1	96.19	25	56	和 歌 山 東 南	4	31	+7	82.96	37					
平均出席率							95.13%	合 計							238	3,467	+24	5,327.39



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Intertatory Sakai

ガバナー 尾形 繁之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第5号 昭和46年10月15日 ガバナー月信 No.5 October 15, 1971

ロータリー米山記念奨学会

ロータリー米山記念奨学事業は、昭和28年東京R.C.が、その創立者米山梅吉氏の記念事業として米山基金が設定され、国際ロータリーが創始者ポール・ハリスを記念して、国際理解のための奨学事業を設定したのに倣い、概ねその方式に則って設定された奨学金でありました。

その後昭和31年に第60及び61区（現在の360及び361区）の地区大会で東京R.C.の米山基金を継承し、日本のロータリーの奨学事業として支持することが決議され、次第に日本全国に及び、昭和33年3月第1回の米山奨学生が、8ヶ国から8名選考されました。

その後ロータリー米山奨学金は、ロータリー米山記念奨学会と改称され、更に昭和42年7月1日付を以て財団法人の設立を許可され、今日

の発展を見るに至りました。

ここで本制度の特長について説明致しますと、米山奨学生は日本の大学に在学する外国人学生（主として東南アジア）の中から採用されます。

その選考は別項募集要綱に見られる通り、指導教官の推薦の他に面接による選考試験を実施しますので、多くの応募者の中から優秀な学生を選考することが出来ます。

その上にもう一つの特色は、世話クラブ制度であり、米山カウンセラーの設置であります。米山カウンセラーの委嘱によって、米山奨学生とロータリーの結びつきは一段と固く温いものになり、国際奨学事業がもつ国際理解と親善という目的も達成されるものと信じます。



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

ア Ernst G. ブライトホルツ会長

倍加するために分割しよう

—事務総長より国際ロータリー役員への書翰—

国際ロータリー事務総長

ジョージ・R・ミーンズ

三人の人があるビルディングの六階でエレベーターを待っていました。やがてエレベーターは下りてきましたが六階には止まらずに通り過ぎていきました。三人の人達は皆それぞれに他の誰かがボタンを押しただろうと思ってたのです。けれど事実は誰もボタンを押さなかったのです。

この小咄は或るロータリークラブの会報に使われていたものですが、ロータリーの将来に大きな影響を及ぼす新ロータリークラブの結成活動における地区のリーダーの役目にも適応できます。ロータリー・クラブを立派に育成し得る地域社会でありながら、誰もまだ”ボタンを押さない”ために今日に到っても未だにロータリー・クラブが結成されておらない地域社会がどれほど多くあることでしょうか？

この間に対する答は、今月のように郊外居住の動きが激しい時代においては、特に真剣に考えなければなりません。郊外地帯は、今やロー

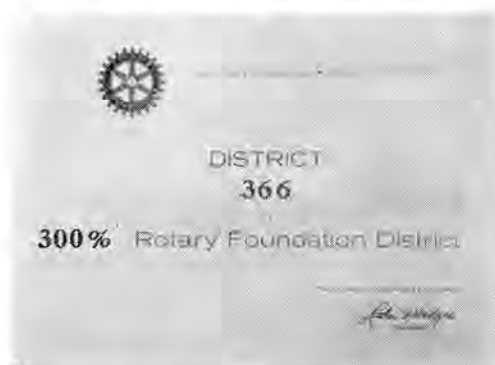
タリー拡大の新開地となっているのであります。昨年度、加盟した新クラブの56%は既存ロータリー・クラブによって譲渡された区域に結成されたクラブです。今日の大都市は一層頻繁に調査する必要があります。また小さな農村が多彩な産業によりどんどん都市化し、ショッピングセンターや空港を中心に新しい町ができてくる時代であります。このような時代でありますから、一度拡大調査を行なっても、その結果は間もなく時代おくれのものとなつてしまいます。2年前にロータリーの拡大には小さ過ぎると判定された地域でも、今年は、特に居住地により会員資格の適用を考慮する時、既に立派に拡大に有望な町に発展しているところがあります。

”倍加するために分割しよう…これは新しい算術です”と或る地区ガバナーがガバナー月信に書いておられました。けれど、クラブにその区域を譲渡するように説得することは…1971年

国際協議会での小劇でも例証されましたが…なかなか容易でない場合があることも事実です。上述の小劇のあとでの討論で一人のロータリアンが区域限界を“分割”或いは“譲渡”するという表現を廃して“区域を共にする”という表現を用いておられましたが、この説得法は貴殿の今年の拡大活動に役立つのではないのでしょうか。

ロータリーは昨1970～71年度 561の新クラブを迎え、新クラブ数において新記録を樹立しました。この新記録が生れたのは、そのように計画されたからなのであります。各地区における拡大計画が成功し世界を通しての拡大計画に新記録を实らせたのです。今日までの貴地区拡大委員会の活動を検討されるならば、今月中には貴殿の本年度の計画を確立させることができる筈ですが、貴殿の年度中に新ロータリー・クラブは、いくつ結成できるでしょうか？ 貴殿がその最終的數字を出される前に今一度小さな新興都市でも誰かがボタンを押すのを待っている拡大に有望な地域があるのではないか見渡してみてください。

◆第366地区300% R. F. 地区となる



9月1日付ミーンズR. I. 事務総長よりの書翰により、当366地区が300%ロータリー財団地区の栄誉を獲得した旨の通知あり、同時に賞牌が送られて来ました。この機会に地区全クラブに対し厚くお礼を申し上げると共に、引き続き今後のご協力をお願い申し上げます。

尾形ガバナー殿

第366地区はロータリー財団の支持に於て一つの新しい里程標を達成しました。この賞牌はあなたの地区がロータリー財団への寄付に於て300%に達したことを表すものであります。

ロータリー財団が国際理解の推進において事業を継続し、発展し得るのはこの素晴らしいご

CONTENTS

Yoneyama Memorial Scholarship	1
Letter from General Secretary R. I.	2
300% District achieved	3
Report on I. C. G. F. (1-4 group)	4
Report on R. F. S. Committee	8
Rotary Foundation Scholarship awarded for 1972-73	9
Report on R. F. Development Committee	10
Report on Rotaract Committee	11
Significant Achievement Awards	11
Participate World Convention in Houston	12
Notice	12
Attendance Report for September	14

目次

ロータリー米山記念奨学金	1
R. I. 事務総長書翰	2
366地区300%地区達成	3
I. C. G. F. 報告 (第1～4組)	4
ロータリー財団奨学金委員会報告	8
1972～73学年度ロータリー奨学生	9
財団推進委員会報告	10
ローターアクト委員会報告	11
意義ある業績賞締切迫る	11
ヒューストン国際大会	12
お知らせとご注意	12
9月出席報告	14

後援によるものであります。ロータリー財団管理委員を代表して、地区ロータリアン各位に対し深甚なる謝意を表します。

ジョージ・R・ミーンズ

◆ I. C. G. F. 開催報告

—第1組 ホスト新宮R.C.—

昭和46年8月7日新築成った新宮商工会議所に於て、新宮R.C.のホストで第366区第1組のI. C. G. F.が開催された。ガバナー尾形繁之氏、ゼネラル・リーダー井関久楠氏。参加クラブは御坊、田辺、白浜、那智勝浦、新宮の5クラブで、出席者約180名であった。午前中は驟雨があったが、午後からは快晴となった。

フォーラムは御坊R.C.の早田敏男リーダーの下にクラブサービス部門から始まり、リーダーはこの部門のうち会員関係全般にしぼって討議を進めた。この地区のクラブ数はあとから発足したライオンズ・クラブより少なく昨年は串本につくる計画がたてられ、本年は田辺や御坊にそれぞれ一つづつクラブをふやす方針がすすめられ、クラブ相互の鎖の輪を強めるためにクラブ拡大に一層努力するよう井関リーダーの御要望があった。会員増強についても現状維持は既に退歩であるが、増強に伴い増加した会員相互間の親睦を如何に深めるかにクラブの悩みが発言されたことは、この地区の既成クラブの発展が一応の飽和度に達したことを感じさせた。

社会奉仕部門では田辺R.C.の植田増穂リーダーが議題に決議23-34をえらび、これを中心にその読後感、その趣旨にそった社会奉仕とは何かについて各クラブの具体的な活動を問い、井関リーダーは、R.C.は単なる寄附奉仕団体ではなくて、社会奉仕に対するアイデアを与えることがロータリアンの責務である点を強調され難解な決議本文に対する不満の声もあったが、

社会奉仕の本質に触れた実のある討議が見られたことは新しい収穫であった。

国際奉仕部門では那智勝浦R.C.の和中秀蔵リーダーが「海外クラブとの提携」につき姉妹都市との交流の実例苦心談をのべ、ガバナーから堺クラブの実例を承り、先方のクラブに個人的なつながりをもっていることが提携の最も有利な方法であることを示唆された。ついでリーダーはロータリー財団、青少年交換、研究グループ交換、世界社会奉仕などに言及し、井関リーダーがポール・ハリス・フェローの称号を贈られ、アーチクラブ賞を受賞されたことを御披露して満場に感銘を与えた。

最後に白浜の広沢禎三リーダーによる職業奉仕部門ではロータリアンとしての自覚が各自の職業の上に如何に現われるかについて問い「職業奉仕週間」の意義について各クラブの感想をきき、本年度の計画をたしかめ、井関リーダーより特にインターアクト・クラブ結成の御要望あり「ロータリアン読本」「職業奉仕の칸どころ」を推薦され、尾形ガバナーからは新クラブの結成、ロータリー財団への貢献を特に要請されて、フォーラムは定時に成功裡に終了した。

盛夏ながら新築会場は冷房がきいて快適で参加クラブが5クラブに限られたことにより質疑応答にも力が入り、会員の発言も活発でユーモアがあり、最初に期待した有効で稔りのあるフォーラムがもてた。

井関ゼネラル・リーダーの御懇切なる御指導と各部門別リーダーの皆さんの御苦勞に対し特に深甚なる敬意を表したい。

—第2組 ホスト有田R.C.—

残暑きびしい8月21日(土)午前11時30分より登録開始(中食準備)午後0時30分から午後5時30分まで、昨年オープンしたばかりの新しい

諸設備のよいので誇っている有田市民会館ホールに於いて、第2組(紀北地区)のインターシティ・ゼネラル・フォーラム(ホスト有田R.C. 会長川口正三、フォーラム委員長総田長兵衛)が、尾形ガバナー、塚本ゼネラルリーダー、井関直前ガバナー、大谷ガバナー・ノミニー、交換研究グループOBの寺田耕造君を迎え、会員は橋本(21)、粉河(24)、和歌山(40)、和歌山東(25)、和歌山南(25)、海南(28)、有田(50)合計243名の多数の参加を得て、冷房のよくきいた快適のホールで「君ヶ代」「奉仕の理想」に始まり開会式に移り最終に366区の昨年度1970~71の出席優秀クラブ表彰として、この2組では橋本(1)、和歌山東(6)の2クラブ会長に、それぞれ尾形ガバナーから優秀ガバナーを手渡された。4部門の討議が行われたが、リーダーの勉強ぶり、その活発な討議には少々時間の制約すら惜まれがちであった。

本年は塚本ゼネラルリーダーの方針でアンケートは取らず、予めフォーラムの打合せは行われてはいたが、ぶっつけ本番で討議された。

12:55~14:00 クラブ奉仕部門…リーダー(和歌山R.C.) 雑賀豊太郎、山本英資(副) その討議内容は先づ第1に会員増強問題である。会員増強・職業分類・会員選考の3者担当者は連絡の必要性。質と量どちらをとるべきかとの問題。人口に対する比例問題。近畿地区の増加比率の問題。本年目標の増加達成方法。又、新クラブ創立についても討議された。この間会員増強問題で、井関直前ガバナーよりも発言、あくまでも前進せねばならないとの強い御意見があり励まされた。

14:00~15:00 社会奉仕部門(青少年を含む)…リーダー(海南R.C.) 尾崎卓也、岡本正三(副)、討議内容は、先づ公害問題から始まり、交通対策、重身体障害、重身心障害者

(児)に対する各クラブ本年の計画発表を求め又断絶をなくする対策、次にインターアクト、ローターアクトの新結成等についても討議された。

15:00~15:20 休憩、冷たい飲物、冷菓配付、交換研究グループOB寺田耕造君より、交換研究グループの説明及び先般の西オーストラリア行きの報告がなされた。各地のロータリーから誰でも推薦されるし、そのメンバーの1人にパスした場合に参加を赦されるというPRがなされた。これは第366区の本年第1回地区委員会で財団学友委員会(委員長奈良良伝)の提案された方針にもとづき今年度のフォーラムで、初めての試みである。

15:20~16:05 国際奉仕部門…リーダー(和歌山東R.C.) 松本旬弘、菅井康郎(副) 世界社会奉仕、特に最近の案件として韓国の対376地区の問題、ロータリー財団、米山奨学会、青少年交換等についての討議。

16:05~16:55 職業奉仕部門…リーダー(橋本R.C.) 近藤本昇、青木隆明(副) 職業奉仕の真の意味、公害問題、4つのテスト、の討議があり結びとして、塚本ゼネラルリーダーより解明、この職業奉仕(Vocational Service)のVocationalは天職の意味である。即ち神様に召されてこの仕事をしておるという有用な仕事であると自覚を持つことである。又“職業奉仕の勘どころ”の購読をすすめられた。

16:55~17:15 一般討論…塚本ゼネラルリーダー ロータリー財団の%の改正点(45年7月)の解明、綱領の新しい和訳に対する注意、公害問題、職業奉仕についての意見もあり、ロータリーでは、一業一人であるからロータリー精神をその自分の業界に持込むことが大事である等、討議された。

17:15~17:30 次年度のホストは和歌山東

R. C.と発表、堀口会長の心強い挨拶があり、ホストの松尾副委員長閉会の言葉と“手に手つないで”の斉唱によって5時間にわたるフォーラムが幕を閉じた。時に午後5時30分予定通り終了。

本年度、アンストブライトホルツR. I.会長のメッセージ“Good will begins with you”が盛上ったムードが感ぜられ、あたかも本年和歌山県では黒潮国体が9月25日に開会されるしこの際特にロータリアンはすすんで善意は先づ自分自身から実行にうつすべきだと決意を新たにしたことであろう。

一第3組 ホスト岸和田R. C. —

9月4日 第366区第3組（高石、泉大津、和泉、岸和田、貝塚、泉佐野）のインターシティ・ゼネラル・フォーラムが岸和田R. C.のホストによって開催されました。

尾形ガバナー、ゼネラル・リーダーとして原田パスト・ガバナー、その他塚本、森、井関の3パスト・ガバナー、大谷ガバナー・ノミネーをはじめとし6クラブ 220名が参加しました。その他ゲストとして交換研究グループの上家富靖君を招きました。

◆社会奉仕部門

1. 隣接クラブとの合同奉仕について
2. 社会奉仕委員会の継続事業について

以上二つのテーマに就いて討論されたが、①に就いては全般的に自然環境保護の問題が取上げられ、具体的には植樹が取上げられた。リーダーは植樹も結構であるが、他にも問題が多いのではないかと。今後猶検討することを希望した。

②に就いては先づ各クラブの社会奉仕委員会の予算について質問があり、泉大津の15周年記念事業の200万円は例外として平均大体20～30万円位であった。継続事業としては和泉、高石ク

ラブの交通安全運動、岸和田クラブの図書寄贈、泉佐野クラブの文化会等が挙げられた。

◆青少年奉仕部門

1. 働く青少年に対する奉仕活動は如何にしたらよいか

2. インターアクトについて

①に就いては勤労青少年のスポーツ奨励、ボーイスカウトの援助、勤労青少年の表彰等の報告があったが、要するに勤労青少年に対する雇用者の態度が一番大切であり、クラブ会員全体が「ロータリアンは青少年の模範」の考えで取り組むべきである。

②に就いては高石R. C.の清風南海高校のインターアクトに就いての紹介あり、塚本ゼネラル・リーダーよりインターアクト、ローターアクトに積極的に取り組んで戴きたいと、増強を希望された。

◆職業奉仕部門

1. 職業上の道徳的水準を高めるにはどうしたらよいか

2. その他

①に就いては、ロータリーの根本理念は職業奉仕にある、綱領の第2はロータリアン自身の道徳的基準である。特に企業と公害問題について取上げられたが、公害問題は企業の考え方、結局その人の考え方、善意にある。四つのテストは之を従業員に広く知らせることも必要であるが経営者が先づ之によって自ら正さなければならぬ。

◆国際奉仕部門

1. 国際奉仕と世界社会奉仕について
2. 青少年交換及び組合せ地区に対する御意見、計画、実績について

リーダーより世界社会奉仕に就いて解説があり「ロータリーの友」8月号75頁に紹介されている芥木亀治郎パスト・ガバナーの「世界社会奉

仕を考える」を推奨した。昨年度の東パキスタンの義捐金につき質疑があり、井関パスト・ガバナーから説明された。塚本パスト・ガバナーより本年度の方針の説明がなされた。

次に青少年交換の実情につき貝塚、泉大津、和泉各R.C.より説明がなされた。

◇クラブ奉仕A部門

1. 新入会員の教育並びに同化の方策
2. 会員増強について

会員の増強に就いてはクラブ地域を各校区に分け、各校区から1～2名推薦増強する方法をとって成功している。

◇クラブ奉仕B部門

1. ホームクラブ以外への出席を如何に推奨するか
2. 親睦における家族会の役割
3. 例会の雰囲気や盛り上げる為に如何にするか
①に就いてはチャーター・ナイトその他に出席することにより知合いをひろめ得る。
②に就いては数多くするよりも内容による。
③に就いてロータリーソング以外にもっと歌を取入れる。食事をよくする等の発言あり有意義な半日を過して散会した。

—第4組 ホスト大阪南R.C.—

第366区 第4組のI.C.G.F.は9月25日新大阪ホテルに於てゼネラルリーダーに緒方準一パストガバナー(第365区)を迎え、来賓に森寿五郎、原田秀雄、塚本義隆、井関久楠、各366区パストガバナー及び大谷一雄 366区ガバナーノミニの御来席を得て行われました。参加人員は堺17名、堺南20名、堺東南12名、大阪住吉10名、大阪阪南12名、大阪西南22名、大阪南37名の他に財団学友1名、第4組以外からの見学者7名を加え、総数145名になりました。本年度はそれぞれの討議部門での議題の数をしほりその代り深くしほり下げて討議することを方針と

して行われました。渡辺ホストクラブ会長の開会の言葉により始められ、緒方ゼネラルリーダーの挨拶があり、次に出席優秀旗が第4位の大阪西南クラブ、第10位の堺南クラブにそれぞれ贈呈されました。引きつづき以下の部門別討論に入りました。

◇クラブ奉仕A部門

リーダー 内藤正章(大阪阪南.R.C.)

1. 会員増強について

- (1) 会員増強のため如何にして有為な人材を発見し且、如何なる入会への勧奨法があるか
- (2) クラブ若返り対策としての会員増強
- (3) 会員増強のための充填、未充填職業分類の実際の活用

2. インフォメーションについて

リーダーの発言につづいて、特に増強に成果のあった大阪西南クラブからの増強とインフォメーションについての発言は、まことに心強いものがありました。

◇クラブ奉仕B部門

リーダー岡碩平(大阪西南R.C.)

1. 出席奨励についてどんな方法がとられているか
2. 会員相互の親睦を深めるため親睦(交友)活動委員会はどう活躍すべきか

創立以来、特に急成長をした新しいクラブでありながら第4位の出席優秀旗を贈られた大阪西南クラブの初代会長である岡討議リーダーよりまことに貴重な御報告があり活発な討論が行われました。

◇社会奉仕部門

リーダー 吉田猪一郎(堺R.C.)

1. ロータリアンとして地域社会に対しどのような奉仕ができるか
2. 労働時間の短縮にともなう若年労働者の余

暇利用はどのようにあるべきか

3. ロータリアンの立場から公害対策はどのようにしたらよいか

特に2番目の若年労働者の余暇利用の問題はこのようなフォーラムでは初めて取り上げられた問題であり堺市の事例の発表もあり、有意義な討論が行われました。

◆青少年奉仕部門

リーダー 森昭人(大阪住吉R.C.)

インターアクト、ローターアクトの設立、育成について

はじめにインターアクト、ローターアクトの概況について詳しい報告があり、インターアクトについては堺南クラブ、ローターアクトについては大阪南クラブより、それぞれ設立、育成、現状について、現在設立を計画しているクラブの皆様には非常に有益な発言がありました。

◆国際奉仕部門

リーダー 宮本章(堺南R.C.)

1. 世界平和にいかにか寄与するかという意味から交換学生制度はいかにあるべきか

2. 世界社会奉仕について

リーダーより世界平和のためには相互の理解と尊敬と信頼を得ることがまず必要であり、交換学生の制度はそのために最も有効な手段であるとの発言があり、事例を交えて活発な討論が行われました。又世界社会奉仕については塚本パストガバナーより、最近の現況について御発言がありました。

◆ロータリー財団部門

リーダー 中谷利兵衛(堺東南R.C.)

1. 財団学友堀江正彦君の報告
2. ロータリー財団への自発的な寄附をいかに増大させるか
3. 実行可能でかつ有効な財団週間のプログラムを如何につくるか

リーダーの適切な発言の後に始めての試みとしてロータリー財団学友堀江正彦君の若々しい生の報告を聞くことが出来、より一層有意義なフォーラムを行うことが出来たと思います。続いて尾形ガバナーより第366区がロータリー財団300名地区として認められた旨の報告がありました。

◆職業奉仕部門

リーダー 久我道正(大阪南R.C.)

1. 奉仕により善意を行動に移すためには職業奉仕をどのように実行するか

(1) 「四つのテスト」を活用する方法は?

(2) 職業情報をロータリー活動の上でどのように生かすことが出来るか

議題の通りアンスト・G・ブライホルツR.I.会長のメッセージを基にし、職業奉仕の根本である「四つのテスト」を見直すことから討議に入りました。(2)の職業情報に関する討議では青少年奉仕と関連し活発な発言がありました。

部門別討論につづいてゼネラルリーダーの概評、質議応答があり、予定通り17時20分、本日の討論を終りました。次に尾形ガバナーの発言に答え、次年度I.C.G.F.ホストクラブの堺東南R.C.今井会長の挨拶があり、今日のホストクラブ原田副会長の閉会の言葉につづき、ロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し5時間30分にわたる充実したフォーラムを終りました。

◆ロータリー財団奨学会委員会報告

9月2日第1回の委員会を開催し、次の事項について協議決定した。

1. 当第366区の1973~74学年度の財団奨学金が4口になったことを確認した。
2. 申請有資格者の条件のうち大学院課程については既婚者にも許可されることとなった

以外は全く従来通りである

3. 奨学金受領候補者（奨学生候補者）の推薦方を各ロータリー・クラブ会長宛に発信すること
4. ガバナー月信にも教育補助金についての案内を載せること
5. R. I. より1973～74学年度の奨学生に関する新しい「パンフレット」並に奨学金申込書の書類が到着次第、第2回の委員会を開催する。
(委員長 棚橋鑿)

◆教育補助金申請について

本年度も例年の通り、1973～74学年度の財団奨学生の募集を致しますので、申請候補者の推薦かたお願い申します。

本年度は当第366地区では、ガバナー月信4号でお知らせしました通り、合計4人が奨学金を受領することが出来ます。

念のため次に教育補助金申請資格を略記します。(パンフレット1300-J参照)

	大学院	大 学	専門的訓練	教 師
教育程度	学士又は同程度	大学2年又は同程度	高校卒業又は同程度	高校卒業又は同程度(最低限度)
職歴 1972. 3. 15現在	不 要	不 要	最少2ケ年	身体障害者の教師として最少2ケ年
年 令 1972. 7. 1現在	20—28	18—24	21—35	21—35
既婚・未婚別	独身者又は既婚者	独身者	独身者又は既婚者	独身者又は既婚者

- ロータリアン、ロータリアンの扶養家族でないこと
- ロータリアンの兄弟又は姉妹或はその配偶者でないこと
- 指導力、感情的平衡、創始力、廉潔、信頼性に関する人格的な資質を実証し得るもの

◦優秀な学生又は技工であって、且つ実行力のあるすぐれた「親善使節」たるべき素質を有するもの

尚教育補助金に対する申請は1972年3月15日までに各ロータリー・クラブを通じて行い、ガバナーへの申請書類の締切期日は1972年4月1日であります。

申請者は原籍地のR. C.又は申請者の在学している大学のある地区内のR. C.へ、専門的訓練の場合は、申請者の雇用の場所のある地区内のR. C.へ申請書を提出することになっていません。

◆1972～73学年度ロータリー奨学生

1972～73学年度ロータリー財団奨学生として第366地区から、かねて推薦していました吉田康信君 (Yasunobu Yoshida), 足立啓子さん (Keiko Adachi), 山科幸夫君 (Yukio Yamashina) の3君が、正式に承認された旨R. I. から通知がありましたので此処に紹介致します。

—吉田康信君の略歴—

(大学院課程 堺R. C.推薦)



生年月日 昭和23年1月14日

住 所 堺市上野芝町8丁313の17

学 業 大阪府立大学卒，大学院在学中
専攻希望 環境計画，造園計画
留学先 University of Georgia (U.S.A)

—足立啓子さんの略歴—

(大学院課程 大阪R.C.推薦)



生年月日 昭和22年8月1日

住 所 大阪市東区横堀6の16

学 業 神戸女学院大学文学部英文科卒

専攻希望 英文学

留学先 University of Northern Iowa
(U.S.A)

—山科幸夫君の略歴—

(大学課程 富田林R.C.推薦)



生年月日 昭和25年7月13日

住 所 大阪府羽曳野市飛鳥770
学 業 大阪外国語大学在学中
(昭和48年3月卒業の見込)

専攻希望 言語学，比較言語学

留 学 先 Macquarie University
(Australia)

◆財団推進委員会報告

財団推進地区委員会より各クラブへ次の諸点についてお知らせとお願いをいたします。

1. 今日なおロータリー財団委員の任命されていないR.C.があるかに聞き及んでおりますが，もしそのようなクラブがありましたら，国際奉仕の積極的具現策のひとつとして，是非少なくとも1名の財団関係の専門委員をこの際任命してください。
2. 本委員会の活動は先づアンケートによる現状把握より始める計画でありましたが，事情によりロータリー財団の来し方と，プログラム拡大の現況を略説せる便覧を編輯しました。各クラブ会員数の約10%に相当する部数がすでに各クラブに届けられた筈です。ロータリー財団委員，国際奉仕委員へ優先的に配布して下さい。
3. 便覧の最後にある表は当地区各クラブの財団への寄付額一覧であります，各クラブは1970年12月の会員数を基準として本年度の財団推進計画をたてて下さい。前年度は1969年12月の地区の会員総数3075名に対して，当地区は年額52,300.88米ドルの寄付実績を挙げました。同じ比率を本年度も維持するためには，1970年12月の会員数3353名では本年度の寄付額は約58,000米ドルを必要とする計算になります。

(委員長 阪田靖人)

「ロータリー財団便覧」の訂正と追補

さきに各クラブに配布しました「ロータリー財団」の印刷後に入手の資料に基づき、その内容の一部を下記の如く補正致しました。宜しく御処理願います。

(1) 便覧2頁右欄下より8行目、読点の次に「発展途上国に限り」を挿入する。これは特に発展途上国の専門的訓練候補者を対象として25口の補助金を別に増加しようという新計画であります。

(2) 便覧3頁左欄上より17行目、1,415,300米ドルを1,440,300米ドルに訂正する。

(3) 便覧3頁右欄Ⅲ最近の教育及び特別補助金支出額の表1970～71年度以下を下記に補正する。

1970～71年度(予算) 1,440,300米ドル

1971～72年度(予算) 1,851,840米ドル

1972～73年度(予算) 2,151,308米ドル

(4) 便覧3頁右欄Ⅳロータリー財団の収入の記事中に掲げた地域別寄付状況の表に、次の1970～71年度分の分析表を加える。

地 域	寄付額比率	会員当平均
ア ジ ア	32.7%	10.17米ドル
欧大陸、北アフリカ、東部地中海	6.9 "	1.64 "
グレートブリテン及びアイルランド	3.4 "	1.68 "
中南米、メキシコ及びアンチル諸島	3.9 "	1.42 "
米国、カナダ及びバーミューダ	47.5 "	3.51 "
豪、ニュージーランドアフリカ及び其他	5.6 "	2.89 "

因に1970～71年度寄付総額は2,461,501米ドルで、ロータリアン1人平均3.61米ドルに達した。

(5) 便覧4頁左欄上より7行目に(因に1971年8月17日現在の全世界の P. H. Fellows は1,404名を数え、中には2度以上1千米ドルの

寄付された人もあり、最も多いのは13回も繰り返えされた篤志家がおられます)を付記する。

(6) 便覧4頁左欄18～26行を下記に改める。1970～71年度の地区の%順位は、第500区(ハワイ)の800%が最高で、次いで500%—2地区、400%—2地区、300%—4地区(内2地区は日本の第365及び第366区である)、200%—16地区、100%—126地区となった。

(7) 便覧5頁上より5行目%順位600%を800%に訂正する。

◆ローターアクト委員会報告

—御坊ローターアクト結成式—

9月27日紀州信用金庫4階大会議室に於て御坊R. C. 提唱の御坊ローターアクト・クラブの結成式が開かれました。

竹田御坊R. C. 会長の司会により、ローターアクト結成に尽力された総田委員、有田R. C. の野田委員長、平松委員及び有田ローターアクトの橋本会長、田中副会長等の来賓紹介あり、次いで新会員男子16名、女子14名の紹介があって、御坊ローターアクト・クラブが結成されました。これで366地区に7つのクラブが出来ました。定款、細則の承認があって次の通り役員が選出されました。

会 長 川瀬 泰三

副会長 野田美枝子

幹 事 福原 健三

会 計 佐藤喜代子

理 事 田端俊一、湯川俊一、村田輝男、古久保倫夫

(委員長 世戸一夫)

◆意義ある業績賞締切迫る

月信3号にてお知らせしました「意義ある業績賞」の参加計画資料の提出期限は11月1日で

あります。

本賞に関する規則並びに参加書式は国際ロータリー・ニュースの1971年2月号と共に全クラブへ配布されている筈ですからご参照下さい。

賞状の他に国際奉仕部門に属し特に優れた意義ある業績賞の3つの計画に対しては1000ドルの賞金が授与されます。

なお申請用紙紛失の節はガバナー事務所に請求下さい。

◆ヒューストン国際大会

次の国際ロータリー一年次大会は、1972年6月11～15日米国テキサス州ヒューストンにおいて開催されます。今から参加の準備をして下さい。ザ・ロータリアン9月号にはブライトホルツ会長の1972年国際大会への公式な招待状が掲載されています。また同誌には今月より国際大会が開かれる月まで、毎月国際大会開催地周辺に関する特集記事が連載されます。第1回目の記事が9月号に出ております。

◆お知らせとご注意

11月以後のガバナーの予定日程は次の通りです。

11月13日(土) I. C. G. F. 第8組

11月20日(土) 和歌山東南R. C. チャーター
・ナイト

12月18日(土) 和歌山東南R. C. 公式訪問

次にご存じの通り米ドルに対する国際為替相場は現在変動制となっておりますが、当分の間ロータリーに関する送金においては、新平価決定まで従来通り米貨1ドルを360円として換算することを申合せましたのでご了承願います。

◆訂正

ガバナー月信4号4頁財団学友委員会の記事の内、下段3段は10月ではなく11月の誤りにつき訂正します。

8月出席報告の内39位大阪北の前月順位41は49の誤りにつき訂正します。

財団法人ロータリー米山記念奨学会 昭和47年度奨学生募集要綱

東京都千代田区大手町2-3-6 タイム・ライフビル11階 電話(03)241-5911

財団法人ロータリー米山記念奨学会は全国のロータリークラブの支持の下に、毎年、在日海外留学生に対して奨学金を供与して参りましたが、明昭和47学年度に対して、次の要綱に従い奨学生を募集致します。

I. 応募資格(下記の資格すべてに該当すること)

1. 日本以外の国籍を有し、アジアその他のロータリークラブ所在国から、日本に修学又は研究のため来日し、在留している男女。
2. 大学院課程に在学し、又は同課程相当の研究に従事する者。ただし、札幌、仙台、千葉、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、兵庫、北九州以外の地域に於ては、学部在学学生も詮衡の対象とすることもある。
3. 他の奨学金を受けていない者。

4. 国際理解と親善に関心を持ち、貢献を期する者。

II. 奨学金の条件

1. 奨学金は月額¥30,000とし、他に学会出席旅費等を補助する。

2. 奨学金は原則として2年以内とし、在学する課程を修了するために必要な場合は、2年の奨学金支給期間終了の時点に於て詮衡により、奨学金支給期間を延長することがある。

3. 病気その他の事由により修学又は研究を継続する見込のない場合、修学又は研究の指導担当者から修学又は研究の継続に不適格と認められた場合、素行不良なる場合、ロータリーの目的に著しく違反し、或はロータリーの名誉を傷つけたと認められる行動をした場合は奨学金の支給を停止する。

III. 詮 衡

1. 詮衡は学業、人格その他を対照に実施し、応募者の指導教官の推薦内容を参照する。

2. 詮衡試験（面接）は昭和47年1月下旬に各地に於て行う。

3. 詮衡の結果は応募者全員に書面で2月中旬通知する。

IV. 応募方法

1. 応募者は所定の用紙に所要事項を記載し、写真（上半身5×3.5cm）2枚同封し（1枚は所定の位置に貼付し、1枚は貼付せず裏面に記名のこと）を下記に持参又は郵送して申込むこと。郵送の場合書留郵便とすること。

〒100 東京都千代田区大手町 2-3-6 タイム・ライフビル11階

財団法人ロータリー米山記念奨学会 電話(03)241-5911

2. 在日ロータリークラブを経由提出する場合は、当該クラブの幹事の署名を求め、且つ推薦状を添付すること。（応募者が個人的に知られている者に限る）

3. 申込書には下記を添付する。

(イ) 学業成績表

(ロ) 指導教官の推薦状（応募者の学業、人物、将来性についての所見を記した親展書）

(ハ) 応募者を熟知する者の推薦状

(ニ) 履歴書及び身上書（所定用紙使用のこと）

(ホ) 健康診断書

(ヘ) 可能なる場合、ロータリークラブの推薦状（応募者が当該クラブに個人的に知られていることを要する）

・注 意・

(1) 推薦状は数よりも内容を重視する。

(2) (イ)～(ホ)の書類が欠けている申込は受付けない。

4. 応募は昭和46年11月15日消印あるものまで有効、その後は受けつけない。

9 月 出 席 報 告

(Attendance Report for September)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	和歌山東	5	78	—	100.00	19	29	摂津	3	31	—	96.77	49
2	大阪西南	4	69	+2	100.00	5	30	和歌山南	3	61	+1	96.67	34
3	橋本	4	57	+2	100.00	6	31	田辺	5	69	—	96.59	40
4	茨木	4	57	+8	100.00	2	32	大阪西	4	93	-2	96.51	15
5	河内長野	3	56	—	100.00	3	33	八尾	4	53	-1	96.14	50
6	吹田	5	60	+1	99.33	1	34	堺東南	5	34	+2	95.88	44
7	松原	4	52	—	99.04	29	35	大阪東	5	95	+4	95.82	30
8	高石	4	47	+5	98.85	7	36	東大阪	4	61	-1	95.34	28
9	高槻	5	52	-1	98.82	11	37	富田林	5	57	+1	95.09	21
10	有田	5	51	+2	98.82	12	38	大阪城南	3	47	—	95.04	43
11	大阪阪南	4	62	+8	98.61	4	39	大阪南	4	147	-6	95.00	26
12	箕面	5	28	—	98.57	47	40	貝塚	4	54	+2	94.91	17
13	和泉	4	60	-2	98.28	16	41	大阪住吉	3	71	-2	94.83	41
14	大阪天満橋	4	57	-1	98.25	9	42	堺	5	113	—	94.36	37
15	大阪淀川	3	67	-1	97.98	18	43	寝屋川	3	28	+3	94.05	20
16	堺南	4	72	+2	97.89	33	44	守口	4	53	—	93.82	46
17	泉大津	3	74	+3	97.72	10	45	白浜	4	42	+1	93.46	48
18	大阪西北	4	53	+2	97.64	13	46	大阪心齋橋	4	29	—	93.10	38
19	枚岡	5	42	+1	97.60	27	47	大阪北	4	170	+3	92.55	39
20	新宮	4	53	+1	97.59	42	48	豊中	4	56	+1	92.34	24
21	豊中南	5	33	+2	97.58	14	49	海南	4	55	-2	91.82	35
22	池田	4	51	—	97.55	32	50	大阪柏原	4	24	-2	91.67	51
23	和歌山東南	4	32	+8	97.50	56	51	門真	5	25	—	91.20	36
24	岸和田	4	57	-1	97.39	8	52	粉河	4	30	—	90.83	45
25	大東	4	38	+2	97.37	22	53	大阪	3	295	-4	88.59	52
26	枚方	4	50	-2	97.00	23	54	那智勝浦	3	34	—	86.87	54
27	泉佐野	5	58	-2	96.90	31	55	御坊	3	63	-1	86.67	55
28	和歌山	4	93	-1	96.84	25	56	大阪東淀	4	31	—	85.49	53
平均出席率				95.80%		合 計				227	3,480	+35	5364.53



ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電 話 0722-21-9 4 5 6
私書箱 堺局 第25号 (〒590)

第6号 昭和46年11月15日 ガバナー月信 No.6 November 15. 1971

ロータリー財団週間について

— 11月14日～20日 —

既に書翰をもってお知らせしました通り、11月14日～20日の財団週間を迎えました。どうか特別な行事やプログラムを通じて、財団への個人的寄付と奨学生候補の発掘と推薦について貴クラブ全会員の関心を喚起するよう重ねてお願いいたします。

そのためには、さる9月中旬にお送りした「ロータリー財団便覧」が要を得た最新の資料ですから併せてご活用下さい。

なおロータリー財団への当地区の寄付額は、本年度7～9月迄の実績6,539・01米ドルで昨年度同期の9,168・12米ドルに比べ、かなり低調となっています。

公式訪問の際にお願い申し上げました各クラブの%水準、100% 引上げの目標を達成していただくとは本年の努力目標57,500米ドルの40%

(23,000米ドル)程度は達成されますが、なお残る30,000米ドル以上は会員各位の篤志によるきよ金にまたなければなりません。末尾に本年9月30日現在の各クラブ別ロータリー財団寄付額及び次の%への必要額の一覧表を附記しましたのでご参考にして下さい。

最後にロータリー財団寄付に対する為替レートの件について月信No. 5で当分の間1米ドル360円とお知らせしましたが、10月18日付で、R. I. 在日財務代行者、佐藤喜一郎氏より1米ドル335円として取り扱う旨通知がありましたので、ご了承お願い申し上げます。

ついではこの現況をご了察下さって「ロータリー財団週間」に当り、地区全クラブの皆様財団推進へのご協力を重ねてお願い申し上げます。



A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

ア NST G. ブライトホルツ会長

会 員 増 強 の 鍵

—事務総長より国際ロータリー役員への書翰—

国際ロータリー事務総長

ジョージ・R・ミーンズ

親愛なるロータリアン各位：

Alvin Toffler 氏は評判の著書、“Future Shock”の中で、人間同志の相互関係について語り、「我々は、随意に使用し、処理できる人間：モジュール人 (Modular Man) なるものをつくり上げた」と述べています。

これは、我々人間が身の廻りの人達と限定された面においてのみの関係を結ぶようになったことを指しているのです。関係を結ぶ相手を“人”としてではなく、その人の働らき、“機能”としか考えないことを言っているのです。たとえば、よく行くレストランで、いつものウェイトレスがいなくても、その替りの人に何らの質疑もすることなく給仕をしてもらっています。彼女は“人”ではなく、ウェイトレスという、働らき機能でしかなかった訳です。

ロータリアンは、その奉仕の理想により、このような人間関係観を受容することはできません。ロータリー・クラブ会員の本質は、会員と

その人の職業を一体にすることにあります。故に会員の増強とは、単に会員数を増やし、或いは同志の数を増やすために入会させるのではないのであります。我々は、会員の増強が各自のロータリー・クラブをその地域社会全体を代表する“完全な”クラブにするためにクラブ内になくしてはならない職業分類とそれを代表する人とを一体化することを通して、親睦を築き上げることにあることを忘れてはならないのであります。

そこで、会員増強の鍵は、と言えば、それは今更申し上げるまでもなく 1) クラブの区域限界内の未充填職業分類の有無を調査し； 2) 正会員としての後継者を見出すのに有利な立場にあるシニア・アクティブ会員の協力を求め； 3) より多くのアディショナル正会員を入会させてクラブの将来を築きあげることにつとめることにあります。更にその会員増強、育成の土台となるのは、多忙な職業人の関心をとらえ引きつ

けておくだけの意義がある奉仕活動でなければなりません。

各地区ガバナーの公式訪問報告を読みますと、多くのクラブに見られる会員増強活動の弱点として次の二つの分野が挙げられます。先ず第一に若手の職業人を入会させることに失敗している例が多いことです。その次は、ロータリー・クラブを極く限られた人達だけの社交クラブに発展させ、それに甘んじていることです。この二点はいずれも、真の会員増強には役立ちません。厳格な選考と適切な入会前後のロータリー教育なくして会員を増やすことは Toffler 氏が指摘する現代社会における“随意に処理できる人間”を増やすのと同然で、外面だけの会員増強に終るのであります。

ロータリークラブ会員として、適切に選考され、育成された会員ならば、誰一人として「随意に処理できる人間」である筈はありません。そして、もしも全ロータリアンが、それぞれ各自でロータリーを、じかに体験し、奉仕の理想に各自の表現を加えることに努めるならば、そ

のような恥辱をさらす危険はなくなっていくに違いありません。

◆財団奨学生のたより

月信第4号に報告しました奨学生、新喜久子さん（堺南推薦）より更に詳しい便りがありました。

7月18日無事ローマにつき、20日ペルージャに向けて発ちました。ペルージャ大学では今年例年になく人数が多く、1クラス30名以上で、しかもその中に5～6名の日本人がいて毎日日本語で話しているのでよくないと事でしたし、北アフリカの学生が遊びのためにやって来ているのでとても風紀が乱れているそうです。こちらの神父さまがとても心配なさって他の学校をあちこち探して下さり、フィレンツェにあるダンテ協会が最もよいという事になりました。8月1日からそこに学びます。

フィレンツェでの下宿は今日決ったばかりです。ローマについてからアッシジ、ペルージャ、フィレンツェ、パルマ、ミラノ、スイスの

CONTENTS

Rotary Foundation Week	1
Letter from General Secretary R. I.	2
Letter from Miss Kikuko Atarashi, R.F.	3
Convention Proceedings (1971 Sydney)	4
Rotary's Magazine Week	4
International Couvention in Houston	4
District Conference	4
Rotaract Club's Assembl	5
Boys & Girls Symposium about Protection of Nature-environment	5
Report on R. F. Fellows Committee	5
The District 325 Emergency Relief Fund	6
Notice & changes	6
Contributions by Clubs to R. F.	7
Attendance Report for October	8

目 次

ロータリー財団週間	1
R. I. 事務総長書翰	2
財団奨学生の便り	3
国際大会（シドニー）議事録	4
雑誌週間	4
1972年（ヒューストン）国際大会	4
1972年地区年次大会	4
ローターアクト・クラブ協議会	5
財団学友委員会報告	5
少年少女の自然を守るシンポジウム	5
「職業奉仕の勤どころ」再版配布	6
東インド避難民救済募金報告	6
異 動	6
元R. I. 会長エバンス氏逝去	6
クラブ別ロータリー財団寄付額：	7
10月出席報告	8

国境地まで毎日神父様と学校を探してさすらっていました。その神父様は岸和田のカトリック教会にいらした方で、岸和田のロータリー・クラブによく話しをしに行ったり、商工会議所の会頭さんともとても親しかったそうで、なつかしさがあっていらっしゃいました。

私がお世話になる家族はご主人と奥さんと、女の子2人、男の子1人の5人家族で、ご主人は電気会社の会計士です。とても熱心なクリスチャンで結婚後しばらくアマゾンの奥地で奉仕生活をしていたそうです。

この2ヶ月間は会話になれるために出来るだけ多くの人と語り、早くもっといろんなことが話せるようになりたいと思っています。

◆1971年“国際大会議事録”

1971年(シドニー)“国際大会議事録”がこの10月中に各地区ガバナー、各クラブ幹事宛に送付されます。この議事録には同大会における、各種報告演説、講演、パネル討論、その他のテキストが全部収録され、主要講演者の写真や大会ハイライトの写真が多数掲載されています。

“国際大会議事録”はクラブの例会、炉辺会合、新入会員の育成プログラム等々に使用できるロータリー情報の宝庫です。

この情報に富む議事録の活用を各クラブへ奨励して下さい。尚追加分は1部につき米貨2ドルで中央事務局よりお求めになれます。

◆“雑誌週間”(1月23日～29日)

1972年1月23日～29日のロータリー雑誌週間を迎えるに当たって、各クラブの雑誌委員会、プログラム委員会が特別プログラムを計画されるのに役立つ資料類が、国際ロータリー・ニュースを毎月、英語又はスペイン語でお受取りになるクラブ会長宛に、同ニュースの11～12月号に

添付して送付されます。この雑誌週間用資料キットには、“われらの雑誌…特別親善使節”のテーマにもとづく、講演やプログラム、事業計画などの試案が含まれています。

◆1972年(ヒューストン)国際大会

月信No. 5にてお知らせしました通り、1972年6月11～15日米国テキサス州ヒューストンにおいて1972年国際大会が開催されます。

ロータリー宿泊準備事務局は公式宿泊予約申込書の発送を開始しました。アジア地区では各地区のガバナー事務所宛一括送付されます。各クラブは地区の On To Houston 委員会と連絡して、ヒューストン国際大会に多数参加されるようお奨めします。

◆第366区地区大会

1971～72年度 366地区年次大会の準備も着々進んでおります。既に高槻ホストクラブより大会プログラムと予備登録の案内が届いている筈です。本年度は立法案、制定案の改訂の年度でありますので、地区大会に於ても之を検討しなければならない一層重要な大会となりますので多数ご参加下さるようお願いいたします。

3月3日(金) 前夜懇談会 新阪急ホテル

3月4日(土) 大会第1日 高槻市市民会館
特別講演 松田毅一氏

「高山右近」

晩餐会 新阪急ホテル

3月5日(日) 大会第2日 高槻市市民会館
その他余興には宝塚歌劇団、朝丘雪路、ダークダックス、菅原洋一、ペギー葉山の出演が予定されています。

エキスカーションは3月6日(月) 仙洞御所、修学院離宮見学(先着100名)

ゴルフコンペは3月8日(金) 茨木カントリー

ークラブ

俳句会は8月5日(月)午後神峰山吟行となっています。

◆第2回大阪府下ローターアクト

連絡協議会

10月15日午後6時より大阪ガスビル8階に於て、大阪ローターアクト担当のもとに連絡協議会が開かれた。

ローターアクトの問題点、今後の協力体制等に就いて協議し、次回は大阪北ローターアクトが担当で第3回連絡協議会を開くことを決定した。

地区の状況としては池田R.C.及び堺R.C.が新しいローターアクト結成に努力している。

出席者 大阪R.C.、大阪北R.C.、大阪南R.C.、守口R.C.、池田R.C.及び守口R.A.C.、大阪南R.A.C.、大阪北R.A.C.、大阪R.A.Cであった。

(地区ローターアクト委員長 世戸一夫)

◆自然を守る少年少女のシンポジウム

さる9月18～19日の両日にわたり、Y.M.C.A 六甲研修センターに於て、大阪市内14 R.C.及び大阪Y.M.C.Aの共同主催で、大阪市教育委員会の後援のもとに市内の学童による「自然を守る少年少女のシンポジウム」を開催し、「宅地造成と自然保護」、「観光開発と自然保護」、「工場誘致と自然保護」の三分団に分れ協議した。

ロータリー側からは西村彦次氏(大阪)、真砂久哉氏(田辺)、杉浦一宗氏(大阪西南)、世戸一夫氏(大阪南)の諸氏が指導者として出席した。

社会奉仕、青少年奉仕の新らしい分野での有意義な奉仕であった。

◆財団学友委員会報告

—学友懇談会と学友活動—



恒例の財団学友懇談会は10月9日夕、大阪Y.M.C.A.ホテルで開催されました。元奨学生鞍智、堀江両君、研究グループの寺田、上家両君、明年出発する足立さんと山科、吉田の両君が出席し、財団側からは奈良財団学友委員長、若月委員、西川研究グループ委員長が主人役として出席しました。

- ① 財団に関する実績のインフォメーション
- ② 366区の財団資金寄付に対する貢献状況
- ③ 学友が受けた奨学金や処遇の実際状況
- ④ 先輩から新奨学生に対する助言

以上が懇談会の主なる話題となりました。出席者一同質疑応答を交換し有益な会合でありました。

このような懇談会を通じ、ロータリアン側と学友側との理解が深められると共に、学友がロータリーの諸会合に出席してスピーチする時、何をどう話すべきかを考え、かつ心構えする上に大変大事な機会となったと思います。

次に月信第4号で発表しました学友活動としてのスピーチの予定はその後追加されて計16回に及び締切らざるを得なくなりました。しかし8回のI.C.G.F.中7回までスピーチの要請に応え、参加47クラブの出席者に学友達が対面することが出来たことはまずまずであったと思います。

今年度帰った学友は1名であったが、明年度は8月に2名(米国と伊太利)、明後年度は3名となるので、将来は例会スピーカーとしても十分に需に應ずることが出来るようになります。(委員長 奈良伝)

◆「職業奉仕の勤どころ」再版配布

昭和45年1月第365区の職業奉仕委員会が編集発行した「職業奉仕の勤どころ」は地区会員に贈呈されたが、その後希望者多く、地区協議会に於て再版を決議されたので、第366区職業奉仕委員会は、之を改訂補筆し初版より装幀も立派にして再版し地区会員に対して贈呈した。言うまでもなくその内容は職業奉仕の意義、実例を判り易く説明しているのでは是非一読をお願いします。

◆東インド避難民救済資金について

当地区世界社会奉仕計画の枠外としてR. I. より訴えのあった標記の緊急救済資金の募集は去る8月に開始以来、区内各クラブ会員より続々応募出をたまわり、その総額は1,686,322円に達してこのほど切りました。この義捐金はエバンストンのR. I. 中央事務局を通じて第325区ガバナー K. N. ムーカージー氏に送られるので、R. I. 宛に送金をいたしました。ここに厚く感謝してご報告申し上げます。

◆異 動

- 松原R. C.
会 長 西川幸太郎 (元副会長)
副会長 西本 正一 (チャーターメンバー)
- 地区立法案検討委員会
中村広男君 (和歌山東R. C.) 10月7日ご逝去につき岡道一君 (和歌山東R. C.) が委嘱されました。

◆元 R. I. 会長 Mr. Richard L. Evans 氏急逝

この11月はじめにR. L. エバンス氏が急逝されたことを元R. I. 会長東ヶ崎潔氏を通じて4日に知った。1966~67年度のR. I. 会長としてターゲット“ロータリーでよりよい世界を創る”をかかげて活躍されたことはよく知られている。

含蓄の深い内容を平易簡潔な言葉で語る氏の名講話は毎週全米に放送され、多くの聴衆をひきつけていた。本年5月の国際協議会と6月のシドニー大会においても、氏の講演は参加者が最も深い感銘をうけたひとつであった。

私は早速当366区全ロータリアンからの敬申の意を表するため次の電報を送った。

Mrs, Alice Evans

P. O. Box 30, Salt Lake City Utah,
U. S. A.

SHOCKED AND GRIEVED PASSING
OF PAST PRESIDENT RICHARD
ROTARIANS DISTRICT 366 SEND
THEIR DEEPEST SYMPATHY
DISTRICT GOVERNOR

SHIGEYUKI OGATA



各クラブ別ロータリー財団寄付額

(寄付額の表示単位米ドル) 1971. 9.30現在

	ク ラ ブ 名	1971~72年度の寄付額	寄 付 額 累 計	71年9.30現在%	次の%への必要額
A	有 田	160.40	2,904.30	500	35.70
D	大 東	117.01	3,061.94	900	438.06
G	御 坊	74.01	2,364.51	400	735.49
H	橋 本	55.00	1,808.76	300	471.24
	東 大 阪	61.00	3,760.72	700	879.28
	枚 方	52.00	1,696.48	300	423.52
	枚 岡	40.00	2,240.88	500	159.12
I	茨 木	251.01	4,454.85	800	135.15
	池 田	—	2,833.50	600	736.50
	和 泉	145.00	4,251.76	700	628.24
	泉 大 津	—	3,004.52	400	545.48
	泉 佐 野	68.00	3,172.38	500	247.62
K	門 真	—	720.02	300	279.98
	海 南	55.00	2,402.03	400	397.97
	貝 塚	216.02	2,144.89	400	555.11
	河 内 長 野	106.00	3,520.78	600	469.22
	岸 和 田	—	2,761.80	400	188.20
	粉 河	30.00	961.15	300	118.85
M	松 原	62.00	2,173.84	400	176.16
	箕 面	150.01	969.06	300	230.94
	守 口	53.00	2,674.34	500	385.66
N	那 智 勝 浦	43.00	3,532.49	1000	207.51
	寝 屋 川	60.00	787.49	300	212.51
O	大 阪	734.06	24,895.05	800	1,294.95
	大 阪 東	675.39	10,761.35	1200	548.65
	大 阪 東 淀	151.01	877.96	300	202.04
	大 阪 阪 南	54.00	1,363.07	300	636.93
	大 阪 城 南	47.00	1,478.75	400	721.25
	大 阪 柏 原	26.00	536.04	200	183.96
	大 阪 北	130.00	11,274.88	700	1,605.12
	大 阪 南	298.02	8,401.49	500	838.51
	大 阪 西	103.00	4,423.04	500	1,156.96
	大 阪 西 北	224.02	1,624.12	400	825.88
	大 阪 西 南	67.01	2,749.21	600	1,730.79
	大 阪 心 斎 橋	—	290.02	100	269.98
	大 阪 住 吉	71.01	4,062.16	600	1,117.84
	大 阪 天 満 橋	—	3,802.21	700	597.79
	大 阪 淀 川	127.01	3,021.79	400	378.21
S	堺	342.02	14,440.86	1300	1,519.14
	堺 南	91.01	6,319.23	900	380.77
	堺 東 南	131.01	1,867.86	500	232.14
	摂 津	62.00	772.05	300	107.95
	新 宮	73.01	2,312.93	400	237.07
	白 浜	161.01	1,981.47	400	68.53
	吹 田	140.01	2,825.63	400	174.37
T	高 石	42.00	1,646.89	400	503.11
	高 槻	—	2,459.02	400	240.98
	田 辺	90.01	3,692.09	500	327.91
	富 田 林	234.02	2,067.36	300	132.64
	豊 中	55.00	3,236.93	600	403.07
	豊 中 南	53.00	1,246.08	400	153.92
W	和 歌 山	93.01	7,233.53	800	1,406.47
	和 歌 山 東	154.01	6,679.08	800	250.92
	和 歌 山 南	83.89	7,759.05	1500	1,840.95
	和 歌 山 東 南	24.00	524.04	200	225.96
Y	八 尾	204.01	2,637.10	500	482.90
	合 計	6,539.01	207,464.83		

10 月 出 席 報 告

(Attendance Report for October)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	69	+2	100.00	2	29	貝塚	4	53	+1	97.14	40
2	吹田	4	60	+1	100.00	6	30	大阪天満橋	5	57	-1	96.84	14
3	橋本	4	57	+2	100.00	3	31	大阪城南	5	50	+3	96.77	38
4	河内長野	5	56	-	100.00	5	32	豊中	4	55	-	96.28	48
5	茨木	4	56	+7	99.53	4	33	池田	5	51	-	96.08	22
6	高槻	4	52	-1	99.51	9	34	大阪東	4	97	+6	96.00	35
7	枚方	4	51	-1	99.51	26	35	大阪西	4	93	-2	95.41	32
8	高石	4	47	+5	99.47	8	36	大阪南	4	153	-	95.25	39
9	東大阪	4	60	-2	99.16	36	37	富田林	4	57	+1	95.17	37
10	和泉	4	60	-2	99.14	13	38	田辺	4	69	-	94.92	31
11	岸和田	4	57	-1	99.13	24	39	大阪心済橋	5	29	-	94.48	46
12	松原	4	51	-1	99.03	7	40	和歌山南	5	60	-	94.24	30
13	有田	4	51	+2	99.02	10	41	南海	4	57	-	94.12	49
14	大阪淀川	5	68	-	98.80	15	42	守口	4	53	-	93.75	44
15	大阪阪南	4	62	+8	98.79	11	43	大阪住吉	5	73	-	93.70	41
16	摂津	5	31	-	98.71	29	44	門真	4	25	-	93.00	51
17	泉佐野	4	57	-3	98.69	27	45	和歌山東南	5	33	+9	92.73	23
18	和歌山東	4	76	-2	98.67	1	46	白浜	5	41	-	92.70	45
19	泉大津	5	72	+1	98.61	17	47	堺東南	4	34	+2	92.65	34
20	枚岡	4	42	+1	98.22	19	48	粉河	4	29	-1	92.24	52
21	大阪西北	4	53	+2	98.11	18	49	八尾	4	52	-2	92.10	33
22	大阪柏原	4	24	-2	97.92	50	50	大阪北	4	169	+2	91.73	47
23	新宮	4	53	+1	97.60	20	51	豊中南	4	33	+2	91.67	21
24	堺南	4	72	+2	97.53	16	52	寝屋川	5	29	+4	90.35	43
25	大東	4	40	+4	97.47	25	53	大阪	5	301	+2	89.77	53
26	和歌山	4	95	+1	97.43	28	54	御坊	5	62	-2	86.71	55
27	箕面	4	30	+2	97.35	12	55	大阪東淀	4	32	+1	86.49	56
28	堺	4	111	-2	97.24	42	56	那智勝浦	5	34	-	83.64	54
平均出席率				95.90%		合 計 240 3,494 +49 5370.57							



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box, 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Intertory Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電 話 0722-21-9456
私 書 箱 堺局 第 2 5 号 (〒590)

第 7 号 昭和 46 年 12 月 15 日 ガ バ ナ ー 月 信 No. 7 December 15, 1971

新クラブ、泉南ロータリークラブ誕生

泉佐野クラブをスポンサー・クラブとし、特別代表東条仁進君の指導の下に、大阪府最南の泉南市、南海町、東鳥取町、岬町（人口約10万余）を区域とする新しい泉南クラブが、11月26日創立総会を開き誕生しました。創立会員30名。

当日は好天に恵れスポンサーの泉佐野R.C.はじめ近隣クラブの会員各位と来賓も多勢にて和やかな雰囲気の中に新クラブの発足を祝いました。



例会場並に事務所

例会日 金曜日 12:30

例会場 泉南市樽井1671 住友銀行泉南支店
(電話07248-6601)

事務局 泉南市樽井1621 泉南市商工会
(電話07248-6365)

会 長 田中利夫、幹事 成子善一郎

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971—72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. プライツホルツ会長

ロータリー財団の推進

—事務総長より国際ロータリー役員への書翰—

国際ロータリー事務総長

ジョージ・R・ミーンズ

親愛なるロータリアン各位：

ロータリー財団は国際理解と親善の増進という目的の実現を目指して、外国で実際にそのような経験をなし得る機会を提供する数々の有益なプログラムを提唱しているのであります。そして財団はそのプログラムを通じて相互の理解を深めることができたことを証明する手紙を財団奨学生並びに留学生を受け入れた国々の人々の双方から何千通も受取っているのであります。これはプログラムが成功している証拠です。財団活動の成功を証明する今一つの事実は、世界各国のロータリアンが自から進んで熱心に財団を支持しておられることでもあります。このロータリー財団奨学金プログラムが実施されて以来、ロータリアン各位の財団に対する寄付、支援は毎年増加しているのであります。ロータリー財団週間の機会に最も新しい統計を皆様にお伝えし、そして更にガバナー月信によって貴地区内全クラブへお伝え頂きたいと思うものであります。

昨1970～71年度には財団史上、最大数のロータリー・クラブ並びにロータリアン各位よりご寄付を頂き、総額米貨 2,461,463ドルという新

記録を樹立したのであります。これは前年度に比べ26.8%の増加であり、世界中の全ロータリアン、1人当たり平均、米貨3.61ドルのご寄付に相当するのであります。また昨年来米貨1千ドル以上のご寄付をされ、あるいはその人の名義による寄付を受けてポール・ハリス・フェローとなられたロータリアンの数が688名にのぼるのであります。

そして寄付金額が増大するに従って財団が授与する奨学金の数も増加されております。1970～71年度の記録的な寄付額は1973～74年度における奨学金の大巾な増加をもたらしたのであります。1970～71年度中に、58ヶ国の326名の青年男女が海外留学の奨学金を受領し、25ヶ国の322名の青年実業家が研究グループ交換活動のもとに外国を訪問し、さらに25件におよぶロータリー・クラブまたは地区提唱の事業に対して補助金が授与されたのであります。いずれも財団史上で最大数なのであります。

財団は近い将来、各地でのリーダーとなる若人達へその機会を提供するために、全ロータリアンが直接参与できるプログラムを提唱しているのであります。本年度を通して財団が更に記

録を更新する年度を達成し得るように、地区内のクラブならびに個々のロータリアンを激励し財団への支援を強調されるようお願いいたします。

◆元 R I 会長 リチャード L. エバンス (RICHARD L. EVANS) 氏を悼む

1966~67年度国際ロータリー会長、リチャード L. エバンス氏が 去る11月1日、米国ユタ州ソルト・レーク・シティで逝去されました。ご遺族には、Alice夫人、Richard, Jr., John, Steven, William の4人のご子息と、2人のお孫さんがおられます。

リチャードは、ソルト・レーク・シティに生れ、ユター大学で学び、同大学で、学士及び修士の学位を取得、後年、母校のユター大学より名誉法学博士の号を贈られました。彼は長年 King Features Syndicate の主要就筆者の一人として、多数の著書を残し、また、彼が執筆した雑誌、新聞等の記事も多数にのぼります。彼は、また、モルモン教12使徒の一人で、モルモン教の伝道における最高役員の人でした。また、1930年以来、ソルト・レーク・シティに本部を置くモルモン・タバナクル合唱団の全米向けのラジオ放送番組、 ミュージック・アンド・スポークン・ワーズの講説を担当する

だけでなく、この全国放送番組として、アメリカで最も長く継続されている番組の製作、台本作成、放送のすべてを担当した人です。

1938年以来、ソルト・レーク・シティ R. C. の会員で、同クラブの元会長であり、国際ロータリーにおいては、上記の通り、会長として活躍されたばかりでなく、副会長、理事、地区ガバナー、委員長および委員としても奉仕され、また、昨年度はロータリー財団管理委員会の委員長をつとめ、今年度も管理委員の一人として活躍中でした。

世界中の全ロータリアンがリチャード・エバンスの超我の奉仕の実践における真摯な献身的態度と貢献より多大なる感化を受けたのでした。John Hess の言葉に「偉大な人達には四つの共通した点がある。話し方がおだやかで、苦勞をいとわず、自分のすることに信念をもち、そして、それを為し遂げる自分の能力に確信をもっている」というのがあります。この定義によれば、リチャード・エバンスは誠に偉大な人でありました。

尚、アリス夫人の現住所は次の通りです。

Mrs. Richard L. Evans
1032 Douglas Street
Salt Lake City, Utah 84105, U. S. A.

CONTENTS

New club, Sennan R. C. organized	1
Letter from General Secretary R. I.	2
Memory of Past President R. I., R. L. Evans...	3
Report on I. C. G. F (5~8 group)	4
Report on Youth Exchange Committee	10
Visiting Report to Ulsan R. C.	10
Thanks for our Relief Fund to District 325 from R. I.	11
One year Anniversal Meeting of Wakayama Rotaract Club	12
New Paul Harris Fellows	12
Semiannual Report	12
Magazine Week	12
Notice	13
Change & Correct	13
Attendance Report for November	14

目 次

新クラブ、泉南 R. C. 誕生	1
R. I. 事務総長書翰	2
元 R. I. 会長エバンス氏追悼	3
I. C. G. F. 報告(第5~8組)	4
青少年交換委員会報告	10
韓国蔚山 R. C. 訪問報告	10
東インド義捐金への礼状	11
和歌山ローターアクト1周年記念会	12
新ポール・ハリスフェロー	12
半期報告	12
雑誌週間	12
お知らせ	10
異動並に訂正	13
11月出席報告	14

◆ I. C. G. F. 報告

— 第5組ホスト大阪東R.C. —

第366区、第5組のI. C. G. F (ホスト大阪東)は10月2日、尾形繁之ガバナー、ゼネラルリーダーとして平沢興バスターガバナー、来賓として森寿五郎、原田秀雄の各ガバナー、井関久楠直前ガバナーを迎え、大阪コクサイホテルに於て開催された。大東、東大阪、枚方、枚岡、門真、寝屋川、守口、大阪東の8クラブが参加し、160人が出席した。さらに財団学友堀江正彦君が特別参加した。

◇社会奉仕部門

リーダー 岸上拓司(枚方R.C.)

1. 決議23~24をどのように受けとめているか。
2. 「あなたの地域社会を知れ」といわれるがどのような関心を持っているか。
3. 地域の青少年の育成について

(1)について、リーダーは会員の中にこの決議を知らない人が多いのを指摘し、決議全文を朗読された。(2)については寝屋川、枚岡、門真の各クラブから発言があり、ゼネラルリーダーは地域社会を客観的に知ることが大切であると述べられた。(3)については主としてローターアクトの育成に、東大阪、守口クラブから発言があり、ゼネラルリーダーは京都東クラブに於ける経験を話され、ローターアクトの自主性を尊重して育成することを力説された。

◇国際奉仕部門

リーダー 松井弥之助(大阪東R.C.)

1. ローター綱領第4の理念と実際
2. 世界社会奉仕の現状
3. シスタークラブとの交歓などについて
4. 青少年の国際的交換の実情
5. 言語の障碍を超えて「善意は先ずあなたから」をいかに実践するか。

(1)についてリーダーは、最近の情勢をみると、国際間の理解と親善を阻害する事態が次々とおこっている。今こそロータリー活動を通じての国際奉仕をする時であると述べ、ゼネラルリーダーは、それを実践するには各自が国際学会やロータリー国際大会に出席し、又は商用で外国に行くなどして、自然と国際的な感覚を身につけ世界国際人になることが第一である。そうすれば自づから綱領第4を実践することができると答えられた。(2)については、尾形ガバナーから本年度の世界社会奉仕計画の説明があり(3)、(4)については、東大阪、守口クラブからその難かしさについての意見が出された。また尾形ガバナーは田辺クラブと蔚山クラブとの交歓例をひいて、こちらに熱意があれば善意は通ずるものであると強調された。(5)に対し、ゼネラルリーダーは言葉はわからなくても善意を持てば通ずるもので、国際的な友情は自づからできるものであると述べられた。

◇ロータリー財団部門

リーダー 吉村清三(東大阪R.C.)

1. ローター財団の現況・財団学友の報告
2. ローター財団への積極的協力策について
3. 「ロータリー財団週間」の有効なる活動方針如何

(1)の財団学友堀江正彦君の報告は、会員のロータリー財団への理解を深める上に極めて有意義であった。(2)、(3)については、1600%の京都東クラブの会員であるゼネラルリーダー及び1200%の大阪東クラブから発言があり、1600%、1200%クラブになったのも会員各自の善意が自然に実ったもので、決して強制してできたものでないことを強調された。

◇職業奉仕部門

リーダー 山口真誠(枚岡R.C.)

1. ローターの奉仕活動は先ず職業奉仕から

2. 職業奉仕と「4つのテスト」

3. 職業奉仕と自己の職業の再認識

(1)については守口R.C.から、(2)については大東R.C.から「4つのテスト」を職業の中に生かす具体的方策を、(3)については寝屋川R.C.から発言があり、枚方クラブの阪口君は人間愛の基盤の上に立って、1.契約の実行、2.公正な競争、3.公害の排除、4.人間関係の充実現、5.収益性の保持を実行しているとの発言があった。最後にゼネラルリーダーは、職業奉仕は個人から出発するが、その対象は社会であり、その職業は「有用」な職業であらねばならぬ。

「4つのテスト」は一つの祈りであり、これを行えるのは神であるが、常に完全なものへ近づくための理想の目標としてのテストである。職業奉仕の精神を如何に具体化するかという真実のテストであると説かれた。

◇クラブ奉仕部門

リーダー 門野良雄(大東R.C.)

1. 「ロータリアンは先ず出席から」というが出席の重要性について
2. 魅力あるプログラムは大切なことである。現況は如何
3. 会員増強のための職業分類と会員選考の関連について

(1)については大東、門真、枚方R.C.から、(2)については東大阪R.C.、(3)については東大阪、枚岡R.C.から夫々発言があり、会員増強に際しての量か質かの問題について、大阪東クラブの百々君は、それは両者の対立的な考え方でなく、量と質とを掛け合せて考えるべきだと発言された。以上の各討議に対し、ゼネラルリーダーは有名人の卓話は必ずしも良いとは限らない。中身のある卓話をされる会員がある筈である。聞く方もロータリアンであるから、中身を味うことを心得ておらねばならない。出席の

悪い人を入れたのはクラブ全体の責任であり、悪いところを改めるよう善意を持って接することがロータリークラブの一つの使命であると示唆深い言葉で討議をしめくくられた。

次いでゼネラルリーダーの概評と来賓パストガバナー及び尾形ガバナーの講評があり、閉会式に移って次期I.C.G.F.ホストの東大阪R.C.横田会長から挨拶があり、有意義なI.C.G.F.は終了した。

(大阪東R.C. 広島)

—第6組 ホスト豊中R.C.—

10月9日(土)正午より午後5時まで、豊中市民会館大集会場で、豊中R.C.ホストのもと尾形ガバナー、絹川ゼネラルリーダー、井関、塚本パストガバナー、大谷ガバナーノミニ、御来席の上、参加9クラブ、池田(19名)茨木(15名)箕面(20名)大阪北(23名)吹田(31名)摂津(16名)高槻(14名)豊中南(20名)豊中(42名)の御出席を得、財団学友堀江君も招待して開催された。

このホールの運営方法につき8月17日、絹川ゼネラルリーダーを囲み各クラブの部門別リーダーの方々にお集りを願い協議した結果、テーマをきめ、アンケートを各クラブより頂戴し、予め意見の集計をしフォーラムの時間不足の欠点を補う一方、重点的討議の採択運営に役立たせる事にした。こんなよいアンケート集があったのなら前もって読みうるようもっと早くほしかったという意見も当日あった。今後の参考になろう。以下各部門別に簡単なピックアップをする。

◇社会奉仕部門

担当 茨木RC(リ)武智、(副)祖父江

テーマ ①交通問題について ②公害問題

①について種々活発な意見があったが、根本的

にふれた点で、運転免許証交付に当たり厳密な査定をして運転手による精神的肉体的の障害を防ぐべきだ。これに対して医学者的見地から批判があった。次に自動車事故を防ぐには自動車を減らす事が第一だ。②の公害問題については、ロータリアンの皆様は会社工場の公害については万全の考慮を払われておられるであろうか。自分の常用車が規定以上の排気ガスをだして居ることに気づかない事があると実例数をあげた発言。公害は足もとから、会社のドブさらえから。交通遺児の援助問題も交通事故激増の当今新しい大きな問題となった。交通安全週間を交通訓練週間と改めていくべきだとの意見。

◇国際奉仕部門

担当 池田RC (リ)松野、(副)巽。

テーマ ①マッチド シスタークラブ等、海外クラブとの交流の実際 ②発展途上国(韓国、台湾、東南アジア)との交流 ③青少年国際的交換された経験 ④ロータリー財団への協力の仕方 ⑤世界理解週間の守り方

世界社会奉仕の問題殊に東パキスタン難民救済について絹川、塚本バスターガバナー阪田氏等の詳細なる解説意見があった。韓国RCとの交流のため、ロータリーの友、その他の文献の送付について、不満不審な点がのべられたが、これに対し尾形、塚本両氏の総合的意見並びに希望がのべられた。本年度1,000%を超えるであろう予定の次木、池田両RCの財団協力の方法は、会員一年10ドル酬金の他にニコニコ箱とは別に同じような方式で記念祝等の寄付を集め、又ポール・ハリス・フェローに寄付の奨励勧誘をすることである。四人の奨学生の一年度の経費は現在2万ドルを要する。多くの資金を集め一人でも多くの学生を送る事こそ望むところ。

◇職業奉仕部門

担当 吹田RC (リ)天野、(副)浜田

テーマ ①職業奉仕実践計画について

②四つのテスト活用の実例

職業奉仕の理解の難しさが、いつも問題になるので、職業奉仕週間をつくり勉強の場を多くしたい意見があり、尾形ガバナーからまだ具体的案はないが、その方向に進みたいと発表があった。社是社訓集及び職業奉仕事例集を編集する計画が豊中南より報告された。四つのテストの版權について注意の発言があった、必要のことである。

◇青少年職業奉仕部門

担当 大阪北RC (リ)真鍋、(副)森川

テーマ ①青少年のレクリエーションについて 青少年の理解認識の問題、それへの努力

が根本的なものであるとの意見が随所に伺われた。ローターアクトについて大阪北、池田、高槻クラブより現状の説明ならびに意見の陳開があった。塚本バスターガバナーよりローターアクトにくらべインターアクトが大変少ない何分の努力を希望するの言葉があった。次に十分間堀江財団学友の感銘すべき話があった。

3時より15分間休憩、女性合唱エコ・エレガントのコーラス合唱あり。

◇クラブ奉仕A部門(会員選考、会員増強、職業分類)

担当 高槻RC (リ)今井 (副)入江

テーマ ①会員増強の実施例について

②会員推薦、会員選考、職業分類、各委員会は如何に流動的に即応すべきか

会員若返りの必要と努力が多くのRCの課題となって取り組まれている。もっとものことだと思ふ、5人会員1組に1人の会員推薦法はこれまで行われて居るクラブもあったが、絹川ゼネラルリーダーからも重ねてFive for oneの発言があった。

◆クラブ奉仕B部門（広報、R情報、会報、雑誌、文献）

テーマ ①ロータリーに対する批判が強いが、それにはロータリーの奉仕の正しい理解把握の上にたつべきだ②奉仕の理想とは？

解ったようで解りにくいのが奉仕の理想である。語句の詮索と哲学的解釈は一層解りにくいものにする。結局善意をもって何事にも、何ものにも当ることこそ奉仕であるに落ちついたようだった。

◆クラブ奉仕C部門 出席、プログラム、親睦
SAA唱歌

担当 箕面RC（り）武田、（副）山中

テーマ ①例会をより楽しくするための工夫

②例会を通じ親睦を高める工夫

バラエティーに富む卓話についての意見活発。卓話のピンチヒッターを会員中にもっておく事。卓話が初まるとドンドン退場する会員（特にメーキャップ会員）が多い事への反発意見。以上で4大奉仕部門の討議を了え、絹川ゼネラルリーダーの概評を頂戴し、尾形ガバナーの結語の御挨拶と、次年度ホーラムの開催地ならびにホストの大阪北RCの発表があった。手に手つないでと閉会の辞で、定刻に無事終了した。

—第7組 ホスト大阪R.C.—

10月28日（土）第366区第7組（河内長野、松原、大阪柏原、心斎橋、富田林、八尾、大阪）のインターシティ・ゼネラル・フォーラムが大阪R.C.のホストで新大阪ホテル5階鳳凰の間で12時から開催されました。

尾形ガバナーはじめ、ゼネラル・リーダーとして森寿五郎パスト・ガバナー、その他来賓として緒方準一、原田秀雄、塚本義隆、井関久楠各パスト・ガバナーおよび大谷一雄ガバナー・

ノミニエの方々をお迎えしました。

当日は折悪しく雨模様でありましたが138人の参加者があり、5時間にわたって熱心に討議が交わされました。なお他に財団学友堀江正彦君をゲストとして招待しました。

◆社会奉仕部門

1. 会員増強の手段

会員増強委員会を数班に分け、班長を決め、地区を割り当てて増強している（富田林）。また各班にノルマを与える（河内長野、柏原）等で効果を上げている。またJC（青年会議所）の卒業生を候補者として考えているが、定年の40才まで待たねばならぬか迷う（柏原）との疑問に対し森ゼネラルリーダーから、識見があれば年令にこだわることはないとの意見が出されました。

2. クラブ例会の運営

例会はまず楽しく友好的でなければならない。互いに親しく挨拶し、ロータリーソングを元気よく唱い、早退をふせぐ、SAAが重要な責任がある（大阪）。例会には卓話が最も大切であるが適切な卓話者がなかなか得られない悩みがある。近隣クラブで相談して対策を講じてはどうか（柏原）との意見に対し、尾形ガバナーからロータリーの中でスピーカーズ・ビューローのようなものを作り、そこへ卓話候補者をプールしておくという計画があるとし、本年中に実施したいとの回答があり、またさらに各クラブとも卓話者として適当な人があれば報告してほしいとの要望もあった。またクラブ独自のロータリーソングを作ったり、ワインコーナーを作ってなごやかな雰囲気を作っている（河内長野）等の報告もありました。

◆職業奉仕部門

1. 「四つのテスト」

「四つのテスト」に関するロータリーソング

を月に1～2回歌う「四つのテスト」の旗を例会場中央に掲げる。「四つのテスト」を刻印したメモ・ペンシルを会員に配り、身につけてもらう(大阪)、「四つのテスト」を大きく印刷したものを会員の職場に掲示してもらう(松原)、「四つのテスト」の旗を作り例会に掲げている(八尾)、石碑を作ったり、文鎮、鏡等に刻印したものを配布した(河内長野)等々の報告がありました。

2. 職業奉仕活動

先輩クラブからこの点についての適切な講師を派遣して指導いただきたい(柏原)「四つのテスト」をクラブ発行の刊行物に必ず記載している(心斎橋)「職業奉仕の勘どころ」「職業奉仕委員へのお願い」等のパンフレットに尽きていると思うので充分参考にしてほしい(大阪)等の意見が出されました。

◇社会奉仕部門

1. 公害問題

公害の発生と社会への貢献のバランスを考え、社会発展を考えつつ公害を除去することに努めるべきである(大阪)。各企業において機械類の管理や使用方法を研究し、公害を起すものは取り去る勇気を持って(松原)等

2. 交通問題

個人としての道徳を守る一方、国や地方、公共団体に働きかけなければならないという意見が多数出されました。

◇青少年奉仕

1. 青少年といかに接するか

まず彼等を理解するよう努める。青年隊を作り軍事教練を行なっているが現在3,000人に達した。またバレーボール等を行なっている(河内長野)。青少年の運動会に参加、ボーイスカウト援助、青少年補導機関とともに繁華街を巡回等(柏原)、身体障害者の父母の会に出席ク

ラブとして協力、青少年の会合にも出席(松原)。大阪市には母子家庭が5,000あり市の予算では足りないので、ロータリアンに協力していただきたい。また飯盛山の青少年指導リーダー研修会に青年リーダーを送ってもらいたい(大阪)等。

2. インターアクト、ローターアクト

大阪RCより東高校のインターアクトクラブの実情について報告、リーダーよりインターアクト、ローターアクトクラブの設立のすすめがありました。

◇国際奉仕部門

世界社会奉仕(地区、クラブ、個人レベルにおける)

マッチド・クラブを通じて学用品、ミシン等を寄贈したり、会員の友人を通じて西アフリカの学校に金銭的援助等を行なった(八尾)。古切手収集による奉仕を行なっている(河内長野、松原)、また低開発国援助に関する情報がほしい(富田林)との要望もあり、塚本パストガバナーから、現在韓国で行いつつある世界社会奉仕の実情について説明がありました。

最後に尾形ガバナーから、熱心に討議された参加会員に対し感謝と、各自この成果をクラブに持ち帰って各クラブの一そうの活動に資するよう激励の言葉があり、17時20分「手に手つないで」の大合唱のもとI.C.G.Fの幕を閉じました。

—第8組 ホスト大阪西R.C.—

第366区第8組のI.C.G.F.は11月13日(土)新大阪ホテル会館に於てゼネラルリーダーに秦孝治郎パストガバナーを迎え、来賓に森寿五郎、原田秀雄、塚本義隆、絹川清、井関久楠各パストガバナーおよび大谷一雄ガバナーノミニーの御出席を得て行われました。参加人員は

大阪淀川18名、大阪天満橋11名、大阪西北14名
大阪城南23名、大阪東淀15名、大阪西37名計
118名で時節柄質素に設営された会議場において
議題は重点的に問題をしばって討議され意義
のある勉強会として終始致しました。

また開会から閉会まですべて時間通り正確に
運営が行われました。

まずホストクラブ納谷会長から開会の挨拶が
あり出席がバナーおよび来賓の紹介が行われ、
中西フォーラム委員長（西R.C.）から参加ク
ラブ紹介が行われました。

尾形ガバナーは、このフォーラムは最後の8
組であって新しいクラブも多いので問題も多い
と思う、勉強会として遠慮のない討議をされ、
特にきょうのこのフォーラムの成果を今後の各
クラブの運営面、実行面で活かしてもらいたい
と希望されました。

次に出席優秀旗は大阪淀川クラブに贈呈され
ました。引続き各部門別の討議にはいりました

◆クラブ奉仕部門

リーダー 鶴飼泰三郎（大阪東淀R.C.）

- 議題 (1) 卓 話
(2) ローター情報
(3) 出 席

の三点の実施状況について参加クラブの報告を
求め、またその可否につき討議されました。

◆社会奉仕部門

リーダー 井上敏寿（大阪城南R.C.）

- 議題 (1) 道路交通の問題
(2) 老人問題
(3) 緑化運動

については特に都市クラブの見地から大阪市の
各資料を土台に今後の活動方針について意見の
交換が行われました。

◆職業奉仕部門

リーダー 西村信夫（大阪西北R.C.）

議題 (1) ローターアンとして職業奉仕に徹
底するにはどうあるべきか。

(2) 「四つのテスト」を活用する方法

(3) 「職業奉仕採点表」による自己評
価について

上記のうち(3)の問題はロータリアン自らが自己
採点表に基づいて採点された評価を例証として
あげて発表されたが、ロータリークラブとして
の例えばアンケートを求めての平均採点の実施
成績は少なかった。

◆国際奉仕部門

リーダー 野瀬正儀（大阪淀川R.C.）

議題 (1) 交換学生制度

(2) 海外姉妹クラブ

(3) ローター財団計画との関連性

これらは主として啓蒙指導を重点に各クラブの
実施状況または将来に対する計画の有無につい
て意見の交換が行われました。

なおゲストとして招いた財団学友堀江正彦君
の感想がありました。

◆青少年奉仕部門

リーダー 松田 稔（大阪天満橋R.C.）

議題 (1) 青少年奉仕活動の効果的推進のた
めに

(2) ローターアクト・クラブを設立し
育成するために

例証をあげて活発な意欲的発言がありました。

最後に尾形ガバナーからはいろいろな勉強を
したが、これをクラブに持帰って実施に移して
ほしいと重ねて要望があり、少くともきょうの
フォーラムの内容を各クラブのそれぞれの例会
で会員全体に徹底してほしいと言及されまし
た。

また秦ゼネラルリーダーからはみのある
内容のある集まりであった。折角パストガバ
ナーも御出席であるから各パストガバナーから意

見を御教示下さいと挨拶されましたので、森パ
ストガバナーから公害問題についての更に前向
きの検討をしてほしい。また大谷ガバナーノミ
ニーからは青少年問題の重要性を強調されまし
た。

なお次年度開催のホストクラブは大阪淀川
R.C.と内定、吉川同会長の挨拶がありました。

最後にロータリーソング「手に手つないで」
を出席全員が力強く合唱して充実したフォーラ
ムを閉会しました。

◆青少年交換歓待委員会報告

去る9月16日に地区内各クラブの国際奉仕委
員長にご参集頂き、国際青少年交換につき意見
交換と、計画等の打合せを行いました。

その後のアンケートの結果地区の斡旋を希望
されるクラブは下記の通りです。

申込みは12月末で締切り、ご期待にそえるよ
う鋭意努力致しますから、ご希望のクラブは至
急ガバナー事務所までお申出下さい。

但し本年度の計画で長期（1ケ年間）交換は
既に決定致しておりますから、夏休みの短期の
みになります。

なお既にお申出のクラブにおいても、交換学
生の詳細につき、至急ご報告下さるようお願い
申し上げます。（委員長 古市 実）

地区内クラブの希望状況

クラブ名	交換希望先	期 間
岸和田	アメリカ、又はヨーロッパ	夏 休 み
大阪柏原	ヨーロッパ、アメリカ	冬 休 み
橋 本	ヨーロッパ、アメリカ	夏 休 み
枚 方	アメリカ、ヨーロッパ	1ケ年と夏休み
堺 南	ヨーロッパ、東南アジア	1ケ年と夏休み
大阪東	アメリカ、東南アジア	夏 休 み

和歌山	アメリカ、東南アジア	夏 休 み
大阪北	オーストラリア アメリカ、東南アジア	1ケ年間 夏 休 み
高 石	アメリカ	春又は夏休み
田 辺	アメリカ	冬 休 み
大阪淀川	アメリカ	夏 休 み
豊中南	ヨーロッパ	1ケ年間
大阪東淀	適当な機会があれば	
大 阪	オーストラリア	1ケ年間

現在実施又は折渉中の地区

相手地区	相 手 国	実施又は 交渉クラブ
595地区	アメリカ、ミネソタ	大阪南、枚方 実施中
629地区	アメリカ、ミシガン	
753地区	アメリカ、ウエストバー ジニア	大阪RC決定
755地区	(1972~73年の交換を希 望)	
260地区	オーストラリア、クイ ンズランド	大阪阪南RC 羊毛技術青年 交換計画交渉 中
263地区	オーストラリア、コーパ ルー	
280地区	“ アルバリー	
282地区	オーストラリア、デボン ポート	
294地区	ニュージーランド	

◆韓国蔚山クラブ親善訪問報告

(田辺 R. C.)

前々年度より懸案となっておりました蔚山ク
ラブとの交流は、時折りの雑誌の発送はもとよ
り、数回にわたる書簡による交渉も何ら音信な
く一方通行に終り、足踏みの状態にありまし
たが、今回当クラブの国際奉仕並びに親睦委員
会が姉妹クラブの訪問計画に際しまして、尾形ガ
バナーの格別のお力添えにより漸くその実現を
見ることができ、一同深く感謝致しておりま
す。

去る10月7日、橋本親睦委員長を団長に榎本三郎会長、小野寺前国際奉仕委員長他メンバー10名、合計13名は大阪空港13時20分発大韓航空機にて3泊4日の予定で出発しました。

釜山にて韓国側のお世話を頂いた朴総裁宅へ当方代表者3名挨拶に伺いましたところ、総裁には非常にご多忙の中を心よくご引見賜りました。尚朴総裁には、5日に例会を終えたばかりの蔚山R.C.に対し、私共の日程に合wash次の例会を繰上げ変更して、特別例会まで配慮頂いておりました。



翌8日韓国晴れに恵まれ、第1夜の海雲台温泉を早目に出発、目的地蔚山市へ予定より1時間余り早く着いたため、先に市内見学を済まし11時頃例会場モナコサロンに到着致しました。ところが先方の市長（ロータリアン）はじめ多くのメンバーが街はずれまで出迎えられた後に、行き違いとなったことが判明、前日クラブ事務所へした連絡が通じておらず大変恐縮しました。

例会場は人口16万の都市としてはやや手狭な感じでしたが、繁華街にあり、街では一番大きいようでした。エレクトーンの奏でるアリランの曲と沸き上がる拍手に迎えられた例会は、形式的には私共の例会と殆んど同じでしたが、韓国語のロータリー・ソングにやはり民族的なメロディーを感じました。また個人的対話は日本語で不自由しない方々ばかりでしたが、例会の進

行はもちろん、私共への挨拶も全部韓国語で通訳によりました。しかし例会そのものは正面に大きく張られた歓迎の横幕の通り、卒直に私共の訪問を歓迎してくれました。大変楽しく和気藹々として国際親善の実をあげることができました。

蔚山クラブは1964年10月7日の誕生で、丁度満7年、現在会員数は35名。蔚山の市勢は人口約16万、1962年に工業団地に指定されてより年間8%という韓国一の人口増加率を示し、現在精油、肥料等20余の大工場が生産、または建設中の新興都市であります。従ってメンバーの職業分類も土地柄、工場長とか建設関係が目立ちました。私共と比較して金融関係と医師関係が1人づつであるのはやはり国情でしょうか。

当クラブより蔚山クラブへの記念品として置時計を持参しましたが、その後毎例会に使用していると手紙を頂きました。その他当クラブのメンバーで作っているものを少しずつ手土産として持参致しましたところ、その中でミカンが最も珍らしく喜ばれました。私共は300年の伝統を誇るといわれる蔚山の特産、名物の長柄煙管を頂きました。

例会後全員新築の蔚山市庁舎に案内され、榎本会長は蔚山市のバツヂの贈呈を受けました。お互いに固い握手に名残りを惜しみつつ心からの歓迎に時間を忘れる程で、遂に慶州の見学を断念ソウルに急ぎました。かくして本当に有意義な親善旅行をすることができました。重ねて感謝申し上げます。

これまで一方通行であった便りも、その後は必ず丁重な返事がまいり、両クラブの交流が一步前進したものと確信いたします。唯少し残念なのは蔚山クラブは諸般の事情で会員が当地にこられないことです。韓国の諸事情から当分やむを得ないと思います。



◆東インド（第325区）への義捐金に対し R I からの礼状

貴地区のロータリークラブから第325区の救済資金への贈金として、とりまとめられた総額 1,686,322円 を在日 R I 財務代行者の佐藤喜一郎氏を通じて、R I へ送金の旨をお知らせ下さったジョージ、ミーンズ事務総長宛の11月4日付の貴信は、会計事項に関するため、小生に回付され拝承いたしました。この金額が1ドル：335円の為替換算基準にて 5,033.80米ドルに相当することは貴信に示された通りであります。在インドの R I 財務代行者に対しては、第325区のカバナー K. N. ムーカージー氏に宛て、5,033.80米ドルに相当する金額をインドのルピー貨で送金する権限をすでに与えましたことをお知らせします。

また、ムーカージー氏にも手紙を送って、財務代行者の Gibi Basu 氏から送金を受けた旨と、その資金の活用状況について貴台にご報告するように要請いたしました。

第366区各クラブが第325区の救済資金の呼びかけに応じて、多額の贈金をたまわったことに対して心から感謝の意を表します。

1971年11月17日

E. Wm. Bentley
(Comptroller R.I.)

◆和歌山ローターアクト・クラブ周年記念会

和歌山国体も成功裡に終わりました。この1年ローターアクト・クラブは街をきれいにする運動を起して、歩道橋や横断歩道の各所にタバコの吹がら入れを設置したり、休日を利用して全員で清掃したりしました。また古代人の住居あとである岩橋古墳群について郷土研究を行つた

りしているうちに、今年もはや11月となりました。そこでクラブの創立1周年（認証式は45年1月29日）を迎える記念会をしようと全員盛り、準備を整えて去る11月21日（日）に挙行しました。

当日は尾形ガバナー、井関直前ガバナーをはじめ地元の和歌山、和歌山東、和歌山東南各ロータリー・クラブ会長或は会長代理の方々のご臨席を賜りました。先づ尾形ガバナーより、ロータリーの真ずいをわかりやすく話して頂き、会員一同感銘を致しました。

ついで多くの祝辞をいただいて祝宴が和やかにすみました。午後はアトラクションに移り、社会、職業奉仕の各委員による似顔造りや、国際奉仕の委員によるフォークダンスなど、ご臨席の来賓方も輪になり楽しいひとときを持ちました。

この1周年記念会をきりめとして、今後益々盛りだくさんのムードの中に意義ある発展をめざして努力を重ねようと、ローターアクト会長太田宏之君から発言があって全員拍手のうちに会を閉じました。（和歌山 R. C. ローターアクト委員長 垣本喜代治）

◆新ポール・ハリス・フェロー誕生

ロータリー財団から11月15日付、飯沼剛君（堺 R. C.）、11月23日付尾形繁之君（堺 R. C.）にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。

◆半期報告についてご注意

各クラブは7月1日より12月31日までの各クラブの運営状況を反省し、その半期報告を R. I. 並びに地区ガバナーに提出することになっています。

従って各クラブは今から半期報告の準備をし

て下さい。猶分担金その他の送金等必要事項は月信 No 1 の年間行事カレンダーを参考にして手落ちのないようご注意ください。

◆雑誌週間 (Magazine Week)

1月23日から29日までを雑誌週間として、適切なプログラムをたてて下さい。

ザ・ロータリアン誌の11月号に、公式刊行物の1971年索引集についての公告が掲載されます。

ザ・ロータリアン誌の12月号第9ページの通告を注意してご覧下さい。

ザ・ロータリアン誌1月号には国際大会のホスト・クラブの総務委員長より、大会への招待、大会行事について記事が掲載されます。

◆お知らせ

枚方R.C.は47年1月5日より例会場を次の通り変更致します。

新例会場 枚方市大垣内町2丁目12番27号
(電話枚方43-5151)

枚方寝屋川商工会議所3階

泉南R.C.は仮クラブとして発足します。

例会場 泉南市榑井1671
(電話 07248-6601)

住友銀行泉南支店

◆異動並に訂正

ヒューストン大会委員会の委員中村正雄氏逝去につき、後任として山崎市次郎氏(塚)が委嘱されました。

前号に立法案検討委員会の委員として報告しました岡道一君は岡道固君の誤植につき訂正します。

その他出席報告の中で心齋橋R.C.、海南R.C.に誤植がありましたことをお詫び申し上げます。

◆ロータリーの文献

ロータリーの文献(日本語版)は国際ロータリー文献事務所(東京都千代田区丸の内3丁目4日石ビル4階)から100余種類のものが発行されています。

これをご覧になればよい訳であります、なかでも「手続要覧」、「奉仕の冒険」、「奉仕こそわがつとめ」、「平和への7つの道」が特に重要であります。

その他に日本のロータリアンの著書或は訳書で今でも入手出来るもので、すぐれたものが沢山あります。ご参考までに少し列挙しておきます。

- 1) 宮脇 富著(ロータリーの友発行)
『ロータリー問答』
- 2) ポール・ハリス著(ロータリーの友発行)
米山梅吉訳
『ロータリーの理想と友愛』
- 3) 小堀憲助著(鳳舎発行 350円)
『ロータリー・クラブ』
- 4) ガイ・ガンディカー著(田無R.C. 350円)
小堀憲助訳 送料55円
『ロータリー通解』
- 5) 直木太一郎著(神戸R.C. 300円)
『ロータリアン読本』
- 6) 森 光繁著(今治R.C. 200円)
『ロータリーの本』
- 7) 笹部 誠著(川崎R.C. 350円)
『ロータリーあれこれ』

その他柴田三郎著「ロータリアン読本」(金沢東R.C.)、直木太一郎著「われらのつどい」、「世界と共に」(神戸R.C.)等がありますが恐らく入手不可能と思えます。

是非各クラブで1冊宛ロータリー・ライブラリーとしてお備え下さるようお勤めします。

11 月 出 席 報 告

(Attendance Report for November)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	
1	大阪西南	3	69	+2	100.00	1	29	堺南	5	72	+2	96.34	24	
1	吹田	4	60	+1	100.00	2	30	貝塚	4	53	+1	96.082	9	
1	和泉	3	60	-2	100.00	10	31	八尾	3	53	-1	96.03	49	
1	橋本	4	57	+2	100.00	3	32	大阪東	4	96	+5	95.99	34	
1	河内長野	4	56	-	100.00	5	33	枚岡	4	42	+1	95.84	20	
6	大阪西北	4	53	+2	99.53	21	34	豊中	4	56	+1	59.83	32	
7	高石	4	47	+5	99.47	8	35	御坊	4	62	-2	95.77	54	
8	茨木	3	56	+7	99.28	5	36	池田	4	54	+3	95.16	33	
9	東大阪	3	59	-3	98.83	9	37	守口	3	53	-	94.87	42	
10	泉大津	4	72	+1	98.59	19	38	豊中南	4	33	+2	94.70	51	
11	枚方	4	51	-1	98.53	7	39	富田林	4	57	+1	94.64	37	
12	高槻	4	51	-2	98.50	6	40	大阪心斎橋	4	30	+1	94.17	39	
13	和歌山東	4	76	-2	98.34	18	41	堺	4	112	-1	94.04	28	
14	和歌山南	4	60	-	98.31	40	42	大阪住吉	4	73	-	93.81	43	
15	大阪天満橋	4	61	+3	97.89	30	43	大阪柏原	5	25	-1	93.60	22	
16	大阪淀川	4	69	+1	97.80	14	44	堺東南	4	34	+2	93.39	47	
17	岸和田	3	57	-1	97.66	11	45	田辺	4	68	-1	93.26	38	
18	大阪阪南	4	62	+8	97.58	15	46	粉河	3	29	-1	93.25	48	
19	松原	4	50	-2	97.50	12	47	大阪北	3	169	+2	93.16	50	
19	箕面	4	30	+2	97.50	27	48	海南	3	58	+1	92.98	41	
21	和歌山	4	94	-	97.47	26	49	大東	4	40	+4	91.88	25	
22	新宮	3	53	+1	97.44	23	50	摂津	4	32	+1	91.31	16	
23	和歌山東南	4	34	+10	97.06	45	51	門真	4	25	-	91.00	44	
24	大阪城南	4	50	+3	97.00	31	52	寝屋川	4	28	+3	90.18	52	
25	泉佐野	4	50	-10	96.91	17	53	大阪	4	301	+2	89.56	53	
26	大阪南	4	153	-	96.86	36	54	白浜	4	41	-	89.03	46	
27	有田	4	51	+2	96.57	13	55	那智勝浦	4	34	-	84.85	56	
28	大阪西	5	93	-2	96.51	35	56	大阪東淀	5	35	+4	84.82	55	
平均出席率				95.65 %	合 計				217	3,499	+54			



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電 話 0722-21-9456
私 書 箱 堺局第25号(〒590)

第8号 昭和47年1月15日 ガバナー月信 No.8 January 15, 1972

ロータリーの棚卸し、—1972年を迎えて—

尾 形 繁 之

明けましておめでとうございます。新年をむかえて、本年度も後半期にはいりました。

公式訪問とICGFにあけくれた前半期は私にとってかなりの強行軍でありました。しかし終始みなさまの善意と誠意に心身を支えられて、大過なく務めを果させていただきました。厚くお礼申し上げます。

さて、RI事務総長からの近信に、「1月はロータリーの棚卸し……クラブ、ロータリアン、進行中の活動、完遂した事業の検討と評定……を行ない、RI会長の示された本年度の目標……善意を行動に移す奉仕……が会務、職業、社会、国際の各部門にあって、はたしてどれだけ実践され、どれほどの効果をあげ得たかを確かめつつ、後半期の計画の充実、推進、強調を要する点をみきわめる時期である」とあります。

年頭にあたって、貴クラブも、このロータリーの棚卸しをぜひ実行して下さい。

次に、第366区としての棚卸しの結果を、紙幅の関係上きわめて簡約にのべます。前半期の経過からみて、新RCとRACの結成、出席率の向上、世界社会奉仕の実行、青少年の交換、財団の奨学生派遣と学友の活動、地区大会の準備(別掲参照)などは、ほぼ順調に進んでおります。これに反して会員増強と財団寄付は、現在までのところ、残念ながら昨年同期の実績よりかなり低調であります。新IAC結成への動きにも、まだ目立つものがありません。

会長、幹事さま。地区の実績は各クラブの実績の総合を反映するものといえましょう。貴クラブの棚卸し結果を検討されて、後半期の拡充進展に備えられるようにぜひお願い申し上げます。



地区年次大会 特報

実り多き地区大会へご協力を!

ガバナー 尾形 繁之

地区大会の目的が親睦をかねて、地区並に国際ロータリーに関する問題を全般的に討論することにより、ロータリーの綱領を推進することには周知の通りであります。

本年度の大会に重責を担われるR I 会長代理は、別記のようにすでに確定し、会場の設営とプログラムも、ホストの高槻RCを中心とした関係者各位の熱意と努力によって、準備万端とのいました。

地区の各クラブの会員と家族が、できるだけ多勢参加されて、ぜひこの大会を盛りあげ、実り多きものとされるよう、ご協力を願います。

◆大会準備委員会よりご案内

既にたびたびご案内の通り来る3月4日、5日の両日1971~72年度 第366地区年次大会が開催されます。尾形ガバナーのご立案、指導のもとに、高槻R. C. がホストクラブとなり、コホストクラブ吹田、茨木、枚方、守口、門真、寝屋川、摂津7 R. C. の善意あるご援助のもと、その準備に全力を挙げております。

地区大会の目的は地区ならびにロータリー全般に関する問題を研究、討論することにより、ロータリーのプログラムを推進し、併せて地区の会員並びに家族の親睦をはかるものであります。この目的完遂のために、ブライツホルツ R. I. 会長のメッセージ「善意は先づあなたから」をテーマに盛大かつ、意義ある大会にいたしたいものと念願いたしております。

次に具体的なプログラムが決定致しましたの

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先づ あなたから

アンスト G. ブライツホルツ会長

でお知らせします。10月に開かれた 第365地区の年次大会では出席率64.8%でありました。当地区もより以上の参加をお願いします。

R. I. 会長代理は湯浅恭三氏



このたびブライツホルツ国際ロータリー会長から、昭和47年3月4~5日の高槻市にて開催予定の1971~72年度 第366地区年次大会の際の国際ロータリー会長代理として、国際ロータリー理事湯浅恭三氏を指名した旨の公文が参りました。

次に湯浅恭三氏の略歴を紹介申し上げます。

(1)ロータリー歴

昭和6~12年 神戸ロータリー・クラブ会員

昭和12～23年 大阪ロータリー・クラブ会員
 昭和23年以来 東京ロータリー・クラブ会員
 昭和32～33年 東京ロータリー・クラブ副会長
 昭和34～35年 東京ロータリー・クラブ会長
 昭和37～38年 第358地区ガバナー
 昭和38～41年 国際ロータリー立法手続制定委員
 昭和43～45年 ロータリー財団管理委員
 昭和46～48年 国際ロータリー理事

(2) 学歴

大正13年3月 東京帝国大学司法科卒業
 昭和2年5月 英国留学 インナーテンプル法学院卒業
 パリスター・アト・ローの称号を受ける

(3) 略歴

昭和3年11月 大阪市及び神戸市において弁護士を開業
 昭和27年 東京都山武ハネウエル計器株式会社取締役
 に就任、同44年退任と同時に同社監査役に就任現在に至る

昭和29年10月 日本ゼネラルモーターズ株式会社取締役
 に就任現在に至る
 昭和34年5月 学校法人国際基督教大学理事に就任
 現在に至る
 昭和40年1月 財団法人神戸女学院理事に就任
 現在に至る
 昭和40年5月 学校法人国際基督教大学評議員
 会議長に就任現在に至る
 昭和43年2月 北米合衆国シカゴ市ジョン・マーシャル
 法学院より名誉法学博士(LLD)の称号を授けら
 れる
 同年11月 日本キリスト教青年会同盟維持財団
 理事長に就任現在に至る
 昭和44年 東京キリスト教青年会理事長に
 就任現在に至る
 同年4月 日本弁理士会会長に就任、同45
 年3月退任
 同年6月 東京キリスト教青年会維持財団
 理事長就任現在に至る

(4) 賞罰

昭和46年11月 勲三等瑞宝章を授与さる

CONTENTS

目次

Inventory of Rotary 1
 Dr. Kyozo Yuasa, as RI President's
 Representative to District Conference ... 2
 Program of District Conference 4
 Report of W. C. S. Committee 8
 District Vocational Service Week 9
 Report of Group Study Exchange Committee 9
 New Paul Harris Fellows 9
 Appointment of Governor's Special
 Representatives to New Clubs 10
 List of Governor Nominees for
 1972-73 of Japanese Districts 10
 Candidate of Governor Nominee for
 1973-74 declared 11
 Attendance Report for December 12

ロータリーの棚卸し 1
 年次大会RI会長代理 湯浅恭三氏に決定 2
 年次大会プログラム 4
 世界社会奉仕委員会報告 8
 地区職業奉仕週間 9
 研究グループ委員会報告 9
 新ポール・ハリス・フエロー 9
 新クラブの結成特別代表の委嘱 10
 各地区1972～73年度ガバナー・ノミネー一覧 10
 1973～74年度ガバナー・ノミネー候補者指名 11
 12月出席報告 12



大会会場 高槻市民会館

1971—1972年 国際ロータリー第366区 年次大会プログラム

前夜懇談会 昭和47年3月3日（金）新阪急ホテル

15.30~16.00	登録		
16.00	開会	大会幹事	田宮 佐
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソング・リーダー	入江 輝彦
	挨拶	ガバナー	尾形 繁之
	R I会長代理及び来賓紹介	ガバナー	尾形 繁之
	挨拶	R I会長代理	湯浅 恭三
16.15	協議及び懇談	リーダー（直前ガバナー）	井関 久楠
17.45	挨拶	大会委員長	松本 三郎
	ロータリーソング「我等の生業」	ソング・リーダー	入江 輝彦
	お知らせ	大会SAA	長束 良雄
17.55	休憩（15分）		
18.10	食事（50分）		
19.00	ロータリーソング「手に手つないで」	ソング・リーダー	入江 輝彦

大会第1日 昭和47年3月4日（土）高槻市市民会館

9.00~9.50	登録		
10.00	ファンファーレ	阪急少年音楽隊	
	開会	大会SAA	長束 良雄
	君が代	ソング・リーダー	入江 輝彦
	ロータリーソング「奉仕の理想」	“	“
10.10	開会の辞	大会委員長	松本 三郎

10.15	R I 会長代理及び来賓紹介 新クラブ紹介	ガバナー "	尾形 繁之 "
10.25	歓迎の辞 挨拶、地区情況報告 来賓祝辞 祝電披露	ホストクラブ会長 ガバナー 高槻市市長 大会 S A A	村田 利之 尾形 繁之 吉田 得三 長束 良雄
11.00	メッセージ	R I 会長代理	湯浅 恭三
11.30	信任状委員会報告 出席優秀クラブ表彰 井関直前ガバナーへ記念品贈呈	信任状委員長 ガバナー "	井川 定慶 尾形 繁之 "
11.50	お知らせ	大会 S A A	長束 良雄
12.00	休憩 昼食		
13.00	部門別協議会 クラブ奉仕 A (カウンセラー：井関 久楠) クラブ奉仕 B (カウンセラー：絹川 清) 職業奉仕 (カウンセラー：森 寿五郎) 社会奉仕 (カウンセラー：山岸勇次郎) 青少年奉仕 (カウンセラー：緒方 準一) 国際奉仕 (カウンセラー：塚本 義隆) ロータリー財団 (カウンセラー：原田 秀雄) 大会場に残る会員と御家族のための時間 雑誌「ロータリーの友」懇談会	リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー リーダー 副リーダー	雑賀 孝夫 (和歌山) 島沢 良治 (和歌山) 倉石治七郎 (大阪住吉) 木下 裕康 (大阪住吉) 桧原 敏郎 (大阪南) 菱川 正夫 (大阪南) 杉本萬五郎 (八尾) 野村 正吉 (八尾) 松田 稔 (大阪天満橋) 中野 芳樹 (大阪天満橋) 木川田正毅 (堺) 住吉 勝也 (堺) 今田忠兵衛 (大阪東) 川本新之助 (大阪東) 今井 龍雄 (大阪)
14.30	ロータリーソング「それでこそロータリー」 物故会員に対する黙禱	ガバナー	入江 輝彦 尾形 繁之
14.35	講演「高山右近」	松田毅一氏	
15.40	登録委員会報告 選挙委員会報告 ガバナーノミニー紹介 ガバナーノミニー挨拶	登録委員長 選挙委員長 ガバナー	川崎 友正 (高槻) 吉原 政義 (池田) 尾形 繁之

16.00	R I会長代理夫妻へ記念品贈呈 ロータリーソング「限りなき道ロータリー」 お知らせ	ガバナー 大会SAA	尾形 繁之 入江 輝彦 長束 良雄
16.10	余 興	出演者	ダークダックス ペギー葉山 宝塚歌劇団 新芸座 赤い鳥
		司 会	田代美代子 三国 一郎
17.30	散 会		
18.30	希望晩餐会	新阪急ホテル	
20.00	散 会		

大会第2日 昭和47年3月5日(日) 高槻市市民会館

9.30	開 会	大会SAA	長束 良雄
	ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」		鈴木 武男
9.35	クラブ奉仕A部門協議会報告	リーダー	雑賀 孝夫(和歌山)
	クラブ奉仕B部門協議会報告	リーダー	倉石治七郎(大阪住吉)
	職業奉仕部門協議会報告	リーダー	桧原 敏郎(大阪南)
	社会奉仕部門協議会報告	リーダー	杉本萬五郎(八尾)
	青少年奉仕部門協議会報告	リーダー	松田 稔(大阪天満橋)
	国際奉仕部門協議会報告	リーダー	木川田正毅(堺)
	世界社会奉仕について	パストガバナー	塚本 義隆
	ロータリー財団部門協議会報告	リーダー	今田忠兵衛(大阪東)
	ロータリー財団について	パストガバナー	原田 秀雄
	ポールハリス賞授与	ガバナー	尾形 繁之
	アーチクラフ賞授与	ロータリー財団管理委員	東ヶ崎 潔
	1500%クラブ表彰	" "	" "
11.25	決議委員会報告	決議委員長	浅田 敏章(大阪)
	同上採決	ガバナー	尾形 繁之
11.35	研究グループ交換派遣生代表報告		
	ロータリーフェロー代表挨拶		
	米山奨学生代表挨拶		
	ロータアクトクラブ代表挨拶		
	インターアクトクラブ代表挨拶		
12.25	R. I. 現況報告	R. I. 会長代理	湯浅 恭三
12.45	参加クラブ代表挨拶		

12.50	次年度大会開催地会長挨拶	
12.55	挨拶	ガバナー 尾形 繁之
13.05	閉会の辞	大会副委員長 小島 秋
	ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー 鈴木 武男
	蛍の光	
13.20	サヨナラ・パーティ	
14.00	散会	

特別講演「高山右近」

文学博士 松田毅一氏



摂津高槻は、織豊時代にキリシタン大名高山右近が城主として領有し、わずか10余年であるが、日本に於ける珍しい国際的都市として、長崎と共に西欧キ

リスト教世界に雄名をとどろかせたところである。

この由緒ある史跡の街に於て、400年の昔絢爛と華咲いた南蛮文化を回想することは、本大会が国際的雰囲気の中に挙行され、ロータリーが東西社会の相互理解と、世界平和に貢献するところ多大なるに鑑み、時宜を得たるものと考ええる。

南蛮文化とは何か、キリシタンとは何か、当

時の高槻をふくめた上方、いわゆる天下の政治、経済、文化の諸様相について解説する。

荣誉あるこの機会を与えられた私は、先に南蛮人の母国から極東の日本まで、往時と同じ道を、舟と飛行機によって二度たどってみた。

そして常に東西文明の接点と融和の道を考えて続けて来た。そうしたことを、栄光と受難の生涯を送った旧高槻城主高山右近を中心に、皆さん方とこの地で、ご一緒に考えてみたいと思います。

講演者紹介

現在清泉女子大学教授、兼天理大学及び横浜国立大学講師、日本古文書学会評議員

ポルトガル国立海外史研究所員、キリスト教史学会理事

ポルトガル政府よりコメンダドール・ダオルデン・デ・インファンテ・ドン・エンリケ勲章を受ける

著書として「近世初期日本関係、南蛮史料の研究」外多数あり。

◆泉南R.C. 認証さる

1月4日付書翰により、泉南仮R.C.は12月30日付正式に国際ロータリー加盟を承認された旨通知がありました。

◆お知らせ

心斎橋R.C.は12月1日より下記の所に事務

局を移転致しました。尚、例会場は変更ありません。

新事務所

大阪市南区西清水町16

大丸本部分室

電話06-271-9251（内線262）

◆世界社会奉仕委員会報告

—8,000ドルを3地区へ贈る—

本年度の世界社会奉仕計画として今まで取りあげたのは、第376地区(韓国)、第345地区(香港)、第330地区(マレーシア・タイ国)を相手とする8件であります。これはすべてクラブ・レベルで実行してもらうことにしました。すなわち次ぎのとおりです。

(1) 大邱東R.C.のプロジェクトによる貧農の生活水準向上のために養豚を計画する資金として米貨1,000ドルを援助する。(R.I.登録No.476) これには和歌山東クラブを世話役として和歌山、海南、有田、粉河、橋本各R.C.が参加する。この6クラブの会員数360人。

(2) 大邱南R.C.の企画によって大邱市内南部に児童運動場をつくり(1,500坪)各種の運動用具を備えつける。この資金の一部として米貨1,000ドルを援助する。(R.I.登録No.524) 和歌山南が世話クラブを引受け、これに和歌山東南、御坊、田辺、白浜、那智勝浦、新宮各R.C.が参加、この7クラブの合計会員数は353人。

(3) 香港R.C.の企画による身障少年の職業訓練センター“The Kwun Tong Vocational Training Center”に対する援助のうち、時計修理工学級3人分の2カ年養成費として米貨990ドルを援助する。(R.I.登録No.619) これには大阪東クラブが世話役となり、大阪住吉、大阪天満橋、大阪阪南、大阪西北の各R.C.が参加する。この5クラブの会員数は338人。

(4) 香港の前記身障少年の職業訓練センターに対する今一つの援助として、耳の悪い少年見習工学級の6人分1カ年養成費に米貨990ドルを援助する。(R.I.登録No.619) これは大阪西R.C.が世話役を担当し、大阪淀川、大阪西南、大阪東淀、大阪心斎橋の各R.C.が参加。

この6クラブの合計会員数336人。

(5) Kota Bharu R.C.(マレーシア)の企画による交通造園の建設を援助してミニ・カー6台を贈る。道路交通安全のために8歳から12歳の子どもの訓練を目的とするもので援助額は米貨1,000ドル。(R.I.登録No.154) これは池田クラブが世話役に当り、茨木、箕面、摂津、吹田、高槻、豊中、豊中南の各R.C.が参加する。この8R.C.の合計会員数368人。

(6) Pudu R.C.(マレーシア)の企画により神経外科病院の医師用に訓練映画ライブラリーを新設するので、フィルム数本を寄贈する。一本の価格米貨100~495ドル。この購入費として1,000米ドルを援助。(R.I.登録No.824) これは、東大阪R.C.を世話役とし、大東、枚方、枚岡、門真、松原、守口、寝屋川の各R.C.が参加。この8クラブ会員合計351人。

(7) Kuala Lumpur R.C.(マレーシア)の企画による退院後の在宅患者のためアフター・ケア巡回看護婦1人追加、雇用費年額1,500米ドルを援助する。(R.I.登録No.811) これは泉大津クラブを世話役とし、和泉、貝塚、河内長野、岸和田、大阪柏原、高石、富田林、八尾の各R.C.が参加する。この10クラブ合計会員535人。

(8) Chiengrai R.C.(タイ国)の企画による同地方高原族の学生に養鶏、養魚(池)を村の学校で教え、職業訓練する費用として米貨550ドルを援助する。(R.I.未登録) これには堺R.C.を世話クラブとして堺南、堺東南が参加する。3クラブ合計会員数217人。

上記8件(3地区)のWCS援助に当るのは合計53クラブ、会員数2,858人、援助総額は米貨8,030ドルであります。残余の当地区内クラブは大阪、大阪北、大阪南の3R.C.で、その会員数623人ですが、この分については目下検討中です。

(WCS委員長 塚本義隆)

◆職業奉仕週間の実施について

当第366区の職業奉仕週間を設立して、これを実施することは、すでに公式訪問の際に各クラブの協議会の席上にて予告上げました。

ついではその期間と行事、プログラムなどを昨年12月17日開催の地区職業奉仕部門委員会において次の通り決定致しました。

- 1) 実施期間：ロータリー創立記念日（2月23日）を含む2月20日（日）～26日（土）の1週間とする。
- 2) 行事、プログラム：次の各項を参考にして、貴クラブにおいて適当な企画と準備をすること。
 - (イ) 例会卓話：職業奉仕の理論、体験を中心として
 - (ロ) クラブ・レベル・フォーラム：「職業奉仕の勤どころ」（既に配布）、「Four Way Testは前進する」（近く大阪R.C.より発刊（などを資料として、特定のテーマを定め、会員各位が準備して参加すること
 - (ハ) 職業奉仕採点表：この標準的な職業奉仕採点表の20項目を取捨して貴クラブに適した採点表を作って実施すること（「職業奉仕の勤どころ」79～83頁参照）
- (ニ) 職業奉仕の事例の調査と報告：貴クラブの会員個人の職業奉仕活動にて感銘の深い事例があれば調査の上、ガバナー宛お知らせ下さい。それを集めて小冊子を刊行の計画です。（この項目は必ずしも、週間とかわることはありません。本年度中に刊行しうよう締切は3月末とします）

なおこの週間に実施の結果については、今後の参考資料として活用いたしたく存じますからその要約を必ずガバナーまでお知らせ下さるべく願ひ申し上げます。

◆第1回研究グループ交換委員会

日時 昭和46年12月2日

場所 尾形ガバナー事務所にて

出席人員 尾形ガバナー 大谷委員 木川田委員 山崎委員 西川委員長

議題 1972—73年度に於ける 当366地区の研究グループ交換の相手地区の詮衡。

第一候補として第536地区即ち Canada,

Alberta 州 Edmonton 市を中心とし地区に於ける Rotary Club の数は41、member数2,399名。

本地区は近年資源開発も盛んで、日本との交換研究には適当と考えられるので直ちに先方の意向を尋ねることに決定した。

先方のガバナー、Mr. Walter L. Wright に出状をした。当地区は Alberta 州、British Columbia 州、Saskatchewan 州 及び Northwest Territoriesの一部となっている。

当グループ交換の申込は本部に於て来年即ち1972年4月1日締切となっている。

第366地区グループ交換に関しては、ガバナー事務所より各ロータリークラブに対してその賛否を照会し、その3分の2以上の賛同を得るべく努力中である。

附記 12月20日現在、地区56クラブの3分の2以上のご賛同を戴きました。

(委員長 西川武四郎)

◆新ポール・ハリス・フェロー誕生

ロータリー財団から12月2日付、島岡信治郎君（大阪東R.C.）、12月8日付、樋口吉平君（大東R.C.）松下幸之助君（大阪R.C.）北野誠治君（堺南R.C.）にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。心よりお慶び申し上げますと共に、更に多くのポール・ハリス・フェローの誕生を期待します。

◆新クラブの特別代表を委嘱

次の諸君を新クラブ設立準備のため、ガバナー特別代表として委嘱しました。この内、東条仁進君のご努力により泉南R.C.は既に11月26日創立総会を開き仮クラブとなりました。

東条 仁進君（泉佐野）
 大原 正蔵君（豊 中）
 多屋 良三君（東大阪）
 阪の上健一君（ 堺 ）
 辻本 昇君（堺 南）

◆訂正とお願い

月信第7号掲載の11月出席報告の中粉河クラ

ブの出席率93.25%を94.25%と訂正します。従って順位は46位から40位に上りますので、40位大阪心斎橋から45位田辺までが1段づつ順位が下がります。

出席報告について重ねてお願い

再三お願いしているに拘らず出席報告の遅れるクラブがあります。毎月8日必着で出席報告をお願いする理由は、ガバナー事務所で集計の上、ロータリーの友へ13日必着、R.I.本部に17日必着で報告しなければなりません。従って締切後の訂正は致しかねることもありますのでそのような事のないように、ご協力お願い致します。

1972～73年度 ガバナーノミニ一覽

地区	氏名(所属クラブ)	生年月日	職業分類	住 所	〒	でんわ
350	松井 幸雄(茅 室)	1908	歯 科 医	北海道茅室町東一条1丁目 松井歯科医院内	082	015562-2055
351	塩谷 猛(札幌西)	1919	石 炭 礦 業	札幌市南2条西8丁目13 小柳ビル内	060	261-6391
352	村井 幸吉(八 戸)	1912	(酒 類 販 売)	青森県八戸市十三日町2	031	0178-22-4171
353	飯島 隆俊(平)	1907	(砕 石 業)	福島県いわき市内郷御匠町久世原 202-1	973	0246-26-2860
355	岩瀬 圭一(土 浦)	1900	(農 業)	土浦市内西町3 常陽銀行土浦支店内	300	22-3211
356	白勢 誠一(新 塚)	1919	(アイスリーム 販売)	新潟市本町通八番町 白勢第一ビル内	951	23-4151
357	半田 利一(浦 和)	1914	(ビルディング 経営)	浦和市仲町1-4-10 商工ビル内	336	22-3570
358	鈴木 達雄(東京西)	1910	(男子用シャツ 製造)	港区赤坂葵町 ホテルオークラ 東京西RC気付	107	585-0390
359	石川 吉(川 崎)	1906	(電気器具配布)	川崎市駅前本町11-2 川崎商工会議所5階	210	044-23-8903
360	山本 貞(豊 橋)	1909	(漁 具 製 造)	愛知県豊橋市前田南町17	440	54-1111
361	若松 徳衛(伊 勢)	1910	(旅 館)	伊勢市岩添一丁目3-19 真珠会館内	516	05963-8-1541
365	田中 豊(京都南)	1902	(石 炭 製 造)	下京区烏丸七条下東塩小路町 京都タワーホテル内	600	313-5131
366	大谷 一雄(大阪西)	1902	(アルミニウム 精錬)	大阪市北区堂島浜通1-25-1	530	06-344-1451
367	入交太兵衛(高 知)	1901	(合 全 鉄 製 造)	高知市大川筋鷹匠2 三翠園ホテル内	7 80	22-0131
368	古河 滋(西宮甲子園)	1963	(飛行機製造)	西宮市和上町2-7 大和銀行西宮支店内	662	34-7500
369	石田 辰巳(岡山南)	1903	(建 築)	岡山市絵図町1-40 榊松本組内	700	(直)53-1183
370	立花 和雄(柳 川)	1907	(観 光 事 業)	福岡県柳川市新外町1	832	09447-2-2189
373	東 博仁(熊本東)	1899	(電気通信工事)	熊本市九品寺3-15-7 西日本通信建設㈱内	862	66-3151

74
◆1973～74年度 第366区

ガバナー・ノミネー候補者



国際ロータリー細則第13条第5項(ハ)項に基づき、第366区1973～74年度のガバナー・ノミネー候補者を選考するため昨年12月25日、本地区ガバナー指名委員会(委員長 井関久楠)の各委員が出席して、慎重に審議の結果、高槻ロータリー・クラブ会員田宮佐君(たみやたく)を全員一致推薦いたしました。

もし他の候補者を推薦されるクラブがある場合には、候補者指名に関する例会における採択決議案を、来る1月31日までにガバナーへご提出下さい。

指定の期日までに候補者推薦の決議案の提出がなければガバナーは、「地区指名委員会」の推薦した候補者をもって、本地区の1973～74年度ガバナー被指名者たるべきことを宣言いたします。

田宮佐君の略歴は次の通りであります。

田宮佐君 略歴

(Tasuku Tamiya)

生年月日 1917年2月23日
本籍 大阪府高槻市芥川町3丁目282
現住所 大阪府高槻市芥川町3丁目6番4号
(電話0726-85-0035)

最終学歴

1941年3月 東京医学専門学校卒業

職歴

1941年4月 東京都杉並病院外科勤務

1942年3月 応召

1946年6月 召集解除

1946年7月 高槻市芥川町3丁目6番4号に
田宮病院開設

1951年4月 大阪市立医科大学に研究生として
在籍

1953年4月 高槻市医師会々長に就任

1958年3月 高槻市医師会々長を辞任

1960年3月 医学博士の学位を受く

1971年4月 高槻市医師会附属看護学院院
長に就任

ロータリー歴

1955年1月 高槻R.C.入会

1956～57年 高槻R.C.幹事

1957～58年 同上

1960～61年 高槻R.C.会長

1960～61年 特別代表として守口R.C.を設
立す

1965～66年 第365区ロータリー財団 専門的
訓練担当委員長

1966～67年 同上委員

1971～72年 第366区年次大会幹事

(現在シニヤ・アクチブ会員、旧分類 外科
医)

12 月 出 席 報 告

(Attendance Report for December)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	5	73	+6	100.00	1	29	高 槻	5	51	-2	96.00	12
1	東 大阪	5	59	-3	100.00	9	30	池 田	4	54	+3	95.83	36
1	橋 本	5	57	+2	100.00	1	31	岸 和 田	5	58	-	95.52	17
1	河内長野	5	56	-	100.00	1	32	富 田 林	5	58	+2	95.44	39
5	高 石	4	47	+5	99.47	7	33	堺 東 南	5	35	+3	95.41	45
6	吹 田	5	61	+2	99.34	1	34	大 阪 南	4	153	-	95.37	26
7	豊 中	4	57	+2	99.09	34	35	御 坊	5	62	-2	95.21	35
8	泉 大 津	5	74	+3	98.63	10	36	堺 南	4	71	+1	95.00	29
9	枚 方	4	51	-1	98.53	11	36	大 阪 柏 原	4	25	-1	95.00	44
10	和歌山東南	4	33	+9	98.49	23	38	八 尾	5	56	+2	94.70	31
11	大阪阪南	4	62	+8	98.39	18	39	大 阪 城 南	5	50	+3	94.00	24
12	和 泉	5	60	-2	98.28	1	40	豊 中 南	5	33	+2	93.94	38
13	和 歌 山	4	94	-	98.04	21	41	大 阪 住 吉	5	72	-1	93.92	43
13	泉 佐 野	5	51	-9	98.04	25	42	大 阪 北	5	167	-	93.67	47
15	松 原	4	51	-1	98.03	19	43	貝 塚	4	53	+1	93.63	30
16	大阪淀川	5	68	-	97.91	16	44	門 真	5	25	-	93.60	51
17	和歌山東	5	76	-2	97.60	13	45	和 歌 山 南	5	59	-1	93.45	14
18	大阪西北	4	53	+2	97.19	6	46	海 南	5	58	+1	92.98	48
19	大阪天満橋	4	61	+3	97.13	15	47	守 口	5	53	-	92.69	37
20	茨 木	5	58	+9	97.09	8	48	摂 津	5	32	+1	92.58	50
21	新 宮	5	53	+1	96.92	22	49	寝 屋 川	5	28	+3	92.14	52
22	箕 面	5	32	+4	96.83	19	50	田 辺	5	70	+1	92.00	46
23	大阪心斎橋	4	31	+2	96.72	41	51	白 浜	4	40	-1	91.88	54
24	大 阪 西	4	93	-2	96.70	28	52	大 東	4	39	+3	91.84	49
25	枚 岡	5	42	+1	96.67	33	53	大 阪	5	300	+1	91.16	53
26	大 阪 東	5	97	+6	96.43	32	54	粉 河	5	29	-1	90.35	40
27	堺	5	112	-1	96.15	42	55	那智勝浦	5	34	-	83.64	55
28	有 田	5	51	+2	96.08	27	56	大 阪 東 淀	4	40	+9	82.77	56
平均出席率				95.49 %									
合 計				261 3,518 +73									



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box, 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局第25号(〒590)

第9号 昭和47年2月15日 ガバナー月信 No. 9 February 15, 1972

1972~73年度の地区協議会

一会期は2日間、出席義務者は9名一

ガバナー 尾 形 繁 之

本年の地区協議会は大阪西RCをホストとして、来る6月24日(土)25日(日)の両日、新大阪ホテルにおいて開くことを決定いたしました。

会期が2日間にわたるのは、RI理事会が新年度に備えて、本年から次期会長並に幹事のためには丸2日間、他の出席義務役員は第2日だけ参加するよう地区協議会のプログラムを改めたからであります。また出席義務者はこれまで、会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕の各部門担当の理事とロータリー財団委員長および会報編集者の8名でありましたが、本年はこれに会員増強委員長を加えた9名となりました。

更にRI理事会は各RCにおいて、次期のクラブ会長と幹事がこの地区協議会に出席することを必須の条件とする方針を設け、この方針を

次期役員選挙を行う前に各候補者が承知しておくことを推奨しておりますから、ご注意願います。

地区協議会に参加される次期クラブ役員は、大谷一雄次期ガバナーの年度に、各RCのリーダーとして活躍される方々であります。私は次期ガバナーと次期クラブ役員が一堂に集って新年度への準備を整えられるこの協議会を通じて、次期役員各位が十分な収穫をおさめられるように、ホストクラブに協力して遺漏のないよう準備に努めます。

各RCにおかれても、なるべく早い目に次期各役員の陣容を整えられ、出席義務者はそれぞれの任務に対する予備知識とクラブ当面の課題、問題点などを充分把握されて、ご参加下さるようお願いいたします。

◆ R. I. 会長(1973~74)候補の指名



ウィリアム・C. カーター

した。

William C Carter 氏の略歴

ウィリアム C. カーター氏は1949年以来英国ロンドンのバターシー R. C. の会員であり、元会長であります。

彼は国際ロータリーの第1副会長、理事、理事会の執行委員会の議長、地区ガバナー、各種委員会の委員長、委員としてロータリーに奉仕しました。

最近では1972年の R. I. 立法案審議会の議長、ロータリー財団管理委員、ロータリー財団管理委員会の財務、運用委員であります。

彼は英国ランカシア、フリクストンの生れでマールボロー・カレッヂ及びシェフィールド大学を卒業し、ジョージ H. ギブソン法律事務所共同経営者であります。

バターシー商工会議所の名誉法律顧問であり、オールド・マールバリアン協会の終身会員であります。

◆ R. I. 事務総長の交替

1952年12月以来第3代R. I. 事務総長として長くその職にあったジョージ R. ミーンズ氏は、1972年2月1日をもって引退し、ハリー・A. スチュワート氏が第4代R. I. 事務総長に

1973~74年度 R. I. 会長候補指名委員会は、1972年1月13日付をもって R. I. 細則に従って William C. Carter 氏を会長候補に指名した旨発表致しました。

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. フライトホルツ会長

就任されました。

ハリー A. スチュワート氏新任

スチュワート氏は R. I. 事務局勤務35年の経歴を持ち、事務局の運営に重要な役割を果たして来た人です。



1960年以来副事務総長としてミ

ハリー A. スチュワート
ンズ前総長を補佐してきましたが、昨年5月の R. I. 理事会において、ミーンズ氏の後任に選ばれたもの、1951年以来シカゴ R. C. 会員であります。

なお R. I. 事務局に入局したのは1936年4月で、それ以後クラブ、プログラムの各部に勤務したほか、国際大会のアシスタント・マネジャーを務め、12年前副事務総長に就任の直前は、事務総長常務補佐役の職にありました。

この長年の経験により、スチュワート氏は事務局の内部及び実務に精通しているのみでなく、全世界のロータリーの運営状況にも通じております。

なお第2次大戦中は、米国空軍に入隊して5年間兵役にあり、空軍少佐で退役、鋭い分析的精神、問題解決および即時実行の能力にすぐれ、役員ならびに一般のロータリアンはもとより事務局職員からも尊敬されています。

ジョージ R. ミーンズ氏退任



ジョージ R. ミーンズ

ジョージ R. ミーンズ氏は1935年ロータリー中央事務局員となり、各般の任務を歴任し、1952年、初代チェスリー・ペリー氏（1942～52）2代 フィリップ

C. ラブジョイ氏（1942～52）に次いで3代目のR. I. 事務総長となり、20年の長い間ロータリーの発展につくした。戦後日本のロータリーが国際ロータリーに復帰の際、当時中央アジア駐在員としてボンベイにあった氏は、非常に尽力された。日本のロータリアンにとって忘れてはならない恩人である。

ミーンズ氏はイリノイ州ブルーミングトンの出身で、イリノイ州立大学に於て教育学を専攻して学士となり、更にマセチューセッツ州ウスターのクラーク大学から修士の学位を取得した

ロータリー中央事務局に加わる前には、地図の編集及び刊行に従事した。同氏は、ガンマー・サータ・アップサロン（職業地理学団体）のチャーター・メンバーで、また、米国地理学会の特別会員である。

1932年にロータリーに入会し、イリノイ州ブルーミングトンRCの会員となり副会長を勤め現在はイリノイ州エバンストンRC会員である。同氏は、また、ブルーミングトン、東京、大阪、ソール及びシドニー・ロータリークラブの名誉会員である。

東京の立教大学、ブルーミングトンのイリノイ・ウェズリアン大学より名誉博士号を受けた同氏は、日本国政府より勲三等旭日章を贈られている。同氏は更に、イリノイ・ウェズリアン大学賛助会の会員で、米国ボーイスカウト全国委員会の無所属委員でもある。

第二次世界大戦中、ミーンズ氏は米国海軍に入隊、中佐として参戦した。同氏の足跡は、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ、オーストラリア及びニュージーランドに及んでいる。

CONTENTS

目 次

Information of District Assembly for 1972~73 1
 President Nominee of R. I. for 1973~74 2
 Change of General Secretary of R. I. 3
 District Governor Nominee for 1973~74 4
 Promoting of Contribution to R. F. 4
 Letter of Thanks from Governor Mookerjee (D. 325) 4
 Information of World Convention 1971~72... 5
 Report of World Community Service Committee 5
 New Paul Harris Fellows 6
 Notice & Information 7
 Contribution of Rotary clubs to R. F. 8
 Attendance Report for January 10

1972~73年度の地区協議会..... 1
 R. I. 会長候補（1973~74）の指名..... 2
 R. I. 事務総長の交替..... 3
 ガバナー被指名者を宣言..... 4
 ロータリー財団寄付の推進..... 4
 東インド（第325区）義捐金に対する礼状..... 4
 ヒューストン国際大会ご案内..... 5
 世界社会奉仕委員会報告..... 5
 新ポール・ハリス・フェロー..... 6
 ご注意とお知らせ..... 7
 各クラブ別ロータリー財団寄付額..... 8
 1月出席報告..... 10

◆ガバナー被指名者を宣言

去る1月15日付月信第8号をもって、1973～74年度第366区ガバナー・ノミネー候補者として田宮佐君を推薦し、他の候補者推薦の期限を1月31日といたしました。同期間までに他の候補者の推薦がありませんでしたので、R. I. 細則第12条第5節(ハ)項にもとづき、高槻R. C. 会員田宮佐君を以て、地区ガバナー被指名者たるべきことを宣言いたします。

まことに適当な被指名者を宣言することを得たことを深く感謝し、地区ロータリアン各位とともに同君のご活躍を期待いたします。

◆ロータリー財団寄付の推進

昨秋11月の「R財団週間」に先立つ10月27日付をもって、財団寄付の9月末までの本年度実績が昨年度同期よりかなり低調である数字を記して、各クラブの財団推進についての関心を深めていただくようお願い申し上げましたところ、「財団週間」およびその後のご努力により、本年度前半期末現在の実績が下記の通り昨年度同期の水準を少額ながら越えましたことはご同慶に存じます。

	クラブ数	基準人員	寄付金額 (ドル)
1970年 7～12月 実績	53	3,075	17,550.19
1971年 7～12月 実績	56	3,378	17,833.95

ところで先便でも申し上げました本年度の努力目標(昨年度の基準人員3,051人の1人当たり平均寄付額17ドルと同額を基準とした)は次の通りであります。

	基準人員	寄付総額 (ドル)	1人平均額 (ドル)
1970～71年度	3,075 (69年末現在)	52,300.88	約 17.00
1971～72年度	3,378 (70年末現在)	約 57,500.00 (努力目標)	前年度の実績を基準とすれば

すなわち基準人員の増加303人分の増加額(17ドル×303=5,151ドル)を昨年度の実績に加えた約57,500ドルであります。この目標達成には後半期になお40,000ドルに近いご拠金ご期待されます。(昨年度後半期の実績は34,750ドルでありました。)

この現勢にかんがみまして1月25日に開きました地区R財団推進委員会にて種々協議の結果、今後の推進について下記の各項につき貴クラブにおいて該当もしくは適当と思われる方法により、是非全会員の関心を深めて地区として前記の努力目標の達成にこの上ともご協力をたまわりたく存じます。

- ① クラブのパーセンテージの100%向上
- ② 300%地区から400%地区へ
- ③ ロータリー財団委員会の設定
- ④ 財団活動についての卓話、PRなど
- ⑤ 現在クラブで自発的に行っている推進の具体例若干を参考の為記します。
 - (イ) 100万ドルミール
 - (ロ) ホームクラブ欠席会員の食費を財団へ
 - (ハ) ニコニコ箱への自祝の内から財団へ
 - (ニ) 新会員入会時の寄付と全会員の人頭寄付の増額
 - (ホ) ポールハリス準フェローについて

財団奨学生制度を通じて若い学徒が国際理解を深め、ロータリー精神を養う財団活動の重要性を深く認められて、貴クラブ会員の一段のご協力をお願い申し上げます。

◆東インド(第325区)義捐金に対する礼状

さきに月信第7号において東インドへの義捐金に対するR. I. からの礼状を報告申し上げましたが、今般第325区ガバナー、K・N・ムカージー氏よりお礼状が届きましたので再び報告申し上げます。

小中 義美 100	松阪 広一 100
宮井宗兵衛 100	中村 栄 100
中谷 長蔵 100	鳴神 盛一 100
雑賀豊太郎 100	酒本 直一 100
竹中 泰三 100	田村新兵衛 100
垂井盛之助 100	内田謙之助 100
山家 英資 100	
和歌山南 R. C.	山中 静 100
八尾 R. C.	
平野大太郎 100	永井 武 100
杉本萬五郎 100	田中 彰 100
田中誠三郎 120	戸田 孝 100

既にご承知のようにロータリー財団への寄付者に対し種々の表彰規定があります。「手続要覧」(1970年版)104頁をご参照下さい。

特に次の点にご注意下さい。≪「ポール・ハリス・フェロー」となるには1ケ年の内に1,000ドル寄付しなければならないという規定の例外条項として、現在「オノラリー・フェロー」になっている人は、「ポール・ハリス・準フェロー」に登録されていない限り、「オノラリー・フェロー」になった時期に関係なく、「オノラリー・フェロー」になるために寄付した金額と1,000ドルとの差額を1ケ年のうちに寄付すれば「ポール・ハリス・フェロー」となれる規定がある。≫

従来は「オノラリー・フェロー」より「ポール・ハリス・フェロー」への道がとざされていた全く別個のものとして取扱れていましたが、1970年に改正されました。

◆お知らせとご注意

◎ロータリー財団奨学生の募集

既にロータリー財団奨学生の募集に就いてのお知らせは徹底していることと存じますが、かさねてご注意申し上げます。

1973～74年度奨学金の締切は次の通りです。
各クラブが申請書類を受理する最終日

1972年3月15日

地区ガバナーが申請書類を受理する最終日
1972年4月1日

R. I. 事務局が申請書類受理する最終日
1972年5月15日

◎ロータリー創立記念日と地区職業奉仕週間

2月23日はロータリーが創立されてから67周年の記念日に当たります。

従来よりこの日を記念して、「ロータリーの奉仕の理想」を分かちあうために、特別のプログラムをお願いしてきましたが、月信第8号でお知らせした通り本年は特にこの2月20日～26日の週間を職業奉仕週間として職業奉仕に就いての特別プログラムを企画しこの記念日を意義あらしめて下さい。

◎国際奉仕計画への登録

R. I. の第706号パンフレット、国際奉仕計画(Projects in International Service)に各クラブが登録されることをお勧めします。

その内容は例会プログラムの交換、通信交換(使用する外国語)、青少年交換、世界社会奉仕(援助を提供するクラブ、求めるクラブ)、ハムによる連絡等国際奉仕を実行する上に参考になります。

既に多くのクラブが登録参加しておられますが、まだ参加していないクラブは4月15日迄に登録用のハガキをエバンストン R. I. 中央事務局へ送って下さい。

◎公式名簿資料の報告

1972～73年度公式名簿作成のため、3月中に実施された各クラブ役員選挙の結果にもとづき、1972～73年度の会長、幹事を4月15日迄にエバンストン R. I. 中央事務局に必着するよう送って下さい。

◆訂正

月信8号に於て豊中クラブの特別代表として大原正蔵君と発表しましたが、林董君に代わられましたので訂正いたします。

各クラブ別ロータリー財団寄付額

寄付額の表示単位米ドル (1971. 12. 31現在)

ク	ラ	ブ	名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A	有	田		49	225.96	2,969.86	★ 600	460.14
D	大	東		35	1,211.34	4,156.27	★★ 1100	43.73
G	御	坊		62	234.01	2,524.51	400	575.49
H	橋	本		57	55.00	1,808.76	300	471.24
	東	大	阪	58	61.00	3,760.72	700	876.28
	枚	方		53	52.00	1,696.48	300	423.52
	枚	岡		40	40.00	2,240.88	500	159.12
I	茨	木		51	551.01	4,754.85	★ 900	345.15
	池	田		51	—	2,833.50	600	736.50
	和	泉		61	145.00	4,251.76	700	628.24
	泉	大	津	71	—	3,004.52	400	545.48
	泉	佐	野	57	326.13	3,430.51	★ 600	559.49
K	門	真		25	—	720.02	300	279.98
	海	南		56	55.00	2,402.03	400	397.97
	貝	塚		54	216.02	2,144.89	400	555.11
	河	内	長	57	106.00	3,520.78	★ 600	469.22
	岸	和	田	59	406.03	3,167.83	★ 500	372.17
	粉	河		27	30.00	961.15	300	118.85
M	松	原		47	72.75	2,184.59	400	165.41
	箕	面		30	150.01	969.06	300	230.94
	守	口		51	53.00	2,674.34	500	385.66
N	那	智	勝	34	43.00	3,532.49	1000	207.51
	寝	屋	川	25	60.00	787.49	300	212.51
O	大	阪		291	903.61	25,064.60	800	1,125.40
	大	阪	東	87	1,675.39	11,761.35	★ 1300	418.65
	大	阪	東	27	201.16	928.11	300	151.89
	大	阪	阪	50	1,146.18	2,455.25	★ 400	44.75
	大	阪	城	44	80.00	1,511.75	400	688.25
	大	阪	柏	24	220.00	730.04	★ 300	229.96
	大	阪	北	161	730.01	11,874.89	700	1,005.11
	大	阪	南	154	684.891	8,788.36	500	451.64
	大	阪	西	93	103.00	4,423.04	500	1,156.96
	大	阪	西	49	224.02	1,624.12	400	825.88
	大	阪	西	64	122.01	2,804.21	600	1,675.79

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額	
	大阪心斎橋	28	321.64	611.66	★ 200	228.34
	大阪住吉	74	1,190.56	5,181.71	★ 700	738.29
	大阪天満橋	55	80.00	3,882.21	700	517.79
	大阪淀川	68	196.01	3,090.79	400	309.21
S	堺	114	3,218.95	17,317.79	★★ 1500	922.21
	堺南	67	318.28	6,546.50	900	153.50
	堺東南	35	215.01	1,951.86	500	148.14
	摂津	22	62.00	772.05	300	107.95
	新宮	51	93.01	2,332.93	★ 400	217.07
	白浜	41	161.01	1,981.47	400	68.53
	吹田	60	140.01	2,825.63	400	174.37
T	高石	43	373.80	1,646.89	400	503.11
	高槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
	田辺	67	90.01	3,692.09	500	327.91
	富田林	55	234.02	2,067.36	300	132.64
	豊中	52	77.00	3,258.93	600	381.07
	豊中南	28	53.00	1,246.08	400	153.92
W	和歌山	96	93.01	7,233.53	800	1,406.47
	和歌山東	77	318.01	6,843.08	800	86.92
	和歌山南	60	309.87	7,985.03	1500	1,614.97
	和歌山東南	25	24.00	524.04	200	225.96
Y	八尾	52	254.01	2,687.10	500	432.90
合 計		3,378	18,165.75	218,759.77		

★印は本年度に期初（1971.6.30現在）より100%上ったクラブ ★★印は200%上ったクラブ

1 月 出 席 報 告

(Attendance Report for January)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	吹田	4	59	—	100.00	6	30	貝塚	4	53	+1	96.00	43
1	橋本	4	55	—	100.00	1	31	和歌山東南	3	32	+8	95.84	10
1	高石	4	47	+5	100.00	5	32	大阪住吉	4	71	-2	95.81	41
4	大阪西南	4	73	+6	99.66	1	33	富田林	4	60	+4	95.25	32
5	河内長野	4	58	+2	99.55	1	34	大阪東	4	96	+5	95.00	26
6	泉大津	4	74	+3	99.32	8	34	大阪柏原	4	25	-1	95.00	36
7	東大阪	4	61	-1	99.15	1	36	田辺	4	70	+1	94.23	50
8	大阪心斎橋	3	31	+2	98.92	23	37	門真	4	25	—	94.00	44
9	和歌山東	4	78	—	98.72	17	38	白浜	3	42	+1	93.65	51
10	大阪西	4	91	-4	98.60	24	39	堺南	4	71	+1	93.57	36
11	大阪天満橋	3	61	+3	98.36	19	40	堺	4	111	-2	93.45	27
12	茨木	4	58	+9	98.28	20	41	海南	4	62	+5	93.44	46
13	大阪淀川	4	67	-1	98.11	16	42	粉河	4	30	—	93.33	54
13	松原	4	52	—	98.08	15	43	大阪北	4	171	+4	93.22	42
15	高槻	4	50	-3	97.93	29	44	豊中南	4	33	+2	93.18	40
16	岸和田	4	58	—	97.81	31	45	豊中	4	55	—	93.14	7
17	箕面	4	32	+4	97.63	22	46	和歌山南	4	59	-1	93.10	45
18	大阪阪南	4	62	+8	97.58	11	47	大阪南	4	152	-1	93.02	34
19	新宮	4	54	+2	97.55	21	48	大阪城南	4	50	+3	92.50	39
20	和歌山	4	95	+1	97.52	13	49	堺東南	4	35	+3	92.14	33
21	泉南	4	30	+30	97.42	—	50	守口	4	53	—	91.43	47
22	枚岡	4	44	+3	97.16	25	51	大阪	4	296	-3	91.14	53
23	有田	4	51	+2	97.06	28	52	御坊	4	60	-4	90.52	35
24	池田	3	54	+3	96.92	30	53	寝屋川	4	27	+2	89.82	49
25	摂津	4	31	—	96.77	48	54	八尾	4	55	+1	89.35	38
26	泉佐野	4	52	-8	96.64	13	55	大東	4	39	+3	89.10	52
27	和泉	4	62	—	96.63	12	56	大阪東淀	4	40	+9	85.63	56
28	枚方	4	51	-1	96.57	9	57	那智勝浦	4	33	-1	85.16	55
29	大阪西北	4	53	+2	96.23	18							
平均出席率					95.35%		合 計		223	3,550	+105		

<COPY>



ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
 OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
 ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
 CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

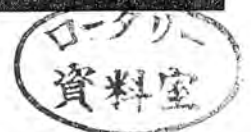
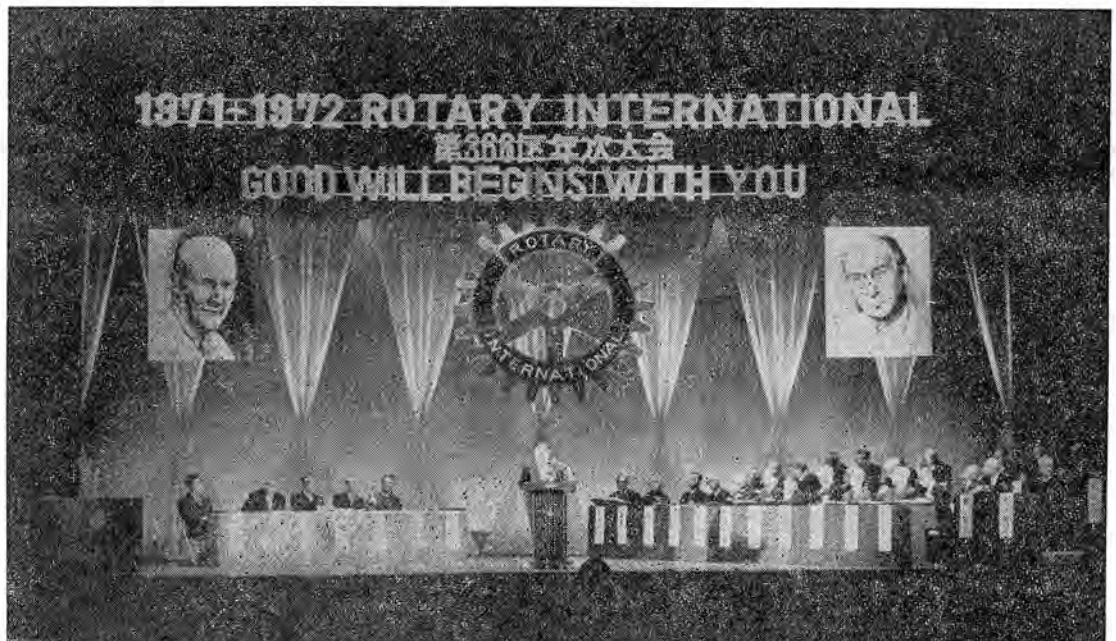
ガバナー 尾 形 繁 之
 事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
 堺商工会議所会館3階(〒590)
 電話 0722-21-9456
 私書箱 堺局第25号(〒590)

第10号 昭和47年3月15日 ガバナー月信 No.10 March 15, 1972

第366地区 地区年次大会 1971~72年

第366地区年次大会は3月3日の前夜懇談会から4日5日の大会まで3日間とも幸い好天に恵まれ、地区の内外からR I会長代理湯浅恭三 R I理事ご夫妻、韓国第376区朴正寛ガバナー

はじめ50名に近い来賓と1600名を超える会員と家族の参加を得て、予定のプログラムと諸行事を滞りなく進め、親睦と研修の目的を充分達して無事に閉幕した。



◎前夜懇談会 3月3日(金)午後4.00~7.00



新阪急ホテル紫の間にて開催、18名の来賓を加えて参加人員 158名。田宮大会幹事開会を宣し、ソング合唱、尾形ガバナーのあいさつと来賓紹介後、湯浅R I 会長代理のあいさつがあって、協議と懇談に入った。リーダーは井関直前ガバナー。地区ガバナーから若干事項の報告について、大会決議案をはかった後、協議主題であるヒューストン国際大会規定審議会上程の制定案中、地区委員会および各クラブにおいてなお検討の余地を残している案件を審議する。

終了後約1時間、和やかな会食と歓談の時を楽しんで午後7時散会した。

◎大会第一日 3月4日(土)

高槻市民会館において、定刻の午前10時、阪急少年音楽隊のファンファーレで幕がひらかれた。松本大会委員長の開会の辞、尾形ガバナー来賓と泉南、堺泉北、東大阪中および豊中北の4新クラブを紹介、ひきつづいてあいさつと地区状況を報告。地元の吉田高槻市長の祝辞をうけて、湯浅R I 会長代理の示唆に富んだメッセージをうかがう。出席優秀クラブと意義ある業績賞(和泉クラブ)の表彰、井関直前ガバナーに記念品贈呈をもって午前のプログラムを終る。

午後はクラブ奉仕A、B、職業、社会、青少年、国際各奉仕とロータリー財団の7部門別協議に併行して、「ロータリーの友」委員会主催

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

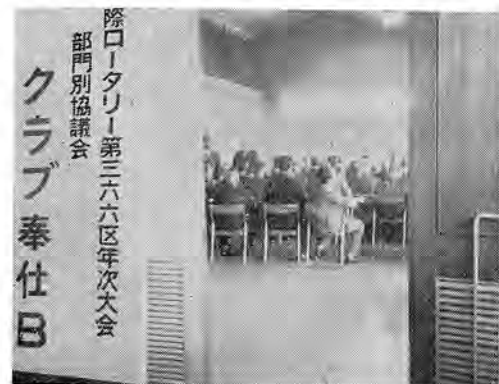
1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アーンスト G. ブライトホルツ会長

の懇談会、また大会場に残留する会員と家族のためには、幼児、小学生、コーラス、少年音楽隊による演奏と合唱が組まれて、これには高槻市とその周辺にある保護、福祉施設の児童 200 名余りも招かれて共に楽しんだ。

物故会員34名に対する黙禱の後、³南蛮文化と日本人³と題した清泉女子大学松田毅一教授の記念講演は、高山右近に因んで高槻市の大会にふさわしいものであった。ついでガバナーに紹介されて、1973~74年度のガバナーノミニー田宮佐君(高槻クラブ、本大会幹事)のあいさつ、湯浅R I 会長代理への記念品贈呈で大会第一日は閉幕した。4時からのアトラクションには三国一朗司会、宝塚新芸座、赤い鳥、ダークダックス、ペギー葉山、田代美代子などが出演それまでの緊張がほぐされて楽しく鑑賞後、バスに分乗、夕もやの名神高速道路を希望晚餐会場の新阪急ホテルへ急いだ。会場³紫の間³に溢れるばかりの参加者一同は、1時間半にわたって旧交を温め飲をつくして8時散会した。



(部門別協議会)



アトラクション（阪急少年音楽隊と小学生合唱団）

◎大会第二日 3月5日（日）

午前9時30分、開会宣言、ロータリーソング後直ちに各リーダーより昨日の部門別協議の要旨報告に併せて塚本PGから世界社会奉仕の実施について、原田PGからはロータリー財団関係について説明。ついで急に臨席が不能となられた財団管理委員の東ヶ崎潔元RI会長に代って湯浅会長代理から、新ポールハリスフェロー16名に対する授賞、井関直前ガバナーにアーチクラフ賞の授与および和歌山南、堺の両クラブに対する1500名達成の表彰が行われた。

別記の決議案の報告、採決について、韓国第376区朴正寛ガバナーの友情にみちた挨拶、研究グループ、ロータリーフェロー、米山契学生海外よりの交換学生、ローターアクト、インターアクト各代表の紹介とあいさつでは国際色の豊かな場面が展開された。

次に、国際ロータリーの現況大要が湯浅会長代理から述べられて進展を続けるその現勢と最新の情報に出席者一同は耳を傾ける。参加クラブを代表して海南クラブの田村会長が謝辞にあわせて地元の高槻市への記念品について提案。これを可決した後、決議により次年度大会のホストにきまった大阪西クラブの納谷会長のあいさつがあった。

かくて大会第2日も終りに近づいた。尾形ガ

バナーと小島大会副委員長の閉会の言葉があった。手に手つないで、と「蛍の光」を合唱、昨日の開幕から終始バンドの演奏をもって花をそえた阪急少年音楽隊の力強いエンディングで2日間の大会プログラムは完了した。時に午後1時10分。

◎さよならパーティ

大会中、友愛の広場として、地区内各クラブの活動状況を示す写真や高槻クラブの会員の手になる美術作品の展示とお茶席などで賑わった別館3階に設けられたパーティ会場の中央に据えられた4斗樽のかがみがぬかれる。パーティは松本大会委員長のあいさつと乾盃ではじまった。参加者一同は2日間の緊張から開放され、歓談のうちに友情を深め、名残りを惜しみつつ2時すぎ散会、帰路についた。



（さよならパーティ）

◎大会登録者数

前夜懇談会

来賓 18名 会員 140名 計 158名

大会

会員 家族 合計

来 賓 31名 16名 47名

地 区 内 1,359名 136名 1,495名

地 区 外 92名 20名 112名

そ の 他 ー 8名 8名

合 計 1,482名 180名 1,662名

◎大会決議

決議第1号 国際ロータリー会長及び会長代理に対する感謝の件

国際ロータリー会長アンストGブライツホルツ氏は、第366地区大会を高槻市において開催するに当り、国際ロータリー理事湯浅恭三氏を会長代理として、本大会に派遣された。同氏は夫人と共に大会に臨席されて、有益なメッセージと報告をもたらされ、参加者一同に深い感銘を与えられた。本大会は、湯浅氏を代理として派遣されたブライツホルツ会長の好意に対して深く感謝すると共に、深い感銘と激励をもって本大会に一段の光彩を添えられた会長代理湯浅氏夫妻に対し深甚な謝意を表することをここに決議する。

決議第2号 国際ロータリー前事務総長ジョージR.ミーンズ氏に対する感謝の件

国際ロータリー前事務総長ジョージR.ミーンズ氏は、本年1月停年のため退任された。氏は1935年以来、国際ロータリー事務局に在って各部局の要職を歴任後、後半の19年間事務局の総帥として活躍された。その間、ロータリーの世界的進展に尽された功績は、まことに著しく、殊に第2次大戦後における日本ロータリーの再建と今日にいたる発展とは、氏に負うところが、きわめて大である。

本大会は、氏の在任中における数々の功績を偲んで、ここに惜別の情と共に、深く感謝の意を表することを決議する。

決議第3号 国際ロータリー第366地区直前ガバナー井関久楠君に対する感謝の件

第366地区直前ガバナー井関久楠君は、その温厚円満な人格とロータリアンとしての長年の経験と熱意をもって、地区および地区内各クラブの活動を指導され、以て地区の進展に寄与されたところ多大である。殊にロータ

リー財団の推進には、本大会においてアーチクラフ賞を受けられるほどの著しい功績をあげられ、また本年度以降の地区財政の合理化にも、大きく貢献された。依って、本大会はその数々の功績に対して深甚な感謝を表することをここに決議する。

決議第4号 国際ロータリー会長本年度のメッセージ「善意は先ずあなたから」に協力の件

国際ロータリー会長アンストG.ブライツホルツ氏は、本年度の活動方針としてGOOD WILL BEGINS WITH YOU「善意は先ずあなたから」のメッセージを与えられた。

我々は、このメッセージに答えるため、率先自らの知行を合一して、奉仕により善意を行動に移し、以て会長の期待に副いよう努めることをここに決議する。

決議第5号 ロータリー活動の強化推進を期する件

西日本におけるロータリー運動がはじまって以来、まさに半世紀に及ぼんとする今日、大阪ロータリークラブ50年の年輪を祝し、その間クラブの拡大強化に対する多くの先達の労苦と功績を偲んで、深く敬意を表するとともに、この際第366地区の全クラブと全ロータリアンが、ロータリー精神の原点にたち帰り、いよいよ奉仕各部の活動にいっそう精進することをここに決議する。

決議第6号 1974年6月アメリカ、ミネソタ州ミネアポリス・セントポールにおいて開かれる国際ロータリー規定審議会に対して当地区大会より次の制定案提出の件

国際ロータリー細則第3条第7節並に標準ロータリークラブ定款第5条第4節および第6節に規定するクラブ正会員の制限条項中「新聞」とあるを「ニュース媒体」と改める制定案を提出することをここに決議する。

決議第7号 ホストクラブ、コホストクラブな

らびに協力諸団体に対する感謝の件

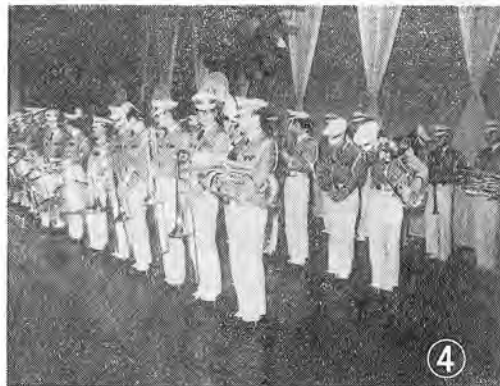
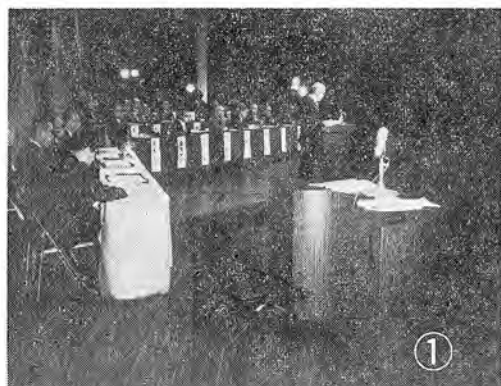
国際ロータリー第366地区の本年度大会は、成功裡に終始し、豊かな実りをもって間もなく幕を閉さんとしている。この成功は偏に大会関係の各委員、ホストの高槻クラブとコホストの吹田、茨木、枚方、守口、門真、寝屋川、摂津の各クラブの会員およびご家族の長期にわたる献身的な努力と周到な準備、適確な運営のためのものであり、更にまた関係諸団体の格別の好意

と理解ある援助によるものである。依って本大会は大会関係の各委員ホストクラブ、コホストクラブならびに協力諸団体に対して心より謝意を表することをここに決議する。

決議第8号 次年度地区年次大会開催の件

本大会は1972—1973年度国際ロータリー第366地区年次大会を明年3月、大阪西ロータリークラブのホストにより、大阪市において開催することをここに決議する。

- ◎大会スナップ
- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1) 壇上の来賓 30余名 | 3) 千客万来のお茶席 | 5) 豆バイオリンの熱演 |
| 2) 奉仕活動の写真展示 | 4) 颯爽 阪急少年音楽隊 | 6) 四斗樽の鏡をぬいて |



ロータリーは更に成長発展しつづける

RI会長 アンスト G. ブライトホルツ

ロータリー運動の強さは、その成長発展のうちにみとめられるが、これを絶えず気にかけることは、国際ロータリーの役員としてのわれわれの義務である。ロータリークラブが生きいきとして多くの実を結ぶ奉仕活動が続けるには、奉仕を志す人々を絶えず探し求めて、これを会員に加えなければならない。国際ロータリーはクラブ数の増加をはかることによって、ロータリーの奉仕を通じて明かになる善意が流れ込む門戸を次々に開いてゆかなければならない。

私は、同志のロータリアンとの通信や話し合いによって、各地区のガバナーが新クラブの創設に熱心であること、またみんなのクラブに対して健全な会員増強プログラムの実行を奨励しておられることをよく知っている。

伝えられる情報によると、多くの有望な新クラブが結成の過程にあり、貴地区においても本ロータリー年度内に、拡大計画中の新クラブす

べての結成と加盟が実現するように、真摯な努力の重ねられつつあることを私は確信している。

私は本年度のはじめに送ったメッセージの中に、各クラブの会長は有能な人をクラブ会員に加えることにより、善意はクラブ奉仕を通じて活発にはたらくことを述べた。クラブの運営についてこの大切な部面を絶えず強調することは、クラブにとっても地区にとっても得るところが大きいであろう。会員がその活動する地域社会の実業および専門職業生活を正しく現わすように、クラブは成長しなければならない。

会員増強、クラブ拡大について、貴地区がこれまでに成しとげられたすべてに対して感謝を申上げる。私はロータリーが貴地区において更に成長発展しつづけることを心から望み、またそのことを信じて止まないのである。

(ガバナー宛 2月1日付書翰より)

CONTENTS

Brief Report on District Conference	1
Further Expantion of Rotary	6
Fellowship Tour to Southeast Asia	7
Letter of Thanks for our WCS Donation	7
District Rotaract Assembly	8
District Intaract Assembly	8
Report of R. F. Fellow's Committee	9
Significant Achievement Awards to Izumi RC	10
Three More New Clubs Organized	10
Paul Haris Sustaining Member	11
Report of Youth Exchange Committee	11
Contribution of RCs to R. F.	12
Attendance Report for February	14

目 次

年次大会報告	1
ロータリーは更に成長発展しつづける	6
東南アジア2クラブ訪問記	7
世界社会奉仕に対する礼状	7
ローターアクト委員会報告	8
インターアクト委員会報告	8
財団学友委員会報告	9
意義ある業績賞 和泉クラブ受賞	10
新クラブ誕生	10
ポール・ハリス・準フェロー	11
国際青少年交換欲待委員会報告	11
各クラブ別財団寄付額	12
2月出席報告	14

◆東南アジア2クラブ訪問記

— 御坊ロータリークラブ —

会員18名家族7名及び田辺RCより2名の計27名でバンコクRC、シンガポール東RCの2クラブを訪問して参りました。

2月10日(木)、12時15分よりエラワンホテルでのバンコクRC例会へ出席、夫人方のお出迎えをうけ、歓談致しました。

2月11日(金)シンガポール空港で夫人と国際奉仕委員長、また宿舎のヒルトンホテルでは会長のお出迎えを受けました。

20時よりトロピカナクラブVIPルームでのフェロシップディナーに招待されて出席。

第330地区 Walter Rintoul ガバナー夫妻はじめ会長夫妻多くの会員夫妻総出でのご歓待を22時30分までうけました。尾形ガバナーの事前数回にわたる連絡とメッセージに深く感謝いたします。

また、その夜23時20分より当クラブ会長と橋本幹事の令嬢は Rintoul ガバナー夫妻及び Tey Teck Eng パストガバナー夫妻のお招きをうけて深更まで心からのもてなしをうけました。

翌12日には午前6時半すぎにパストガバナー夫妻が宿舎まで見えて空港まで早朝のお見送りをうけました。



右 ガバナー リントール (D-330)
左 竹田会長 (御坊R. C.)

不測の日程変更のためにこの日予定していた答礼の訪問も果し得せず早朝出発という失礼な結果になりましたことはまことに遺憾でありました。

なおシンガポールにはシンガポール大学RAC、シンガポール(市)RACの2ローターアクトクラブがあるので、御坊RACからも文通をしては如何かという示唆をうけてまいりました。(国際奉仕委員長 大原義弥)

◆世界社会奉仕に対する礼状

月信第8号、世界社会奉仕委員会報告(3)にてお知らせしました通り、大阪東RCが世話役となって香港RCの「身障少年の職業訓練センター」の企画に援助しましたところ、香港RCより次の通り礼状が参りました。

第366区 WCS 塚本義隆委員長殿
大阪西国際奉仕 阿藤伝治委員長殿

私達は只今大阪住友銀行から、私達の世界社会奉仕 Project 619 に対する、貴地区の寄付金として990米ドルを受取りました。

貴下は私達の企画を明確に説明した、1971年10月11日付尾形ガバナー宛の私達の手紙の写しをお読み下さったに違いありません。

やがて貴下は私達が「職業訓練学校」へ贈呈した時に、私達から追加の報告をお受け取り下さるでしょう。

とりあえず私達は貴下並に貴地区の会員諸君に、非常に沢山の寄付金を頂いたことを心より厚くお礼申し上げます。

貴下の寄付金が非常に有効に使用されることを貴下にお約束します。

1972年2月3日

香港ロータリー・クラブ
世界社会奉仕委員長

ローレンス・ファン

📌 ローターアクト委員会報告

◎12月7日淀川善隣館にて366地区ローターアクト委員会が開催され、次の事項に就いて協議した。

1. 地区協議会開催の件

1972年6月頃365地区、366地区合同で開催を希望する。

2. ローターアクト・クラブ拡大の件

12月12日御坊RACがチャーターナイトをもち、春には池田RACが発会の予定、少なくとも10クラブに拡大するよう努力する。

3. 地区ローターアクト・ニュース発行

地区内のローターアクト・クラブの活動を相互に理解し、協力するため年4回程度の目標で地区ローターアクト・ニュース発行に努力する。

◎引続き第3回大阪府下ローターアクト・クラブ連絡協議会が開催された。

尾形ガバナー及び世戸、柳原地区委員、大阪北RCの三橋会長初め、大阪RC、大阪南RC、池田RC、守口RCの各委員及び大阪、大阪北、大阪南、守口各RACの会長、幹事と結成準備中の池田RACの会員候補者を交え23名参加し情報交換と協議を行った。

◎2月3日第4回大阪府下ローターアクトクラブ連絡協議会が三洋電機健保会館に於て守口RAC主催により守口RCの協力のもとで開催された。

尾形ガバナー、世戸地区委員長の他に守口RCの大隅会長、大阪南、大阪北、池田、守口各RCのローターアクト委員長等、大阪北、大阪、大阪南、守口各RAC代表及び結成準備中の池田、堺RACの代表が参加した。

RCとRACの関係に就いて討論した。池田RCより種々質疑があり、意見交換が行われた。特に大阪南及び大阪RACは協力して2月

16日「中国訪問のスライド紹介と講演会」を開くこと、3月5日の366地区年次大会でローターアクトを代表して守口RAC会長山中光郎君が挨拶することに決った。(委員長世戸一夫)

📌 インターアクト委員会報告

◎インターアクトクラブ地区連絡協議会

5月6日(土)午後3時より新大阪ホテルにおいて尾形ガバナーを迎えて第366地区インターアクト連絡協議会が開催された。当日は金子、高木両地区委員、大阪RC、堺南RC、高石RCの各インターアクト委員長並びに東高校、堺市立工業高校、清風南海高校の各IC顧問が出席して、お互いに忌憚なく意見を述べ協議をした。特に尾形ガバナーは「ICの増設」を今年度の方針として打ち出されおられるのでその目的達成のためより一層の努力を要望された。また堺南RCからは堺市立工業高校ICが新たに堺南ICとして再出発されたとの報告があった。新クラブには今後問題点が出て来るかも知れないが、現在ICの数が伸びなやみの状態だけにこれは新しい形のICとして期待されると共に今後のひとつの方向を示されたものである。

当日決定の事項を要約すると、

第365、第366両地区合同のインターアクト年次大会は6月18日(日)大阪市上本町のなにかにわ会館で開催される。

本年8月第500地区(ハワイ)ICから選ばれた16名の会員と2名の顧問が訪日。その途中1泊2日の予定で来阪の際お世話することになった。

堺南ICについて(組織変更)

新クラブ創立に努力する。

職員(顧問教師)研修の計画。

現在インターアクトクラブのメンバーがもっとも望んでいるのは海外の若者との交流である。従って積極的に海外派遣の問題につい

て討議並に計画を立てる。以上

(地区インターアクト委員長 平岡静人)

如何にしてインターアクトクラブを育てるか

— 新しい一つの試みについて —

今までの協力校であった高校が都合によりインターアクトに協力できないことになったとき愕然といたしました。ここで思いついたのがテリトリー内の青少年団体であるボーイスカウト、ガールスカウト、YMCA 青年会等の団体でした。

たまたま私がボーイスカウトに関係しておりましたことから、その地区委員長にシニア隊員(ボーイスカウトの高校生のグループをシニアスカウトと呼ぶ)を対象にインターアクトクラブのメンバーを、と相談・説明し、了解を得て募集したところ、36名ものメンバーを得ることができました。しかしそれまでには約半年の間数回の集いを持ち、充分インターアクトの説明を父兄にも青年達にもいたしました。

こうしてできたインターアクトクラブは、今までのクラブとは性格が異なり一学校単位ではなく、地区のボーイスカウトが母体となり、地域青少年グループのインターアクトクラブとなったのです。

しかし、ここでこのような地域青少年団体活動とインターアクトクラブ活動との競合はどうかとの懸念もあるかと存じますが、私共では特定のボーイスカウトの団、もしくは、隊を対象とはせずにあくまで一定地区ということにて、10数団の中より自由に募集いたしましたので「インターアクトに興味がある」「よし、インターアクトに入って視野を拡めよう」という青年が自分の意志で2～5人といった形で各団より集っており、より純粋な地域の青少年インターアクトクラブだと思っております。また高校単位のインターアクトクラブにもあるように、英語

部とか、スポーツ部等との競合と同じことだと解釈しております。

以上のような経験からして、もし各クラブの地域内でインターアクトに理解協力をうる高校がない場合には、青少年関係の団体を母体に地域青少年の集りのインターアクトクラブ結成も一つの方法ではないかと思われれます。

(堺南RC・大島 泰)

◆財団学友委員会報告 (委員長 奈良 伝)

地区学友委員会今年度の活動として、全く新しい留学準備企画がたてられた。今年出発する奨学生足立啓子さん、山科幸夫君、吉田康信君のために始めてなされるものである。

第1は洋式の食卓作法 (Table manner) を身につけること：

2月7日、大阪中央YMCAで奈良委員長から実地指導を受けた。殊にロータリアンの家庭に招待される場合を想定して、ファミリースタイルの行儀作法を実習した。家庭式の食事の仕方は全く初めての経験で大変感銘を受けた様子であった。

第2は英語でスピーチができるようにと (Public speaking) を学ぶこと：

5分、10分、15分の Short speech の準備をするため、目下各自用意している。それを直して貰って実地に話して練習をつむことになっている。

第3はいろいろの場合に応じて、適切な会話に上達すること：

これにはテキストと若干のアドバイスを与へ各自で十分修練するよう指導する。

◆訂 正

月信第9号3頁左側上より9段目チェスリーペリー氏 (1942～52) とあるは (1912～42)、6頁新ポール・ハリスフェローの西田秀隆君は西田季隆君に、芝 吉一君は紫 吉一君に謹訂。

◆1972～73年度財団奨学生山科君の挨拶



このたびロータリー大学課程奨学生にえらばれ、光栄に存じております。オーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ州にありますマッコ

ーリー大学 (Macquarie University) (シドニー郊外) に留学することが正式に決定しました。オーストラリアは南半球にありますので、今が真夏で、新学期は欧米諸国とちがって3月が新学期です。日本とは全く環境のちがった異国で1年間勉強することは、大変興味深いとともに、不安もかくせません。ロータリーフェローの目的である「勉学」と「親善使節」の両立を全うするのは、むづかしいことですが、できるかぎりの努力をするつもりでおります。

大学では、言語学、教育学、ことに言語学的見地から教育学を勉強したいと思っておりますが、むこうの大学は各学部間の壁が完全にはずされておりますので、幅広くオーストラリア事情一般 (オーストラリア経済事情等) について勉強し、できるかぎりオーストラリアについて知りたいと考えております。

オーストラリアにおける大学教育は大変きびしいものだそうですが、学業とともに親善使節として私なりに最善をつくし、国際ロータリー第366区のロータリーフェローとしてはじない行動をとるつもりです。(財団奨学生 山科幸夫、富田林R.C推薦)

◆「意義ある業績賞」決定

和泉ロータリー・クラブに授与

月信第3号にてお知らせしました「意義ある業績賞」は地区年次大会において和泉ロータリ

ー・クラブに授与されました。

ご承知の通り「意義ある業績賞」は偶数年の前2ヶ年間に於いて本プログラムのために設定された基準 (ロータリーの綱領を達成するのに役立つこと) に照してもつとも意義のある計画、実行に対し各地区毎に1クラブに偶数年毎に授与されるものであります。

授賞の対象となった和泉ロータリー・クラブの奉仕活動は、1970～71年においてクラブ創立10周年の記念事業として、和泉市内の中学生8名を1971年3月27日～4月1日台湾へ派遣し、国際親善と友好を目的としたものであります。

幸い和泉クラブの姉妹クラブである台北西クラブの支援と協力を得て、台北、台南、高雄を見学、台北市にある仁愛国民中学校を訪問し同じ世代の中学生と親しく意見を交換するかたわら図画、書道などの作品を贈り親善使節としての使命を果たしました。

この和泉ロータリー・クラブの国際奉仕部門の活動に対し授賞されたものであります。



(台北仁愛国民中学校庭にて)

◆新クラブ誕生

——堺泉北ロータリー・クラブ——

堺南クラブをスポンサー・クラブとし、特別代表辻本昇君の指導の下に、泉北ニュータウンを区域とする新しい堺泉北クラブが、2月10日創立総会を開き誕生しました。創立会員29名当日は合僧の小雨でしたが、来賓並びに近隣ク

ラブの会員多数参加し、泉北開発センタービル4階で開催され、眼下に広大な泉北丘陵を見下したち並ぶ鉄筋住宅の向うには、遙かに見える金剛連山からちぬの海がかすみに包まれ、新クラブの洋々たる発展を暗示していました。

例会場並に事務所

例会日 金曜日 17:30-18:30

例会場 堺市茶山台1丁2

泉北開発センター4階

事務所 同上

会長 貝樹忠男、幹事 橋 泰治



(堺泉北クラブ創立総会)

これに続いて2月21日には東大阪中クラブ、2月23日には豊中北クラブが創立総会を開き仮クラブとして発足しました。

東大阪中ロータリー・クラブ

例会日 金曜日 12:30-13:30

例会場 東大阪市下小阪

近鉄八戸の里グランドマンションC

東大阪経営者協会内

事務所 同上

会長 中谷政男、幹事 山野一郎

豊中北ロータリー・クラブ

例会日 金曜日 12:30-13:30

例会場 豊中市池田西町3-555

大阪国際、空港内

大阪エアポートホテル3階

仮事務所 豊中市中桜塚2-21-1

三和銀行豊中支店

会長 大原正蔵、幹事 福田茂治

追記：以上3つの仮クラブのうち、豊中北クラブは3月2日に、東大阪中クラブは3月3日に、また堺泉北クラブは3月12日に、それぞれ国際ロータリーに加盟を承認された。

◆ポール・ハリス・準フェロー

月信第9号にポール・ハリス・準フェローの方々を報告申し上げましたが引続き下記の方々の追加と訂正をいたします。

クラブ名	会員名	寄付額(\$)
東大阪RC	服部 栄和	100
	川端 弘三	100
	多屋 良三	100
	内田 一郎	100
	横田 一夫	100
茨木RC	津田 孝蔵	300
大阪阪南RC	岡本 全男	100
	籾本 秀雄	100
堺東南RC	管家 敬祐	400
八尾RC	長谷川 善吾	100
	高井 保雄	100

◆国際青少年交換歓待委員会

委員長 古市 実

1973年度(本年8月より来年7月まで)の一年間留学交換学生2名募集中です。本年8月に15才半~18才半の学生(高校1年~3年)にてニューヨークを中心とした隣接地域へ。

本年夏期40日間の学生交換、テキサス中部587地区と5~8名の学生交換を準備中です。

Jean Kitayamaさんは和歌山クラブのホス
(以下13ページへ)

各クラブ別ロータリー財団寄付額

※は本年度期初より上昇したクラブ（※=100%）

寄付額の表示単位米ドル（1972年1月末現在）

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A 有 田	49	225.96	2,969.86	* 600	460.14
D 大 東	35	1,275.82	4,220.75	*** 1200	329.25
G 御 坊	62	234.01	2,524.51	400	575.49
H 橋 本	57	55.00	1,808.76	300	471.24
東 大 阪	58	61.00	3,760.72	700	879.28
枚 方	53	52.00	1,696.48	300	423.52
枚 岡	40	40.00	2,240.88	500	159.12
I 茨 木	51	828.21	5,032.05	* 900	67.95
池 田	51	2,906.42	5,739.92	***** 1100	380.08
和 泉	61	145.00	4,251.76	700	628.24
泉 大 津	71	523.28	3,527.80	400	22.20
泉 佐 野	57	368.54	3,472.92	* 600	517.08
K 門 真	25	—	720.02	300	279.98
海 南	56	215.00	2,562.03	400	237.97
貝 塚	54	216.02	2,144.89	400	555.11
河 内 長 野	57	204.73	3,619.51	* 600	370.49
岸 和 田	59	466.03	3,227.83	* 500	312.17
粉 河	27	30.00	961.15	300	118.85
M 松 原	47	72.75	2,184.59	400	165.41
箕 面	30	150.01	969.06	300	230.94
守 口	51	53.00	2,674.34	500	385.66
N 那 智 勝 浦	34	208.00	3,697.49	1000	42.51
寝 屋 川	25	60.00	787.49	300	212.51
O 大 阪	291	2,423.61	26,584.60	* 900	2,515.40
大 阪 東	87	1,675.39	11,761.35	* 1300	418.65
大 阪 東 淀	27	201.16	928.11	300	151.89
大 阪 阪 南	50	1,246.18	2,555.25	* * 500	444.75
大 阪 城 南	44	80.00	1,511.75	400	688.25
大 阪 柏 原	24	220.00	730.04	* 300	229.96
大 阪 北	161	760.01	11,904.89	700	975.11
大 阪 南	154	684.89	8,788.36	500	451.64
大 阪 西	93	103.00	4,423.04	500	1,156.96
大 阪 西 北	49	255.73	1,655.83	400	794.17
大 阪 西 南	64	122.01	2,804.21	600	1,675.79

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
大阪心斎橋	28	321.64	611.66	* 200	228.34
大阪住吉	74	3,190.56	7,181.71	*** 900	218.29
大阪天満橋	55	409.42	4,211.63	700	188.37
大阪淀川	68	554.52	3,449.30	* 500	630.70
S 堺	114	3,218.95	17,317.79	** 1500	922.21
堺 南	67	1,318.28	7,546.50	** 1100	493.50
堺 東 南	35	474.62	2,211.47	* 600	238.53
摂津	22	62.00	772.05	300	107.95
新 宮	51	93.01	2,332.93	* 400	217.07
白 浜	41	161.01	1,981.47	400	68.53
吹 田	60	276.72	2,962.34	400	37.66
T 高 石	43	373.80	1,646.89	400	503.11
高 槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
田 辺	67	130.01	3,732.09	500	287.91
富 田 林	55	234.02	2,067.36	300	132.64
豊 中	52	476.06	3,657.99	* 700	502.01
豊 中 南	28	53.00	1,246.08	400	153.92
W 和 歌 山	96	4,482.60	11,623.12	**** 1200	856.88
和 歌 山 東	77	1,079.19	7,604.26	* 900	95.74
和 歌 山 南	60	309.87	7,985.03	1500	1,614.97
和 歌 山 東 南	25	115.14	615.18	200	134.82
Y 八 尾	52	254.01	2,687.10	500	432.90
合 計	3,378	33,910.20	234,504.22		

トで昨年3月より交換学生として勉学しておりますが3月5日地区大会に出席の後竹中会員(和歌山RC)ご家族並びに会員多数の見送りで帰国の途につきました。

Kaye Greenさんは大阪クラブのホストで去る2月21日来日され梅花女子高校に入学しました。272地区オーストラリアタスマニアのデボンポートクラブとの交換です。

土井会員がホストされております。

生田仁美さん(枚方RC)は595地区へ。加藤陽子さん(大阪北RC)は280地区へ、各々本年度の長期交換生として決定しております。

263地区クイーンズランドのストーンズコーナーRC(オーストラリア)より来る5月16日より26日までの10日間20数名の高校1年生の生徒さんが見学旅行に当地区を訪問される予定です。もし決定しましたら民泊を希望しておられますので各クラブにて宜敷くお願いします。

2 月 出 席 報 告

(Attendance Report for February)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	
1	大阪西南	4	77	+10	100.00	4	30	新 宮	4	54	+2	95.28	19	
1	橋 本	4	55	-	100.00	1	31	大阪淀川	3	66	-2	94.87	13	
1	高 石	5	48	+6	100.00	1	32	枚 岡	4	43	+2	94.77	22	
4	東 大 阪	4	59	-3	99.56	7	33	撰 津	3	31	-	94.62	25	
5	和 歌 山 東	4	78	-	99.35	9	34	豊 中 南	4	32	+1	94.54	44	
6	枚 方	5	51	-1	99.22	28	34	箕 面	4	32	+4	94.53	17	
7	茨 木	4	58	+9	99.15	12	36	堺 南	4	69	-1	94.49	39	
8	高 槻	4	54	+1	99.04	15	37	富 田 林	4	60	+4	94.43	33	
9	泉 大 津	3	74	-3	98.63	6	38	堺	4	111	-2	94.39	40	
10	和 歌 山	5	95	+1	98.45	20	39	貝 塚	5	53	+1	94.00	30	
11	大阪阪南	5	63	+9	98.39	18	39	門 真	4	25	-	94.00	37	
12	大阪天満橋	4	61	+3	98.36	11	39	大阪柏原	4	25	-1	94.00	34	
13	吹 田	4	59	-	98.31	1	42	御 坊	3	60	-4	93.64	52	
14	岸 和 田	4	59	+1	98.28	16	43	堺 東 南	4	35	+3	93.57	49	
15	河内長野	3	58	+2	98.21	5	44	大阪城南	3	50	+3	93.33	48	
16	泉 南	3	30	+30	97.78	21	45	田 辺	4	69	-	93.12	36	
17	松 原	5	52	-	97.69	14	46	豊 中	5	55	-	92.81	45	
18	大阪心斎橋	4	32	+3	97.61	8	47	守 口	4	53	-	92.79	50	
19	大阪西北	5	53	+2	97.36	29	48	寝 屋 川	3	36	+11	92.59	53	
20	大 阪 西	4	93	-2	97.21	10	49	粉 河	4	30	-	92.50	42	
21	和歌山東南	4	32	+8	96.88	31	50	大 阪 北	4	171	+4	92.22	43	
22	和 泉	4	62	-	96.67	27	51	白 浜	4	42	+1	90.48	38	
23	池 田	4	53	+2	96.23	24	52	大 阪	3	299	-	89.88	51	
24	泉 佐 野	4	52	-8	96.15	26	53	大 東	5	40	+4	89.50	55	
25	有 田	4	52	+3	96.09	23	54	大 阪 南	5	152	-1	88.67	47	
26	大阪住吉	3	70	-3	95.75	32	55	八 尾	4	53	-1	88.46	54	
27	大 阪 東	4	96	+5	95.51	34	56	大 阪 東 淀	4	41	+10	83.68	56	
27	和 歌 山 南	3	62	+2	95.51	46	57	那 智 勝 浦	3	33	-1	83.33	57	
29	海 南	4	62	+5	95.43	41								
平均出席率							95.11%	合 計 226 3,570 +125						



《COPY》

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIQEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電 話 0722-21-9456
私 書 箱 堺局第25号(〒590)

第11号 昭和47年4月15日 ガバナー月信 No.11 April 15, 1972

地区職業奉仕週間の実施報告

ロータリーの奉仕活動の中核である職業奉仕について会員の認識と自覚をたかめ、反省を深めて、この部面におけるクラブと会員個々の活動を強めることを目的として、当地区は本年度はじめて「職業奉仕週間」を制定し、去る2月のロータリー創立記念日を含む1週間にこれを実施したことは周知の通りである。

すでにうけた30クラブからの報告によってその実施状況を要約しつつ一考してみたい。

職業奉仕採点表による反省 週間にこの反省を試みたクラブは12あった。それを前回実施の結果と比較したもの、はじめて実施したものと区々であるが、少なくとも年に1回は継続して自己反省の料とするのが望ましく思われる。

クラブ・レベル・フォーラム 職業奉仕のフォーラム討議はRI制定のひとつであるから、すでに実施済のクラブも少くないが、特にこの週間とその前後に関係資料などをテキストに時

間をかけて好結果を得た例も少くない。

例会卓話 週間中の例会には他から或いは会員のうちからスピーカーを選び、職業奉仕の理論や貴重な体験の事例に耳を傾けられたクラブが多い。かくれて奉仕する人は自ら語るを好まない場合もあるが、これを知って敬服する人が虚心に語り伝えることは他の励みとなるであろう。

フォアウェイ テスト 職業関係に止まらないが、日々の言動の基準としてこれを活用するため、文言を記した印刷物、机上身辺用品などを作り、週間に会員その他へ配布したクラブも7例ほどあった。

奉仕事例の報告 会員の奉仕体験の実例の報告を寄せられたクラブは11、その事例は14をかぞえる。これはこの企画による大きな収穫である。整理の上印刷に付し地区のクラブ全員に配布できるように計りたい。



◆ ロータリー財団支援のお願い

去る3月4日の地区大会 R. F. 部門協議会の要望に応え、さきに地区内ロータリアン各位宛に推進委員長書翰をお送りして、ポール・ハリス準フェローの育成にご協力をお願い致しましたことをご承知の通りであります。

その後確認しました情報に基づき、改めてここにご留意かたがた推進方お願い申し上げます。

①サステーニング・コントリビューターの廃止1カ年以内に米貨100ドルを寄付した個人に贈られて来たサステーニング・コントリビューターの地位は、昨年5月にシドニーで開かれた財団管理委員会において、廃止されることに決議されております。その理由としては、1968年に新しく制定されたポール・ハリス準フェローの出現によって寄付の種類が煩雑となったことが挙げられます。

しかしながら、曾ての個人の100ドルの寄付金は、依然その人のクレジットとして残されているので、もしその人がポール・ハリス準フェロー計画に参加の手続をとれば、当然前の100ドルを加算した累積寄付が記録されます。当地区にはサステーニング・コントリビューターの地位にあったロータリアンが現に20名おられますが、それぞれの100ドルの個人寄付を活用されますように、この際お勧め致します。

②ロータリアン以外の人達よりの財団寄付

ロータリアン以外の方々の内よりポール・ハリス、フェローになられた事例の幾つかを会員各位はご存じと思いますが、更にここで強調いたしたいのは、ロータリアン以外の方々でもポール・ハリス準フェローになり得ることです。ただポール・ハリス準フェロー計画参加の申込に当って、その人の寄付金をクレジットするクラブ名と、ポール・ハリス準フェローになられる人の住所氏名を併せて指示しておく

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G.ブライトホルツ会長

必要があります。

③ポール・ハリス・フェローの称号

会員その他の方々に贈られるロータリー最高の栄誉であります。1000ドルを2回、或はそれ以上寄付される会員は、通常ご自身の夫人、親族、或は他のロータリアンにその栄誉を与えられるようにと、その意向の申出がなされております。

従って2回、或はそれ以上の1000ドル寄付がなされても、同一会員には格別の表彰の途はとられてはいません。

④400% 地区への挑戦

本ロータリー年度の頭初における地区の財団支援目標の一つは300%地区を400%地区に格上げしようというのであります。財団より届けられた2月限（主として財務代行者宛1月中の送金）財団寄付一覧表によりますと、その時点における400%以下、即ち300%クラブが9クラブ、200%クラブが1クラブとなっております。これらの10クラブが悉く400%順位に向上しなければ地区は400%地区になれないのであります。そこで上記の10クラブにお勧めしたいのは、この際400%への所要額の醜金であります。そのためには数名の会員にポール・ハリス準フェローになって頂ければと希っております。

例えば2月の時点で、200%順位クラブの累計寄付額611.66ドルの場合は、規準会員数28に対し、所要累計額は1120ドルであるので、400%順位に昇格するためには508.34ドルの寄付が

必要の計算となります。従ってそのクラブのクレジットに加算される5-6名の準フェローの寄付、或は1名のポール・ハリスフェローの誕生が望まれます。

フェローにしても、準フェローにしましても、ロータリー歴の長短には関係はありませんので、新規会員の古い会員に対するご遠慮は無用であります。現に昨年末大阪住吉クラブに生れましたポール・ハリスフェロー2名の内1名はまだ名簿に載っていない新入会員であります。(地区財団推進委員長 阪田靖人)

◆ 新ポール・ハリス・フェロー

大 阪 芦原 義重, 土井 正治, 堀田 庄三
市川 忍, 松原与三松, 岡田 実
大屋 晋三

大阪北 野田 孝, 阪田一鶴子
堺 南 西原源太郎, 皆見 繁行
富田林 御木 徳近, 石田 英男
豊 中 三上 紀之

◆ 新ポール・ハリス・準フェロー

松 原 石田 住蔵
大阪心斎橋 和田太計司, 木村益太良
堺東南 鶴 繁松
高 石 隅谷 信三
田 辺 畑地 実
八 尾 長谷川善吾, 高井 保雄

◆ ロータリー財団奨学生

山科幸夫君の便り

22日に無事シドニー・キングスフォード・ミス空港に到着しました。容易に通関でき、ブラッキー夫妻, エリック・ブレイミ ガバナーにあうことができました。その夜 Eastwood Rotary Club の例会に招かれ、夕食をともにし、富田林ロータリークラブからのプレゼントと、バナレットを交換し、大変なごやかにすごしました。Eastwood Rotary club は36名か

ら成るクラブで、国際ロータリー第268区に属しております。

幸いなことに、268区のDistrict Conferenceが25, 26, 27日にわたって Katoomba でおこなわれ出席いたしました。Katoomba は Blue Mountains とよばれるその名のごとき緑の山にかこまれた、すばらしい景勝の地で、特に Three Sistersとよばれる岩が有名です。山中におりますので、夜明はシドニーとはちがって、冷えこみ、朝もやが大変きれいでした。ここはシドニーから車で2時間くらいのところで、この268区のロータリアンが800人ほど参加していました。昼は演説や Panel Discussion がおこなわれ、その中でほくはロータリー奨学生として紹介され、大変な祝福をうけました。(ほかに日本から2名の高等学校交換学生と、ブラジルから奨学生がひとりいた)。夜はホテルで大夕食会がもよおされ、いろいろな人と意見を交換し、Friendshipと Goodwillを深めました。

28日には、Macquarie University に行き登録をすませ、non-degree course の学生となりました。こちらの大学は、日本と比べものにならないほど大きく設備も充実しています。特に Macquarie 大学はオーストラリアの中でも、最も近代化された大学のひとつで、各学部間の壁がなく、時間割の許す限り自由に好きな科目がとれます。(もっとも新しいシステムを採用している)新学期は3月6日に始まり、7月14日に終わります。

最初オーストラリアについたときは、全然彼らの言うことが理解できませんでした。だんだん慣れてきましたので、少しわかるようになりました。today はツダイで、pay はパイのように発音され、何のことかわかりませんでした。ところでオーストラリアでは今は夏ですが、日本のようにむしあつくはなく、大変すご

しやすい気候です。Blackie 夫妻や、息子たちはみんな親切で、他のロータリアンも大変親切です。しばらくは Blackie 方に住まわせてもらいますが、そのうちに大学の近くに下宿をさがして下さって、そこに住むようになると思います。では、またしばらくして近況を報告させていただきます。(1972年2月29日)

◆ 山科君のスポンサークラブ

会長よりの来信

第 366 区ガバナー

尾形繁之様

山科幸夫君は去る2月22日(火)に無事シドニーに到着、その後私共の生活様式や慣習に馴れるために拙宅に滞在しております。

Macquarie University における幸夫の大学課程は3月7日からはじまります。彼は登録を終えて受講時間表も与えられ、指導教官の Roh Hall 氏 (School of Behavioural Sciences, Macquarie University) とも面接しました。

彼の英語力は優れております。普通に話せば、俗語表現以外はすべて理解できます。こうした表現もすでに若干理解しつつあります。

幸夫はすでに私の妻と3人の息子たちとも親しくなり、仕合せのようです。彼は2月25~27日に Katoomba で開催の第268区年次大会に私共夫婦と共に出席して愉しみ、出会った人との敬愛をうけました。

私は幸夫がこの国において貴国の人々を代表するすばらしい親善大使となることを確信します。また研究に専念して優秀な成績をおさめることを確信します。

はじめて幸夫にあったとき、私の感じをいいあらわすことに困難を覚えました。誰も知人のない異国で自分を助けてくれるものではあるが、はじめて会った私に示した彼の信頼が、私を非常に謙そんにさせました。異国にやってき

て全く見知らぬ人の世話になる若者に、このような信頼感をおこさせるロータリーは全く他に例のない組織であります。

私は貴地区が幸夫のような才能と貫録のある青年をロータリーフェローとして選抜されたことを喜ぶものであります。Gordon Blackie

◆ 地区青少年交換歓待委員会報告

交換学生 加藤葉子さん(大阪北R.C.)



第 366 区大阪北 R. C. は第 280 区プレストン R. C. と姉妹クラブの締結をし、1967年より毎年交互に1カ年間、高等学校2年の女子学生の交換を続けているが、本年度

は、地区青少年交換歓待委員会の推薦を受けて大阪北 R. C. より加藤葉子(17才)さんを3月中旬に送ることになりました。日豪間の国際親善と、姉妹クラブ間の理解、友情を一層深めるのに役立つと思います。

交換学生 Miss K. L. Green (大阪 R. C.)



大阪クラブの最初の交換学生の K. L. Green さんが18日の例会に来られました。堀三津夫会員の紹介で未だ来日して1週間も経っていないのに、

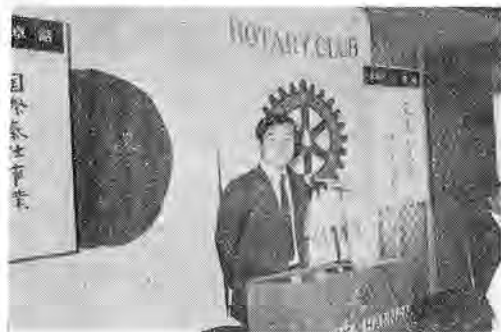
上手な日本語でどうぞよろしくとあいさつを致しました。梅花高等学校の聴講生と云うことで1年間、日本に勉強の為滞在いたします。当クラブ土井憲治会員の非常な御好意により、同会員宅に御厄介になって居ります。

Green嬢はオーストラリアのタスマニアのウルバーストーンの出身でお父さんがロータリア

ンで果樹園を営んで居られ、本人は18歳、絵画と旅行に興味があり、将来ARTの先生になりたい希望を持って居られる明るい、お嬢さんです。

◆ 地区最初の技術者交換実施

ニュージーランドの第294地区ガバナー Rex Weber氏からの希望で、羊毛に関係のある若き技術者を交換したいとの申出があり、第366地区の青少年交換歓待委員会から、大阪南R, C. 会員亀井一夫氏経営の亀井織物株式会社に勤務の森定典美君が選考されました。



例会であいさつする森定典美君

森定典美君は昭和44年3月、京都工芸繊維大学繊維学部製糸紡績学科を卒業、直ちに亀井織物綾部工場に入社、タフテッド整経課勤務中があります。

3月28日(火)大阪南R, C. 例会において尾形ガバナー、地区委員長古市実氏が出席し、盛大な壮行会を催し、3月31日 K. E. 501便(15:15)大阪伊丹空港より元気に出発しました。3月31日ニュージーランド・ウエリントン空港につく予定です。

尾形ガバナー挨拶：ロータリー財団の行なっている専門的訓練以外の地区対地区の技術者交換は、わが国18区の内では初めての例であります。この度はニュージーランド(294区)のレックス・ウェーバー・ガバナーの働きかけによるもので、滞在は1ケ年の予定であります。今後これにならって更に、他の国々とも交換出来る

よう希望します。

この準備連絡に当り お世話になった淀川 R. C. 吉川会長、日商岩井 商事(株)水津氏、更にニュージーランドにおいてはレックス・ウェーバー・ガバナーはもとより、1ケ年カウンセラーとして指導して下さる Tony Anthony 氏にお礼申し上げます。

◆ 国際奉仕計画への登録を奨励

パンフレット第706号「国際奉仕計画」は新年度よりすっかり体裁を改め、このパンフレットに登録することによって可能となる国際提携の機会を示す地図の型式となります。

本パンフレットへの登録申込の締切日は各クラブにおいて、新年度の会長及びクラブ理事会が1972~73年度の誓約をすることができるように7月15日となっています。(月信第9号に従来通り4月15日としましたのは誤につき訂正します。) 尚このパンフレットは8月下旬に出版される予定です。よって海外のクラブとの提携を結び、事業活動への援助の提供、或いは海外よりの援助を求めようとしているクラブは、クラブ会長必携(委員会用資料の部の裏表紙)にある書式または国際ロータリー・ニュースの4月~5月号の一部になっている申込用紙を用いて、登録申込みをするようにお願いします。

◆ 第4周年を迎えたローターアクト

去る2月、創設第4周年を迎えたローターアクトは、本ロータリー年度の最初の7ヶ月間に全世界で277の新クラブを加え、ますます躍進の一路にあります。

3月3日現在世界中のローターアクト・クラブの総数は1,256に達しました。これを国別に見てみますとオーストラリアが231で首位にあり、次はインドの180クラブ、日本は141クラブです。そしてイタリーの102クラブ、アルゼンチンの101クラブの順になっています。会員の概数は25,120名であります。

◆ 粉河 R. C. 創立 5 周年

昭和41年7月13日創立した粉河 R. C. では創立 5 周年記念行事として去る 2 月 20 日 (日)、即ち国際ロータリーの創立記念週間にあたり、大阪の新歌舞伎座で観劇をすませたあと、午後 5 時から堺市羽衣荘において創立 5 周年記念例会と会員家族との親睦祝賀会が催された。



来賓として尾形ガバナー、直前ガバナー井関久楠氏 (創立時特別代表)、藤沢元雄氏 (スポンサークラブ和歌山 R. C. 当時会長) 御夫妻を迎え、参加会員 24 名その家族 19 名、クラブ吉井事務員を加えた 48 名の特別例会で、先ず沢田会長の挨拶に続き、尾形ガバナーを初め各来賓より粉河 R. C. に因んだ数々の思い出をふまえたなかから祝辞とロータリーアドバイスを述べられた。次いで歴代会長を代表して蓬台雅一氏 (88 才) の感激のことは、更に会員一同を代表して吉田芳雄氏の謝辞と決意が発表された。

こうして拍手に引き続き親睦祝賀会にうつり、会員家族の余興も飛び出すなど時の流れも忘れて極めてなごやかなムードのなかで祝宴がくりひろげられた。

5 周年を記念して、1) ロータリー財団への寄付率 (400% 達成済み)、2) 5 周年誌の編さん (5 月完成の予定)、3) 地域社会で「教育を語る会」の開催、4) かつらぎ高原のロータリーの森の増植、5) 韓国の姉妹クラブ蜜陽 R. C. への親善訪問が予定されつつある。

◆ 1972~73 年度の地区協議会

月信 9 号で既報通り、本年の地区協議会は来る 6 月 24 日 (土) 25 日 (日) の両日、新大阪ホテルにおいて開催。出席義務者は新年度の会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕各担当理事とロータリー財団委員長、会報委員長、会員増強委員長の 9 名。会長、幹事は 2 日間、他は第 2 日目だけ必ず出席することになっています。

◆ 新年度のクラブ会長幹事

	クラブ名	会長	幹事
A	有田	酒井 直之	川端 敏夫
D	大東	富尾 清治	佐藤 信夫
G	御坊	野尻 敏樹	野村 凌一
H	橋本	松山 正信	西畑 久也
	東大阪	森田 一夫	石橋 皓
	東大阪東	山口 直誠	阪口 富三
	東大阪中	中谷 政男	山野 一郎
	枚方	松尾 潤一	高木 一郎
I	茨木	天野 利武	山根 信七
	池田	森 皐利	大嶋 利夫
	和泉	辻林 俊助	山本 和男
	泉大津	横山勝太郎	甘佐 要
	泉佐野	横河福次郎	北庄司芳文
K	門真	丹羽 正治	藤井昭三郎
	海南	寺本 栄二	藤木 成穂
	貝塚	塔筋 博文	南川 学
	河内長野	大西 文次	三谷 圭三
	岸和田	黒田 静雄	矢倉 定於
	粉河	平井 嘉市	中田 倍寛
M	松原	西本 正一	西本 米三
	箕面	大井 治	麻島 禎照
	守口	西宮 重和	村野 泰夫
N	那智勝浦	山本 師郎	内田 正年
	寝屋川	近未 貢	木下 桂佑
O	大阪	井狩弥治郎	岩井万古登

	大阪東	行田 一典	河上 英夫
	大阪阪南	照井 堯造	岡本 全男
	大阪東淀	三宅 幸雄	前川 宏光
	大阪城南	上野 元男	田中 隆英
	大阪柏原	戸島 晶海	水上 賢三
	大阪北	野田 孝	菅生 浩三
	大阪西北	藤井 森男	立石 行男
	大阪心斎橋	斎藤 義雄	萬 満
	大阪南	平沢 俊雄	細川 益男
	大阪西南	片桐 正人	今橋 茂
	大阪住吉	木下 裕康	山中 一郎
	大阪天満橋	藤野 重郎	末澤 俊夫
	大阪西	椋本 修	石田 征男
	大阪淀川	中山 純一	杉田 幸視
S	堺	飯沼 剛	磯野 節
*	堺東	小林 保	橋爪新一郎
	堺泉北	貝舩 忠男	橋 泰治
	堺南	佐々木正男	釜下 保男
	堺東南	鶴 繁松	中島 千晴
	泉南	堀 庸	山田 美貞
	摂津	平澤 嘉邦	早田吉三郎
	新宮	尾崎 一朗	佐藤 馨三
	白浜	広沢 禎三	菌田莞爾郎
	吹田	坂東 宏	田村 幸一
T	高石	原口 佐一	嶋田 祐史
	高槻	川崎 友正	伊藤晋三郎
	田辺	糸川清一郎	稲垣淳之助
	富田	林 純有	吉村 能一
	豊中	林 董	福島蓮二郎
	豊中北	大原 正蔵	福田 茂治
	豊中南	澤 潤一	貴田 勇
W	和歌山	雑賀豊太郎	小島 良親
	和歌山東	中野 政信	御前 昌一
	和歌山南	得津 太郎	信川 広海
	和歌山東南	柏井 良夫	萩原重太郎
Y	八尾	山口 秀高	増田 鼎

*堺東RCは4月25日に創立総会、本年度中にRIに加盟の予定。

◆ お知らせとご注意

◎枚岡R.C.名称変更

去る昭和42年、枚岡 河内 布施3市合併による東大阪市の発足に伴い、枚岡市がなくなった時から、クラブ名称変更の議が起っておりましたが、今回東大阪中R.C.の誕生を機会に東大阪東R.C.と名称を変更致しました。

なお事務所、例会場、例会日に変更はありません。

◎新年度会長、幹事の名簿作成

「ロータリーの友」では例年の如く、新会長幹事の顔写真を別刷りにして、7月号に添付する予定でありますので、4月末必着で「ロータリーの友」編集事務所に、顔写真をお送り下さい。

◎第366区クラブ一覧表の改訂

クラブの例会場その他の異動が沢山ありますので、総てのクラブは異動の有無にかかわらず正確な例会場(所在地、電話番号)事務所(郵便番号、所在地、電話番号)の5項目について4月中に報告して下さい。

◎1972—73年度国際大会への信任状提出

国際ロータリー1972—73年度国際大会へ提出する信任状は、大会出席の有無に拘わらずガバナー・ノミニーが一括して持参されることになっていますので、4月末必着で現ガバナー事務所(大谷ガバナー・ノミニー事務所ではありません)へお送り下さい。

◎大谷次期ガバナー事務所開設

1972~73年度国際ロータリー第366区ガバナー事務所が下記の通り開設されました。

所在地 大阪市北区堂島浜通1丁目25番地ノ1 (新大阪ビル1階)

電話 大阪(06)341-8710(直通)
大阪(06)344-1451(日本エクスラン交換)

各クラブ別ロータリー財団寄付額

は本年度期初より上昇したクラブ (≒100%)

寄付額の表示単位米ドル (1972年2月29日現在)

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A 有 田	49	225.96	2,969.86	* 600	460.14
D 大 東	35	1,275.82	4,220.75	*** 1200	329.25
G 御 坊	62	544.03	2,834.53	400	265.47
H 橋 本	57	55.00	1,808.76	300	471.24
東 大 阪	58	1,364.40	5,064.12	* 800	155.52
枚 方	53	52.00	1,696.48	300	423.52
枚 岡	40	410.03	2,610.91	* 600	189.09
I 茨 木	51	886.21	5,090.05	* 900	9.95
池 田	51	2,906.42	5,739.92	***** 1100	380.08
和 泉	61	620.49	4,727.25	700	152.75
泉 大 津	71	523.28	3,527.80	400	22.20
泉 佐 野	57	368.54	3,472.92	* 600	517.08
K 門 真	25	—	720.02	300	279.98
海 南	56	273.00	2,620.03	400	179.97
貝 塚	54	216.02	2,144.89	400	555.11
河 内 長 野	57	224.73	3,639.51	* 600	350.49
岸 和 田	59	466.03	3,227.83	* 500	312.17
粉 河	27	30.00	961.15	300	118.85
M 松 原	47	124.75	2,236.59	400	113.41
箕 面	30	150.01	969.06	300	230.94
守 口	51	53.00	2,674.34	500	365.66
N 那 智 勝 浦	34	208.00	3,697.49	1000	42.51
寝 屋 川	25	60.00	787.49	300	212.51
O 大 阪	291	3,015.65	27,176.64	* 900	1,923.36
大 阪 東	87	3,532.57	13,618.53	*** 1500	301.47
大 阪 東 淀	27	486.12	1,213.07	* 400	136.95
大 阪 阪 南	50	1,470.18	2,779.25	** 500	220.75
大 阪 城 南	44	80.00	1,511.75	400	688.25
大 阪 柏 原	24	220.00	730.04	* 300	229.96
大 阪 北	161	2,105.63	13,250.51	* 800	1,239.49
大 阪 南	154	1,399.45	9,502.92	* 600	1,277.08
大 阪 西	93	103.00	4,423.04	500	1,156.96
大 阪 西 北	49	255.73	1,655.83	400	794.17
大 阪 西 南	64	122.01	2,804.21	600	1,675.79

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
大阪心斎橋	28	321.64	611.66	* 200	228.34
大阪住吉	74	3,262.57	7,253.72	*** 900	146.28
大阪天満橋	55	409.42	4,211.63	700	188.37
大阪淀川	68	622.53	3,517.31	* 500	562.69
S 堺	114	3,918.95	18,017.79	** 1500	222.21
堺南	67	1,318.28	7,546.50	** 1100	493.50
堺東南	35	474.62	2,211.47	* 600	238.53
摂津	22	62.00	772.05	300	107.95
新宮	51	93.01	2,332.93	* 400	217.07
白浜	41	161.01	1,981.47	400	68.53
吹田	60	276.72	2,962.34	400	37.66
T 高石	43	373.80	1,646.89	400	503.11
高槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
田辺	67	200.02	3,802.10	500	217.90
富田林	55	270.02	2,103.36	300	96.64
豊中	52	476.06	3,657.99	* 700	502.01
豊中南	28	53.00	1,246.08	400	153.92
W 和歌山	96	4,482.60	11,623.12	**** 1200	856.88
和歌山東	77	1,079.19	7,604.26	* 900	95.74
和歌山南	60	390.07	8,065.23	1500	1,534.77
和歌山東南	25	115.14	615.18	200	134.82
Y 八尾	52	736.18	3,169.27	* 600	470.73
合 計	3,378	43,083.90	243,677.92		

CONTENTS

目 次

Report on Vocational Service Week	1
Appeal for Rotary Foundation	2
New Paul Harris Fellows	3
Letter from Mr. Yukio Yamashina (R. F.) ...	3
Letter from Mr. Gordon Blacki	4
Report of Youth Exchange Committee	4
First Exchange of Technician with D-294 ...	5
Fifth Anniversary of Kokawa R. C.	6
Presidents and Secretaries (1972~73)	6
Contribution of R. Cs. to R. F.	8
Attendance Report for March	10

地区職業奉仕週間の実施報告.....	1
ロータリー財団支援のお願い.....	2
新ポール・ハリス・フェロー.....	3
財団奨学生 山科幸夫君の便り.....	3
山科君のスポンサークラブ会長より.....	4
地区青少年交換歓待委員会報告.....	4
地区最初の技術者交換実施.....	5
粉河クラブ創立5周年.....	6
新年度のクラブ会長幹事一覧.....	6
クラブ別ロータリー財団寄付額.....	8
3月出席報告.....	10

3 月 出 席 報 告

(Attendance Report for March)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	
1	大阪西南	5	77	+10	100.00	1	29	池田	4	51	-	96.61	23	
1	大阪阪南	4	63	+9	100.00	11	31	粉河	5	30	-	96.00	49	
1	橋本	5	54	-1	100.00	1	31	門真	5	25	-	96.00	39	
1	高石	4	48	+6	100.00	1	33	貝塚	4	57	+5	95.84	39	
5	和歌山東	5	78	-	99.74	5	34	寝屋川	5	38	+13	95.79	48	
6	茨木	5	57	+8	99.65	7	35	大阪住吉	5	71	-2	95.76	26	
7	摂津	5	33	+2	99.39	33	36	箕面	5	32	+4	95.63	34	
8	吹田	5	59	-	99.33	13	37	堺	5	112	-1	95.37	38	
9	東大阪	5	52	-10	99.20	4	38	富田林	5	60	+4	95.26	37	
10	大阪淀川	5	68	-	98.79	31	39	海南	5	62	+5	93.96	29	
11	大阪天満橋	4	59	+1	98.74	12	40	豊中南	5	32	+1	93.75	34	
12	大阪西	3	93	-2	98.53	20	40	和歌山東南	4	32	+8	93.75	21	
12	松原	4	51	-1	98.53	17	42	御坊	5	58	-6	93.57	42	
14	高槻	5	55	+2	98.52	8	43	田辺	5	69	-	93.54	45	
15	堺東南	5	36	+4	98.33	43	44	白浜	4	42	+1	93.46	51	
16	和歌山	4	95	+1	98.31	10	45	和歌山南	5	62	+2	93.11	27	
17	岸和田	5	58	-	97.90	14	46	東大阪東	5	43	+2	93.02	32	
18	枚方	4	51	-1	97.55	6	47	大東	4	39	+3	92.95	53	
19	大阪東	5	99	+8	97.50	27	48	泉南	5	29	+29	92.60	16	
20	有田	5	52	+3	97.31	25	49	守口	5	53	-	92.31	47	
21	泉大津	5	74	+3	97.26	9	50	大阪南	4	155	+2	92.26	54	
22	大阪西北	4	53	+2	97.18	19	51	大阪柏原	3	25	-1	92.00	39	
23	河内長野	5	58	+2	97.10	15	52	大阪北	5	176	+9	91.32	50	
24	新宮	5	53	+1	96.97	30	53	八尾	5	55	+1	91.21	55	
25	泉佐野	5	52	-8	96.92	24	54	豊中	4	52	-3	90.96	46	
26	大阪心斎橋	4	32	+3	96.88	18	55	大阪	5	303	+4	89.45	52	
27	大阪城南	5	48	+1	96.67	44	56	大阪東淀	3	41	+10	89.43	56	
28	堺南	3	69	-1	96.64	36	57	那智勝浦	5	33	-1	84.38	57	
29	和泉	5	61	-1	96.61	22								
平均出席率					95.77%		合 計		262		3,575		+130	

。2月報告のうち9位泉大津の期初との増減-3は+3の誤りにつき訂正



<<COPY>>

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box, 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9456
私書箱 堺局第25号(〒590)

第12号 昭和47年5月15日 ガバナー月信 No.12 May 15. 1972

SECOND WIND —ラストスパート—

R. I. スチュワート事務総長からの近信中に次のような要請がありました。

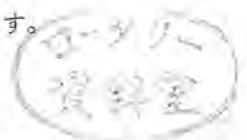
運動競技に親しんでいる方は **SECOND WIND** として知られる現象をご存知のことと思います。それはゲームとかレースの終りに、体力も使い果たしたと思われる頃、最後の全力を奮い起すと、俄然新しい力と元気がよみがえってくることをいうのです。本ロータリー年度の最後の残り少ない時期を迎え、各地区ガバナーのみなさまもこの **SECOND WIND** を奮起され、貴地区内各レベルの役員諸氏にも同様に、本年度の初頭に樹立した全目標の完遂を目指して、最後の全力を注ぐように要請して下さい。

クラブ会長、理事、幹事、役員および委員のみなさま。わたくしはすでに1月の月信第8号の巻頭で、ミーンズ前事務総長の書翰から「ロータリーの棚卸し」と題する一文を引いて、R. I. 会長の示された本年度の指針——善意を

行動に移す奉仕——に基く活動が、クラブの会務、職業、社会、国際の各奉仕部門において、前半期にあげた成果を反省しつつ、後半期の活動目標の確立、実施計画の検討、奉仕実践の推進をお勧めいたしました。

この月信がみなさまの眼に触れるころには、本年度も僅か月余をあますのみとなります。そこで事務総長にならって、同様の要請をここに再び上げたいのであります。どうか各クラブは本年度に定められた全目標、全計画の達成をめざして、ラストスパートをかけて下さい。

前にも申し上げたとおり、地区としての実績は各クラブの成果の総合であります。すでに新クラブ5の結成で拡大活動は目標を超え、1月にはまだ低調であった会員増強と財団寄付は尻上りの好調にて面目を改めつつあります。財団奨学生もきわめて優秀な候補の選考を終えました。世界社会奉仕と各種の国際交流もすでに予期以上の成績をあげつつあります。



◆R. I. 事務総長の書翰より

◎インドへの義捐金

世界各地のロータリアンより、インドの二つの地区への救援資金として、義捐金が届けられております。1971年9月の事務総長書翰にて報道された、District 325 Relief Fund に対し、中央事務局を通じて送金された義捐金の額は、米貨 66,457.45ドルに達します。

なおこの Relief Fund へは上記の額に加え、米貨 2,439.06ドルの義捐金が中央事務局を通さずに送金されました。また1971年12月の事務総長書翰で報道された District 326 Cyclone Disaster Relief Fund へも計米貨315ドルの義捐金が中央事務局を通じて送金されました。

◎高令者のためのクラブ活動

世界各地のロータリー・クラブでは、その国の政府の財政的援助と並行して、高令者のための低廉住宅を建てる事業を行なっています。この種の活動の実例はアフリカ大陸の諸国、オーストラリア、カナダ、英国、米国その他に見出されます。その多くの場合に採択されている方法には、政府機関より支出される資金と、同額の資金をその地方で募金する活動が含まれています。ガバナーの皆様も、各クラブで、活動事業の一案として考慮することを提案されては如何でしょうか。人間の寿命が延び高令者に対する奉仕の意義は一層高まっているのです。

◎インターアクト並にローターアクト

を成功させるには

先づ経験豊かな、しかも若い世代の人達に強い関心を有するロータリアンよりなる委員会を任命し、そしてクラブ全体の支持を得ることにあるのです。インターアクト、またローターアクト・クラブの運営と活動はそのクラブ会員が責任もって行なうべきことですが、しかし、彼らは有力な委員会の助言、指導とロータリアン

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アリスト G. ブライトホルツ会長

のみが与え得る激励、支持を求め、且つ必要としているのです。学校を基盤とし、顧問教師を必要とするクラブでは、その担当委員会の仕事は一層重要なのであります。顧問教師は学校当局を代表する方であり、提唱ロータリー・クラブがなすべき重要な指導と後援の役割を果すことはできない人だからであります。

◆大谷次期ガバナーご出発

大谷次期ガバナーは5月29日～6月6日までレーク・プラシッドにおける国際協議会、ついで6月11日～15日までヒューストンにおける国際大会に参加のため5月21日(日)21:30羽田発JAL 747便にてご出発、6月21日ご帰国の予定です。

◆塚本パストガバナー規定審議会へ

井関前ガバナー月信第12号にて報告されました通り、本年度の国際大会の規定審議会への当地区代表として塚本パスト・ガバナーが決定、参加されることになっています。

塚本パスト・ガバナーは6月7日(水)18:40大阪発JAL 124便にて羽田経由21:30JAL 062便にてご出発、6月22日ご帰国の予定です

◆シェルター委員会報告

とき 47年4月3日(月)12:30-15:00
ところ 京都駅前 タワーホテル 9F 紅花
出席者 斎木、井関、高山、絹川、野田(三菱
商事) 欠席者 中川

議 事

1. 野田氏よりダッカ、チッタゴン出張報告
 - (1) 東パキスタンの治安状態は概ね回復したもののラーマン政府には尚内政外交の面で多くの悩みがある。
 - (2) ミルプール（オールドダッカ）には1万人の武装ゲリラが立籠っている。政府はこれを遠巻きにして、餓死を待つ戦法をとっている。
 - (3) 今尚数百人の餓死者が続出する状態である。
 - (4) 東パキスタン・ロータリーのシェルター受入委員会の Baquie 委員長に面会した。彼はシェルターの建設工事はパキスタン・ロータリー・クラブの手でやることを確約した。
 - (5) 技術指導者は予定通り当方より派遣するよう申伝えた。
 - (6) 雨中でも建設工事続行可能と言明していた。
 - (7) 東パキスタンの新政府に対し無税輸入の申請中。
 - (8) 日本政府にも無税輸出の申請中。
 - (9) チッタゴンへ船積は四月末頃の見込。
 - (10) Shaikh は内陸運賃（チッタゴン港より建設現場迄）の再見積（増額）を要求している。
2. 当委員会はシェルター4棟分4月末船積することを承認した。
3. 当委員会は船積と同時に三菱商事へ¥20,735,200を支払うことを承認した。

◆訂 正

月信No.11中 東大阪東クラブの次期会長は山口 直誠とありますが、山口真誠の誤植につき訂正いたします。

◆釜山（第376地区）地区大会で 366地区に感謝決議

4月8～9（土・日）両日、国立釜山大学（学生5,000人）の講堂において第376地区年次大会が開催されたが、同地区朴正寛総裁の招待により尾形ガバナーのメッセージを携えて塚本パスト・ガバナーが列席しました。

同大会の第2日に、塚本パスト・ガバナーは、第376地区（釜山、大邱）と第366地区間の姉妹関係締結以来1年半になるが、両地区内のクラブ相互間にも姉妹関係あるいは提携関係がだんだん深まってゆき、文書の交換、人間の往復も増加し、相互親善が進みつつあるのはうれしいことだとあいさつしました。また、相互理解の実質的活動として、本年度の世界社会奉仕計画には R. I. 登録No.467 および No.524 をとりあげ、和歌山県下の13クラブが2つのグループとなって和歌山東、和歌山南の両クラブを世話役として提携相手の大邱東および大邱南クラブと協力の上実行したことを。さらに大阪 R. C. が提携相手の釜山 R. C. の協力を得て、在釜山原爆被害者援護協会参加の200人へ見舞金を贈ったことを報告して大拍手をうけました。

大会第1日の国際奉仕部門協議会へ塚本パスト・ガバナーが出席しましたが、第376地区クラブの中には日本の相手提携クラブを知らないで組合わせ先を教えてほしいというのが少なからずあったのには少し失望しました。この組み合わせ表は井関パストガバナー当時の1970年10月号月信にのってあるので、こちらのクラブは忘れずに早速先方クラブへ連絡してあげてほしいものです。

大会第2日、決議第5号の中に、次の文句がありました。「姉妹地区の第366地区総裁に対する感謝の件。地区間の友誼を敦篤にするとともに、その間、わが地区内クラブの地域社会奉

仕事に対する積極参与、援助の業績に対して感謝の意を表することを決議する」そして記念に感謝牌がわが地区へ贈られました。

ちなみに、登録委員長の報告によると大会参加者は710人、うち日本からは18人でした。



第376地区大会 朴総裁挨拶

◆第376地区（釜山）大会参加記

昨年の和歌山市で開催された地区大会に姉妹地区376地区から特に出席されたガバナー朴正寛氏との約束を果たすべく、和歌山R.C.会員12名、4月7日午後釜山空港に着いた。姉妹クラブ南釜山R.C.の沢山の会員及び御夫人等の華麗な出迎えを受け面映い思いであった。

4月8日 大会第一日。宿舎海雲台の極東ホテルからバスで会場釜山大学講堂に到着、大会委員等の懇切な歓迎をうけて午前9時半会場にはいった。地区内の41のクラブ名の立て札の中央に来賓と書かれた席に導かれ、キメ細かい歓迎に感激した。前面ステージは、国旗、ロータリー旗を中心に大会委員席、来賓席が設けられ、静かな音楽が会場一杯に流されていた。私は代表として離段に上らされた。ステージ上の席には、日本人で、R.I.会長代理松本兼二郎夫妻、塚本義隆パストガバナー、373地区小田一昭ガバナーのお顔が見えた。定刻国民儀礼に始まり、物故会員への黙祷、朴総裁による来賓紹

介、李康郁大会委員長の歓迎の辞、総裁挨拶、知事、市長の祝辞等プログラムに従って進行したが、言葉が判らないのでジェスチャーで推測する程度、私には隣席の377地区のノミニー李丙虎氏が時々通訳して下さった。プログラムに印刷された要約の文章が漢字をまじえて書かれていたので凡そ判った。松本R.I.会長代理は英語で会長メッセージを話された。

それから朴総裁の参加クラブの紹介があったが、そのユーモアたっぷりの紹介振りは会場の雰囲気をつっかり、なごやかなものにした。日本の地区大会では見られない愉快的会場に一変、私共までワケも判らないまま、つられて爆笑、拍手を送った。大会の進行も予定より早く終り、我々12名は朴総裁招待の昼食会場東萊温泉ホテルに行った。此の席は、皆日本語で話して下さるし、松本R.I.会長代理ご夫妻を中心に打ちとけた愉快的ひと時をもった。このホテルのパンが、すばらしくおいしくて、新大阪ホテルでも食べられないようなものだ、今になっても皆で話し合っている。

午後は部門別協議会で朝の様子から、とても判りそうでないので失礼することにした。朴総裁のお人柄によるものか、日本の地区大会に比べて、とてもなごやかな、ユーモア一杯の雰囲気特に印象的であった。

(和歌山R.C. 藤沢元雄)



朴総裁主催昼食会

◆世界社会奉仕に対する礼状

◎Kota Bharu R.C.より

3月20日付マレーシャ コタバルR.C.より WCS Project No.154 に対する礼状が、世話クラブの池田R.C.会長新文雄氏宛に届きました。

新 文雄殿

拝啓 私はコタバルR.C.会長 Dr. Ezanee Mericanに代って、貴クラブのお世話で私達のクラブの交通公園建設に対し米貨 1,000ドルを貴地区から寄付して下さいと決定されたと聞いて非常に喜び、感謝している旨貴クラブにお伝えします。

この交通公園は既に完成し、学校の児童に交通安全指導を与える警官の監督の下に充分に且つ積極的に使用されています。これは適切な道路標識のついた小型の道路網と子供のための色んな楽しみからなっていますが、私達はこれ等の道路で使用する子供のための小型自動車を買う資金に不足していました。しかし今や貴下の寛大さのお蔭で、充分な小型自動車を買うことが出来るに違いありません。

R.C.が主催し、警察とシェル石油会社協賛の例年の交通安全競技がこの交通公園において争われることは大きな関心であります。

私達は貴地区の寄付金がどのように使用されたか見ることが出来るように、貴クラブに送るために次の競技会の写真をとるように努めます

最後にもう一度コタバルR.C.を代表して貴地区並に貴クラブに対し、そのご親切をコタバルR.C.の全員が高く評価してお礼申し上げます。

H.L. Wrigglesworth

(コタバルR.C.社会奉仕担当理事)

◎Kuala Lumpur R.C.より

4月3日付クアラ・ルンプールR.C.より泉

大津R.C.会長山崎八州夫氏宛に、巡回看護奉仕計画に対する援助への礼状が届きました。

山崎 八州夫殿

貴下の指名による366地区の各R.C.からの寄付金米貨 1,500ドルの小切手を同封した3月22日付の貴下のお手紙に対し厚くお礼申し上げます。

貴地区の寄付は非常に時を得たものであります。即ち貴下によって指名された Kuala Lumpur Home Nursing Service は私達が非常によい計画であると考えていますが、資金の不足で困難しております。

この計画に積極的に参加して下さいました貴地区の各R.C.に対し、クアラ・ルンプールR.C.のすべての会員およびクアラルンプール巡回看護奉仕からの心からの感謝をお伝え下さい

K.V. Murthy

(Kuala Lumpur R.C.会長)

◆技術者交換生 森定典美君の便り

今度は、私のニュージーランド出張に対しまして色々と御心労をいただきまして誠に有難うございました。途中言葉の点で難はありましたが、何とか、無事にWellingtonへ着くことができました。空港には、Weber氏と、久保ヨリ子(Massey Universityの事務員)さんの2人が向えに来ておられ、久保さんが英会話の達者な方で何かと助りました。

現在は、Anthony氏のお宅にお世話になっております。彼には5人の男の子が私にとって、Communicationの点で、大いに助けております。皆親切な方達ばかりで、現在のところ何不自由なく過しておりますので、どうぞ御安心下さい。とり急ぎ、無事到着のお知らせまで、乱筆乱文お許し下さい。

(大阪南R.C.推薦)

◆財団奨学金委員会報告

— 1973~74年度奨学生候補者選考 —

この奨学生制度が次第に広く知られるとともに、本年は特にポスターを作り、各大学学部と各クラブに配布、活用されたので、各クラブで受け付けられた応募者数は47名に達した。そのうちクラブの推薦を得て、申請書類のガバナー事務所に回付された者は33名、その内訳は大学院課程 16名、大学課程 14名、専門的訓練課程 2名、教師奨学金関係 1名であった。

第1次テスト

(英語 4月12日、独仏語 4月14日)

この33名について第1次テストとして語学力の考査を行なった。これには尾形ガバナー、地区財団部門担当原田バストガバナー、奈良財団学友委員長と本委員会委員の外に大阪クラブの会員である次の諸君の協力を特に願った。

英 語 Mr. Robert O. Smith
(ノースウエスト航空会社支配人)

ドイツ語 Mr. Klaus Kran
(バイエル薬品株式会社副社長)

フランス語 Mr. Daniel Guerard
(エールフランス航空会社支配人)

考査の結果この第1次テストの合格者は16名(英語14名ドイツ語1名フランス語1名)であった。

第2次テスト (全般考査 4月22日)

第1次の合格者16名について語学力以外の全般的な考査を上記の外人会員を除いた全員に塚本バストガバナーが参加されて実施した。考査結果について慎重会議の結果、下記の通り正候補者と補欠候補者を決定して、ガバナーよりR. I. 事務総長宛申請の手続をとった。

大学院課程正候補者…武市 顕義 (大 阪)

” …深谷 秀夫 (大阪西)

” 第1補欠候補者…山内 伸一 (豊中南)

” 第2補欠候補者…終木 芳子 (箕 面)

○大学課程正候補者……村上 節子 (堺 南)

” 補欠候補者……井口 正男 (大 阪)

○専門的訓練課程正候補者…

立石カヨ子 (東大阪)

○教師課程正候補者……中村 忠雄 (高 槻)

括弧内は推薦クラブ名

◆新 ク ラ ブ 誕 生

— 堺東ロータリークラブ —

堺クラブ拡大委員諸君と特別代表阪之上健一君の努力で堺市内新金岡地区に堺東ロータリークラブが誕生した。

青葉薫る4月25日、好天に恵まれ、尾形ガバナー、隣接の堺南、堺東南、堺泉北、松原の各クラブ会長諸氏並に堺クラブの会長と会員多数を迎えて創立会員27名が集い、三和銀行中もず支店2階で、極めてなごやかな雰囲気の中に役員を選出、定款及び細則の承認が行われ創立総会が完了した。今後の発展を祈る。

例会日時 毎週火曜日 12:30~13:30

例 会 場 堺市中百舌鳥町3丁428の3

三和銀行中もず支店 2階

事 務 所 堺市中百舌鳥町3丁331

日本ピローブロック製造㈱内

会 長 小 林 保

副 会 長 瀬 良 好 澄

幹 事 橋 爪 新一郎

追記：堺東クラブは上記の創立総会后直ちに国際ロータリーに対して加盟の申請手続中のところ、去る5月4日に承認された。



堺東クラブ創立総会

◆和歌山東南R.C. 創立一周年記念

昭和46年2月20日創立総会を開きました当R.C.は、時の井関ガバナーのご指導と、スポンサークラブである和歌山南R.C.特別代表の若月春雄氏、市内2R.C.のご指導とお力添をいただき、4月14日国際ロータリーより承認をうけ、その後第366地区はもちろん各地区の先輩より大なる祝福をいただき、昭和46年11月20日、チャーター伝達式を挙行政致しました。チャーターメンバー22名、その後の新会員に12名を迎え、現在34名のメンバーとなり、井関直前ガバナー、若月特別代表等々のアドバイスとご協力で、ようやくロータリークラブとしての体面と行動が出来るようになりました。

さて、3月々初めの例会で、会員総一致の決議に依り、創立一周年記念パーティ実施となり、4月15日(土)午後6時より、新装なる和歌山県民文化会館のスカイ・ルームにて、尾形ガバナー、井関直前ガバナー、時の若月特別代表を始め、和歌山、和歌山東R.C.の会長様スポンサークラブである和歌山南R.C.よりは新旧会長、幹事様方をお客様としてお迎えし、ささやかではありましたが、会員の燃えるような意欲が会の雰囲気盛り上げ、お客様方のご祝辞、会長の謝辞等文字通り、意義ある会合となり、特に記念事業の一端としてロータリー財団に対し100%の寄附を決議、直ちに納金下さるほど。その上、会員皆様の「想い出話」他クラブビジターでの「披露話」余興など、時のたつのも忘れ午後8時盛會裡に終了致しました。

◆I.C.G.F. 組分けと日程表

第1組 8月5日(土)

白浜(ホスト)、新宮、那智勝浦、田辺、御坊、計5クラブ

第2組 8月19日(土)

和歌山東(ホスト)、海南、和歌山、和歌山

南、粉河、橋本、和歌山東南、有田、

計8クラブ

第3組 9月2日(土)

泉大津(ホスト)、岸和田、貝塚、泉佐野、和泉、高石、泉南、計7クラブ

第4組 9月16日(土)

堺南(ホスト)、大阪南、堺、堺東南、大阪住吉、大阪西南、大阪阪南、堺泉北、堺東、計9クラブ

第5組 10月14日(土)

東大阪(ホスト)、大阪東、大東、東大阪東、枚方、門真、守口、寝屋川、東大阪中、計9クラブ

第6組 10月7日(土)

大阪北(ホスト)、豊中、茨木、池田、箕面、豊中南、吹田、高槻、摂津、豊中北、計10クラブ

第7組 10月28日(土)

河内長野(ホスト)、大阪、八尾、大阪柏原、富田林、松原、大阪心斎橋、計7クラブ

第8組 11月11日(土)

大阪淀川(ホスト)、大阪西、大阪西北、大阪城南、大阪天満橋、大阪東淀、計6クラブ

◆新クラブ公式訪問の日程

本年度に入って創立された泉南、堺泉北、東大阪中、豊中北、堺東の5クラブへのガバナー公式訪問は、下記の日程によって行います。各クラブとはすでに打合せをいたしました。スポンサークラブにおかれてもよろしくご配慮とご指導をお願いします。

新クラブ	スポンサークラブ	訪問予定日
泉南クラブ	泉佐野クラブ	6月16日(金)
堺泉北クラブ	堺南クラブ	6月9日(金)
東大阪中クラブ	東大阪クラブ	6月2日(金)
豊中北クラブ	豊中クラブ	6月17日(土)
堺東クラブ	堺クラブ	6月27日(火)

大谷次期ガバナー公式訪問及びI.C.G.F.予定表

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
1		火	金 大阪城南	日	水 東大阪
2		水 和泉	土 I.C.G.F. 第3組	月	木 泉佐野
3		木 吹田	日	火 和歌山	金
4		金	月	水 茨木	土 和歌山東南
5		土 I.C.G.F. 第1組	火 大阪南	木	日
6		日	水 八尾	金 豊中北	月
7		月	木 和歌山東	土 I.C.G.F. 第6組	火 大阪西北
8		火	金 河内長野	日	水
9		水 岸和田	土	月	木 堺
10		木 豊中南	日	㊦	金 堺泉北
11		金 泉大津	月 大阪西	水 粉河	土 I.C.G.F. 第8組
12		土	火	木 堺東南	日
13		日	水 大阪北	金 大阪淀川	月 堺南
14		月	木 高槻	土 I.C.G.F. 第5組	火
15		火 貝塚	㊧	日	水 新宮
16		水	土 I.C.G.F. 第4組	月	木 田辺
17	月	木	日	火	金 那智勝浦
18	火	金 大阪住吉	月	水	土
19	水 守口	土 I.C.G.F. 第2組	火 松原	木 有田	日
20	木 箕面	日	水	金 御坊	月 大阪柏原
21	金 寝屋川	月	木 門真	土 白浜	火 堺東
22	土 大阪天満橋	火 枚方	金 泉南	日	水
23	日	水 大阪西南	㊨	月	木
24	月	木	日	火 大阪阪南	金 摂津
25	火 高石	金 和歌山南	月 大阪東淀	水	土 池田
26	水	土	火 豊中	木 橋本	日
27	木 富田林	日	水 海南	金 東大阪中	月
28	金	月	木 東大阪東	土 I.C.G.F. 第7組	火
29	土 大阪心齋橋	火 大東	金	日	水
30	日	水	土	月	木
31	月	木 大阪東		火	㊩ 大阪

各クラブ別ロータリー財団寄付額

は本年度期初より上昇したクラブ (= 100%)

寄付額の表示単位米ドル (1972年3月31日現在)

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A 有 田	49	225.96	2,969.86	* 600	460.14
D 大 東	35	1,435.70	4,380.63	*** 1200	169.37
G 御 坊	62	544.03	2,834.53	400	265.47
H 橋 本	57	55.00	1,808.76	300	471.24
東 大 阪	58	1,364.40	5,064.12	* 800	155.88
枚 方	53	124.01	1,768.49	300	351.51
東 大 阪 東	40	410.03	2,610.91	* 600	189.09
I 茨 木	51	986.21	5,190.05	** 1000	419.95
池 田	51	2,906.42	5,739.92	***** 1100	380.08
和 泉	61	620.49	4,727.25	700	152.75
泉 大 津	71	523.28	3,527.80	400	22.20
泉 佐 野	57	368.54	3,472.92	* 600	517.08
K 門 真	25	—	720.02	300	279.98
海 南	56	273.00	2,620.03	400	179.97
貝 塚	54	216.02	2,144.89	400	555.11
河 内 長 野	57	274.73	3,689.51	* 600	300.49
岸 和 田	59	466.03	3,227.83	* 500	312.17
粉 河	27	368.73	1,299.88	* 400	50.12
M 松 原	47	224.75	2,336.59	400	13.41
箕 面	30	150.01	969.06	300	230.94
守 口	51	53.00	2,674.34	500	385.66
N 那 智 勝 浦	34	208.00	3,697.49	1000	42.51
寝 屋 川	25	60.00	787.49	300	212.51
O 大 阪	291	3,045.65	27,206.64	* 900	1,893.36
大 阪 東	87	4,532.57	14,618.53	***** 1600	171.47
大 阪 東 淀	27	486.12	1,213.07	* 400	136.93
大 阪 阪 南	50	1,470.18	2,779.25	** 500	220.75
大 阪 城 南	44	130.00	1,561.75	400	638.25
大 阪 柏 原	24	220.00	730.04	* 300	229.96
大 阪 北	161	4,216.04	15,360.92	** 900	739.08
大 阪 南	154	1,399.45	9,502.92	* 600	1,277.08
大 阪 西	93	195.01	4,515.05	500	1,064.95
大 阪 西 北	49	255.73	1,655.83	400	794.17
大 阪 西 南	64	178.74	2,860.94	600	1,619.06

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
大阪心斎橋	28	321.64	611.66	* 200	228.34
大阪住吉	74	3,262.57	7,253.72	*** 900	146.28
大阪天満橋	55	409.42	4,211.63	700	188.37
大阪淀川	68	622.53	3,517.31	* 500	562.69
S 堺	114	3,940.95	18,039.79	** 1500	200.21
堺 南	67	1,418.28	7,646.50	** 1100	393.50
堺 東 南	35	774.62	2,511.47	** 700	288.53
摂津	22	222.01	932.06	* 400	167.94
新 宮	51	113.01	2,352.93	* 400	197.07
白 浜	41	201.01	2,021.47	400	28.53
吹 田	60	276.72	2,962.34	400	37.66
T 高 石	43	662.52	1,935.61	400	214.39
高 槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
田 辺	67	200.02	3,802.10	500	217.90
富 田 林	55	1,270.02	3,103.36	** 500	196.64
豊 中	52	476.06	3,657.99	* 700	502.01
豊 中 南	28	53.00	1,246.08	400	153.92
W 和 歌 山	96	4,482.60	11,623.12	***** 1200	856.88
和 歌 山 東	77	1,079.19	7,604.26	* 900	95.74
和 歌 山 南	60	390.07	8,065.23	1500	1,534.77
和 歌 山 東 南	25	115.14	615.18	200	134.82
Y 八 尾	52	791.18	3,224.27	* 600	415.73
合 計	3,378	49,229.40	249,823.42		

CONTENTS

SECOND WIND.....	1
Letter from General Secretary R. I.	2
Report of Shelter Committee	2
Resolution of Thanks of D-376 Conference to D-366	3
District 376 Conference (Pusan)	4
Letter of Thanks from Kota Bharu and Kuala Lumpur RC's for our W. C. S.	5
Letter from mr. Norimi Morisada	5
(Craft Exchange)	
Report of R. F. Fellowship Committee	6
New club Sakai East organized	6
First Anniversary of Wakayama Southeast R. C.	7
I. C. G. F. (1972-73)	7
Official Visits of Ohya Governer Nominee scheduled.....	8
Contribution of RC's to R. F.	9
Attendance Report for April	11

目 次

ラスト・スパート.....	1
R. I. 事務総長の書翰.....	2
シェルター委員会報告.....	2
釜山地区大会で366地区に感謝決議.....	3
第376地区(釜山)大会参加記.....	4
世界社会奉仕に対する礼状.....	5
技術者交換生 森定典美君の便り.....	5
財団奨学生委員会報告.....	6
新クラブ誕生(堺東R. C.)	6
和歌山東南R. C. 創立1周年記念.....	7
次年度I. C. G. F. 組分けと日程表.....	7
大谷次期ガバナー公式訪問 予定表.....	8
クラブ別 ロータリー財団寄付額.....	9
4月出席報告.....	11

4 月 出 席 報 告

(Attendance Report for April)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪天満橋	4	59	+1	100.00	11	31	撰 津	4	34	+3	95.57	7
1	茨 木	4	56	+7	100.00	6	32	大 東	4	39	+3	95.52	47
1	橋 本	4	54	-1	100.00	1	33	泉 南	4	32	+32	95.39	48
1	高 石	4	49	+7	100.00	1	34	海 南	4	62	+5	95.37	39
5	大阪西南	4	77	+10	99.68	1	35	田 辺	4	68	-1	94.95	43
6	大阪阪南	4	63	+9	99.60	1	36	堺 泉北	4	29	+29	94.83	—
7	大阪心斎橋	4	33	+4	99.22	26	37	大阪住吉	4	71	-2	94.70	35
8	大阪西北	4	53	+2	99.06	22	38	箕 面	4	32	+4	94.54	36
9	東 大阪	4	52	-10	99.00	9	39	岸 和田	4	56	-2	94.37	17
10	和歌山東	4	78	—	98.70	5	40	大阪南	4	155	+2	94.24	50
11	松 原	4	51	-1	98.53	12	41	大阪北	4	176	+9	93.80	52
11	和歌山東南	4	34	+10	98.53	40	42	堺 東南	4	36	+4	93.75	15
13	吹 田	4	59	—	98.31	8	43	御 坊	4	57	-7	93.64	42
14	和 泉	4	60	-2	98.28	29	44	池 田	4	51	—	93.63	29
15	大阪西	4	94	-1	97.80	12	45	豊 中南	4	35	+4	93.57	40
16	和歌山	4	94	—	97.74	16	46	大阪柏原	4	24	-2	92.83	51
17	大阪淀川	4	68	—	97.39	10	47	粉 河	4	30	—	92.50	31
18	豊 中北	4	28	+28	97.32	—	48	富 田林	4	60	+4	92.38	38
19	貝 塚	4	56	+4	97.23	33	49	寝 屋川	4	40	+15	92.37	34
20	有 田	4	52	+3	97.12	20	50	八 尾	4	54	—	91.98	53
21	枚 方	4	51	-1	97.06	18	51	大阪城南	4	48	+1	91.67	27
22	泉 大津	4	73	+2	96.87	21	52	堺 一	4	111	-2	91.36	37
23	河内長野	4	60	+4	96.49	23	53	東大阪東	4	43	+2	90.70	46
24	和歌山南	4	62	+2	96.31	45	54	大阪東淀	4	40	+9	90.48	56
25	新 宮	4	55	+3	96.27	24	55	豊 中	4	54	-1	90.19	54
26	大阪東	4	99	+8	96.12	19	56	大 阪	4	307	+8	88.67	55
27	泉 佐野	4	51	-9	96.08	25	57	守 口	4	53	—	88.20	49
27	門 真	4	26	+1	96.08	31	58	白 浜	4	42	+1	88.10	44
29	堺 南	4	69	-1	95.96	28	59	那智勝浦	4	33	-1	85.16	57
30	高 槻	4	54	-1	95.79	14	60	東大阪中	4	30	+30	76.67	—
平均出席率					94.96%		合 計 240 3,672 +227						



<<COPY>>

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電話 0722-21-9458
私書箱 堺局第25号(〒590)

第13号 昭和47年6月15日 ガバナー月信 No.13 JUNE 15, 1972

青少年への奉仕

— 職業情報 —

ロータリアンが、世代の断層と呼ばれるギャップに橋を渡し、この相互理解を実現させる機会はおびただしいほど多くあるのであります。若い世代の人達が彼らの将来を形成する志気を示し、その責任をになう意欲を示すところにロータリアンは、出向いて援助の手を差延べなければなりません。

これは、例会に学生を招待すること、学校中退生の補導、身体障害者の技術訓練、非行青少年の善導、青少年の交換活動、ロータリー財団プログラム、インターアクト・クラブ及びローターアクト・クラブ等々、いろいろな方法で実行できるのであります。

その方法の一つを、本年初頭の各クラブに対するメツセージにてアンスト・ブライツホルツ会長が提示しておられます。即ち「将来の職業

を探しもとめている若者へあなたの職業及びロータリーの理想の特性について話し聞かせること」であります。このプログラムは、青年のための職業情報として知られ、将来の生業を採ばんとしている若人の相談に応ずるもので、職業奉仕部門における青少年への奉仕として最も有益な活動の一つとなっています。

このプログラムが好評を博している理由の一つは、お互いに相手の立場を尊重し合う雰囲気のもとに、青少年と大人の世代の人々が会合することにあります。この青少年奉仕に職業奉仕を合わせたプログラムを実施する方法は、国際ロータリーで出版されている、ペーパー第554号「青少年のための職業情報」に詳しく説明してあります。来年度の職業奉仕計画のうちに採り入れられたらいかがですか。



◆ 1972～73年度

第366地区協議会仮プログラム

日時 第1日 昭和47年6月24日(土) 10:00～19:30
 第2日 " " 25日(日) 9:00～16:00

場所 新大阪ホテル
 指導者 ガバナー、次期ガバナー、ガバナーノ
 ミニーおよび討論指導者
 参加者 第1日 次期クラブ会長、および幹事
 第2日 次期クラブ会長、次期幹事、
 クラブ奉仕、職業奉仕、社会
 奉仕、国際奉仕の次期担当理
 事、次期ロータリー財団委員
 長、次期会報編集者、次期会
 員増強委員長

第1日

10:00～10:25 登 録
 10:15～10:25 歌の練習
 10:30～10:50 本会議
 (司会 地区ガバナー)
 国歌斉唱、ロータリーソング……………一同
 開会のことば……………ホストクラブ会長
 開会の挨拶……………地区ガバナー
 紹介(次期ガバナー及び各リーダー)… “
 挨拶……………次期ガバナー
 「本会議の目的について」…地区ガバナー
 10:50～12:30 パネル討論
 「クラブ運営について」
 司 会 地区ガバナー
 パネラー 塚本義隆(大阪)
 “ 田宮 佐(高槻)
 “ 八木富士太郎(堺)
 12:30～14:00 休憩・昼食
 14:00～15:00 本会議(司会地区ガバナー)
 クラブ定款ならびに細則の説明と討議

A Message from the President of Rotary International 1971-72

GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. ブライトホルツ会長

15:00～15:15 休 憩
 15:15～16:10 分科会
 (会長及び幹事グループに分れる)

第1グループ

(説明リーダー) (討論リーダー)

クラブ会長 大谷一雄(大阪西) 尾形繁之(堺)

第2グループ

クラブ幹事 塚本義隆(大阪) 江藤基雄(大阪)

16:15～17:30 本会議

地区関係の事項 (司会 地区ガバナー)

18:00～19:30 夕 食

19:30 散 会

第2日

9:00～9:55 登 録

9:45～9:55 歌の練習

10:00～10:30 本会議

(司会 地区ガバナー)

国歌斉唱・ロータリーソング……………一同

開会のことば……………ホストクラブ会長

開会の挨拶……………地区ガバナー

紹介……………地区ガバナー

挨拶……………次期ガバナー

新年度の方針…………… “

10:30～10:45 休 憩

10:45～11:45 分科会

(説明リーダー) (討論リーダー)

第1グループ クラブ会長

大谷 一雄(大阪西) 尾形 繁之(堺)

第2グループ クラブ幹事

塚本 義隆(大阪) 江藤 基雄(大阪)

第3グループ クラブ奉仕

杉本 義雄(大阪東) 松山 英夫(大阪東)

第4グループ 職業奉仕

川端 駿吾(大阪) 岡田敬太郎(大阪)

第5グループ 社会奉仕

原田 秀雄(大阪北) 菅生 謙三(大阪北)

第6グループ 国際奉仕

森 寿五郎(大阪南) 平林 忠雄(大阪南)

第7グループ ロータリー財団

井関 久楠(和歌山) 小中 義美(和歌山)

第8グループ 会報編集

岸野 謙三(御坊) 瀬戸 新一(御坊)

第9グループ 会員増強

小島 清司(大阪西) 古谷庄太郎(大阪西)

11:45~14:00 休憩・昼食

14:00~15:00 分科会(再び9会場に分れる)午前中に引き続き討論

15:00~15:15 休憩

15:15~16:00 本会議

新たに決定した諸規定と決議

……塚本パストガバナー

報告事項……地区ガバナー

閉会の挨拶……次期ガバナー

閉会のことば……ホストクラブ委員長

ロータリーソング……一同

16:00 散会

◆ ロータリー年次報告

「ザ・ロータリアン」6月号に20頁よりなる特別綴じ込み付録として「ロータリー年次報告書」が刊行されています。ロータリー奉仕の四大部門、ロータリー財団の主な業績を収録し、ロータリーの組織全体の財政、運営状態を報告するものです。その国際奉仕部門中の世界社会奉仕としては、特にわが第366区の業績が収録されています。(訳文は9ページに掲載)

◆ 第2回合同地区委員会報告

5月13日(土)午前10時から、新大阪ホテルにおいて、尾形ガバナー司会のもとに本年度2回目の合同地区委員会が開催された。

ガバナーの開会の挨拶に引続き、大谷次期ガバナーより国際協議会並に国際大会に参加のため5月21日出発する旨の挨拶あり、また塚本パスト・ガバナーより国際大会並に規定審議会に参加のため6月7日に出発し、その後研究グループ交換の相手国となる予定のカナダのアルバータ州を訪問して帰国する旨の挨拶があった。

引続き尾形ガバナーより地区概況報告として、新クラブを除く地区全クラブの公式訪問ならびにI.C.G.F.は全部終了したこと、本年度の地区の出席率は95.51%で日本全国で大体3~4位となること、本年度は海外クラブ間との交流が盛んであったこと、職業奉仕週間が初めて2月23日を含む1週間の間実施されたこと、等の説明がおこなわれた。ついで1973~74年度ガバナー・ノミネー田宮佐氏の挨拶がおこなわれた。

◎地区指名委員会(井関委員長)

1973~74年度のガバナー・ノミネー候補者を選考するために、3回にわたり委員会を開き最初に北摂8R.C.の中より歴史の古いR.C.より適任者を選考することとし、慎重審議の結果、全員一致で高槻R.C.の田宮佐君を候補者として推薦することに決定し、R.I.細則の規定により月信第8号に発表しましたところ、期限迄に他の候補者の推薦がなかったため、同君はガバナー被指名者として宣言されました。

◎会員増強職業分類委員会(阪之上委員長)

会員増強に対しては期初の増強目標10%(前年度目標10%,実績8.64%)に基いて、新会員の増加に努めるよう各クラブに働きかけたが、4月末現在で新クラブ結成による会員増加120

名を加えても、期初との増加 227 名、6.29%にすぎないので猶一層の努力を要する。

職業分類に対しては、現在の「職業分類の指針」では不十分であるので、もっと充実した便利なもの、特に我が国の実情に適した改訂版の刊行を希望する。

◎広報委員会（稲野委員長）

第 1 回合同地区委員会の席上で、各委員会の活躍状況をご連絡いただくよう要望しましたが、その連絡は皆無でした。3月4～5日高槻市で開かれた地区年次大会については在阪各新聞社、放送社に連絡しました。

◎意義ある業績賞委員会（森委員長）

意義ある業績賞の表賞は 2 ケ年に一度偶数年度にその前年度の業績に対して審査表賞される。本年度は応募クラブは大阪北、和泉の 2 R. C. のみであった。

審査の結果和泉クラブが1971年3月27日～4月1日の間に姉妹クラブである台北西クラブの支援と協力のもとに和泉市内中学生 8 名を親善使節として送った件に対し授与することに決定、3月4日地区年次大会の席上で「意義ある業績賞」を和泉クラブに贈った。猶この委員会の委員長は直前ガバナーになるように決められている旨追加された。

◎拡大委員会（浅田委員長）

年初現在の56クラブに新クラブを加えて、本年度中に60クラブをめざした結果次の通り5クラブを増して61クラブとなった。

新クラブ	会員数	特別代表	スポンサー・クラブ	創立総会	R. I. 加盟	認証状伝達式
泉南 R. C.	30	東条仁進君	泉佐野 R. C.	71. 11. 26	71. 12. 30	72. 5. 22
豊中北 R. C.	31	林 董君	豊中 R. C.	72. 2. 23	72. 3. 2	72. 6. 17
東大阪中 R. C.	30	多屋良三君	東大阪 R. C.	72. 2. 21	72. 3. 3	77. 6. 20
堺泉北 R. C.	29	辻本 昇君	堺南 R. C.	72. 2. 10	72. 3. 12	未定
堺東 R. C.	27	阪之上 健一君	堺 R. C.	72. 4. 25	72. 5. 4	未定

◎立法案検討委員会（塚本委員長）

提出立法案の英語原文が昨年10月23日に到着した。地区内クラブでの研究を求めるには日本語でないとい困難であるので、要点を邦訳して各クラブに配布、クラブとしての意見を求めたところ本年2月末で47 R. C. より回答があった。3月3日地区年次大会の前夜懇談会において、各クラブ会長、幹事出席の席上で公開討論し、地区としての意見をまとめた。

◎職業奉仕部門（露口委員長）

職業奉仕は委員会が直接行動するものでなく、その精神を各ロータリアンに徹底せしめ、その実行を促すのが役目であるので、そのために「職業奉仕の勤どころ」及び「フォアウェイテストは前進する」の 2 小冊子を刊行し地区全会員に配布した。

次に本年度において2月23日国際ロータリー創立記念日を期し、これを含む1週間を職業奉仕週間として各クラブの職業奉仕意識の高揚を促した。なお、その際募集した会員の奉仕事例はいずれ取りまとめて印刷、配布する予定。

◎社会奉仕部門（森委員長）

本委員会は今後問題が増加するので委員 3 名では不足である。5 名位にしてほしい。

井関ガバナー月信第 5 号に「社会奉仕委員会より」として記載した問題をもう一度よく読んで戴きたい。

イ. 青少年問題について

ロ. 交通事故防止について

ハ. 公害問題

ニ. 小さな親切運動

◎青少年活動委員会（玉置委員長）

各クラブにつき活動方針及び事業計画の調査を行なった。

上記の計画をまとめて印刷し各クラブに配布し、次年度活動計画の資料とした。

青少年活動は委員会のみならず、会員のすべてが、「ロータリアンは青少年の模範」としての自覚を以って協力しなければならない。

委員は2年任期として半数交代するようにするのが望ましい。

◎インターアクト委員会（平岡委員長）

2月6日 インターアクト地区諮問委員会

4月2～3日 第365・第366地区合同顧問教師の研修会が松本で開催され、本地区より3名参加

5月17日 第365・第366地区合同顧問教師協議会開催

6月4日 第366地区のI.C.の交歓会、奈良

6月18日 第365・第366地区合同のI.C.連絡協議会大阪において開催

◎ローターアクト委員会（世戸委員長）

ローターアクト連絡協議会を5回開催した。特別行事として地区ローターアクト・スポーツ大会を2回開催し、非常に喜ばれた。

6月18日 第365・第366地区合同協議会開催の予定

現在地区内のローターアクト・クラブは次の9クラブである、内3クラブは本年度新設。

有田、守口、大阪、大阪北、大阪南、和歌山、御坊（1971.9.28）、池田（1972.3.7）堺（1972.5.11）

ローターアクト地区ガバナーの任命及びメーク・アップ制度の公認が問題となっている。

◎世界社会奉仕委員会（塚本委員長）

本年度の計画は地区で、実施はクラブ（単独またはグループ）で行うことに決めた。援助の相手は近隣諸国、すなわち韓国（376区）、香港（345区）、マレーシア及びタイ（330区）、ネパール（325区）、沖縄（358区）にある12クラブとした。（詳細はガバナー月信第8号、第9号に既載）

参加クラブ 56クラブ、参加会員 3,481人

活動 12項目、援助額合計約350万円（1人宛約1,000円）

最後に世界社会奉仕は日本としては近隣地区に行くべきである、実施方法はクラブ単位（またはグループ）で行うことが国際理解の増進に効果的である。またそのためには一項目で余りに多額の金を要する計画を選択することは避けたい。

◎ヒューストン大会委員会（納谷委員長）

中村正雄委員が10月8日に永眠され、後任に山崎市次郎氏（堺R.C.）が選ばれた。現在の所地区内の申込者は18クラブ、28名（会員23名、家族5名）で昨年のシドニー大会の154名（会員89名、家族65名）には遠く及びません。

◎研究グループ交換委員会（西川委員長）

1972～74年度の研究グループ交換の相手地区はカナダの第536区と決定、地区ガバナーW.L. Wright氏に連絡交渉。

実施要綱を作成R.I.事務総長H.A.Stewart氏宛に提出、受理した旨の返事を貰ったが正式決定は5月末の予定。

次年度からはリーダー1名、団員5名の6名のチームとなる。

◎財団推進委員会（阪田委員長）

「ロータリー財団便覧」を編集し各クラブに配布した。

財団週間の前に、財団推進の関心を喚起する

よう各R. C.ヘガバナーと連名で発信, また月信第5号に本年度の地区目標として会員1名当り17ドル総額58,000ドルとしたい旨広報, 3月4日の地区大会の部門別協議会で準フェローを重点的に推進することを申合せた。

現在4月末で新ポール・ハリス・フェロー28名(前年度21名), 準フェロー68名(前年度29名)となった。

今一つ400%地区に向上するため努力している。3月末迄では7クラブがそれ以下である。

●財団学友委員会(奈良委員長)

学友会名簿を作成し, ガバナー月信第3号に発表した。

学友懇談会を開催, 財団実績の広報, 地区の財団寄付の現況, 学友の経験談と新奨学生への助言等が交換された。

I C G Fに学友のスピーチを計画, 7回にわたり参加した。また例会卓話に参加10クラブで講演した。更に地区大会でも元奨学生堀江君と元研究グループ団員今村君が挨拶した。

新奨学生の留学準備のためのプログラムをもった。

●財団奨学金委員会(棚橋委員長)

当地区の本年度の奨学金受給は4口となった, 更に別口として心身障害者の教師に対し1口の計5口となった。

地区独自の奨学生募集のポスターを作成各大学並に各R. C.へ配布した。

その結果本年度は応募者が非常に多く47名に上った。その内14名はクラブの選考にもれ, 残り33名について第1次, 第2次のテストの結果各課程の正候補者と補欠を決定した。(詳細は月信No. 12. 6ページ参照)

●青少年交換接待委員会(古市委員長)

1. 現在実施中の交換学生(一ケ年)
D595 (MINNESOTA, USA)Faribault R. C.

MISS VIRGINNIA LOIS MALECHA

(16才)

城屋学園高校在学中 受入 枚方R. C.
D 366 よりD 595 地区へ派遣(同上R. C.)枚方R. C.

生田仁美(17才)(1971年7月21日より1ケ年間)

D 272 (TASMANIA AUSTRALIA) デボンポートR. C.

MISS KAYE GREEN (17才)

梅花女子高校在学中 受入 大阪R. C.
(1972年2月21日より1ケ年間)

D 366 よりD 280 地区へ派遣 (VICTORIA AUSTRALIA) プレストンR. C.

加藤葉子(17才)

(1972年3月25日より1ケ年間)

2. 羊毛工業技術者交換

(CRAFT EXCHANGE)

D 294 (NEW ZEALAND) パーマストン北R. C., GOVERNOR REX A, WEBER 氏よりの提案により,

D 366 大阪阪南R. C. 亀井会員の社員, 森定則美(27才)を派遣。1972年3月より1ケ年。

3. 夏季40日間の交換学生予定

D 587 (中部テキサス)より6月10日頃5名受入。

D 366 より7月20日頃5名派遣。(選考5月末)

4. 帰国交換学生

MISS MARY SOLOMON D 265 (オーストラリア)

1971年1月以来, 堺R. C.にて受入れ中, 父死亡のため1971年11月14日急拠帰国。

MISS JEAN SONO KITAYAMA

D 545 (USA)

1971年3月より和歌山R. C.にて受入れ, 1972年3月5日地区大会出席後帰国。

井上一郎君 } 堺R. C.より265地区へ
磯野道夫君 }

1年留学, 1972年3月21日帰国した。

竹中周三君 和歌山R. C.よりD 545に
1ケ年留学, 1972年5月8日帰国した。

◆ 泉南R.C. 認証状伝達式

5月22日(月)泉南R.C.の認証状伝達式が挙行された。泉南R.C.は泉佐野R.C.のスポンサーにより46年11月26日創立、12月30日R.I.に加盟承認された。創立会員は30名、式典は全くすべてにわたってユニークであった。会場の砂川国際ゴルフクラブの12番ホールは夜来の雨も晴れて芝生のコンディションも上々、古代ギリシャ風の古式になぞらえてバラの花弁絨緞の式典場には、国旗、ロータリー・クラブ旗、万国旗が5月の風にはためいていた。

午後1時登録受付、式典までの時間を利用して、グリーン上に特設された茶席の接待、コの字型にしきつめられた濃紺の絨緞と、その前に並べられた白木の角盆は野点の趣きをいやが上にもまして印象的であった。

午後2時府警音楽隊のファンファーレに式典は始った。

型の如く式は進んで花の絨緞の上で尾形ガバナーより田中会長に認証状が伝達された。

ついで吟詠界の第一人者梅岡学州氏の創作詩吟「ここにロータリー・クラブあり」のすばらしい朗詠があった。

そしてロータリーソング「奉仕の理想」で式を終った。

引続きクラブ・ハウス内でアトラクション、祝宴、全員女性という「フロラルコ合奏団」によるバロック音楽を鑑賞した。



泉南R.C. 認証状伝達式

チャーターナイト参加171回目と云う記録保持者花巻R.C.佐々木精二氏を初め、近隣クラブより多数のロータリアンが参加して盛会であった。

◆ 馬山R.C. 訪問記

第376地区韓国馬山R.C.との姉妹クラブの組合せは、1969年塚本ガバナー当時よりの事にて何度か連絡をとってまいりましたが、思うようにまいりませんでした。

今回尾形ガバナーと376地区朴ガバナーのご好意により当クラブ7名にて、観光少々メイキヤップの軽い意味で訪問致しました。

5月3日、馬山R.C.前会長現国際奉仕委員長金先生(医者)の出迎を受け朴ガバナー同道にて馬山を訪れました。非常な歓迎を受け、また市庁舎を訪問、馬山市長の熱意ある、もてなしに大いに感激致しました。

御承知の如く、現在韓国の事情にもあると存じますが思うように連絡が取れなかった事が了解致しました。

こちらより働きかけた事にて喜んで受入れて戴き予期以上の姉妹クラブとして友好の基礎が確立し得た事と喜びにたえない次第です。今後は韓国側の国情を充分理解し、益々親交を深めるよう念願する次第です。

特に朴ガバナーの御好意に感謝の意を表したいと存じます。

(岸和田R.C. 薮 国際奉仕委員長)



同左 野点風景

◆ 和歌山R.C. 創立35周年記念例会

中間記念周年でもありますので在来の祝賀形式の例会をさけ新しい構想の下、国際奉仕のテーマを掲げて去る5月23日和歌山R.C.の創立35周年記念例会を簡素に開催することにいたしました。

従って来賓の方々も尾形ガバナー、井関直前ガバナー、地元の3R.C.の会長、幹事に限定しごく内輪に会員家族共々創立35周年をお祝いましたのであります。

会場には和歌山R.C.と親交のある姉妹クラブ(伊)Catanzaro R.C. (米)Bakersfield-North R.C. (米)Huntington Park R.C. (韓)南釜山R.C.や交換学生に関する写真、文書、寄贈品、記念品数百点を展示しましたが、この企画は来賓始め会員家族の方々にも国際理解の重要性についての再認識と国際奉仕の有意義なことについて多大の関心をおこし深い感銘を与えたように思います。

例会は12時30分開会、シャンパンと赤飯のお祝弁当の食事の後、13時より約40分間の記念式典に移り、会長祝辞、35周年記念事業の報告、来賓の祝辞、姉妹クラブからの祝辞に引続きチャーターメンバー及び叙勲者に対する記念品の贈呈、物故会員に対する黙祷等の行事を行いました。その後13時40分より約40分間、第366区交換学生として米コロラド州ブライトンR.C.のお世話で約10ヶ月間の留学生生活を了え、去る5月初旬帰国された当竹中泰三会員のご子息周三君の「留学体験」と題して興味あるスピーチがありました。このスピーチはR.C.交換学生留学の実態の迫力ある報告であり同時にR.C.の国際奉仕活動の実際を見る心持で多大の感銘を受けました。

かくして全参加者の記念撮影を最後に、なかなかムードの下に、極めて有意義でみどりの

多い記念例会を終りました。

なお記念事業としては、新しい構想の下にクラブとしての団体的奉仕を避け、個人奉仕に重点をおき①ロータリー財団への特別奉仕と②姉妹クラブである韓国の南釜山R.C.へ訪韓親善使節団の派遣を実施いたしました。特にロータリー財団への特別奉仕はポールハリスフェロー1名、準ポールハリスフェロー21名によって800%クラブより一躍400アップの1200%クラブに向上しましたことを付記して本稿を終ります。(和歌山R.C. 小中義美)



和歌山R.C. 創立3周年記念例会

◆ アメリカの高校生活を体験して

第366区ロータリー交換学生

竹中周三

先づこのクラブの35周年を心からお祝い申し上げます。私は、7月31日東京を出発、ロスアンゼルスについてハンティングトンパークロータリークラブの例会に出席会員の皆様とお会いしました。

8月16日デンバー空港につきました。デンバーは高度3千米の高さにある町でこれは1マイルハイ・シティと申しますが、内陸で緑が少なく夏は30°Cぐらい、冬は零下20°Cにもなるという高低の差のはげしい気温、同じように朝夕の一日の気温も大変ちがいはTシャツでも暑いのに夜になれば冬のセーターがいるといった具合でした。

高校生活にそれからすぐ入ったのですが、生

徒会の討論をする場が課外ではなくて時間内に入れられメキシコ系の子供達がよく起す問題など、どうしたらよいかなどを話し合い生徒と学校との間が大変密接でした。アメリカは多くの人種が一緒にすんでいるので顔を見るだけではどの国の人間か、たとえば黒い人、黄色い人、白人みんな米国人であることは見ただけで分らないわけです。それを表わすのは国旗であり国歌であるわけで自然国旗国歌に対しての尊敬が本当の米国人であることのアかしであるわけですから、幼い子供もとても敬けんに国旗に対するのです。

又若い人達の結婚が大変早くなっています。私のクラスの中で16才～18才で結婚している人が多く、特に一人の女の子は18才で2人の子供を持っていました。帰りに寄ったロスで会った方の話では過去数年間カリフォルニアの離婚率は51%以上、コロラド州でも30%以上といった記録があり、早婚に対して疑問を持ちました。

第545地区（コロラド州、ワイオミング州、ネブラスカ州）に13ヶ国（英国、オーストラリア、ニュージーランド、南米など）から26人の留学生がきていました。私達は時々デンバーに集まり一緒に食事をしたりロデオをみたりする機会をもちました。そしてそれぞれのアメリカ生活を話し合い1ヶ月30ドルのお小づかいは足りないとか、学校をかえてほしいとか少々自分勝手な意見をいう学生もありましたが、日本からの留学生は英語ができないので友達をつくるのができなくて自然、意思の疎通を欠きホームシックにかかることが多いようでした。これはやはり選考に問題があるように思います。

私は、数多くのロータリーの例会に出席いたしました。みんなとても若々しく感じました。60才ぐらいのおじいさんでもみんなカラーシャツなのです。白いシャツを着ているなどはほとんどなかったくらいです。話すことも、とて

も冗談やユーモアをまじえて面白く、例会を楽しんでいられるようでした。

4月23日から25日まで同地区の地区大会がありコロラドスプリングスに集まりました。私は丁度2ヶ月程前地区の委員長からプログラムを作り司会をするようにと言われ2時間のプログラムを考えました。当日は400名のロータリアンがこのプログラムに出席され無事つとめることができガバナーレセプションなど、またあちこちの見学などとても楽しい3日間を過ごす事が出来ました。司会にえらばれた事は私個人の名誉でございましたが、私を米国に送って下さいました366地区の皆様とこんな機会をえて無事大役を果たすためにご指導下さいました545地区の交換留学生の委員の方々から心から感謝をいたします。

◆ 366区 世界社会奉仕

ゞザ・ロータリアンゞ 誌に

ゞThe Rotarianゞ 誌は毎年度末の6月号にReporting on Rotary と題した特集をもって、その年度のロータリーに関するハイライトを報じている。

本年度はその「世界社会奉仕」の項目における顕著な事例として、当第366区世界社会奉仕委員会（委員長塚本義隆バスターガバナー）の活動を、要約しているの、ここに訳して掲げる。

世界社会奉仕が如何に深くロータリアンの関心事となったかの実例が、第366区から届いている。この地区の世界社会奉仕委員長からの去る2月の報告によると、本年度の初め以来、彼の地区の全クラブはホンコン、韓国、マレーシア、ネパール、タイおよび琉球のクラブがスポンサーした12の企画実行に協力した。日本のこれらのクラブによって醸出された援助総額は10,000ドルに相当する。それにはこの地区の56クラブが全部含まれ、3,840名に及ぶロータリアンが、この奉仕に参加した。そして12のうち8企画はR. I. の World Community Service Library に登録されたものであった。

◆ 箕面R.C. 創立3周年

箕面ロータリークラブでは創立3周年を記念して、次の通り例会を開催した。

1. 創立3周年特別例会

ミマリンバとともに

青少年奉仕委員会担当

(イ) 実施日 4月6日 第152回例会

(ロ) 招待者

箕面市内ボーイスカウト、ガールスカウト各団より 50名

(ハ) 来客

通常例会通り一般ビジター
当クラブ会員子女

(ニ) 演奏内容

曲目 序曲軽騎兵他6曲

演奏 宮本慶子先生、節子先生

当日は青少年奉仕委員会担当の例会とし、ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんと、会員子女を交え、すばらしいマリリンバ演奏を心ゆくまで楽しんだ。

出席のボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんへ記念品の贈物、激励の言葉などあり、楽しかった春宵を静かに解散していった。

2. 創立3周年記念例会

ミレデイスナイト

(イ) 実施日 4月13日 第153回例会

(ロ) 出席者

池田R.C. 松野氏御夫妻他当クラブ創立にご尽力下さった方々

北摂5R.C. 会長、幹事さん

一般ビジター及び当クラブ会員並びに夫人

(ハ) 行事

○親クラブ池田R.C.よりお祝の言葉を頂きお礼の花束贈呈

○出席表彰

当クラブ会長より会員の奥様方に平素のご協力への感謝の言葉と、併せて連続皆勤の出席表彰を行った。

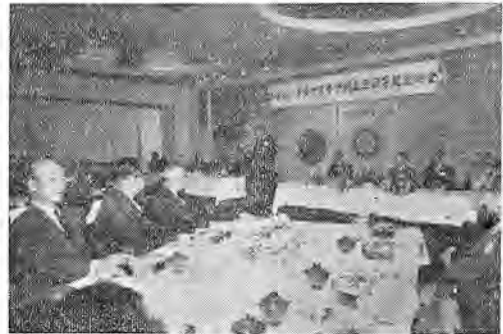
○ポールハリス準フェローの紹介

会計理事より400%クラブに達成出来たことのお知らせと、創立3周年を記念にポールハリス準フェロー3名のご紹介を行う。

当日は日頃のご労苦をねぎらい度く(却ってご迷惑をお詫びします)奥様方のご出席を頂きレデイスナイトとした。

さすが親クラブ池田R.C.から分れた子クラブ、孫クラブの北摂5R.C.の会員ご夫妻のお客様方だけに終始なごやかに、奥様方の話題も豊富で楽しく過ごさせて頂いた。豊中南R.C.の会長さんから兄弟クラブとして何れが兄たり弟たるや、これからお互いに頑張ろうなど激励のお言葉を頂き、おめでたい3周年記念例会をおひらきにした。

(幹事 松村嘉彦)



箕面R.C. 創立3周年記念例会

◆ 世界社会奉仕に対する礼状

○ Pudu R.C. より

横田会長殿 (東大阪)

送金米貨1000ドルを受領したか否かのお問合せの4月25日付のお手紙ありがとうございます。

この寄付金は3月末にマレーシア神経外科基金として受取りましたことをお伝えします。

しかしながら貴殿からの有難い寄付金で教育用フィルムを購入したことをもっと早くお知らせしなかったことをお詫びします。

神経外科財団は注文した教育用フィルムの一覧表をそえて5月1日に貴殿に受領書を送りました。

注文した教育用フィルムが到着次第、それは数週間後になると思いますが、正式の伝達式が私のクラブが代表して、大東・枚方・東大阪東・門真・松原・寝屋川・守口の各クラブに代って私によって取り行われます。その折何らかの形で報道されると思いますので、後刻貴殿にお知らせ致します。

私はマレーシア神経外科財団に代りまして貴殿に対して感謝の念をお伝え致します。今回のことは輝かしいロータリー活動の好例であります。

各クラブ会長並に各クラブの会員の皆様によりしくお伝え下さい。

5月2日 Pudu R. C. 会長

SONG SIEW HOONG

なおこの手紙にマレーシア神経外科財団の理事 A. D. Fraser氏 (Pudu R. C. の前会長) の正式受領書 (日本文ローマ字タイプ) が同封されていますが省略します。

◆ 国際青少年交換歓待委員会報告

1. R1 587地区 (中部テキサス) との交換

来る6月11日より40日間の予定にて下記の学生さんを当地区に受入れることになりました。なお当地区より同数の学生を交換することになっており、去る5月27日 (土) 新大阪ホテルにおいて委員会を開催しとりあえず女子3名の派遣を決定致しました。男子2名については目下選考中です。

受入学生

MISS SUSAN ELIZABETH JONIETZ 17才
HALLETTVILLE R. C.
MISS DEBRA LOUISE WOMBLE 19才
CALDWELL R. C.
MISS ANNE DUTTON 20才
WAXAHACHIE R. C.
MR JOSEPH E. WRIGHT 17才
WAXAHACHIE R. C.
MR ALBERT W. Mc CULLIN III 17才
CAMERON R. C.

派遣学生 受入RC並びに家族

西口 直子 17才 橋 本R. C. 西口 章会員
青木 敏恵 17才 " 青木隆明会員
今橋ヒロ子 20才 大阪西南R. C. 今橋 茂会員

2. ローターアクト地区合同協議会に参加の件

6月18日 (日) 京都ホテルにおいて365, 366両地区合同ローターアクト協議会が開催されるので両地区松井、世戸委員長のご厚意により当日午後3時半より行われるレセプションに滞在中の交換学生並に昨年の交換学生、これから派遣する学生の皆さんの参加を決定いたしました。なお当日は午前中市内見学も計画いたしております。詳細は直接連絡いたします。

3. 今後の交換学生について

アメリカ、オーストラリアから来られる交換学生の STUDENT VISA については今後在日ロータリー青少年交換連絡事務所が手続を一括して行なう新方式が検討されております。これによりますと非常にスピード化されますが、クラブ単位の交換学生についても地区委員会の承認ある場合に限られます。正式に決定次第お知らせ致しますので御注意下さい。

4. テキサスに派遣する学生の出発は7月20日頃の予定です。 (委員長古市実)

◆ 新ポール・ハリス・フェロー

和 泉 奥 出 利 明
 松 原 竹 田 清
 大阪東 峯 村 英 薫
 大阪西 古 谷 庄 太 郎
 “ 益 田 乾 次 郎
 堺 南 萬 野 善 昭
 豊 中 野 原 博 彦

◆ 新ポール・ハリス・準フェロー

御 坊 橋 本 次 朗, 北 野 栄 一
 小 谷 真 一, 森 寛 一
 中 川 藤 吉, 中 村 宏
 田 端 広 次, 竹 田 初 三
 茨 木 藤 井 文 太 郎
 箕 面 武 田 佳 次
 寝 屋 川 樋 口 宗 次, 白 井 清 一
 大阪阪南 羽 賀 一 郎, 神 末 雅 博
 汲 川 圭 司
 大阪柏原 前 川 良 雄, 鎮 目 達 雄
 大阪西南 広 瀬 勘 一 郎, 本 田 泰 幹
 岩 津 安 一, 神 田 孝 一
 片 桐 正 人, 木 村 康 郎
 岡 碩 平, 大 谷 隆 三
 菅 敬 一, 須 賀 孝 博
 諏 訪 信 吾, 山 本 博
 吉 川 幹 男
 大阪心斎橋 倉 田 善 次 郎
 大阪淀川 藤 井 八 郎, 浜 田 勝 巳
 早 川 三 郎, 川 崎 金 蔵
 柴 田 喜 三 郎, 田 淵 三 郎
 脇 阪 栄 一, 吉 川 信 蔵
 富 田 林 山 田 忠 広

◆ 新ローターアクトクラブ誕生

○池田ローターアクト・クラブ

発 会 式 : 1972・3・7
 創 立 会 員 : 10 名
 会 長 : 松 村 克 彦
 幹 事 : 生 田 雅 之
 事 務 所 : 池 田 市 商 工 会 議 所 内
 例 会 日 : 第 1・第 3 火 曜 日 19:30

○堺ローターアクト・クラブ

発 会 式 : 1972・5・11
 創 立 会 員 : 21 名
 会 長 : 宍 和 夫
 幹 事 : 安 尾 貞 信
 事 務 所 : 堺 商 工 会 議 所 内
 例 会 日 : 第 1・第 3 金 曜 日

◆ 1972～73年度地区年次大会

(ホストクラブ)

350}	札幌西	9月23, 24日
351}		
352	八戸	10月7, 8日
353	平	10月3, 4日
355}	新潟	10月7, 8日
356}		
357	浦和 (1973)	3月11, 12日
358	東京羽田 (1973)	3月24, 25日
359	川崎南	10月28, 29日
360	岡崎	10月21, 22日
361	津	10月21, 22日
365	檀原	10月7, 8日
366	大阪西 (1973)	3月3, 4日
367	高松南	10月21, 22日
368	豊岡	10月28, 29日
369	岡山南	10月28, 29日
370	唐津	10月21, 22日
373	宮崎	11月25, 26日

◆ 年度末のご注意とお願い

◎半期報告と分担金

月信第1号にてご注意ください。また通り7月1日付にて納入すべき半期報告と納入義務金について、お忘れないようご注意ください。

◎役員交替と事務の引継

いよいよ本年度も終りに近づきました、役員
の交替、事務記録の引継ぎを円滑するよう組

織、運営に就いてご配慮下さい。また年度毎
に会計監査を行うことはクラブの運営のため
によいことでもあります。

◎次期役員ならびに委員長の準備

各クラブ次期会長は各クラブにおける委員会
を整備し、新年度の活動計画をたて、下さ
い。特に今年度中に達成されたクラブ活動で
顕著なものを列挙し、新年度のプログラムの
計画の参考にして下さい。

CONTENTS

Youth Service	1
1972~73 District Assembly	2
Second Meeting of District Committees	3
Charter Night of Sen-nan R. C.	7
Visiting to Masan R. C.	7
35th Anniversary of Wakayama R. C.	8
Experience of American High School Life ...	8
D. 366 W. C. S. reported on "The Rotarian" ...	9
Third Anniversary of Minoo R. C.	10
Letter of Thanks for W. C. S.	10
Report of Youth Exchange Committee	11
New Poul Harris Fallows	12
New Rotaract Clubs	12
1972~73 District Conferences	12
Contributions of R. Cs. to R. F.	14
Attendance Report for May	16

目 次

青少年への奉仕	1
1972~73年度地区協議会	2
第2回合同地区委員会報告	3
泉南R. C. 認証状伝達式	7
馬山R. C. 訪問記	7
和歌山R. C. 創立35周年記念例会	8
アメリカの高校生活を体験して	8
第366区世界社会奉仕 ザ・ロータリアン誌に掲載 ...	9
箕面R. C. 創立3周年記念例会	10
世界社会奉仕に対する礼状	10
青少年交換接待委員会報告	11
新ポール・ハリス・フェロー	12
新ローター・アクトクラブ誕生	12
1972~73年度地区年次大会一覧	12
各クラブ別ロータリー財団寄付額	14
5月出席報告	16

各クラブ別ロータリー財団寄付額

は本年度期初より上昇したクラブ (= 100%)

寄付額の表示単位米ドル (1972年4月30日現在)

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A 育 田	49	235.96	2,979.86	* 600	450.14
D 大 東	35	1,468.17	4,413.10	*** 1200	136.90
G 御 坊	62	544.03	2,834.53	400	265.47
H 橋 本	57	526.27	2,280.03	* 400	569.97
東 大 阪	58	1,364.40	5,064.12	* 800	155.88
枚 方	53	124.01	1,768.49	300	351.51
東 大 阪 東	40	410.03	2,610.91	* 600	189.09
I 茨 木	51	996.21	5,200.05	** 1000	409.95
池 田	51	2,906.42	5,739.92	***** 1100	380.08
和 泉	61	620.49	4,727.25	700	152.75
泉 大 津	71	523.28	3,527.80	400	22.20
泉 佐 野	57	368.54	3,472.92	* 600	517.08
K 門 真	25	—	720.02	300	279.98
海 南	56	273.00	2,620.03	400	179.97
貝 塚	54	463.04	2,391.91	400	308.09
河 内 長 野	57	274.73	3,689.51	* 600	300.49
岸 和 田	59	466.03	3,227.83	* 500	312.17
粉 河	27	368.73	1,299.88	* 400	50.12
M 松 原	47	376.75	2,488.59	* 500	331.41
箕 面	30	474.71	1,293.76	* 400	206.24
守 口	51	53.00	2,674.34	500	385.66
N 那 智 勝 浦	34	208.00	3,697.49	1000	42.51
寝 屋 川	25	60.00	787.49	300	212.51
O 大 阪	291	3,186.65	27,347.64	* 900	1,752.36
大 阪 東	87	4,532.57	14,618.53	***** 1600	171.47
大 阪 東 淀	27	486.12	1,213.07	* 400	136.93
大 阪 阪 南	50	1,570.18	2,879.25	** 500	120.75
大 阪 城 南	44	130.00	1,561.75	400	638.25
大 阪 柏 原	24	220.00	730.04	* 300	229.96
大 阪 北	161	4,366.05	15,510.93	** 900	589.07
大 阪 南	154	1,399.45	9,502.92	* 600	1,277.08
大 阪 西	93	195.01	4,515.05	500	1,064.95
大 阪 西 北	49	255.73	1,655.83	400	794.17
大 阪 西 南	64	178.74	2,860.94	600	1,619.06

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
大 阪 心 斎 橋	28	831.64	1,121.66	** 400	278.34
大 阪 住 吉	74	3,282.57	7,273.72	*** 900	126.28
大 阪 天 満 橋	55	409.42	4,211.63	700	188.37
大 阪 淀 川	68	622.53	3,517.31	* 500	562.69
S 堺	114	3,984.95	18,083.79	** 1500	156.21
堺 南	67	3,573.93	9,802.15	***** 1400	247.85
堺 東 南	35	895.62	2,632.47	** 700	167.53
摂 津	22	222.01	932.06	* 400	167.94
新 宮	51	113.01	2,352.93	* 400	197.07
白 浜	41	269.48	2,089.94	* 500	370.06
吹 田	60	276.72	2,962.34	400	37.66
T 高 石	43	882.54	2,155.63	* 500	424.37
高 槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
田 辺	67	300.02	3,902.10	500	117.90
富 田 林	55	1,270.02	3,103.36	** 500	196.64
豊 中	52	1,476.06	4,657.99	** 800	22.01
豊 中 北	31	330.03	330.03	* 100	289.97
豊 中 南	28	53.00	1,246.08	400	153.92
W 和 歌 山	96	4,482.60	11,623.12	***** 1200	856.88
和 歌 山 東	77	1,358.14	7,883.21	** 1000	586.79
和 歌 山 南	60	692.59	8,367.75	1500	1,232.25
和 歌 山 東 南	25	115.14	615.18	200	134.82
Y 八 尾	52	791.18	3,224.27	* 600	415.73
合 計	3,409	56,018.51	256,612.53		



5 月 出 席 報 告

(Attendance Report for May)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	
1	大阪西南	4	75	+8	100.00	5	31	泉佐野	4	50	-10	95.55	27	
1	大阪淀川	3	69	+1	100.00	17	32	大阪心斎橋	4	33	+4	95.46	7	
1	大阪阪南	5	65	+11	100.00	6	33	泉大津	3	74	+3	95.43	22	
1	大阪天満橋	4	60	+2	100.00	1	34	大東	5	39	+3	95.38	32	
1	茨木	4	57	+8	100.00	1	35	和歌山南	3	62	+2	95.08	24	
1	東大阪	4	56	-6	100.00	9	36	大阪住吉	3	71	-2	94.83	37	
1	橋本	4	54	-1	100.00	1	37	大阪東淀	5	39	+8	94.61	54	
8	高石	5	49	+7	99.59	1	38	大阪城南	3	49	+2	94.56	51	
9	枚方	5	51	-1	98.82	21	39	豊中北	3	29	+29	94.25	18	
10	吹田	4	59	-	98.73	13	40	池田	4	54	+3	94.20	44	
11	和歌山東南	4	36	+12	98.61	11	41	御坊	3	57	-7	93.33	43	
12	豊中南	4	35	+4	98.57	45	42	海南	4	61	+4	93.22	34	
13	和歌山東	4	77	-1	98.36	10	43	摂津	3	34	+3	93.14	31	
14	和泉	4	60	-2	98.28	14	44	大阪南	5	152	-1	93.12	40	
15	貝塚	5	55	+3	98.08	19	45	白浜	4	43	+2	93.02	58	
16	新宮	4	55	+3	97.69	25	46	寝屋川	3	40	+15	92.50	49	
17	河内長野	3	60	+4	97.66	23	47	大阪北	4	182	+15	92.45	41	
18	和歌山	5	93	-1	97.26	16	48	堺	4	110	-3	92.40	52	
18	松原	5	51	-1	97.26	11	49	堺東南	4	36	+4	92.36	42	
20	堺南	5	67	-3	97.01	29	50	東大阪東	4	42	+1	92.27	53	
21	泉南	3	32	+32	96.88	33	51	田辺	4	68	-1	92.19	35	
22	東大阪中	3	31	+31	96.70	60	52	堺泉北	3	28	+28	91.67	36	
23	大阪西北	5	55	+4	96.69	8	53	高槻	4	54	+1	91.51	30	
24	岸和田	4	55	-3	96.64	39	54	粉河	4	30	-	90.84	47	
25	大阪西	5	94	-1	96.48	15	55	大阪	3	308	+9	90.05	56	
26	大阪東	4	100	+9	96.18	26	56	門真	4	26	+1	89.42	27	
27	有田	4	52	+3	96.16	20	57	富田林	4	62	+6	89.18	48	
28	大阪柏原	5	26	-	96.15	46	58	豊中	5	56	+1	88.85	55	
29	箕面	4	32	+4	96.10	38	59	那智勝浦	3	34	-	87.88	59	
30	八尾	4	55	+1	95.83	50	60	守口	4	53	-	80.66	57	
平均出席率								合 計						
95.15%								239 3,692 +247						



<<COPY>>

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR: SHIGEYUKI OGATA
OFFICE: Sakai Chamber of Commerce Bldg.
ADDRESS: P.O. Box. 25, Sakai 590 Japan
CABLE ADDRESS: Interotary Sakai

ガバナー 尾 形 繁 之
事務所 堺市戎之町西1丁1番23号
堺商工会議所会館3階(〒590)
電 話 0722-21-9456
私 書 箱 堺局第25号(〒590)

第14号 昭和47年6月30日 ガバナー月信 No.14 JUNE 30, 1972

この1年をかえりみて

ガバナー 尾 形 繁 之

当地区本年度の詳しい実績は、地区委員会活動報告にゆずり、大要を次に掲げます。

拡大活動は5クラブの誕生をみて目標を超え、新会員の増加数281名は前年比8.2%の純増、ローターアクトも3クラブを加えました。インターアクトだけはひとつも実を結びませんでした。

国際奉仕は伝統的に当地区の活発な部門、計画通りの青少年国際交換のほか、ニュージーランドへ羊毛技術研修生を1名派遣、海外クラブとの親善交流、姉妹盟約の実行も10クラブに達しました。世界社会奉仕は地区全ロータリアンの参加を得て、選んだ海外クラブの援助要請企画は12、援助額は約350万円に及びました。

ロータリー財団への寄付は、新ポール・ハリス・フェロー37名、同準フェロー93名を加えて、推計総額約85,000ドル(1人平均25ドル)財団奨学生も47名に及ぶ応募者から、優秀適格な候補者を推薦することができました。

職業奉仕の面では、^レ職業奉仕の勘どころと^レフォアウエイテストは前進する^レを重新刊、ほかに「職業奉仕週間」を本年度はじめて企画実施、この奉仕への反省と認識を深めることができました。

また、地区大会、地区協議会、ICGF、公式訪問そのほかの諸行事も、すべて計画どおり支障なく進めることができました。

この1年ほど、私の生涯に多彩な善意の想い出が残る年はありません。文字通り多事多忙の日々ではありましたが、健康を保って、どうか大任を果ささせていただきました。すべては地区の各クラブ会長、幹事、全会員、バスターガバナー、地区委員、地区幹事みなさまの限りない善意と友情と奉仕によるたまものであります。心から厚くお礼を申し上げます。

終りに、みなさまのかわりないご交誼とご指導を願い、あわせてご清健とロータリーの限りない前進を祈念いたします。



GOOD WILL BEGINS WITH YOU

Ernst G. Breitholtz

1971-72年度 国際ロータリー会長のメッセージ

善意は 先ず あなたから

アンスト G. ブライトホルツ会長

◆アンスト G. ブライトホルツ会長の 書信より ……その一節……

Mr. Shigeyuki Ogata 28 June, 1972
Governor, District 366, R.I.

Dear Shigeyuki :

It has been a good year—a year of Good Will that will be remembered as an individualized yet integral part of the long Rotary history. The satisfaction of a work well done is the only reward a volunteer usually will get, ……

Rotary must go on. For you as well as for me a new year will begin under the able leadership of my successor and friend, Roy Hickman. As loyal Rotarians we will continue to serve in our respective fields as volunteers in a grand movement. In this I wish you all success, ……

良い1年でありました。ロータリーの永い歴史のうちに特異であって、しかもなくてはならない善意の1年でありました。よくなしとげられた活動に伴う満足感こそは、奉仕者のうける唯一の報いであります。……

ロータリーは前進しなければなりません。みなさまと私のために、新しい年が私の後任者であり、友人でもあるロイ・ヒックマンの有能な指導の下にはじまります。忠実なロータリアンとして、偉大な運動の奉仕者として、われわれは各分野におけるはたらきを続けましょう。みなさまのご成功を祈念いたします。

◆ 1972年規定審議会から報告

ヒューストンにて

パストガバナー 塚本 義隆

6月9～10両日、ヒューストンにおける国際ロータリー大会の一部分として開催された規定審議会は、規則制定案68件、決議案15件、合わせて83件を1件ごとに慎重に審議した。その結果20件（うち5決議案を含む）だけを原案どおりあるいは一部修正のうえ可決、残りの63件（うち決議案10）は全部否決あるいは撤回という結末となって終了しました。

出席したのは278人の地区代表とR.I.理事、R.I.歴代会長、その他を合せて312人でした。本年から規定審議会は従来のように諮問機関ではなく立法機関として重要な役割を果たしたわけです。可決した20件は、きたる8月中旬に事務総長から世界15,200のクラブあてに送付されて120日以内に異議の申立てが10%に達しない限り、発効することになります。

審議された案件の中で、各クラブに最も関心の深い事項を下記に報告します。

(1) 会員制度 シニア・アクティブとなるべき資格が生じた会員は本人の意思如何にかかわらず、すべて一律に自動的にシニア・アクティブとなる件(72-9)は可決。またR.I.理事会が提案した「ジュニア正会員」制度新設の件(72-10)は理事会が自身で取り下げた。

(2) 拡大 新クラブのR.I.加盟申請料を100ドルから150ドルに増額案(72-35)は可決。

(3) 出席規定 現行のメイクアップ期日、すなわち欠席例会の前後各6日間を、直前例会から直後例会までの期間と改正する理事会案(72-13)は例会の取消あるいは例会日の変更などにより、不規則な期間となるおそれがあるために、「直前の通常例会時から直後の通常例会時に至る間」と修正のうえ可決された。現実問題としては、昼の例会と夜の例会のある点を考

慮に入れ、前後各6日と半日間のメイクアップを認めたのである。他の出席規定の緩和提案19件は、ことごとく葬り去られた。

(4) 増員理事の地域割当 最重要案件のひとつと見られた理事会提出の(72-8)は、中南米関係で部分的修正のうえ可決された。

(5) ロータリー・モットー He profits most who serves best よりも Service above selfの方を優先的に使用しようという、理事会提出の決議案は否決された。討論に当ってシカゴ・クラブ及びわが366地区代表が強い反対意見を述べたことが出席者一同を動かしたようで、絶対多数で否決を見た。

(6月11日記)

◆ 韓国倭館R.C. 親善訪問記

— 大阪城南クラブ —

昨年3月にクラブを代表して平尾会員が、田島会長のメッセージを携え、単身倭館クラブ(創立1968年12月、会員数33)を訪問。昼夜に亘る心からの暖かい歓迎ぶりの報告に接し、急速クラブとしての公式訪問の計画を樹てた。上野副会長を団長として会員12名、夫人3名計15名の訪問団を結成、3泊4日の予定で、多くの会員の見送りを頂き、勇躍5月1日10時50分発の大韓航空で、小雨の伊丹を飛び立ちました。

11時45分雨曇りの釜山に到着。郊外の高雲台 KUKDONG HOTEL に向ふ。釜山の観光を了えて直ちに一路ご自慢の高速道路をひた走りに駆って、約1時間にして宿泊地、慶州仏国寺に着く。

翌早朝由緒ある吐哈山の石窟庵、仏国寺、博物館など数多くの史蹟を訪ね、慶州で昼食後、倭館へと急ぐ。

午後4時邑の中心にある倭館クラブの例会に出席する。先ず金会長より「形式的なまた政治的なジェスチャーは、一切必要がない。お互の



大阪城南R.C. 歓迎例会(倭館)

心と心との愛の結ばれこそが最も尊いので、この心の結ばれをどうか育てて欲しい」と人格からにじみ出るような、大変に熱のある歓迎の辞があった。続いて上野団長よりお礼の言葉と、尾形ガバナー並に上山会長のメッセージを朗読、今後これを契機にお互に親善の実を挙げ、ロータリー精神の実行に努力して行こうと答礼す。記念品として当クラブより例会用の置時計と日本ロータリー50年史を贈呈、お土産として灰皿、洋菓子を贈り、私共は蝶貝細工の花瓶とバナーの贈呈を受けた。

例会後近くの礼式場に設営された祝賀会と民族舞踊を鑑賞す。料理は凡て会員のご夫人自身による真心のこもった手料理で、正装のご夫人を交え大いに歓談、暫し時のたつのも忘れ、言葉の不自由も感ぜられなかった。夕闇せまる倭館の邑を後に、固い握手をかわし、吾々は再会を約して車中の人となり、大邱に投宿した。

◆ 韓国密陽R.C. 親善訪問記

— 粉河クラブ —

創立5周年記念事業のひとつとして組合セクラブである第376区韓国密陽R.C.の親善訪問を計画した。去る5月22日から向井国際奉仕委員長以下9名の会員が参加して多大の親善の効果をおさめてきた。

当地区より事前に第376区朴正寛ガバナーに連絡をとっておいたが、極めて懇切周到な配慮のもとに訪問者一行を歓迎され、われわれは深

い感銘をうけた。

先ず一行は5月22日釜山空港で朴正寛ガバナー、朴教俊パストガバナー、金龍基密陽R.C.、幹事外10数名の会員の出迎えをうけ、あたたかい歓迎の言葉を頂いた。ついで金幹事の案内で慶州を見学する。

翌23日は朴パストガバナー、金幹事の案内で釜山市内を見学。後密陽に到る。市内のメインストリートには粉河R.C.来訪歓迎の垂れ幕が掲げられていた。市役所、警察署、教育庁に案内されて、それぞれ拍手と歓迎の辞をうけた。

つぎに密陽R.C.の会場に到着、例会に参加する。例会は特別のプログラムにより会長の歓迎の辞をうけ、尾形ガバナー、沢田会長のメッセージを向井団長より披露する。記念品の贈呈、密陽R.C.より感謝状と会長メッセージをうける。懇親会では和歌山県のみかん栽培についてをテーマとして意見を交換する。最後に両クラブ会員の記念撮影。お別れの挨拶、謝辞を述べて終る。

例会終了後会員一同と共に密陽市内を見学観光して列車で大邱に向う。大邱では朴ガバナーを交えて大邱東R.C.会長高萬権氏、幹事季鳳九氏と会い、高会長より過般和歌山東R.C.がホストとなり大邱農民のため養豚資金として援助したお礼の辞として「農民の養豚奨励のため141頭の豚を購入、一軒当り一頭ずつ分配した。その経費80万円のうち贈られた資金は45万円、残り35万円は大邱東R.C.が拠出した。非常に有難く感謝している。皆様帰国後は各クラブへよろしくお伝え願いたい。」また朴ガバナーからは尾形ガバナーにくれぐれもよろしくと申された。

一行は親善訪問の使命を無事果たして、ソウルに向い25日に元気に帰国した。密陽R.C.は創立6周年になり会員数は48名。粉河R.C.はこの親善訪問を契機として、将来両クラブ間で



粉河クラブ歓迎会場（密陽）

姉妹クラブとしての盟約を果たし、相互の親善を深めていくと共に、国際的理解を深めうるよう一段の努力を期している。

◆ 韓国昌寧R.C. 親善訪問記

— 東大阪東クラブ —

今回尾形ガバナーと、376地区朴ガバナーの並々ならぬご好意並に塚本パストガバナーのお口添えを頂きまして姉妹地区の昌寧クラブを訪問することができました。

6月15日釜山空港に着きますと、ターミナルに懸けられた「歓迎東大阪東R.C.一昌寧R.C.」の垂幕が目に入り、暖い歓迎に先ず胸を打たれました。昌寧クラブの国際奉仕委員長外2氏及び朴ガバナーの出迎えを受け釜山観光の後、その晩のパーティですっかり互に和み合いました。翌16日昌寧クラブの例会に出席し、引き続き昌寧郡庁警察署に案内され博物館の見学後、夫人同席の歓迎パーティが催されました。とにかく心からの非常な歓迎に一同感激致しました。

意気投合といいますが、話は姉妹クラブの締結に進み、朴ガバナー立合いの上で両クラブ会長が締結書に署名致しました。

今後は益々友情を深め相携えてロータリー精神の昂揚と浸透に努め、国際親善に尽したいと思っております。

茲に朴ガバナーのご好意に改めて感謝し、橋



昌寧クラブと姉妹盟約締結

渡しの労をお取り下さった尾形ガバナー、塚本バスターガバナーのお心持に副うよう努力したいと思います。(光久国際委員長)

◆台中西北扶輪社と姉妹盟約

—堺東南クラブ—

6月27日はわが堺東南R.C.と台中西北扶輪社とが、台中市において姉妹提携した記念すべき日である。

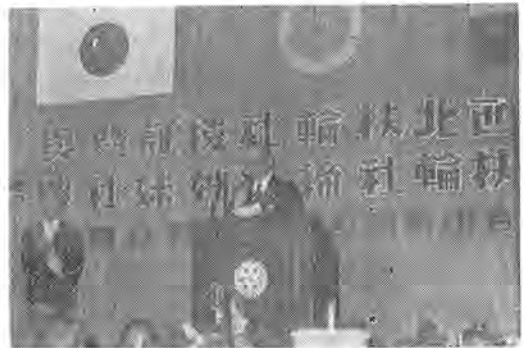
昨年10月第366区尾形ガバナーからこの話があったが、何分海外の地で実情もわからぬまま、決定しかねていた。ところが、われわれの親クラブである堺R.C.の住吉会員から、台中西北扶輪社の親クラブ台中東南扶輪社と堺R.C.がすでに姉妹提携をしている実情を詳しく知らされた。そこで急に締結の話が燃え上り、台中西北扶輪社の認証状伝達式に際して、同時にわがクラブも姉妹提携を実現することに決定したのである。

わが会員10名と家族7名は、この日空便にて伊丹より台北に到着、台中西北扶輪社差し廻しのバスに5時間乗り継いで台中に至り、直ちに式場へ向った。満堂の温い拍手に迎えられ着席、間もなく典禮開始、式は極めてリラックスな雰囲気の中で、まず認証状伝達式が終わり、続いて締結式に入った。

台中西北扶輪社胡春來社長と私とが交々に2通宛の同意書に署名し、多数の記念品を交換し

て、満場の熱意あふれる拍手のうちに互いに堅い握手を交わして式を閉じた。親子クラブがそれぞれ姉妹提携をしたことは、ロータリー史上でも類例の少ないことと思う。

台中市滞在は僅か2日間であったが、この間に示された台中西北扶輪社の胡社長始め会員の心温まる友情は、われわれにとってまさに、100年の知己を得た思いであった。この友情こそ、将来提携の実を結ぶ基礎ともなることを確信する。われわれは、姉妹クラブのこの友情と熱意に応えることを心に誓って、別れを告げ帰国した。(堺東南クラブ会長今井順二郎)



堺東南、台中西北クラブ姉妹盟約を締結

◆豊中北R.C. 認証状伝達式

豊中北ロータリー・クラブのチャーターナイトは去る6月17日大阪エアポートホテルにおいて厳粛かつ盛大裡にとり行われました。まことに喜びに堪えません。当日は尾形ガバナー、井関直前ガバナー、林特別代表をはじめ、近隣クラブの会長、幹事のほか、第366地区のみならず、遠方よりも多数のご参加をたまわりました。心よりお礼申し上げます。

豊中北クラブの誕生は、豊中クラブをスポンサーとして、池田クラブのご協力をいただきました。豊中市域の第3番目のクラブで、大阪国際空港を中心として市の西北部と、池田市の一部をテリトリーとしております。昭和44年6月、豊中クラブが10周年をむかえられた当時、



豊中北クラブ認証状伝達式

豊中南クラブの誕生をみました。豊中にもうひとつ空港を中心としたクラブをつくることは、大変なことと考えられました。しかし、林特別代表のご苦労はいうに及ばず、豊中クラブの西藤直前会長、広石現会長、故人となられました高木会員、植田会員を中心とする設立準備委員の並々ならぬご努力により、本年2月23日には30名のチャーターメンバーを擁して、創立総会を開くことができましたのであります。

当クラブが位置する空港の特性からも、今後は国際的に十分な理解と親善と平和を推進することを任務と考え、調和のあるロータリー活動を進めたいと思います。

先輩ロータリー・クラブの絶大なご指導のほど、偏えにお願い申し上げます。あわせて認証状伝達式にご参加をたまわりましたロータリアンの方々に厚くお礼申し上げます。

(幹事 福田 茂 治)

◆ 東大阪中 R. C. 認証状伝達式

6月20日(火)東大阪中 R. C. の認証状伝達式が大阪市都島区の太閤園にて盛大かつ厳粛に挙行された。梅雨期ではあったが好天に恵まれて、広い庭園の緑もひととき美しく、新クラブの前途を祝福するかの如くであった。

当クラブは東大阪 R. C. をスポンサーとして本年2月20日に創立、3月3日に R. I. の認証をうけた。創立会員は30名、旧河内市を中心にメンバーが選考されている。

午後12時30分受付開始、定刻の1時30分には予定の席はすべて埋まり、中谷会長の点鐘で式典は始まる。プログラムどおり進んで、尾形ガバナーより中谷会長に認証状が伝達されると、万来の拍手とともにくす玉が割られる。中谷会長は認証状を高々と揚げてカメラのフラッシュに応え、式はクライマックスとなる。

ついで来賓祝辞、祝電披露、記念品贈呈があり、六車副会長の閉会の辞で終る。そのあと祝舞として花柳芳十郎、花柳長十郎父子による連獅子が上演された。

引続いて、美しい庭の見える宴会場で、祝賀パーティが開かれた。初音家五月による河内音頭という変わった趣向をバックに、賑やかに歓談のひとときを過ぎた。宴も終りに近づいたころ、ラッキーカードの抽選が行われて、1等賞には泉南 R. C. の山田美貞君が当選された。

山野幹事より閉宴の辞のあと、ロータリーソング「手に手つないで」を合唱して散会した。近隣 R. C. より多数のロータリアンの参加を得て、まことに盛大なチャーターナイトであった。厚くお礼を申し上げます。



東大阪中クラブ認証状伝達式

◆ 第365. 366地区合同

ローターアクト協議会

5月28日午後1時より京都産業会館において第365地区ローターアクト委員長松居久左衛門君外ロータリアン3名及び両地区ローターアクト・クラブ代表など約70名が集り準備打合せの

会をもちました。

協議会は6月18日京都ホテルにおいて、京都ロータリー・クラブの後援により京都ロータリー・クラブがホストになってロータリー・メンバー224名、ロータリアン49名、交換学生15名の参加を得て盛大に開催されました。来賓の中には第365地区絹川清直前ガバナー、第366地区井関久楠直前ガバナー、第366地区尾形繁之ガバナー、第365地区野崎貫一ガバナー、の諸氏のほか、両地区の松居、世戸ロータリー・クラブ委員長、第366地区阪田靖人財団推進委員長、古市実青少年交歓委員長及び両地区のロータリーの委員の方々がおり、プログラムの中心は社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕の4部門に分れてのパネルディスカッション。ついて全体報告の会がもたれました。

そのあと交換学生を交えて、なごやかな雰囲気の中でレセプションがもたれ、互いの友情を深め、更に前進を誓い合いました。当地区よりの参加ロータリー・クラブは大阪、大阪北、大阪南、池田、守口、堺、和歌山、有田、御坊の9クラブ、参加人数はロータリー・クラブ113人、ロータリアン23人、合計136人でした。

(地区ロータリー・クラブ委員長 世戸一夫)

◆ 第365, 366地区合同

インター・クラブ協議会

6月18日(日)第6回第365, 366両地区合同のインター・クラブ協議会は大阪R.C.東高校I.C.のホストで、東高校講堂において、尾形ガバナー臨席のもとに開かれた。当日は両地区のインター・クラブ関係者、顧問教師並びに200名のI.C.生徒が参加して、盛大な集りとなった。

尾形ガバナーより「人間は地位、名誉、財産を得てもけっして満足できないものである。最後には奉仕することに生き甲斐を感じるものである。若いインター・クラブの諸君が今から奉仕

の勉強をしてこれを実践することは将来社会のため自己のために必ず役立つものである」と話され一同深く感銘した。

来賓及び主催者の有意義な挨拶の後、午前中は西京商高I.C.、一条高校I.C.、樞原学院I.C.、堺南I.C.、清風南海高校I.C.、東高校I.C.の順で、この1年間の各クラブの活動報告がなされた。

午後からは5つのテーマ別にI.C.の今後のあり方について熱心に討議された。

第1分科会「I.C.を増加していくには」

第365地区ではI.C.活動に歴史があるが、第366地区の場合は創立の若いクラブが多いので、増加よりむしろ各クラブの活動の充実にもっと重点を置くべきである。

第2分科会「奉仕の意義」

奉仕に誇りをもち身近なところからI.C.活動にとらわれず、ひとりの人間として奉仕する必要がある。

第3分科会「I.C.の目標とその具体化」

ロータリアンともっと交流することによって目標の具体化は進むのではないか。

第4分科会「各学校間の交流をどのように進めるか」現在の年1回の交流の場では、その発展性に乏しい。宿泊を伴う交流の機会が是非必要である。

第5分科会「協議会のあり方」

協議会と生徒間の交歓の機会とを別に考えてはどうか。などの結論に達したようであった。

分科会の後、ジュースパーティの交歓会が開かれた。ロータリアンと生徒達は世代の相違など感ぜずに大いに語り合ったが、席上生徒達からもっと多くのロータリアンの出席を望む声が強かった。これは我々ロータリアンの問題として、今後考える必要があると思われる。

最後の総会では大阪R.C.の援助で東高校I.C.の英会話を指導されているBarton氏が

「国際理解と外国語学習」と題して話された。交通機関の発達で地球は小さくなったが、それだけに現在ほど各国間の理解が必要な時代は未だかつてない。そのためには外国語の学習が益々重要であると。生徒達の外国語学習を激励するこの講演をもって意義深い地区協議会は終わった。

「国際理解並に地域社会への奉仕」を目標とする若者が一堂に会する機会を得て、今さらながらインターアクトの活動が現在の若い人達に一番欠けている事柄であると痛感した。今後いっそうインターアクト活動の発展に努力する心積りである。

(第366地区インターアクト委員長平岡静人)

◆大阪東・西R.C. 創立15周年

大阪東・西両R.C.は、それぞれ創立15周年を迎えましたので、恒例に従い本年は大阪西R.C.がホストとなって、6月12日(月)にホテル阪神において合同の記念祝賀会を催しました。

当日は尾形地区ガバナーと大阪東R.C.創立の際の室賀国威特別代表が臨席され、両R.C.からの出席者も74名に達して、午後5時から式典と祝賀パーティは和やかで盛会なうちにすすみました。

大阪西R.C.の清水友好委員長が開会を宣し、納谷会長の挨拶について、大阪東R.C.の上野会長が祝詞を述べ、尾形ガバナーから祝辞をうけました。ついで、最近ポール・ハリス・フェローになられた峯村英薫(大阪東)、益田乾次郎(大阪西)、古谷庄太郎(同)3会員に対し、この祝典の席上で、尾形ガバナーからその披露と共に表彰のメダルが手渡されて、3君は出席者一同の敬意と拍手をうけられました。

式後、余興に移り四宮誠祐(大阪西)会員の「調橋弁慶(鼓大倉長十郎)、森藤鉄治(大阪



大阪東・西クラブ15周年記念祝賀会

東)梶本秀尾(同)両会員による長唄綱館(三味線今藤長十郎社中、鳴物藤舎呂船社中)のほか三絃粹曲などが披露され、模擬店趣向の晚餐に歓をつくしました。

杉野親睦活動委員長(大阪東)の閉会の辞、
「手に手つないで」、楳本修副会長(大阪西)の万才三唱をもって、午後8時解散いたしました。

追記 昨年度の大輪幹事会においての申合せによりまして、本年度からこの記念行事に大阪市内各R.C.の会長並に幹事の方々をお招きすることを遠慮いたしました。ご諒承をお願い申し上げます。

◆東大阪R.C. 創立15周年

昭和47年6月7日午後3時より、大阪コクサイホテルにて創立15周年記念式典が盛大に挙行された。梅雨入りの激しい雨にもかかわらず総勢115名という当クラブ創立以来の最大の行事となる。

来賓は尾形ガバナー、森、原田、井関各パストガバナー、創立当時の浅田特別代表、伏見東大阪市長、台湾台中扶輪社(姉妹クラブ)林鳳山会員をはじめ、地域の官公庁と近隣クラブの代表あわせて80数名に及ぶ。

記念式典は次の順序と内容をもって、厳かなうちにも和やかに執り行われた。

物故会員に対し黙禱

開会挨拶

記念事業…東大阪市消防本部へ救急車贈呈

来賓祝辞

R. I. 会長メッセージ披露

祝電披露

東大阪市社会施設関係者表彰（4名）

10年以上皆出席者表彰（7名）

記念講演…薬師寺管主 高田好胤師

閉会挨拶

続いて休憩の間に、来賓及び会員家族の記念撮影を行い、午後5時30分より祝宴が開かれる。横田会長の挨拶、多屋理事の音頭で一同乾杯して宴に入り、会食の間に北木平八郎カルテットの司会伴奏で歌手坂純子が新旧数曲を歌い、一同なごやかな歓談の裡に閉会の時間となる。森田副会長の閉会の挨拶、福本式典委員長の音頭で萬歳三唱の後、一同手をとりあってロータリーソング「手に手つないで」を合唱散会した。（幹事 川端弘三）



東大阪クラブ15周年記念式典

◆ 富田林R. C. 創立10周年記念式典

会場正面の国旗とロータリー旗は照明係の投ずる虹に映えて、ロータリアンの限りなく多様な奉仕活動を象徴しております。

昭和47年6月8日午後2時より、宗教法人 Perfect Liberty の右脇殿において、尾形ガバナー、森バストガバナー、高田特別代表を始め、Perfect Liberty 教主、近隣R. C. 会長及び地域関係諸団体代表のご臨席を仰ぎ、荒谷大

会委員長以下会員62名、家族を含め150余名の出席を得て、盛大かつ厳粛に挙行致しました。

富田林R. C. は堺R. C. をスポンサークラブとして、当時の秦ガバナー、高田堺R. C. 特別代表のなみなみならぬご努力とご指導によりまして、昭和37年6月20日にR. I. より認証され、富田林の地に生れたのであります。

幸い夜来の豪雨も午前中に晴れ、新緑若葉に映える羽曳野丘陵で、御木徳日止会長点鐘により開会が宣言されました。先ず、物故者に対して黙祷を捧げました。ついで御木会長の歓迎の辞、荒谷大会委員長の挨拶があり、尾形ガバナー、森バストガバナー、高田代表、Perfect Liberty 教主御木徳近名誉会員から丁重なるご祝詞を頂戴致しました。10周年記念事業の一環として、R. F. に金一封を寄付し、地域市町村に対してささやかではありますが、福祉厚生の一助にと下記物品を寄贈いたしました。

富田林市へポニー車（肢体不自由児送迎用）及び市庁舎前の記念樹、藤井寺市及び羽曳野市へ身体障害者用車椅子2台、太子町と河南町へカーブミラー数基、千早赤坂村へ国旗竿。

続いて尾形ガバナーから、ポールハリスフェロー2氏（御木名誉会員と石田初代会長）が表彰を受け、篠原大会副委員長により10年間皆出席及び5年間皆出席の会員と歴代会長に記念品が贈呈されました。機も熟し Perfect Liberty 吹奏楽団と Perfect Liberty 女声合唱団による富田林ロータリーソング「T. R. C. の歌」（杉本会員作詩沢村友成氏作曲）の発表と作詩者の挨拶があり、会長謝辞の後松田副会長の閉会宣言で閉会しました。

その後4時より来賓及び会員と家族による祝賀パーティに移り、懐しい当クラブのチャーターナイト風景の映画を見て過ぎし日を偲び、教団子弟の芸術味豊かなアトラクションを鑑賞して有意義な一刻を過しました。思えば27名のチ



富田林クラブ10周年記念式典

ャーターメンバーで発足し、すでに会員は60名を数える中堅クラブに成長して参りました。

その間ロータリー財団 90%達成、会員2名がポールハリスフェローの称号に輝き、またアメリカのベツレヘム R. C. ブラジルのゴヤニヤ R. C. 等海外クラブとの交友を暖ため、微力ながら R. I. 発展のために尽くし得たことは、ガバナー始め近隣 R. C. 全メンバーのご支援とご鞭撻のたまものと衷心より感謝しております。

◆ オーストラリア留学報告 (1)

山科幸夫

オーストラリアにきましてはや8ヶ月、生活様式にもオーストラリア英語にもかなりなれてきました。元気に生活しています。当地は今が初冬で夜は冷えますが、日本の真冬のように氷がはったり、雪が降ることはないそうです。

Eastwood クラブには、すでに3回出席しました。6月以降には周辺の多数のクラブ例会に出席することになっています。オーストラリアの家庭や教会にはよく招待され、時間の許す限り出席しています。先日 Eastwood クラブの会員 Brian Watson さんに夕食に招待されました。彼の息子 George は Macquarie 大学の3年生で、娘は高等学校交換学生として東京

にいらっています。日本地図をひろげて東京の地理や、書物により日本文化のいったんについて話しました。

5月8日からの3週間の大学休暇を利用して、オーストラリア人の友だちと2週間にわたるシドニー—農場—メルボルン—キャンベラの旅行をしました。彼には偶然「Toast Master」とよばれるクラブで出会い話をしているうちに両親が東京のオーストラリア大使館につとめているということで親しくなり、旅行につれていってもらったわけです。なかなかの日本通で簡単な日本語なら話せます。

農場では4日間とても快適な生活をしました。日本では想像もできないような大規模なものです。小さいもので200—300ヘクタール、大きいものは800—1000ヘクタールもあります。朝早くおき、牛、ひつじ、ぶた、にわとりなどにえさを与えるのが居候の義務で、ほくも微力ながら手伝いました。

メルボルンは1956年にオリンピックがあった都市ですが、シドニーとはちがった都市です。経済、財政関係の中心はシドニーよりもメルボルンにあるようです。にぎやかで市街はもちろん往来がはげしいのですが、落ちつきと、静けさを感じさせる都市です。道路はまっすぐで広く、Tram とよばれる市電が走っています。これは市民の重要な交通機関で将来も消えることはないということです。

メルボルンにはいろいろ名所があり、ほくも多くの場所を訪れました。Mt. Dandenongからはメルボルンが一望でき、夜景がきれいでした。ちょうど生駒山から大阪の夜景を見ているようなものです。Tullamarine〔メルボルン北西〕にはメルボルン国際空港があります。なかなか整備のされた新しい広い空港です。

帰りには Great Dividing Range とよばれるオーストラリア・アルプスを横切りました。

その中の Mt. Kosciusko にのぼりましたが、大変きれいな山です。今年は雪不足のため、スキー客はあまりいませんでしたが、それでも彼らは結構スキーを楽しんでいました。この雪どけ水を利用しての水力発電所もあります。

キャンベラは都市計画によって、メルボルン以上に整った都市です。Australian Capital Territory とよばれる連邦政府直轄地に、この首都があるわけです。すべての政治的機構はここにあります。日本大使館、国会議事堂（上院、下院）オーストラリア国立大学等を訪れました。この旅行は大変有意義なものだったと思います。

ではまたしばらくして近況を報告させていただきます。（1972-6-6）

◆ ロータリー財団奨学生

足立啓子さん出発の挨拶

ご挨拶とお礼が遅くなって申しわけありません。このたび受入れの大学より正式に通知がありましたので、近く渡米いたします。

国内での試験と選考は昨年の5月でありました。9月に国際ロータリーから正式に通知がありまして、留学先の大学を指定してきました。アイオワ州のセダー・フォールという町にある University of Northern Iowa です。州立の大学で、1909年頃には Iowa State Teachers College とよばれていた歴史が示すように、一種の教育大学であります。英文学の教職を志す私にとって、まことにふさわしい学校を指定して下さいました。

また、更に幸いにも6週間の語学準備期間を許されました。ワシントンD.C.にある ELS Language Center で前もって勉強することになり、9月からの正式の授業に対する不安もやわらぎ、6月末いよいよ出発することになりました。

大学院では現代米文学と社会のかかわりを勉強したいと思っています。

留学生である以上、ことに私の場合親善使節としての役割もある以上、社会あるいは政治の問題と、望むと望まないにかかわらず、とりくんでいかねばなりません。そうして、異った文明の人と交わることによって、私の文学における目もひらけてくると思います。

一度社会に出ていましたが、このロータリー奨学制度のおかげでまた自分を見つめる機会を与えられますことを、そして学生生活にもどることができますことを心から感謝いたします。

追記 足立啓子さんは6月25日に渡米されました。6月26日ワシントンD.C.着、7月22日までは上記の ELS ランゲージセンターで、その後9月2日までミネソタ大学で語学研修とオリエンテーションをうけ、9月6日の新学期から約1カ年ノーザン・アイオワ大学の大学院でアメリカ文学の勉強と共にロータリー・フェローとして活動されます。

◆ 新ポール・ハリス・フェロー

村上 勇（大阪東）

杉本常子（〃 杉本左近会員夫人）

山田西吉（大阪天満橋）

◆ 新ポール・ハリス・準フェロー

早田 敏男（御坊）岡田稔太郎（那智勝浦）

丹羽 正治（門真）山本 師郎（〃）

小林三甫朗（箕面）嶋津良太郎（大阪心斎橋）

◆ ポールP・ハリス氏の墓に詣でて

大阪東R.C. 杉本左近

1971年10月16日（土）11:10 American Air Way 625 便にてシカゴ着。

直ちにエバンストン・ロータリー国際事務局の高橋俊浄氏の自宅に連絡、案内を乞うと早速ホテルまでお迎えを頂く。ロビーにて歓談の後、同氏の運転によりシカゴ郊外40キロの目的

地に向う。

霊園の近くで車を降りる。霊園一帯はスッカリ秋の気配で淡い秋の陽ざしに木々の紅葉が映え、広々と手入れの行届いた芝生のあちこちには野生の栗鼠がとび跳ねる。

霊園はゆるいスロープを描き、整然と並んだ白い墓石が鈍い空のもと秋陽をななめにうけて静かに立っている。

やや奥まった右手、道路より30メートルほどはいったところ、なだらかな斜面にポール P. ハリスの墓銘とロータリーマークを刻んだ墓碑がある。その横にロータリー初代会長 Sirvester Schiele 氏の墓標が並んで立っているのが見える。その一瞬、この偉大な両先輩にまみえた感がして身の引きしまる思いがする。

永い永い黙祷を捧げ、両氏の栄光を神に祈ると共に、出発前の ICGF 後尾形ガバナー、森、原田、井関各バストガバナーとの懇談の際の約束を果たし得て、満ち足りた感慨にひたり切る。友にうながされて記念撮影をする。



ポール P・ハリスの墓前にて

帰途、ポール P・ハリス氏が投じた65年前の一石を思い起こし、今日世界各国の人々の心に深い共感を呼び善意と真実に生き抜いたこれら先達の偉業を友とともに偲ぶ。

墓 銘

PAUL P. HARRIS

APRIL 19, 1868 — JANUARY 27, 1947

FOUNDER OF ROTARY

PRESIDENT EMERITUS

ROTARY INTERNAONAL

CONTENTS

Rotary 1971-72 in the Retrospect	1
Letter from RI President Ernst G. Breitholtz	2
Report of Council on Legislation 1972	2
Three Goodwill Envoys to D. 376	3
Sakai S. E., Sister RC of Taitung N. E.	5
Charter Presentation of Toyonaka North and Higashi-Osaka Naka RCs	5
Joint Assembly of RACs. Ds. 365, 366	6
Joint Assembly of IACs. Ds. 365, 366	7
Anniversaries of Osaka East, Osaka West, Higashi-Osaka and Tondabayashi RCs ...	8
News of Rotary Fellows	11
New Paul Harris Fellows	11
Visit the Grave of Paul P. Harris	11
Contributions of RCs to Rotary Foundation ...	13
Ten Best Clubs of Attendance Contest	14
Attendance Report of June and 1971-72	15

目 次

この1年をかえりみて一退任のあいさつ	1
R. I. 会長の書信より...その一節	2
1972年規定審議会から報告	3
韓国倭館 密陽、昌寧 R. C. 親善訪問記	3
台中西北扶輪社と姉妹盟約	5
豊中北、東大阪中 R. C. 認証状伝達式	5
第365, 366地区合同ローターアクト協議会	6
第366, 366地区合同インターアクト協議会	7
大阪東・西、東大阪 R. C. 創立15周年	8
富田林 R. C. 創立10周年記念式典	9
財団奨学生の消息	11
新ポール・ハリス・フェロ	11
ポール P・ハリス氏の墓に詣でて	11
各クラブ別ロータリー財団寄付額	13
1971-72年度出席優秀10クラブ	14
9月出席報告、年間平均出席報告	15

各クラブ別ロータリー財団寄付額

は本年度期初より上昇したクラブ (≒100%)

寄付額の表示単位米ドル (1972年5月31日現在)

ク ラ ブ 名	70年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A 有 田	49	235.96	2,979.86	* 600	450.14
D 大 東	35	1,468.17	4,413.10	*** 1200	136.90
G 御 坊	62	544.03	2,834.53	400	265.47
H 橋 本	57	526.27	2,280.03	* 400	569.97
東 大 阪	58	1,364.40	5,064.12	* 800	155.88
枚 方	53	549.04	2,193.52	* 400	456.48
東 大 阪 東	40	410.03	2,610.91	* 600	189.09
I 茨 木	51	996.21	5,200.05	** 1000	409.95
池 田	51	2,906.42	5,739.92	***** 1100	380.08
和 泉	61	620.49	4,727.25	700	152.75
泉 大 津	71	523.28	3,527.80	400	22.20
泉 佐 野	57	368.54	3,472.92	* 600	517.08
K 門 真	25	—	720.02	300	279.98
海 南	56	446.00	2,793.03	400	6.97
貝 塚	54	463.04	2,391.91	400	308.09
河 内 長 野	57	274.73	3,689.51	* 600	300.49
岸 和 田	59	466.03	3,227.83	* 500	312.17
粉 河	27	368.73	1,299.88	* 400	50.12
M 松 原	47	476.75	2,588.59	* 500	231.41
箕 面	30	474.71	1,293.76	* 400	206.24
守 口	51	53.00	2,674.34	500	385.66
N 那 智 勝 浦	34	208.00	3,697.49	1000	42.51
寝 屋 川	25	60.00	787.49	300	212.51
O 大 阪	291	8,246.65	32,407.64	*** 1100	2,512.36
大 阪 東	87	4,987.54	15,073.50	***** 1700	586.50
大 阪 東 淀	27	486.12	1,213.07	* 400	136.93
大 阪 阪 南	50	1,670.18	2,979.25	** 500	20.75
大 阪 城 南	44	130.00	1,561.75	400	638.25
大 阪 柏 原	24	220.00	730.04	* 300	229.96
大 阪 北	161	4,366.05	15,510.93	** 900	589.07
大 阪 南	154	1,364.94	9,468.41	* 600	1,311.59
大 阪 西	93	195.01	4,515.05	500	1,064.95
大 阪 西 北	49	224.02	1,624.12	400	825.88
大 阪 西 南	64	1,834.24	4,516.44	* 700	603.56

クラブ名	70年12月末 会員数	本年度寄付額	寄付額累計	パーセント	次のパーセント への必要額
大阪心斎橋	28	931.64	1,221.66	*** 400	178.34
大阪住吉	74	3,282.57	7,273.72	*** 900	126.28
大阪天満橋	55	409.42	4,211.65	700	188.37
大阪淀川	68	622.53	3,517.31	* 500	562.69
S 堺	114	3,984.95	18,083.79	** 1500	156.21
堺南	67	3,573.93	9,802.15	***** 1400	247.85
堺東南	35	1,095.62	2,832.47	*** 800	317.53
泉南	—	298.72	298.72	—	—
摂津	22	222.01	932.06	* 400	167.94
新宮	51	113.01	2,352.93	* 400	197.07
白浜	41	269.48	2,089.94	* 500	370.06
吹田	60	276.72	2,962.34	400	37.66
T 高石	43	1,182.54	2,455.63	* 500	124.37
高槻	54	159.01	2,618.03	400	81.97
田辺	67	320.02	3,922.10	500	97.90
富田林	55	3,382.02	5,215.36	***** 900	284.64
豊中	52	1,476.06	4,657.99	** 800	22.01
豊中北	31	330.03	330.03	* 100	289.97
豊中南	28	86.00	1,279.08	400	120.92
W 和歌山	96	4,482.60	11,623.12	**** 1200	856.88
和歌山東	77	1,358.14	7,883.21	** 1000	586.79
和歌山南	60	730.45	8,405.61	1500	1,194.39
和歌山東南	25	115.14	615.18	200	134.82
Y 八尾	52	791.18	3,224.27	* 600	415.73
合計	3,409	67,022.37	267,616.39		

◆1971～72年度出席優秀クラブ

本年度の出席優秀クラブは下記の10クラブでありました。昨年度は2クラブが年間100%を維持しましたが、本年度は皆無でした。

上位10クラブの平均は、昨年度の98.73%に対して本年度は99.18%と0.45%上昇、地区の全平均も94.98%から95.40%へと0.42%向上しました。

出席優秀旗は新年度におけるICGFの席上にて、大谷ガバナーから該当のクラブに一応お

渡しいたします。正式の表彰が来年3月の地区大会において行われることは、例年の通りであります。

出席優秀クラブ

順位	クラブ名	順位	クラブ名
第1位	大阪西南	第6位	大阪阪南
第2位	橋本	第7位	河内長野
第3位	高石	第8位	和歌山東
第4位	茨木	第9位	大阪天満橋
第5位	吹田	第10位	東大阪

1971—72年度平均出席率

(Average Attendance Report for 1971—72)

順位	クラブ名	年間平均 会員数	年間平均出席率	順位	クラブ名	年間平均 会員数	年間平均出席率
1	大阪西南	72	99.91	32	大阪住吉	71	94.95
2	橋本	55	99.90	33	和歌山南	61	94.94
3	高石	47	99.45	34	東大阪東	42	94.67
4	茨木	57	99.38	35	大阪城南	49	94.62
5	吹田	60	99.31	36	摂津	32	94.43
6	大阪阪南	61	98.97	37	大阪南	152	94.38
7	河内長野	58	98.94	38	大東	39	94.34
8	和歌山東	77	98.73	39	富田林	59	94.24
9	大阪天満橋	59	98.66	40	堺	112	94.14
10	東大阪	58	98.51	41	大阪柏原	25	93.96
11	和泉	60	98.12	42	田辺	69	93.85
12	泉大津	73	98.00	43	海南	59	93.74
13	大阪淀川	68	97.98	43	堺東南	35	93.74
14	松原	51	97.89	45	豊中	56	93.32
15	枚方	51	97.73	46	門真	25	93.24
16	大阪西北	53	97.55	47	寝屋川	32	93.06
17	和歌山	94	97.49	48	八尾	54	92.82
18	高槻	53	97.47	49	大阪北	172	92.77
19	有田	51	97.23	50	粉河	30	92.39
20	岸和田	57	97.14	51	白浜	42	91.88
21	大阪西	93	97.07	52	御坊	60	91.16
22	泉佐野	53	96.59	53	守口	53	91.00
23	新宮	54	96.41	54	大阪	300	89.85
24	大阪心斎橋	31	96.25	55	大阪東淀	37	87.67
25	貝塚	54	96.02	56	那智勝浦	34	85.87
26	大阪東	97	96.00				
26	箕面	31	96.00		豊中北	30	96.78
28	堺南	70	95.83		堺東	26	96.30
28	池田	52	95.83		泉南	31	96.17
30	豊中南	33	95.38		堺泉北	29	95.06
31	和歌山東南	33	95.31		東大阪中	31	88.76

61クラブの年平均出席率は95.40%。

注：順位外は本年度に設立の新クラブ。

6 月 出 席 報 告

(Attendance Report for June)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順		
1	大阪西南	4	75	+8	100.00	1	32	大阪柏原	4	25	-1	96.00	28		
1	大阪阪南	4	65	+11	100.00	1	33	新宮	4	55	+3	95.83	16		
1	大阪天満橋	4	60	+2	100.00	1	34	大阪住吉	5	70	-3	95.74	36		
1	高石	4	49	+7	100.00	8	35	大阪南	4	151	-2	95.64	44		
5	和泉	4	60	-2	99.57	14	36	箕面	5	32	+4	95.63	29		
6	茨木	4	57	+8	99.56	1	37	御坊	5	56	-8	95.55	41		
7	橋本	5	55	-	99.27	1	38	摂津	5	37	+6	95.52	43		
8	大阪心斎橋	4	33	+4	99.24	32	39	高槻	5	55	+2	97.51	53		
9	和歌山東	5	78	-	99.23	13	40	八尾	4	56	+2	95.43	30		
10	東大阪	4	56	-6	99.08	1	41	海南	4	59	+2	95.18	42		
11	豊中北	5	33	+33	98.77	39	42	大阪城南	5	49	+2	95.10	38		
12	堺泉北	5	30	+30	98.67	52	43	岸和田	4	55	-3	94.81	24		
13	枚方	4	50	-2	98.50	9	44	大阪西	4	93	-2	94.76	25		
14	吹田	5	59	-	98.31	10	45	大阪北	4	182	+15	93.50	47		
15	河内長野	5	60	+4	98.28	17	46	和歌山南	5	62	+2	93.44	35		
16	池田	4	54	+3	97.69	40	47	東大阪中	5	31	+31	92.90	22		
17	大阪淀川	5	69	+1	97.66	1	48	堺	5	110	-3	92.68	48		
18	泉大津	5	73	+2	97.47	33	49	寝屋川	5	39	+14	92.41	46		
19	大阪西北	4	55	+4	97.27	23	50	田辺	5	68	-1	92.19	51		
20	豊中南	5	35	+4	97.14	12	51	大阪東淀	4	39	+8	91.67	37		
21	松原	4	51	-1	97.06	18	52	門真	5	26	+1	90.77	56		
22	泉南	5	33	+33	96.95	21	53	富田林	5	63	+7	90.62	57		
23	堺南	4	66	-4	96.92	20	54	東大阪東	5	42	+1	90.48	50		
24	大阪東	5	100	+9	96.89	26	55	堺東南	5	37	+5	90.27	49		
25	大東	4	38	+2	96.75	34	56	大阪	5	305	+6	89.44	55		
26	和歌山	4	93	-1	96.55	18	57	那智勝浦	5	35	+1	89.25	59		
27	有田	5	52	+3	96.54	27	58	粉河	4	30	-	89.17	54		
28	和歌山東南	4	36	+12	96.53	11	59	白浜	4	43	+2	88.96	45		
29	堺東	4	26	+26	96.30	-	60	豊中	4	56	+1	87.06	58		
30	貝塚	4	55	+3	96.15	15	61	守口	4	58	+5	87.03	60		
31	泉佐野	5	51	-9	96.04	31									
平均出席率						95.43%	合 計						274	3,726	+281